

# 取扱書

よくお読みになってご使用ください。  
取扱書は車の中に保管しましょう。

# AURIS





## イラスト目次

イラストから検索

### 1 安全・安心のために

お客様に必ずお読みいただきたいこと

### 2 メーターの見方

メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など

### 3 各部の操作

ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など

### 4 運転

運転に必要な操作やアドバイス

### 5 室内装備・機能

室内装備の使い方など

### 6 お手入れのしかた

車のお手入れ・メンテナンスの方法

### 7 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

### 8 車両情報

車の仕様やお好みに合わせて選べる機能の情報など

## さくいん

症状から検索

音から検索

アルファベットで検索

五十音で検索

知っておいていただきたいこと .....	6
本書の見方 .....	10
検索のしかた .....	11
イラスト目次 .....	12

## 1 安全・安心のために

1-1. 安全にお使い いただくために	
運転する前に .....	22
安全なドライブのために .....	24
シートベルト .....	26
SRS エアバッグ .....	30
お子さまの安全のために .....	39
子供専用シート .....	40
チャイルドシートの 取り付け .....	48
排気ガスに対する注意 .....	54
1-2. ハイブリッドシステム	
ハイブリッドシステムの特 特徴 .....	55
ハイブリッドシステムの 注意 .....	60
1-3. 盗難防止装置	
イモビライザーシステム .....	66

## 2 メーターの見方

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯 .....	68
計器類 .....	72
マルチインフォメーション ディスプレイ .....	75
エネルギーモニター／ 燃費画面 .....	83

## 3 各部の操作

3-1. キー	
キー .....	86
3-2. ドアの開閉、 ロックのしかた	
ドア（フロントドア・ リヤドア） .....	90
バックドア .....	95
スマートエントリー& スタートシステム .....	99
3-3. シートの調整	
フロントシート .....	106
リヤシート .....	107
ヘッドレスト .....	109
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル .....	111
インナーミラー .....	113
ドアミラー .....	115
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウィンドウ .....	118

## 4 運転

### 4-1. 運転にあたって

運転にあたって .....	124
荷物を積むときの注意 .....	133

### 4-2. 運転のしかた

パワー（イグニッション） スイッチ .....	134
EV ドライブモード .....	140
トランスミッション .....	142
方向指示レバー .....	148
パーキングブレーキ .....	149

### 4-3. ランプのつけ方・ ワイパーの使い方

ランプスイッチ .....	150
フォグランプスイッチ .....	153
ワイパー＆ウォッシャー （フロント） .....	154
ワイパー＆ウォッシャー （リヤ） .....	156

### 4-4. 給油のしかた

給油口の開け方 .....	158
---------------	-----

### 4-5. Toyota Safety Sense C

Toyota Safety Sense C .....	161
PCS（プリクラッシュ セーフティシステム） .....	166
LDA（レーンディパーチャー アラート/ 車線逸脱警報） .....	179
オートマチック ハイビーム .....	184
先行車発進告知機能 .....	188

### 4-6. 運転支援装置について

クルーズコントロール .....	190
運転を補助する装置 .....	194

### 4-7. 運転のアドバイス

ハイブリッド車運転の アドバイス .....	200
寒冷時の運転 .....	202

## 5 室内装備・機能

5-1. エアコンと デフォッガーの使い方	
オートエアコン .....	206
シートヒーター .....	214
5-2. 室内灯のつけ方	
室内灯一覧 .....	216
・インテリアランプ .....	217
・バニティミラーランプ .....	218
・パーソナルランプ .....	218
5-3. 収納装備	
収納装備一覧 .....	220
・グローブボックス .....	221
・コンソールボックス .....	221
・ボトルホルダー .....	222
・カップホルダー .....	223
・小物入れ .....	224
ラゲージルーム内装備 .....	225
5-4. その他の室内装備の使い方	
その他の室内装備 .....	233
・サンバイザー .....	233
・バニティミラー .....	233
・時計 .....	234
・アクセサリソケット .....	235
・ステアリングスイッチ .....	236
・リヤアームレスト .....	237
・アシストグリップ .....	237
・パノラマルーフ シェード .....	238

## 6 お手入れのしかた

6-1. お手入れのしかた	
外装の手入れ .....	242
内装の手入れ .....	246
6-2. 簡単な点検・部品交換	
ボンネット .....	249
ガレージジャッキ .....	252
ウォッシュ液の補充 .....	253
タイヤについて .....	255
タイヤ空気圧について .....	259
電子キーの電池交換 .....	261
ヒューズの点検・交換 .....	263
電球（バルブ）の交換 .....	266
エアコンフィルターの 交換 .....	276

## 7 万一の場合には

### 7-1. まず初めに

故障したときは.....	280
非常点滅灯 (ハザードランプ) .....	281
発炎筒 .....	282
車両を緊急停止するには .....	284

### 7-2. 緊急時の対処法

けん引について .....	285
警告灯がついたときは .....	292
警告メッセージが 表示されたときは .....	296
パンクしたときは (応急用タイヤ装着車).....	303
パンクしたときは (タイヤパンク応急修理 キット装着車) .....	313
ハイブリッドシステムが 始動できないときは.....	327
電子キーが正常に 働かないときは .....	329
補機バッテリーが あがったときは .....	331
オーバーヒート したときは.....	336
スタックしたときは .....	341

## 8 車両情報

### 8-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など) .....	344
--------------------------------------	-----

### 8-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ 機能一覧 .....	350
--------------------------	-----

## さくいん

こんなときは (症状別さくいん) .....	356
車から音が鳴ったときは (音さくいん).....	359
アルファベット順さくいん .....	360
五十音順さくいん .....	361

## 知っておいていただきたいこと

### 本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。

そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致しない場合があります。

### 不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動なくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
  - ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換  
異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。
  - ・ 電装品・無線機の取り付け・取りはずし  
電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。  
RF 送信機の取り付けについては、P. 9 も参照してください。
- フロントウインドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けしないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

## 車両データの記録について

お車には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが複数装備されており、主に次のようなデータを記録します。

- ・ エンジン回転数
- ・ 電気モーター回転数
- ・ アクセルの操作状況
- ・ ブレーキの操作状況
- ・ 車速
- ・ シフトポジション
- ・ 駆動用電池の状態

グレード・オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や車内の映像は記録しません。

### ● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

## イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。EDRは、一定の衝突や衝突に近い状態（SRSエアバッグの作動および路上障害物との接触など）が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。

EDRは車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。ただし、衝突の程度と形態によっては、データが記録されない場合があります。

EDRは次のようなデータを記録します。

- ・ 車両の各システムの作動状況
- ・ アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意：EDRは衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（例：氏名・性別・年齢・衝突場所）は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータとEDRデータを組み合わせて使用することがあります。EDRで記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両またはEDRへ接続する必要があります。トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両またはEDRに接続した場合でも情報を読み出すことができます。

### ● EDRデータの情報開示

次の場合を除き、トヨタはEDRで記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ トヨタが訴訟で使用する場合

ただし、トヨタは

- ・ データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
- ・ 使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することがあります。

## RF 送信機の取り付けについて

お車へ RF 送信機を取り付けると、次のようなシステムに影響をおよぼす可能性があります。

- ハイブリッドシステム
- EFI コンピュータ
- クルーズコントロール
- ABS（アンチロックブレーキシステム）
- SRS エアバッグ
- シートベルトプリテンショナー
- Toyota Safety Sense C

悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ずトヨタ販売店にお問い合わせください。

ご希望により、RF 送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）をトヨタ販売店にてご提供します。

## 保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

## ハイブリッドシステムについて

オーリスは電気モーターとガソリンエンジンを組み合わせたハイブリッドシステムを採用しています。

オーリスを安全・快適にお使いいただくために本書をしっかりとお読みください。

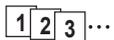
## 本書の見方



お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



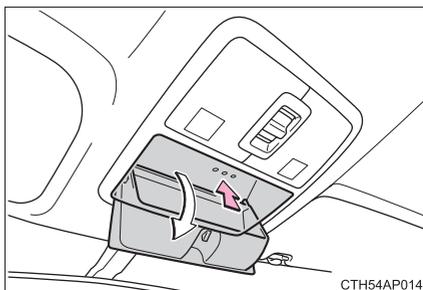
操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。



押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。



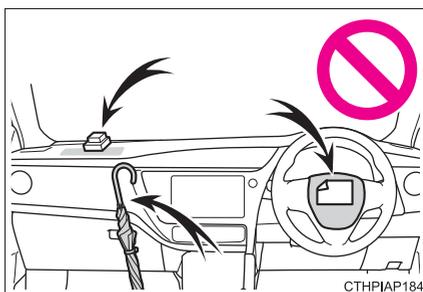
フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



説明の対象となるもの・場所を示しています。



“してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。

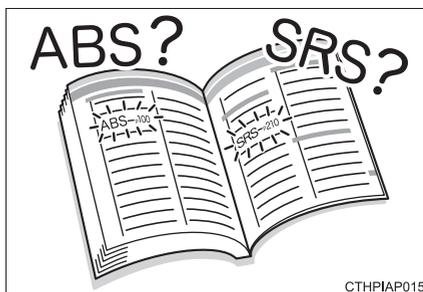


機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

## 検索のしかた

### ■ 名称から探す

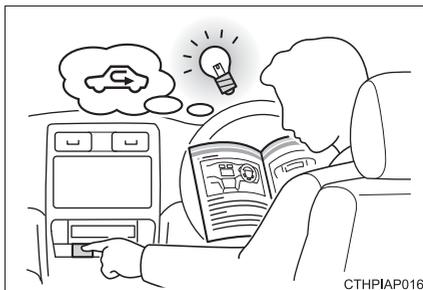
- ・ 五十音順さくいん .....361
- ・ アルファベット順  
さくいん .....360



CTHPIAP015

### ■ 取り付け位置から探す

- ・ イラスト目次 ..... 12



CTHPIAP016

### ■ 症状や音から探す

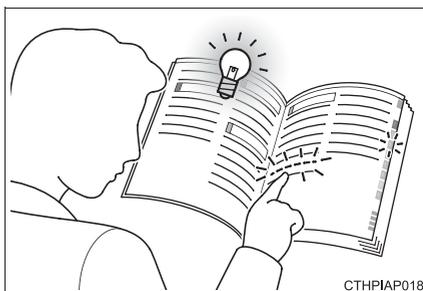
- ・ こんなときは  
(症状別さくいん) .....356
- ・ 車から音が鳴ったときは  
(音さくいん) .....359



CTHPIAP017

### ■ タイトルから探す

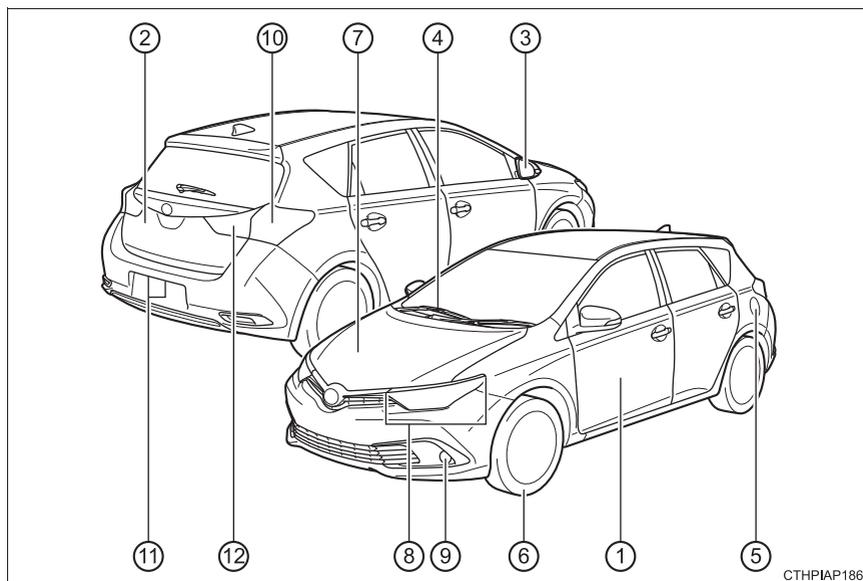
- ・ 目次 .....2



CTHPIAP018

# イラスト目次

## ■ 外観



CTHPIAP186

- |   |                |       |        |
|---|----------------|-------|--------|
| ① | ドア             | ..... | P. 90  |
|   | 施錠／解錠          | ..... | P. 90  |
|   | ドアガラスの開閉       | ..... | P. 118 |
|   | メカニカルキーでの施錠／解錠 | ..... | P. 329 |
|   | 警告メッセージ        | ..... | P. 296 |
| ② | バックドア          | ..... | P. 95  |
|   | 施錠／解錠          | ..... | P. 95  |
|   | 警告メッセージ        | ..... | P. 296 |
| ③ | ドアミラー          | ..... | P. 115 |
|   | 鏡面の角度調整        | ..... | P. 115 |
|   | ミラーの格納         | ..... | P. 115 |
|   | 曇りを取る（ミラーヒーター） | ..... | P. 209 |

- ④ **ワイパー**.....P. 154
  - 冬季の注意 .....P. 202
  - 凍結防止（フロントワイパーデアイサー）★ .....P. 210
- ⑤ **給油口**.....P. 158
  - 給油方法 .....P. 158
  - 燃料の種類・燃料タンク容量 .....P. 344
- ⑥ **タイヤ**.....P. 255
  - サイズ・空気圧 .....P. 348
  - 冬用タイヤ・タイヤチェーン .....P. 202
  - 点検・ローテーション .....P. 255
  - パンク時の対処 .....P. 303, 313
- ⑦ **ボンネット**.....P. 249
  - 開け方 .....P. 249
  - エンジンオイル .....P. 345
  - オーバーヒート時の対処 .....P. 336

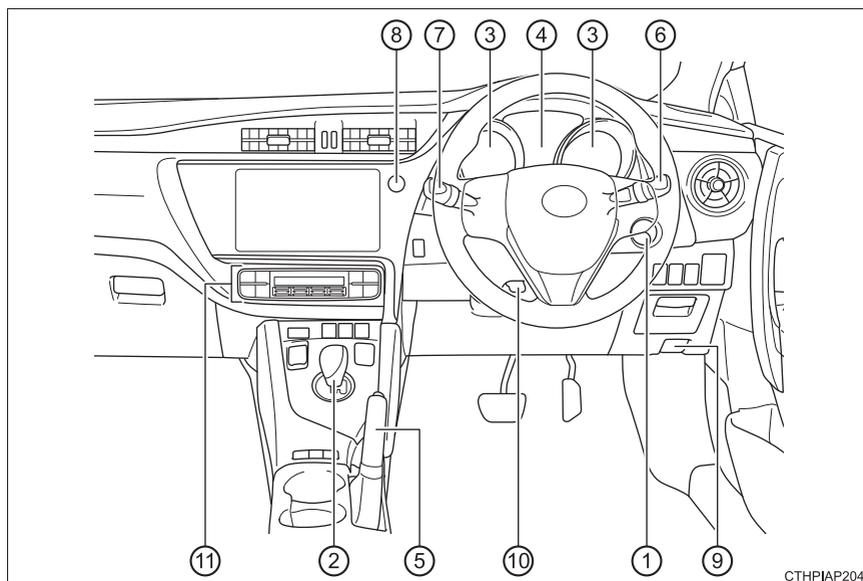
#### 走行に関わる外装のランプバルブ

（交換要領：P. 266, ワット数：P. 349）

- ⑧ **ヘッドランプ・車幅灯・LED デイライト・  
方向指示灯** .....P. 148, 150
- ⑨ **フロントフォグランプ**.....P. 153
- ⑩ **尾灯／制動灯・方向指示灯** .....P. 148, 150
- ⑪ **番号灯**.....P. 150
- ⑫ **尾灯** .....P. 150
  - 後退灯
  - シフトポジションを R にする .....P. 142

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ■ インストルメントパネル

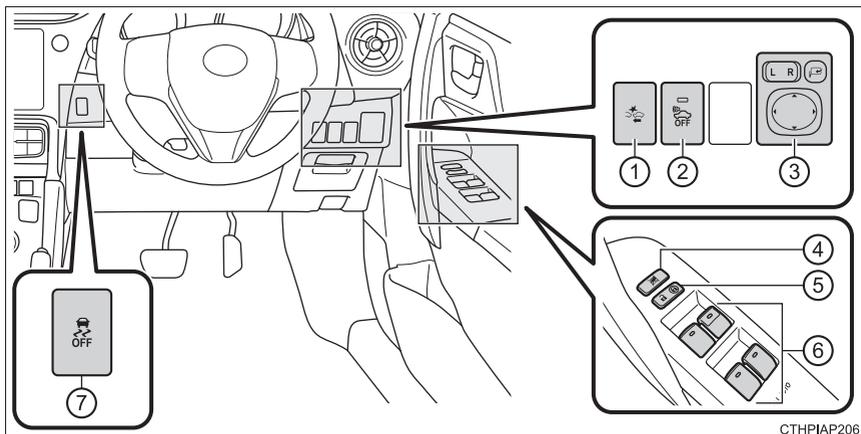


CTHPIAP204

- ① **パワースイッチ** .....P. 134  
 ハイブリッドシステムの始動・モード切りかえ .....P. 134  
 ハイブリッドシステムの緊急停止 .....P. 284  
 ハイブリッドシステムが始動できないときの対処 .....P. 327  
 警告メッセージ .....P. 296
- ② **シフトレバー** .....P. 142  
 シフトポジションの切りかえ .....P. 142  
 けん引時の注意 .....P. 285
- ③ **メーター** .....P. 72  
 見方・明るさの調整 .....P. 72  
 警告灯／表示灯 .....P. 68  
 警告灯点灯時の対処 .....P. 292

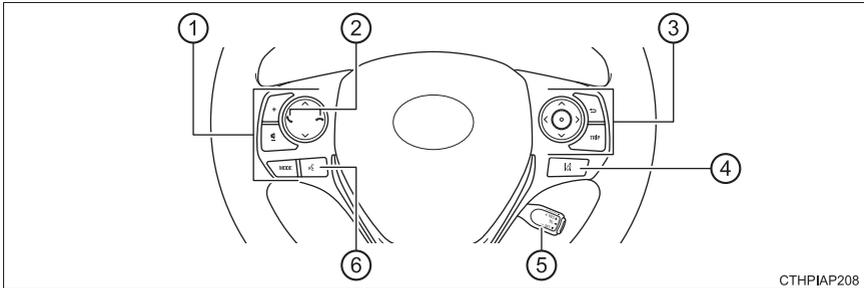
- ④ マルチインフォメーションディスプレイ .....P. 75
  - 表示内容 ..... P. 75
  - 警告メッセージ表示時の対処 .....P. 296
- ⑤ パーキングブレーキ .....P. 149
  - かける・解除する .....P. 149
  - 冬季の注意 .....P. 203
  - 警告ブザー／警告メッセージ .....P. 292, 296
- ⑥ 方向指示レバー .....P. 148
  - ランプスイッチ .....P. 150
  - ヘッドランプ・車幅灯・LED デイライト・尾灯 .....P. 150
  - フロントフォグランプ .....P. 153
- ⑦ ワイパー&ウォッシャースイッチ .....P. 154
  - 使い方 .....P. 154
  - ウォッシャー液の補充 .....P. 253
- ⑧ 非常点滅灯スイッチ .....P. 281
- ⑨ ボンネット解除レバー .....P. 249
- ⑩ ハンドル位置調整レバー .....P. 111
  - 調整方法 .....P. 111
- ⑪ エアコン .....P. 206
  - 操作方法 .....P. 206
  - リヤウィンドウの曇り取り  
(リヤウィンドウデフォグガー) .....P. 209

## ■ スイッチ類



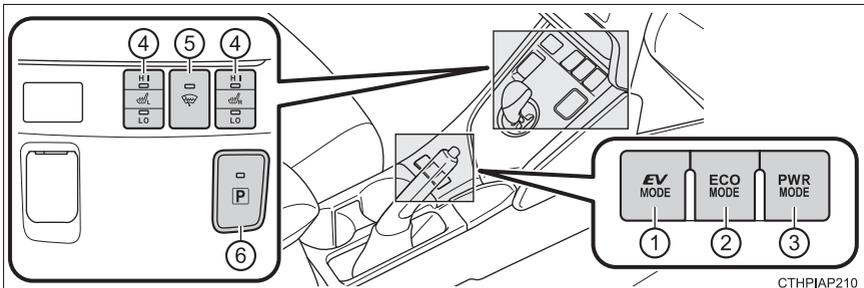
CTHPIAP206

- ① PCS (プリクラッシュセーフティシステム) スイッチ★ .....P. 166
- ② 車両接近通報一時停止スイッチ ..... P. 57
- ③ ドアミラースイッチ .....P. 115
- ④ ウィンドウロックスイッチ .....P. 118
- ⑤ ドアロックスイッチ .....P. 92
- ⑥ パワーウィンドウスイッチ .....P. 118
- ⑦ VSC OFF スイッチ .....P. 195, 196



CTHPIAP208

- ① オーディオスイッチ .....P. 236
- ② 電話スイッチ .....P. 236
- ③ メーター操作スイッチ..... P. 77, 78
- ④ LDA (レーンディパーチャーアラート) スイッチ★.....P. 179
- ⑤ クルーズコントロールスイッチ★.....P. 190
- ⑥ トルクスイッチ.....P. 236

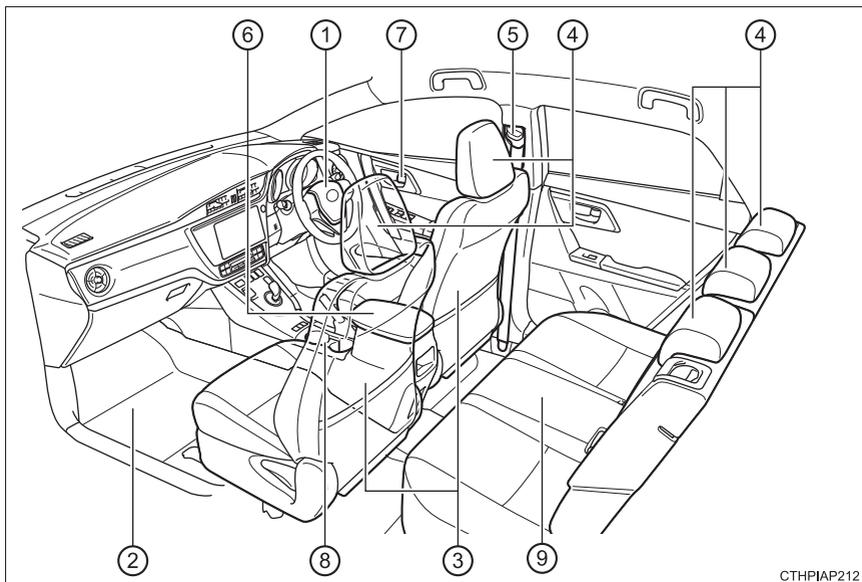


CTHPIAP210

- ① EV ドライブモードスイッチ .....P. 140
- ② ECO MODE スイッチ .....P. 144
- ③ パワーモードスイッチ.....P. 144
- ④ シートヒータースイッチ★.....P. 214
- ⑤ フロントワイパーデアイサースイッチ★.....P. 210
- ⑥ P ポジションスイッチ.....P. 143

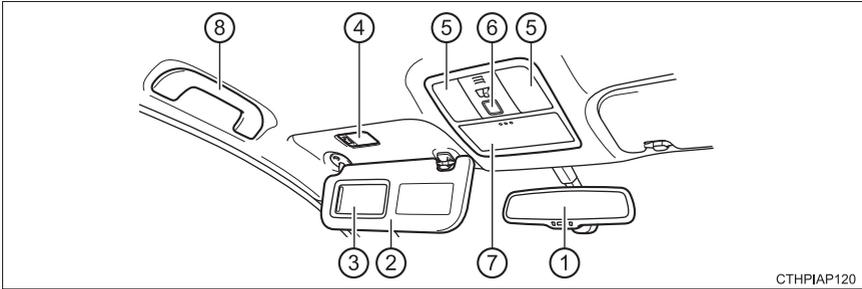
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ■ 室内



CTHPIAP212

- ① SRSエアバッグ ..... P. 30
- ② フロアマット ..... P. 22
- ③ フロントシート ..... P. 106
- ④ ヘッドレスト ..... P. 109
- ⑤ シートベルト ..... P. 26
- ⑥ コンソールボックス ..... P. 221
- ⑦ ロックレバー ..... P. 92
- ⑧ カップホルダー ..... P. 223
- ⑨ リヤシート ..... P. 107



CTHPIAP120

- ① インナーミラー .....P. 113
- ② サンバイザー※ .....P. 233
- ③ バニティミラー .....P. 233
- ④ バニティミラーランプ .....P. 218
- ⑤ インテリアランプ／パーソナルランプ .....P. 217, 218
- ⑥ パノラマルーフシェードスイッチ★ .....P. 238
- ⑦ 小物入れ .....P. 224
- ⑧ アシストグリップ .....P. 237

※：やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けしないでください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。(→ P. 53)



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



# 安全・安心のために

～必ずお読みください～

## 1

1-1. 安全にお使い いただくために	
運転する前に.....	22
安全なドライブのために .....	24
シートベルト.....	26
SRS エアバッグ.....	30
お子さまの安全のために .....	39
子供専用シート.....	40
チャイルドシートの 取り付け.....	48
排気ガスに対する注意 .....	54
1-2. ハイブリッドシステム	
ハイブリッドシステムの 特徴 .....	55
ハイブリッドシステムの 注意 .....	60
1-3. 盗難防止装置	
イモビライザーシステム .....	66

## 運転する前に

### 点検整備

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、車に異常がないことを確認してください。

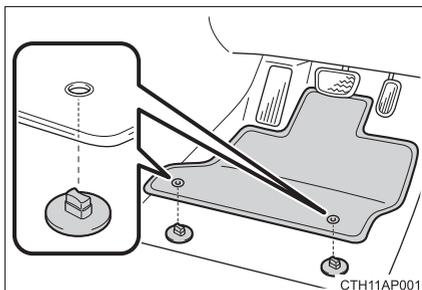
日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

### フロアマット

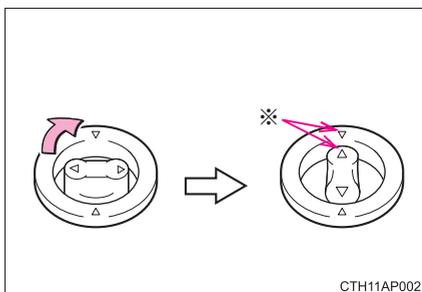
専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

- 1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



- 2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する

※ △マークを必ず合わせてください。



固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

**警告**

次のことを必ずお守りください。

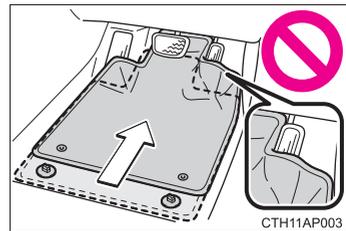
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■運転席にフロアマットを敷くとき**

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

**■運転する前に**

- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的を確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- ハイブリッドシステム停止およびシフトポジションが P の状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する



## 安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

### 正しい運転姿勢について

- ① まっすぐ座り、運転操作時に体が背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する（→ P. 106）
- ② ペダルがしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする（→ P. 106）
- ③ ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする（→ P. 109）
- ④ シートベルトを正しく着用する（→ P. 26）



### シートベルトを正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。（→ P. 26）

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。（→ P. 40）

### ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・ドアミラーを正しく調整してください。（→ P. 113, 115）

 **警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

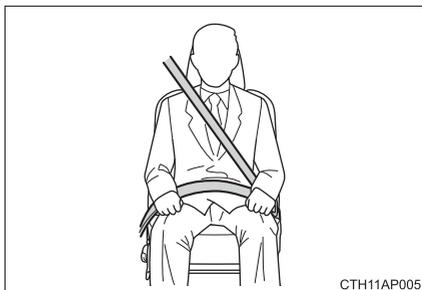
- 走行中は運転席の調整をしないでください。  
運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。  
正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- フロントシートの下にものを置かないでください。  
ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- 公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。
- 他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- 飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- 運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- 長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。  
また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

## シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

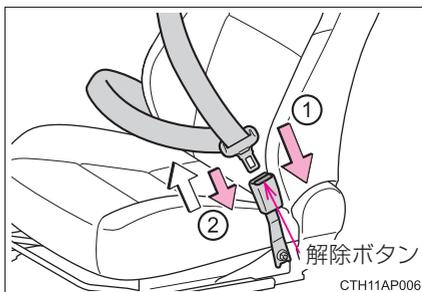
### 正しく着用する

- 肩部ベルトを肩に十分かける  
首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



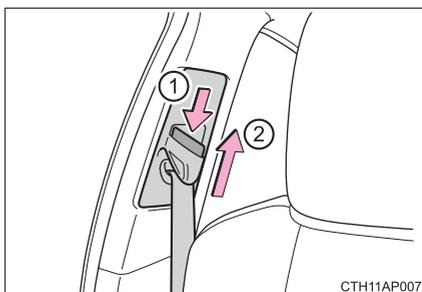
### 着け方・はずし方

- ① ベルトを固定するには、“カチッ”と音がするまでプレートをバックルに挿し込む
- ② ベルトを解除するには、解除ボタンを押す



### シートベルトの高さ調節（フロント席）

- ① 解除ボタンを押しながら、アジャスターを下げる
- ② アジャスターを上げる  
“カチッ”と音がして固定されるところまで動かしてください。

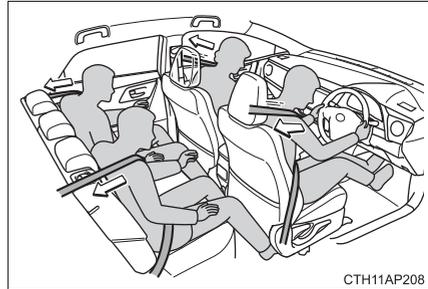


## シートベルトプリテンショナー（フロント席・リヤ外側席）

前方から強い衝撃を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：フロント席のシートベルトプリテンショナーは、側方から強い衝撃を受けたときも作動します。

前方・側方からの衝撃が弱いときや、うしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。



### 知識

#### ■ シートベルトロックの解除方法

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

#### ■ お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

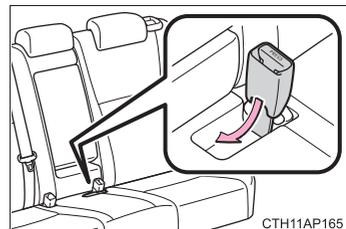
- シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合った子供専用シートを使用してください。（→ P. 40）
- シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。（→ P. 26）

#### ■ シートベルトプリテンショナーについて

シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

#### ■ リヤ中央席シートベルトを使用したあとは

バックルを格納してください。



**警告**

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■シートベルトの着用について**

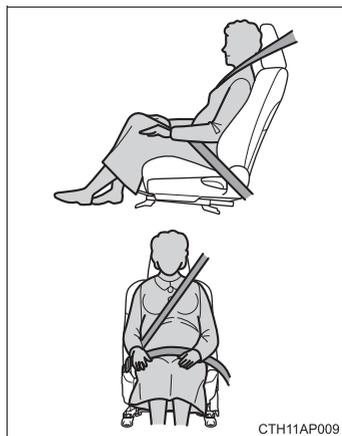
- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する  
お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤ席に座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する

**■妊娠中の女性の場合**

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→ P. 26)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



CTH11AP009

**■疾患のある方の場合**

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

 **警告****■ お子さまを乗せるとき**

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。

万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

**■ プリテンショナー付きシートベルトについて**

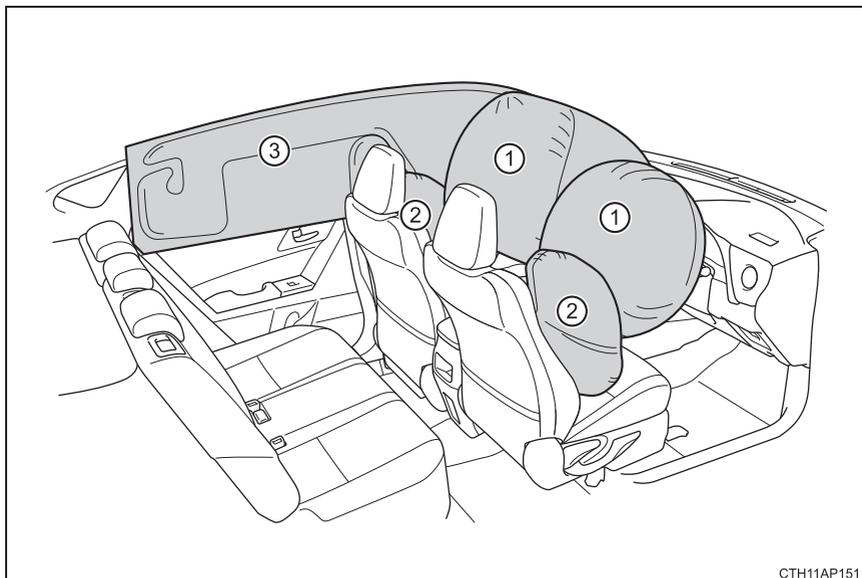
シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合は、シートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

**■ シートベルトの損傷・故障について**

- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときはシートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート、シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付きシートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

## SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



CTH11AP151

### ◆ フロント SRS エアバッグ

- ① 運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ  
(運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和)

### ◆ SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ★

- ② SRS フロントサイドエアバッグ  
(フロント席乗員の胸などへの衝撃を緩和)
- ③ SRS カーテンシールドエアバッグ  
(フロント席とリヤ外側席乗員の主に頭部への衝撃を緩和)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

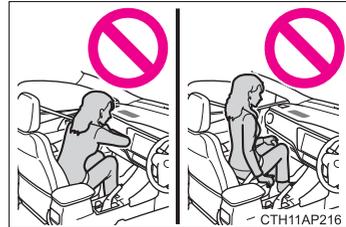
## 警告

### ■ SRS エアバッグについて

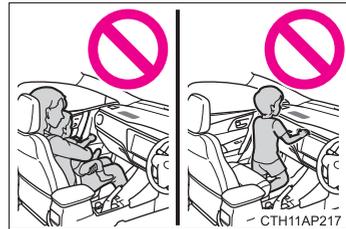
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。  
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- 助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。お子さまはリヤ席に乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させることをおすすめします。(→ P. 40)
- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない



- お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- 運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない



- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：ドアやフロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールへ寄りかからない



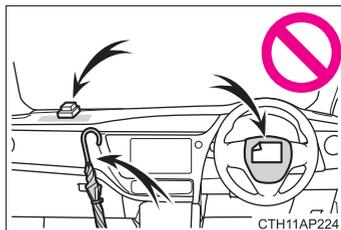
## 警告

### ■SRSエアバッグについて

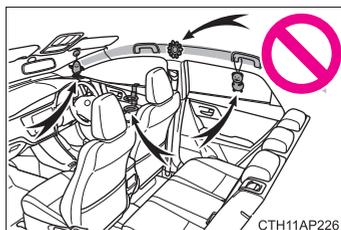
- SRSサイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：助手席やリヤシートでは、ドアに向かってひざをついたり、窓から顔や手を出したりしない



- ダッシュボード・ハンドルのパッド部分などには何も取り付けたり、置いたりしない



- SRSサイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：ドア・フロントウインドウガラス・ドアガラス・フロントピラーおよびリヤピラー・ルーフサイドレール・アシストグリップなどには何も取り付けない（速度制限ラベルを除く：→ P. 319）



- SRSサイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：SRSサイドエアバッグがふくらむ場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。エアバッグが作動する際、アクセサリーが干渉するおそれがあります。そのようなアクセサリーがエアバッグが正常に作動するのをさまたげ、システムを不能にしたり、またはエアバッグが誤って作動したりするおそれがあります。

 **警告****■ SRS エアバッグについて**

- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたきなど過度の力を加えないでください。  
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ非装着車：SRS エアバッグが収納されているパッド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。  
SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ装着車：SRS エアバッグが収納されているパッド部およびフロントピラーガーニッシュ部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せず、トヨタ販売店で交換してください。

**■ 改造・廃棄について**

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。  
SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード・シート・シート表皮・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール周辺の修理・取りはずし・改造
- フロントフェンダー・フロントバンパー・車内側面部の修理・改造
- グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）・除雪装置・ウインチなどの取り付け
- サスペンションの改造
- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

 知識**■ SRS エアバッグが作動するとき**

- SRS エアバッグは高温のガスにより非常に速い速度でふくらむため、すり傷・やけど・打撲などを受けることがあります。
- 作動音と共に白いガスが発生します。
- SRS カーテンシールドエアバッグ非装着車：フロント席などだけでなく、エアバッグ構成部品（ハンドルのハブ、エアバッグカバー、インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。  
SRS カーテンシールドエアバッグ装着車：フロント席・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールの一部などだけでなく、エアバッグ構成部品（ハンドルのハブ、エアバッグカバー、インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- フロントウインドウガラスが破損することがあります。

**■ SRS エアバッグが作動するとき（フロント SRS エアバッグ）**

- フロント SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20～30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。  
ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。
  - ・ 駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
  - ・ もぐり込むような衝突の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）
- 衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

**■ SRS エアバッグが作動するとき（SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ★）**

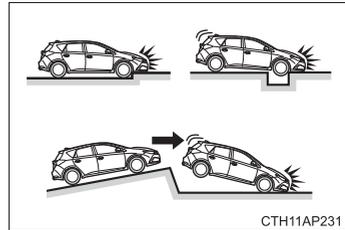
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、衝撃の強さが設定値（約 1.5 t の車両が約 20～30km/h の速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
- 前面衝突時でも、特に衝撃が大きい場合は左右の SRS カーテンシールドエアバッグが開く場合があります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### ■衝突以外で作動するとき

次のような状況で車両下部に強い衝撃を受けたときも、フロント SRS エアバッグと SRS カーテンシールドエアバッグ★が作動する場合があります。

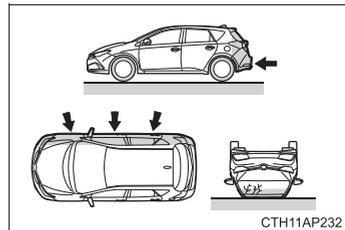
- 縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- 深い穴や溝に落ちたり、乗り越えたとき
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき



### ■SRS エアバッグが作動しないとき（フロント SRS エアバッグ）

フロント SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転・または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、フロント SRS エアバッグが作動することがあります。

- 側面からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転

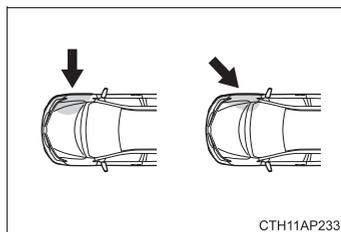


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ■ SRS エアバッグが作動しないとき (SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ★)

斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときには、SRS サイド&カーテンシールドエアバッグが作動しない場合があります。

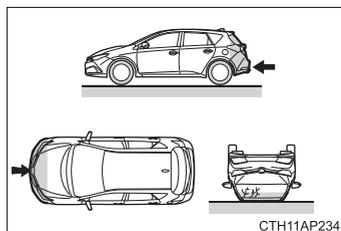
- 客室部分以外の側面への衝撃
- 斜めからの衝撃



CTH11AP233

SRS サイドエアバッグは、前方や後方からの衝撃・横転・または低速での側面からの衝撃では、通常は作動しません。

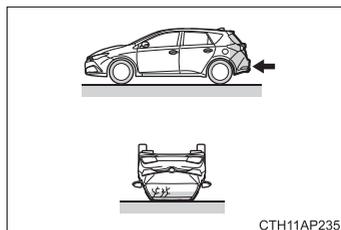
- 前方からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転



CTH11AP234

SRS カーテンシールドエアバッグは、後方からの衝撃・横転・または低速での前方や側面からの衝撃では、通常は作動しません。

- 後方からの衝突
- 横転



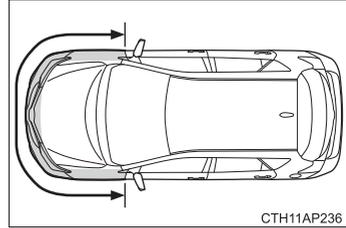
CTH11AP235

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

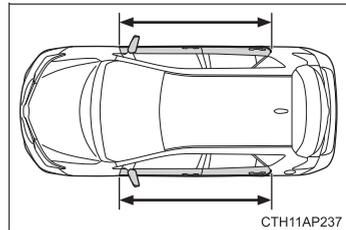
## ■ トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、点検・修理が必要になります。できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

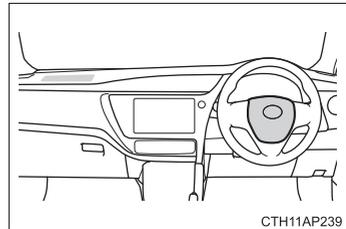
- いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき
- フロント SRS エアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ★はふくらまなかったが、事故でドアおよびその周辺部分を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



- ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席SRSエアバッグ付近が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき

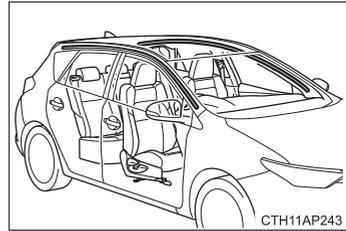


- SRS サイドエアバッグ★が内蔵されているシート表面が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- SRS カーテンシールドエアバッグ★が内蔵されているフロントピラー部・リヤピラー部・ルーフサイド部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。(→ P. 40)
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
- 走行中にドアを開けたり、パワーウィンドウを誤操作したりしないように、チャイルドプロテクター(→ P. 93)・ウィンドウロックスイッチ(→ P. 118)をご使用ください。
- 小さなお子さまには、パワーウィンドウ・ボンネット・バックドアやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

### 警告

- お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。(→ P. 48)

## 子供専用シート

子供専用シートの固定機構を使用して、子供専用シートを固定することができます。

### 知っておいていただきたいこと

- 車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切な子供専用シートをお選びください。
- 子供専用シートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの子供専用シートに付属の取扱説明書をお読みください。
- この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーを標準装備しています。

### 子供専用シートの適合性一覧表について

#### ■ 質量グループについて

ECE R44 ※の基準に適合する子供専用シートはお子さまの体重により次の5種類に分類されます。

グループ0: 10kg まで

グループ0+: 13kg まで

グループI: 9 ~ 18kg

グループII: 15 ~ 25kg

グループIII: 22 ~ 36kg

この本では代表的な次の3種類の子供専用シートをシートベルトで固定する方法を紹介します。

※ ECE R44 は、子供専用シートに関する国際法規です。

#### ■ サイズ等級、固定具について

子供専用シートに表示される分類記号と、それにもなう取り付け器具の記号になります。

## 子供専用シートの種類

### ▶ ベビーシート

ECE R44 基準のグループ 0、0<sup>+</sup>に相当



### ▶ チャイルドシート

ECE R44 基準のグループ 0<sup>+</sup>、I に相当



### ▶ ジュニアシート

ECE R44 基準のグループ II、III に相当



## シート位置別子供専用シート適合性一覧表 (シートベルトでの取り付け)

質量グループ	着席位置（または他の場所）		
	フロントシート	リヤシート	
	助手席	左右席	中央席
0（10kg まで）	×	U	U
0 <sup>+</sup> （13kg まで）	×	U	U
I（9～18kg）	前向き UF <sup>*</sup>	U	U
	うしろ向き×		
II（15～25kg）	UF <sup>*</sup>	U	U
III（22～36kg）	UF <sup>*</sup>	U	U

### ● 上表に記入する文字の説明

U： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリの子供専用シートに適しています。

UF： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリの前向きの子供専用シートに適しています。

×： 子供専用シートを取り付けることはできません。

<sup>\*</sup> フロントシートの背もたれを直立状態にする。  
フロントシートをいちばんうしろに下げる。

チャイルドシートの隣の席を使用するときは、肩部ベルトが確実に肩を通り、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置に密着することを確認してください。チャイルドシートの隣の席に座ったときに、チャイルドシートの種類によっては、乗員の体またはシートベルトがチャイルドシートと干渉するためシートベルトが正しく着用できず、十分な効果を発揮できない場合があります。

その場合は、他の席を使用してください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

子供専用シートの装着に関しては子供専用シートの取扱説明書もご確認ください。

## シート位置別子供専用シートの適合性一覧表 (ISOFIX 対応トップテザーアンカーでの取り付け)

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両 ISOFIX 位置
			リヤシート左右席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
O (10kg まで)	E	ISO/R1	IL
O <sup>+</sup> (13kg まで)	E	ISO/R1	IL
	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
I (9 ~ 18kg)	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
	B	ISO/F2	IUF, IL
	B1	ISO/F2X	IUF, IL
	A	ISO/F3	IUF, IL
II (15 ~ 25kg)		(1)	×
III (22 ~ 36kg)		(1)	×

### ● 上表に記入する文字の説明

(1) : サイズ等級表示 (A から G) のない子供専用シートの各シート位置での ISOFIX 対応子供専用シート固定機構の取り扱いについては、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF : この質量グループでの使用を許可された汎用 (ユニバーサル) カテゴリーの ISOFIX 対応の前向き子供専用シートに適しています。

IL : この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg」に適しています。

× : ISOFIX 子供専用シートを取り付けることはできません。

チャイルドシートの隣の席を使用するときは、肩部ベルトが確実に肩を通り、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置に密着することを確認してください。チャイルドシートの隣の席に座ったときに、チャイルドシートの種類によっては、乗員の体またはシートベルトがチャイルドシートと干渉するためシートベルトが正しく着用できず、十分な効果を発揮できない場合があります。

その場合は、他の席を使用してください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

子供専用シートの装着に関しては子供専用シートの取扱説明書もご確認ください。

 知識**■ ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーについて**

この車に標準装備されているISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーは、ECE R44 に適合している子供専用シート取り付け専用です。それ以外のものを使用することはできません。

**■ 子供専用シートの選択、使用について**

- お子さまに最適な子供専用シートについては、子供専用シート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまでは、お子さまに合った子供専用シートを使用してください。
- 体が十分大きく、子供専用シートが不必要なお子さまは、リヤシートに乗せて車のシートベルトを使用してください。

**■ シートベルトで取り付けるタイプの子供専用シートの選択について**

「シート位置別子供専用シート適合性一覧表」(→ P. 42) を参照し、子供専用シートを取り付け可能な位置と、対応する子供専用シートの種類(記号)をご確認の上、適したものを選択してください。

**■ ECE R44 適合の ISOFIX 対応子供専用シートの選択について**

「シート位置別子供専用シートの適合性一覧表」(→ P. 43) を確認して、適切なシートを選択してください。

**1** お子さまの体重から、該当する「質量グループ」を確認する

(例 1) : 体重が 12kg の場合、質量グループは「O<sup>+</sup>」になります。

(例 2) : 体重が 15kg の場合、質量グループは「I」になります。

**2** サイズ等級を選択する

手順**1**で確認した「質量グループ」から該当するサイズ等級を確認します。※

(例 1) : 質量グループが「O<sup>+</sup>」の場合、サイズ等級は「C」・「D」・「E」が該当します。

(例 2) : 質量グループが「I」の場合、サイズ等級は「A」・「B」・「B1」・「C」・「D」が該当します。

※ ただし、該当のサイズ等級でも適合性一覧表の「車両 ISOFIX 位置」に「×」と記載されているものは選択できません。

- ③ 子供専用シートに表示されているマーク／ラベルを確認して、基準に適合したシートであることを確認する

汎用（ユニバーサル）子供専用シートには、次に示すマーク・ラベル類が表示されています。

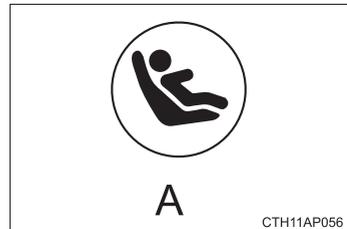
※ 表示されている位置・記号などは、商品により異なります。



- ① ISOFIX 対応子供専用シートであることを示す表示

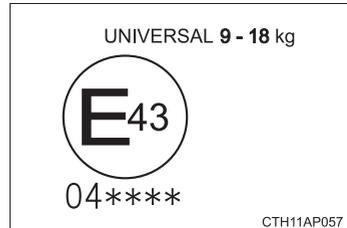
サイズ等級が示されています。（表示される文字は、製品により異なります）

手順②で確認したサイズ等級に適合しているものを選択してください。

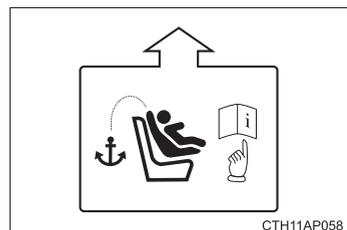


- ② 汎用（ユニバーサル）子供専用シートの認可マーク

UNIVERSAL は汎用品の認可であることを表し、併せて、対象となるお子さまの体重の範囲が記載されています。



- ③ トップテザー（→ P. 48）を示すマーク  
商品の取り付け装置の位置により、意匠は異なります。



## ■ ISOFIX 対応子供専用シートの種類（サイズ等級別）

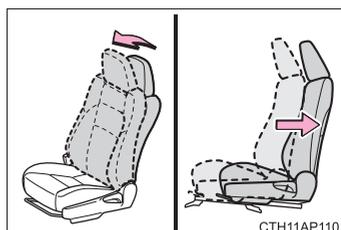
A-ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B-ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1-ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (B-ISO/F2 と別形状のもの)
C-ISO/R3	大型後向き幼児用チャイルドシート
D-ISO/R2	小型後向き幼児用チャイルドシート
E-ISO/R1	後向き乳児用チャイルドシート
F-ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート（キャリコット）
G-ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート（キャリコット）

### ■ 助手席に子供専用シートを取り付けるとき

やむを得ず助手席に子供専用シートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、子供専用シートを前向きに取り付けてください。

- 背もたれを直立状態にする
- シートをいちばんうしろに下げる

子供専用シートが、内装やヘッドレストにあたるなどしてうまく取り付けできない場合は、シートの前後位置や背もたれの角度を調節、またはヘッドレストを取りはずしてください。



### ■ キャリコットについて

キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳しくは子供専用シート製造業者または販売業者にお尋ねください。

 **警告****■ 子供専用シートを使用しない場合**

- 子供専用シートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けられた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- 子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両から降ろして保管するか、ラゲージルーム内に容易に動かないように収納してください。  
また、子供専用シートを取り付けたときにヘッドレストをはずした場合は、運転する前にヘッドレストを取り付けてください。急激なハンドル操作・ブレーキ操作を行ったときや衝突時などに重大な傷害につながるおそれがあります。

## チャイルドシートの取り付け

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。

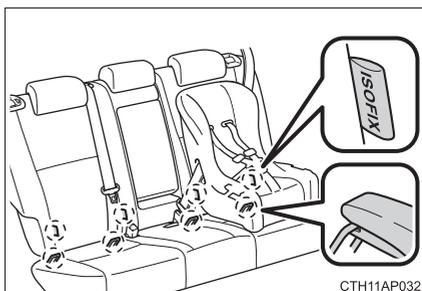
取り付け方法は、商品に付属の取扱説明書に必ず従ってください。

シートベルトによる取り付け  
(→ P. 49)



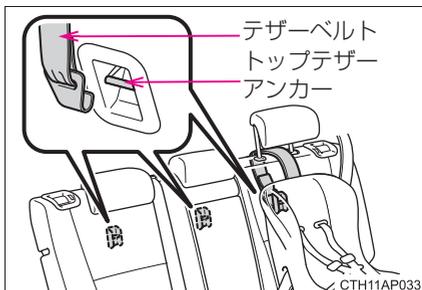
ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー (→ P. 50)

リヤ外側シートに装備されています。  
(固定専用バーが装備されていることを示すタグがシートに付いています)



トップテザーアンカー (→ P. 51)

テザーベルトを固定するときに使います。  
トップテザーアンカーはリヤシートのそれぞれの座席に装備されています。



## シートベルトで固定する

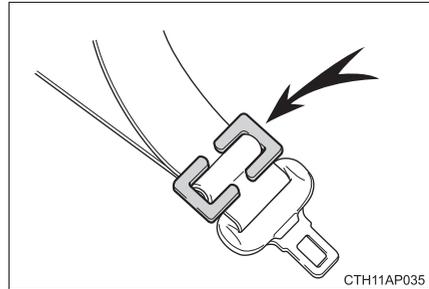
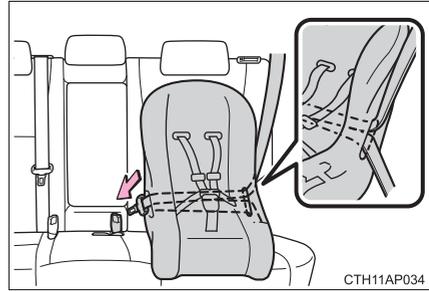
- 1 チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートバックルに“カチッ”と音がするまで挿し込む。ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従い、シートベルトをチャイルドシートにしっかりと固定させてください。

チャイルドシートが、ヘッドレストにあたりうまく取り付けできない場合は、ヘッドレストを取りはずしてください。

- 2 チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロックングクリップ（別売）を使用して固定する

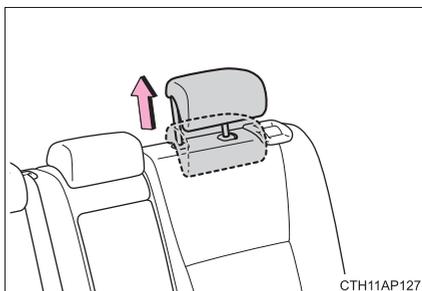
ロックングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。（ロックングクリップ品番：73119-22010）



取り付け後はチャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかりと固定されていることを確認してください。

## ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー&トップテザーアンカーで固定する

- 1 ヘッドレストをいちばん上まで上げる



CTH11AP127

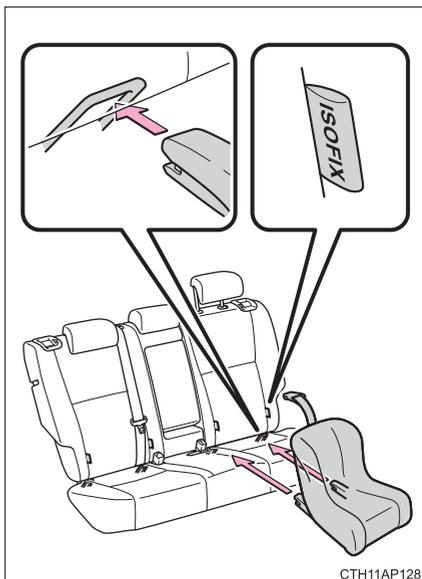
- 2 ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーの位置を確認して、チャイルドシートをシートに取り付ける

固定専用バーは、シートクッションの奥にあります。

チャイルドシートの取り付け金具をチャイルドシート固定専用バーに取付けます。

取り付け方法は、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

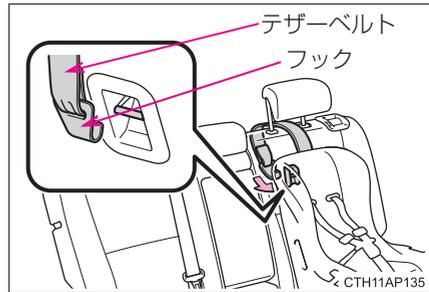
チャイルドシートが、ヘッドレストにあたりうまく取り付けできない場合は、ヘッドレストを取りはずしてください。



CTH11AP128

- 3 パッケージトレイを取りはずす (→ P. 231)

- 4 トップテザーアンカーにフックを固定し、テザーベルトを締める  
テザーベルトはヘッドレストの下を通してください。  
テザーベルトをピンと張り、フックがしっかり固定されていることを確認します。



- 5 取り付けしたチャイルドシートを前後左右にゆすり、固定されていることを確認する



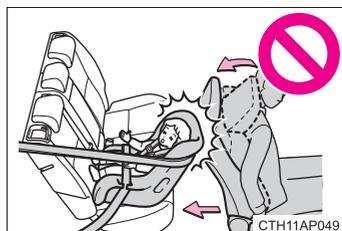
## 警告

### ■チャイルドシートについて

- 事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに取り付けてください。
- SRS サイド & カーテンシールドエアバッグ装着車：チャイルドシートに座らせている場合でも、ドア・シート・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール付近にお子さまの頭や体のどの部分ももたれかけないようにしてください。SRS エアバッグがふくらんだ場合、大変危険であり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**警告****■チャイルドシートを取り付けるとき**

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのプレートとバックルがしっかり固定されて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって、しっかり固定されているか確認してください。
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。
- 運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤ席に取り付けてください。
- 助手席シートとチャイルドシートが干渉しないように、助手席シートを調整してください。



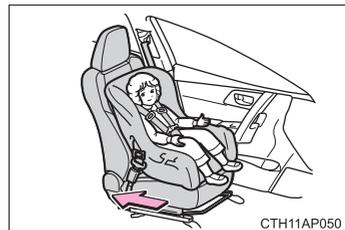
## 警告

### ■チャイルドシートを取り付けるとき



- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けしないでください。  
うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
助手席側のサンバイザーに、同内容のラベルが貼られています。併せて参照してください。

- やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートをいちばんうしろにさげて取り付けてください。  
助手席 SRS エアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーを使用するときは、周辺に障害物がないか、シートベルトが挟まっていないかなどを確認してください。

## 排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

### 警告

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■ 走行中の留意事項

バックドアを閉じてください。

バックドアが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

#### ■ 駐車するとき

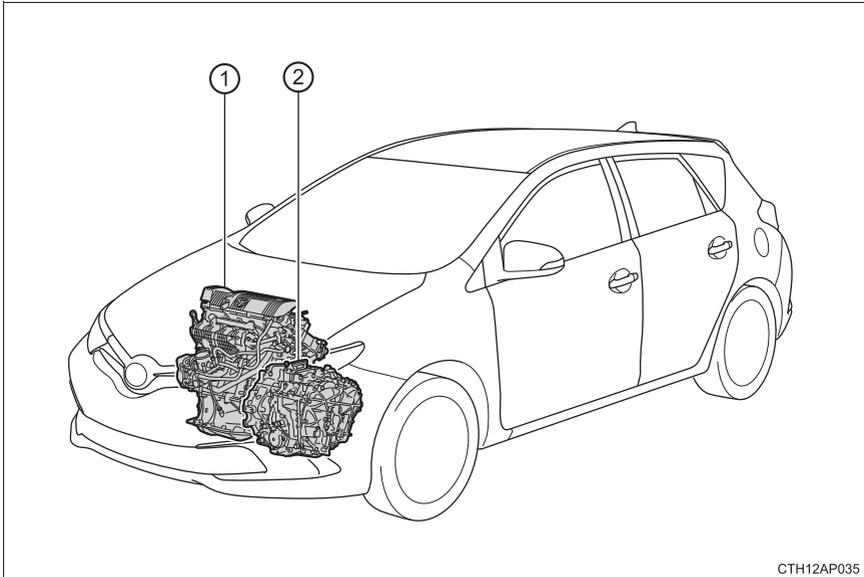
- 車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、ハイブリッドシステムを停止してください。
- 長時間ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。  
やむを得ないときは、開かれた場所に車を止め、排気ガスが車内に入ってこないことを確認してください。
- 降雪時や雪が積もった場所では、ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

#### ■ 排気管について

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

## ハイブリッドシステムの特徴

ハイブリッドシステムは、電気モーターとガソリンエンジンという2つのパワーのシナジー（相乗）効果により、優れた動力性能と低燃費化の両立を高い次元で実現したシステムです。さらに、排出ガスを低減、クリーン化した環境に配慮した技術となっています。



イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

- ① ガソリンエンジン
- ② 電気モーター

---

### ◆ 停車時・発進時・低速走行時

---

停車中はガソリンエンジンを停止<sup>\*</sup>します。

発進時は電気モーターを使って発進します。

低速走行時や下り坂走行時もガソリンエンジンを停止<sup>\*</sup>し、電気モーターを使って走行します。

シフトポジションがNにあるときは駆動用電池への充電が行われません。

<sup>\*</sup> 駆動用電池の充電が必要なときやエンジン暖機中など、ガソリンエンジンが自動停止しないことがあります。(→P. 57)

---

### ◆ 通常走行時

---

主にガソリンエンジンを使用して走行します。

必要に応じて電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

---

### ◆ 急加速時

---

アクセルペダルを強く踏み込むと、ガソリンエンジンに加え、駆動用電池からも電気モーターに電力を供給し、電気モーターの出力を上げ、力強く加速します。

---

### ◆ 減速時・制動時（回生ブレーキ）

---

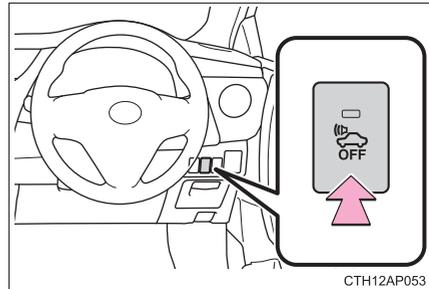
車輪が電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

## 車両接近通報装置

ガソリンエンジンが停止した状態での走行時、車両の接近を周囲の人に知らせるため、車速に応じた音階で音を鳴らします。車速が約 25 km/h をこえると消音します。スイッチ操作で消音することもできます。

消音するには、READY インジケータが点灯している状態で、スイッチを押す

スイッチ上のインジケータが点灯します。再度スイッチを押すと ON になります。ハイブリッドシステムを始動するごとに、車両接近通報装置は ON になります。



## 知識

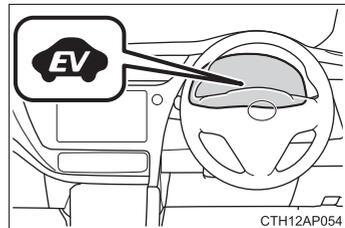
### ■回生ブレーキについて

次の場合、車の運動エネルギーを電気エネルギーに変換し、駆動用電池へ充電すると共に減速力を得ることができます。

- シフトポジションがDまたはBで走行中に、アクセルペダルから足を離れたとき
- シフトポジションがDまたはBで走行中に、ブレーキペダルを踏んだとき

### ■EV インジケータについて

ガソリンエンジン停止中や、電気モーターのみで走行しているときに、EV インジケータが点灯します。



### ■ガソリンエンジンの自動停止について

車両状態に応じて、ガソリンエンジンは自動的に始動・停止します。ただし、次の状態では自動停止しないことがあります。

- ガソリンエンジン暖機中
- 駆動用電池充電時
- 駆動用電池の温度が高いとき、または低いとき
- 暖房をかけているとき

### ■ 駆動用電池の充電について

ガソリンエンジンの動力による充電や回生ブレーキにより、駆動用電池が充電されるため、車外からの充電は必要ありません。しかし、車両を長時間放置すると、少しずつ放電します。そのため少なくとも、2～3ヶ月に一度、約30分間または16kmほど運転してください。

万一、駆動用電池が完全に放電し、ハイブリッドシステムを始動できないときはトヨタ販売店にご連絡ください。

### ■ 補機バッテリーの充電について

→P. 333

### ■ 補機バッテリーあがり発生後や、交換などでターミナルを脱着したとき

ガソリンエンジンの自動停止が行われなことがあります。

自動停止しない状態が2～3日続く場合は、トヨタ販売店へご連絡ください。

### ■ ハイブリッド車特有の音と振動について

ハイブリッド車は、READY インジケータが点灯し、走行可能な状態でも、通常の車のように、エンジン音や振動がないことがあるため、走行可能な状態であることに気が付かない場合があります。安全のため、駐車時はパーキングブレーキをかけて、確実にシフトポジションをPにしてください。

ハイブリッドシステム始動後は、次のような音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

- エンジンルームからのモーター音
- ハイブリッドシステム始動時や停止時に聞こえる車両後方および駆動用電池からの音
- ハイブリッドシステム始動時および停止時に車両後方から聞こえる“コトン”、“カチッ”などの高電圧リレーの音
- バックドアを開けたときに聞こえる作動音
- ガソリンエンジンの始動・停止時や低速走行時、およびアイドリング中にトランスミッション付近から聞こえる音
- 急加速時のエンジン音
- ブレーキペダルを踏んだときや、アクセルペダルをゆるめたときに聞こえる回生ブレーキの音
- ガソリンエンジンの始動・停止による振動
- リヤシート下（左側）にある吸入口から聞こえるファンの音

### ■ 車両接近通報装置について

次のような場合は、周囲の人に通報音が聞こえにくくなる場合があります。

- 周囲の騒音が大きい場合
- 雨または強風の場合

また、車両接近通報装置は車両前側にあるので、車両前方と比較して、車両後方は聞こえにくくなる場合があります。

### ■ メンテナンスや修理、廃車について

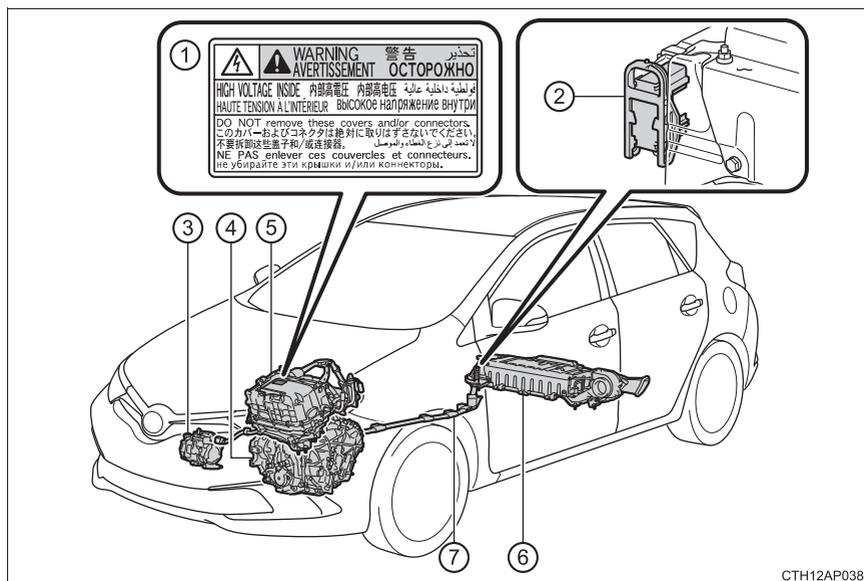
お車のメンテナンスや修理・廃車の際は必ずトヨタ販売店にご相談ください。特に廃車する場合は、トヨタ販売店を通じて駆動用電池の回収を行っていますので、ご協力ください。

### ■ カスタマイズ機能

車両接近通報装置の音圧が大きくなるように変更したり、EV インジケーターが点灯しないように変更することができます。(カスタマイズ一覧 →P. 350)

## ハイブリッドシステムの注意

ハイブリッドシステムには、駆動用電池・パワーコントロールユニット・オレンジ色の高圧ケーブル・電気モーターなどの高電圧部位（最高約650 V）や、冷却用ラジエーターなどの高温部位がありますので、ご注意ください。なお、高電圧部位などには、取り扱い上の注意を記載したラベルが貼付してありますので、ラベルの指示に従って正しい取り扱いをしてください。



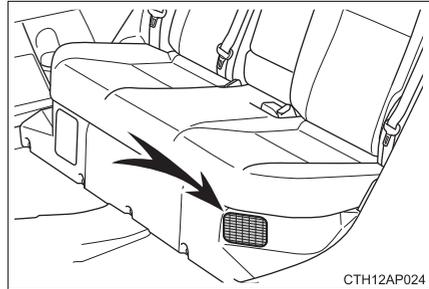
CTH12AP038

イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

- ① ラベル
- ⑤ パワーコントロールユニット
- ② サービスプラグ
- ⑥ 駆動用電池
- ③ エアコンコンプレッサー
- ⑦ 高電圧ケーブル（オレンジ色）
- ④ 電気モーター

## 駆動用電池冷却用吸入口

リヤシート下（左側）部には、駆動用電池冷却用の吸入口があります。吸入口をふさいだりすると、駆動用電池の過熱や出力低下の原因になります。



## 緊急停止システム

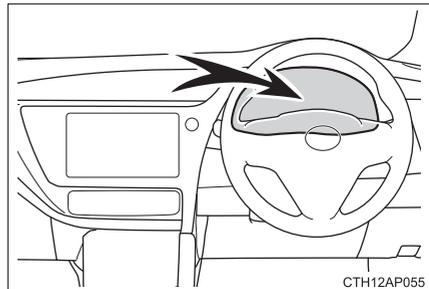
事故により衝撃を受けたときなどは、ハイブリッドシステムを停止して高電圧を遮断します。また、フューエルポンプ制御により燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。この場合、ハイブリッドシステムを再始動させることができなくなるためトヨタ販売店へご連絡ください。

## 警告メッセージ

ハイブリッドシステムの異常やお知らせしたい事項が発生すると自動で表示されます。

警告メッセージは、マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

表示された画面の指示に従ってください。



 知識**■ 警告灯が点灯したときや、警告メッセージが表示されたとき、または補機バッテリーとの接続が断られたとき**

ハイブリッドシステムを再始動できないおそれがあります。

もう一度始動操作をしてもREADYインジケータが点灯しない場合はトヨタ販売店にご連絡ください。

**■ ガス欠になったとき**

ガス欠でハイブリッドシステムが始動できないときは、燃料残量警告灯（→ P. 293）が消灯するまで給油してから再始動してください。少量の給油では始動できない場合があります。（給油量の目安は車両水平状態で約 7.9L 以上です。車両の傾きによって給油量はかわります。傾いているときは、少し多めに給油してください）

**■ 電磁波について**

● 高電圧部位や高電圧配線は、電磁シールド構造になっています。従来の車や家電製品とくらべて、電磁波が多いということはありません。

● アマチュア無線の一部（遠距離通信）において、受信時に雑音が混入する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**■ 駆動用電池について**

駆動用電池には寿命があります。寿命は車の使い方、走行条件により異なります。

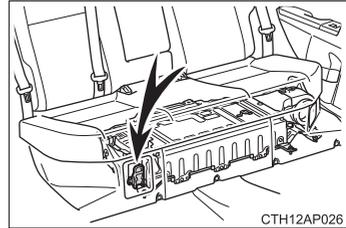
**■ 適合宣言**

この車両は、ECE100（バッテリー電気車両安全）に基づいた水素排出量に適合しています。

**警告****■高電圧・高温について**

この車は、高電圧システムを使用しています。次のことをお守りいただかないと、やけどや感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 高電圧部位・高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクターの取りはずし・分解などは絶対に行わないでください。
- 走行後はハイブリッドシステムが高温になります。車に貼ってあるラベルの指示に従い、常に高電圧・高温部位に注意してください。
- サービスプラグが駆動用電池に設置してあります。サービスプラグは絶対にさわらないでください。サービスプラグは、トヨタ販売店での車両の修理時などに、駆動用電池の高電圧を遮断するためのものです。



 **警告****■事故が発生したとき**

次のことをお守りいただかないと、感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 続発事故防止のため安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけ、シフトポジションを P にして、ハイブリッドシステムを停止する
- 高電圧部位・高電圧配線（オレンジ色）などには、絶対にさわらない
- 車室内および車室外に、はみ出している電気配線には絶対さわらない
- 液体の付着やもれがある場合は絶対にさわらない  
駆動用電池の電解液（強アルカリ性）が目や皮膚にふれると失明や皮膚傷害のおそれがあり危険です。万一、目や皮膚に付着した場合はただちに多量の水で洗い流し、早急に医師の診察を受けてください。
- 万一、車両火災が発生したときは、ABC 消火器を使用して消火する  
水をかける場合は、消火栓などから大量にかけてください。
- 前輪が接地した状態だけけん引しない  
電気モーターから発電され、破損の状態によっては、火災のおそれがあり危険です。（→P. 285）
- 車の下の路面などを確認し、液体のもれ（エアコンの水以外）が見つかった場合、燃料系統が損傷している可能性があります。そのままハイブリッドシステムを始動すると燃料に引火するおそれがあり危険ですので、始動しないでください。  
この場合は、トヨタ販売店に状況を連絡するときに併せてお伝えください。

**■駆動用電池について**

- 絶対に転売・譲渡・改造などをしないでください。廃車から取りはずされた駆動用電池は事故防止のため、トヨタ販売店を通じて回収を行っていますので、ご協力ください。  
適切に回収されないと、次のようなことがおこり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・ 不法投棄または放置され、環境汚染となるばかりか、第三者が高電圧部位に触れてしまい、感電事故が発生する
  - ・ 装備された車両以外で駆動用電池を使用（改造などを含む）し、感電事故、発熱・発煙・発火・爆発事故、電解液漏出事故などが発生する特に、転売・譲渡などを行うと、相手にこれらの危険性が認識されず、事故につながるおそれがあります。

 **警告**

- 駆動用電池を取りはずさないままでお車を廃棄された場合、高電圧部品・ケーブル・それらのコネクタにふれると、深刻な感電の危険があります。お車を廃棄するときには、トヨタ販売店で駆動用電池を廃棄してください。駆動用電池は適切に廃棄しないと、感電を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 駆動用電池冷却用の吸入口について**

- 吸入口をふさぐように荷物などを置かないでください。  
吸入口がふさがれると駆動用電池が過熱したり、故障の原因になります。
- 吸入口は、目づまりしないよう定期的に清掃してください。
- 吸入口に水や異物を入れないでください。  
駆動用電池を損傷するおそれがあります。
- 駆動用電池周辺に多量の水をこぼさないよう注意してください。  
誤ってこぼしてしまったときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- 吸入口にはフィルターが取り付けられています。吸入口を清掃してもフィルターの汚れが目立つときは、フィルターの清掃・交換をお勧めします。フィルターの清掃・交換については、トヨタ販売店にご相談ください。  
また、マルチインフォメーションディスプレイに「駆動用電池の冷却部品のメンテナンスを販売店で受けてください」が表示されたときは、フィルターの目づまりが考えられます。トヨタ販売店でフィルターの清掃・交換をしてください。

## イモビライザーシステム

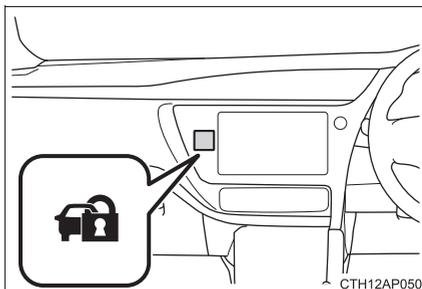
キーに信号発信機が内蔵しており、あらかじめ登録されたキー以外ではハイブリッドシステムを始動できません。

車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

このシステムは車両盗難の防止に寄与する機能であり、すべての車両盗難に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

パワースイッチをOFFにすると、システムの作動を知らせるためにインジケーターが点滅します。

登録されたキーを携帯し、パワースイッチをアクセサリモードまたはONモードにするとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。



### 知識

#### ■ メンテナンスについて

イモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

#### ■ システムが正常に作動しないとき

- キーが金属製のものに接したり、覆われているとき
- キーが他の車両のセキュリティシステム用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

### ⚠ 注意

#### ■ イモビライザーシステムを正常に作動させるために

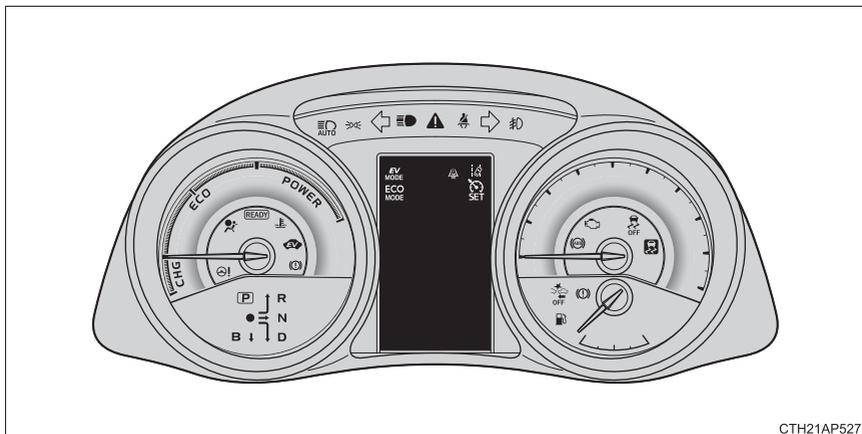
システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯.....	68
計器類.....	72
マルチインフォメーション ディスプレイ.....	75
エネルギーモニター／ 燃費画面.....	83

## 警告灯／表示灯

メーター・センターパネルの警告灯／表示灯でお車の状況をお知らせします。

次のイラストは、説明のためすべての警告灯／表示灯を示しています。



CTH21AP527

## 警告灯

システム異常などを警告します。



ブレーキ警告灯  
(→ P. 292)



パワーステアリング警告  
灯 (→ P. 293)



電子制御ブレーキ警告灯  
(→ P. 292)



スリップ表示灯  
(→ P. 293)



高水温警告灯  
(→ P. 292)



PCS (プリクラッシュ  
セーフティシステム) 警  
告灯★ (→ P. 293)



エンジン警告灯  
(→ P. 292)



燃料残量警告灯  
(→ P. 293)



SRS エアバッグ/プリ  
テンショナー警告灯  
(→ P. 292)



シートベルト非着用警告  
灯 (→ P. 293)



ABS & ブレーキアシ  
スト警告灯 (→ P. 292)



マスターワーニング  
(→ P. 294)

※ 作動確認のためにパワースイッチを ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 表示灯

システムの作動状況を表示します。



方向指示表示灯  
(→ P. 148)



EV インジケーター  
(→ P. 57)



尾灯表示灯 (→ P. 150)



PCS (プリクラッシュセーフティシステム) 警告灯★  
(→ P. 166)



ハイビーム表示灯  
(→ P. 150)



イモビライザーシステム表示灯 (→ P. 66)



オートマチックハイビーム表示灯★ (→ P. 184)



パワーモード表示灯  
(→ P. 144)



フロントフォグランプ表示灯 (→ P. 153)



ECO MODE 表示灯  
(→ P. 144)



クルーズコントロール表示灯★ (→ P. 190)



EV ドライブモード表示灯  
(→ P. 140)



クルーズコントロールセット表示灯★ (→ P. 190)



READY インジケーター  
(→ P. 134)



LDA (レーンディパーチャーアラート) 表示灯★  
(→ P. 179)



低温表示灯 (→ P. 72)



スリップ表示灯  
(→ P. 195)

(点滅)



シフトポジション表示灯  
(→ P. 142)



VSC OFF 表示灯  
(→ P. 195)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- ※<sup>1</sup> 作動確認のためにパワースイッチを ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。
- ※<sup>2</sup> センターパネルに表示されます。
- ※<sup>3</sup> 外気温が約 3℃以下のとき、約 10 秒間点滅後に、点灯します。

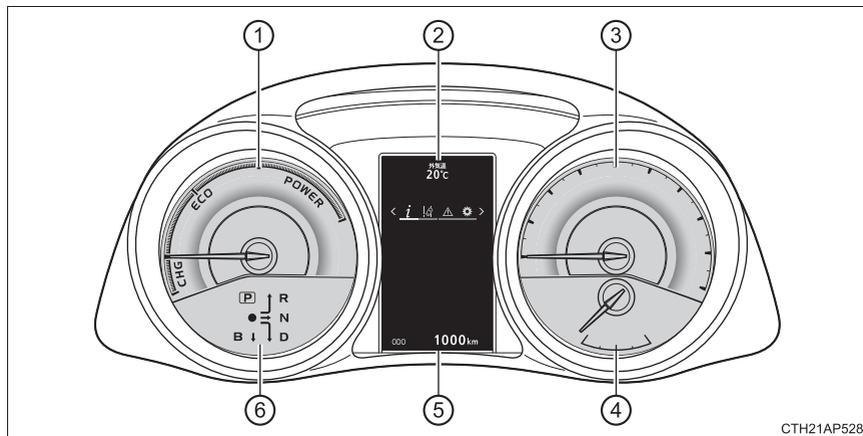
 **警告****■安全装置の警告灯が点灯しないとき**

ABS や SRS エアバッグなど安全装置の警告灯がハイブリッドシステムを始動しても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

 **注意****■ハイブリッドシステムや構成部品への損傷を防ぐために**

高水温警告灯が点灯したときは、オーバーヒートのおそれがあるので、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、エンジンを確認してください。(→ P. 336)

## 計器類



CTH21AP528

- ① ハイブリッドシステムインジケーター  
ハイブリッドシステムの出力や回生レベルを表示します。(→P. 73)
- ② 外気温  
外気温度を  $-40^{\circ}\text{C}$  ~  $50^{\circ}\text{C}$  の間で表示します。外気温が約  $3^{\circ}\text{C}$  以下のときは、低温表示灯が点灯します。
- ③ スピードメーター  
車両の走行速度を示します。
- ④ 燃料計  
燃料残量を示します。次の場合、実際の燃料残量が正しく表示されないことがあります。
  - ・ 少量給油 (約 5L 以下) を行ったとき
  - ・ 坂道など傾いた場所に停車したとき
  - ・ 坂道やカーブを走行したとき
- ⑤ マルチインフォメーションディスプレイ  
→ P. 75
- ⑥ シフトポジション表示  
現在選択されているシフトポジションを表示します。(→P. 142)

## 知識

### ■メーター・ディスプレイの作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

### ■外気温表示について

●次の場合は、正しい外気温が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

- ・ 停車しているときや、低速走行（約 15km/h 以下）のとき
- ・ 外気温が急激に変化したとき（車庫・トンネルの出入り口付近など）

●“--”が表示され続ける場合は、システム故障のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■ハイブリッドシステムインジケーター

#### ① チャージエリア

エネルギーが回生<sup>\*</sup>されている状態を示します。回生した電力は、駆動用電池を充電します。

<sup>\*</sup> ここでの「回生」の意味は、運動エネルギーを電気エネルギーに変換することです。

#### ② ハイブリッドエコエリア

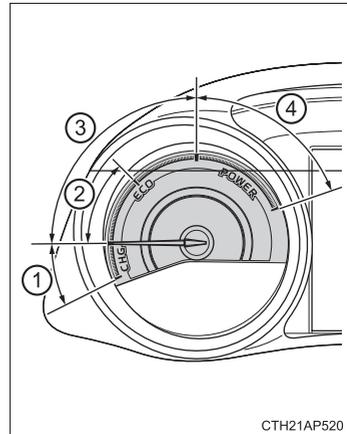
ガソリンエンジンの動力を使用しない状況を多く含む状態を示します。ガソリンエンジンは、各種の条件により自動的に停止・再始動します。

#### ③ エコエリア

エコ運転（環境に配慮した走行）をしている状態を示します。

#### ④ パワーエリア

全開走行時など、エコ運転の範囲をこえている状態を示します。インジケーターをエコエリアに保つことで、エコ運転が可能です。



### ■燃料計と給油後平均燃費および航続可能距離について

燃料計と給油後平均燃費および航続可能距離は連動しています。少量給油後に燃料計と給油後平均燃費および航続可能距離の表示が更新されない場合、次の操作を行うことで表示を更新することができます。

- 1 車両を平坦な場所に停車させる
- 2 TRIP スイッチを押してオドメーター/トリップメーターの表示をオドメーター表示に切りかえる
- 3 パワースイッチを OFF にする
- 4 TRIP スイッチを押したまま、パワースイッチを ON モードにする
- 5 そのまま約 5 秒間、TRIP スイッチを押し続け、オドメーターが点滅を開始したら手をはなす

オドメーターが約 5 秒間点滅したあと、通常の表示にもどれば、更新は終了です。

### ■エンジン回転数について

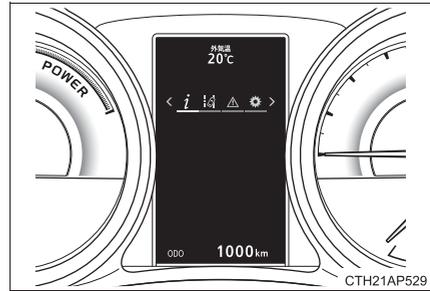
ハイブリッド車のエンジン回転数は、燃費の向上や排気ガス低減などのため、ち密に制御されています。走行条件や運転条件が同じでも、エンジン回転数が異なる場合があります。

## マルチインフォメーションディスプレイ

### 表示内容

マルチインフォメーションディスプレイは、外気温や走行に関するさまざまな情報を表示したり、設定を切りかえることができます。

- 外気温 (→ P. 72)
- 割り込み表示  
各システムの作動状況や警告メッセージを、状況に応じて自動で表示します。
- トリップインフォメーション／  
メーター照度調整 (→ P. 77)  
表示される項目はつぎのとおりです。
  - ・ オドメーター
  - ・ トリップメーター
  - ・ メーター照度調整



● メニューアイコン (→ P. 78)

メニューアイコンを選択して、次の項目を表示することができます。



ドライブインフォメーション (→ P. 78)

走行に関するさまざまな情報を表示します。



LDA(レーンディパーチャーアラート)作動表示★(→ P. 179)

LDAの作動状況を表示します。



警告メッセージ (→ P. 296)

車両に異常が発生した場合に、内容・対処法などのメッセージを表示します。



設定 (→ P. 80)

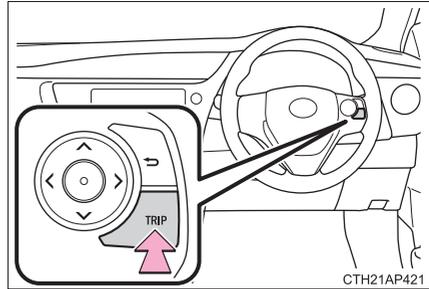
メーターの表示設定などを切りかえることができます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

**トリップインフォメーション／メーター照度調整****◆ 表示の切りかえ**

表示を切りかえるには、TRIP スイッチを押します。

スイッチを押すごとに表示される項目が切りかわります。

**◆ 表示項目****■ オドメーター**

走行した総距離を表示します。

**■ トリップメーター A / トリップメーター B**

リセットしてからの走行距離を表示します。区間距離は、トリップ A・トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。

リセットするには、リセットしたい方のトリップメーターを表示中に TRIP スイッチを長押しします。

**■ メーター照度調整**

メーターの明るさを表示します。

- ・ 昼照度と夜照度<sup>\*</sup>、それぞれの明るさのレベルを調整することができます。
- ・ 明るさを調整するには、メーター照度調整表示中に TRIP スイッチを長押しします。

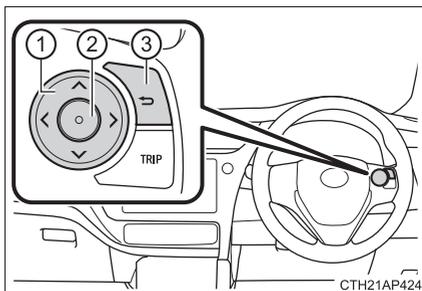
<sup>\*</sup> 昼照度と夜照度：→ P. 81

## メニューアイコン

### ◆ 操作方法

メーター操作スイッチを使って次のように操作します。

- ① < > : メニューの切りかえ  
     ^ v : ページ送り、表示項目の切りかえ、カーソル移動
- ② 短押し : 決定  
     長押し : リセット
- ③ ひとつ前の画面にもどる



### ◆ ドライブインフォメーション

#### ■ ドライブインフォメーション 1 / ドライブインフォメーション 2

次の走行に関する情報を表示します。

- ドライブインフォメーション 1
  - ・ 瞬間燃費
  - ・ リセット間平均燃費
- ドライブインフォメーション 2
  - ・ 航続可能距離
  - ・ リセット間平均車速

表示する項目は設定メニューから変更することができます。  
 (→ P. 80)

表示できる項目は次のとおりです。

項目	表示内容
瞬間燃費	現在の瞬間燃費を表示
リセット間平均燃費	リセット後の平均燃費を表示※ 1、2
始動後平均燃費	ハイブリッドシステム始動後の平均燃費を表示※ 2
給油後平均燃費	給油後の平均燃費を表示※ 2、3
リセット間平均車速	リセット後の平均車速を表示※ 1
始動後平均車速	ハイブリッドシステム始動後の平均車速を表示

項目	表示内容
リセット間走行時間	リセット後の経過時間を表示※ <sup>1</sup>
始動後走行時間	ハイブリッドシステム始動後の経過時間を表示
航続可能距離	燃料残量による走行可能な距離を表示※ <sup>3、4</sup>
始動後走行距離	ハイブリッドシステム始動後の走行距離を表示
ブランク	非表示

- ※<sup>1</sup> リセットするには、リセットしたい項目を表示中にハンドルの  スイッチを長押しします。  
画面に表示されている項目が 2 つともリセット可能な場合は、選択画面が表示されます。
- ※<sup>2</sup> 表示される燃費は参考として利用してください。
- ※<sup>3</sup> 燃料給油量が少量（約 5L 以下）のとき、表示が更新されないことがあります。  
この場合、燃料計の表示と共に更新することができます。（→ P. 74）
- ※<sup>4</sup> 運転履歴から学習した燃費と現在の燃料残量から算出した走行可能な距離を表示します。使用環境（気象、渋滞など）や運転方法（急発進、エアコンの使用など）に応じて燃費が変わるため、実際に走行できる距離とは異なります。

### ■ エネルギーモニター

→ P. 83

### ■ ブランク（非表示）

ブランク画面を表示します。

## ◆ 設定

---

### ■ LDA (レーンディパーチャーアラート) 警報感度★

LDA の警報感度を 2 段階から選択することができます。

### ■ 先行車発進★

次の先行車発進告知機能の設定を変更することができます。

#### ● 告知設定

先行車発進告知機能の ON/OFF を選択することができます。

#### ● 告知タイミング

告知するタイミングを 3 段階から選択することができます。

### ■ EV インジケーター

EV インジケーターの表示・非表示を選択することができます。

### ■ 単位

ディスプレイに表示される単位を選択することができます。

### ■ ドライブインフォ 1 / ドライブインフォ 2

ドライブインフォメーションに表示させる項目 (→ P. 78) をドライブインフォ 1 / ドライブインフォ 2 それぞれに 2 つまで選択することができます。

### ■ 表示設定初期化

メーターの表示設定を初期状態にもどすことができます。(→ P. 351)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識■ **メーターの照度について（昼照度と夜照度）**

- メーターの照度には昼照度と夜照度があり、次のときに照度が切りかわります。
  - ・昼照度：周囲が明るいときに車幅灯が点灯しているとき、または車幅灯が消灯しているとき
  - ・夜照度：周囲が暗いときに車幅灯が点灯しているとき
- 夜照度になるとメーター照明が減光されます。ただし、夜照度の設定をいちばん明るくした状態では減光されません。

■ **設定画面の操作について**

- 一部の項目を除き、車両走行中は設定画面を操作することができません。設定を変更するときは、安全な場所に停車して操作してください。
- 次の状況では、設定画面の操作が一時中断されます。
  - ・警告メッセージが表示されたとき
  - ・走行し始めたとき

■ **補機バッテリー端子の脱着をしたとき**

補機バッテリー端子の脱着を行うと、ドライブインフォメーションのデータはリセットされます。

■ **液晶ディスプレイについて**

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象で、異常ではありません。

 **警告**■ **運転中の使用について**

- マルチインフォメーションディスプレイを操作する時は、周囲の安全に十分注意してください。
- マルチインフォメーションディスプレイを見続けしないでください。前方の歩行者、障害物などを見落とすおそれがあり危険です。

■ **ディスプレイの設定を変更するとき**

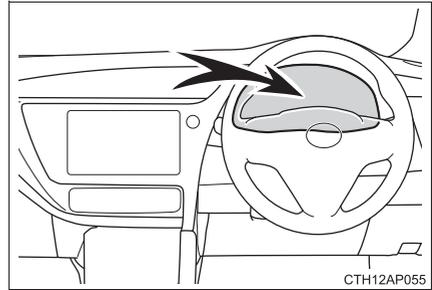
ハイブリッドシステムが作動した状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素（CO）により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ ディスプレイの設定を変更するとき**

補機バッテリーあがりを起こす可能性がありますので、確実にハイブリッドシステムが作動している状態で実施してください。

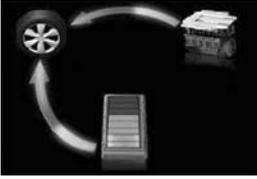
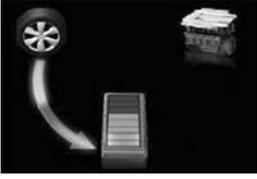
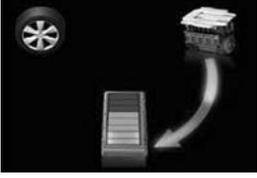
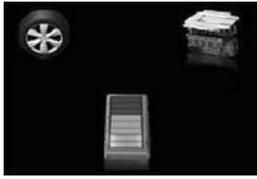
## エネルギーモニター／燃費画面

ハイブリッドシステムの状態をマルチインフォメーションディスプレイに表示します。



### エネルギーモニターの見方

メーター操作スイッチの < または > を押して **i** を選択し、^ または v を押してエネルギーモニターを表示させる

電気のエネルギーで走行しているとき	
ガソリンのエネルギーで走行しているとき	
ガソリンと電気の両方のエネルギーで走行しているとき	
駆動用電池に充電しているとき	
	
エネルギーの流れがないとき	
駆動用電池の残量表示	<p>少ない <span style="float: right;">多い</span></p> 

表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。

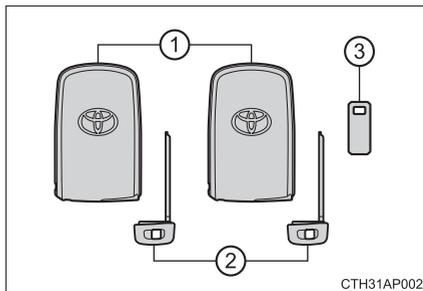
3-1. キー	
キー .....	86
3-2. ドアの開閉、 ロックのしかた	
ドア(フロントドア・ リヤドア) .....	90
バックドア .....	95
スマートエントリー& スタートシステム .....	99
3-3. シートの調整	
フロントシート.....	106
リヤシート .....	107
ヘッドレスト.....	109
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル .....	111
インナーミラー.....	113
ドアミラー .....	115
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウインドウ .....	118

## キー

### キーについて

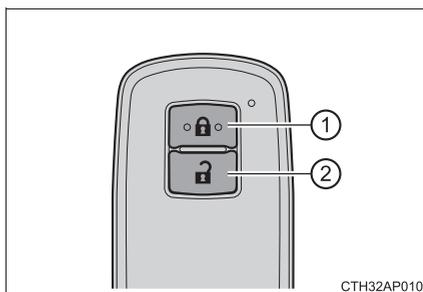
お客様へ次のキーをお渡しします。

- ① 電子キー
  - ・ スマートエントリー&スタートシステムの作動 (→ P. 99)
  - ・ ワイヤレス機能の作動 (→ P. 86)
- ② メカニカルキー
- ③ キーナンバープレート



### ワイヤレスリモコン

- ① 全ドアを施錠する (→ P. 90)
- ② 全ドアを解錠する (→ P. 90)

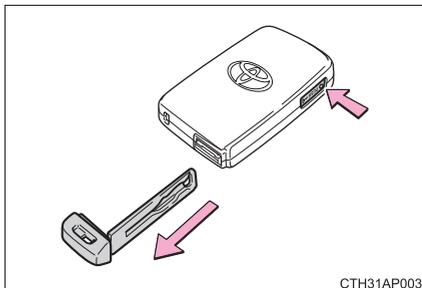


## メカニカルキーを使うには

メカニカルキーを取り出すには、解除ボタンを押してキーを取り出してください

メカニカルキーは挿し込み方向に指定のある片溝キーです。キーシリンダーに挿し込めないときは、キー溝面の向きをかえて挿し込んでください。

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときやスマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。(→P. 329)



## 知識

### ■キーを紛失したとき

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのメカニカルキーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーを作ることができます。キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。

### ■航空機に乗るとき

航空機にキーを持ち込む場合は、航空機内でキーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

### ■機能が正常に働かないおそれのある状況

→ P. 102

### ■電池の消耗について

- 電池の標準的な寿命は1～2年です。
- 電池残量が少なくなると、ハイブリッドシステムを停止した際に車内から警告音が鳴ります。
- 電子キーは常に電波を受信しているため、使用していないあいだでも電池が消耗します。次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。
  - ・スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが作動しない
  - ・作動範囲が狭くなった
  - ・電子キーのLEDが点灯しない
- 電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の1m以内に電子キーを置かないでください。
  - ・TV
  - ・パソコン
  - ・携帯電話やコードレス電話機、および充電器
  - ・電気スタンド
  - ・電磁調理器

### ■電池が切れたとき

→ P. 261

### ■キー登録本数の確認について

車両に登録されたキーの本数を確認することができます。詳しくはトヨタ販売店へご相談ください。

### ■不正キーの使用について

指定のキー以外のキーを使用すると、キーシリンダーが空まわりして解錠できません。

### ■カスタマイズ機能

ワイヤレスリモコンを非作動にするなどの変更ができます。  
(カスタマイズ一覧：→P. 350)

 **注意****■ キーの故障を防ぐために**

- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- 湿度の高いところに長時間放置しない
- むらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- 分解しない
- 電子キー表面にシールなどを貼らない
- テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品や、低周波治療器などの電気医療機器の近くに置かない

**■ 電子キー取り扱いの注意**

電子キーは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。

- 電池交換時以外は不用意に分解しないでください。  
分解・改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- 必ず日本国内でご使用ください。

**■ キーを携帯するとき**

電源を入れた状態の電化製品とは10cm以上離して携帯してください。10cm以内にあると電化製品の電波と干渉し正常に機能しない場合があります。

**■ スマートエントリー&スタートシステムの故障などで販売店に車両を持っていくとき**

車両に付属しているすべての電子キーをお持ちください。

**■ 電子キーを紛失したとき**

電子キーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。車両に付属している残りの電子キーをすべてお持ちのうえ、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

## ドア（フロントドア・リヤドア）

### 車外からの解錠・施錠

#### ◆ スマートエントリー&スタートシステム

電子キーを携帯して操作します。

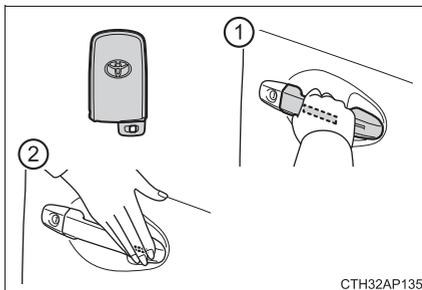
- ① フロント席のドアハンドルを握って解錠する

ハンドル裏面のセンサー部に確実に触れてください。

施錠操作後 3 秒間は解錠できません。

- ② フロント席ドアハンドル表面のロックセンサー部（ハンドルのくぼみ部）にふれ施錠する

必ず施錠されたことを確認してください。

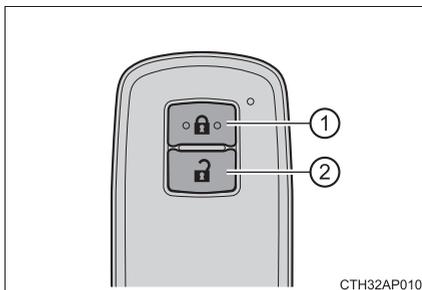


#### ◆ ワイヤレスリモコン

- ① 全ドアを施錠する

必ず施錠されたことを確認してください。

- ② 全ドアを解錠する



 知識

## ■ 作動の合図

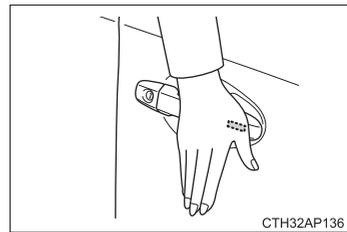
スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレスリモコンによるドアの施錠・解錠を、ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は 1 回、解錠は 2 回)

## ■ 解錠操作のセキュリティ機能

スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレスリモコンによる解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。セキュリティ機能で施錠されたとき、電子キーの位置によって室内の作動範囲内に電子キーがあると検知されると、再度解錠されることがあります。

## ■ ドアハンドル表面のロックセンサーで施錠できないとき

ドアハンドル表面のロックセンサー部に指でふれても施錠できないときは、てのひらでロックセンサー部にふれてください。



## ■ 半ドア警告ブザー

ドアが完全に閉まっていない状態で、スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレスリモコンを使ってドアを施錠しようとする時、ブザーが鳴ります。ドアを完全に閉めてから、もう一度施錠してください。

## ■ スマートエントリー&amp;スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき

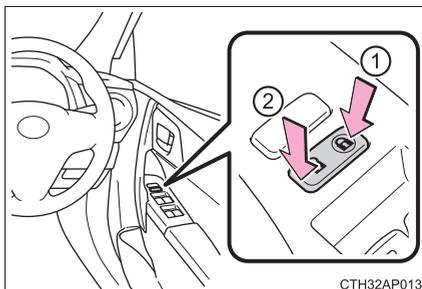
メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 329)

キーの電池が消耗しているときは、電池を交換してください。(→ P. 261)

## 車内からの解錠・施錠

### ◆ ドアロックスイッチ

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する

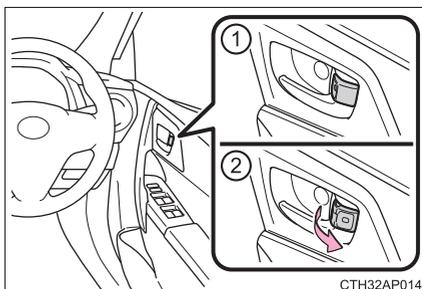


CTH32AP013

### ◆ ロックレバー

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する

運転席ドアは、ロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアレバーを引くと開きます。



CTH32AP014

## キーを使わずに外側からフロント席を施錠するとき

- 1 ロックレバーを施錠側にする
- 2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める

パワースイッチがアクセサリモードまたは ON モードのときや、車内に電子キーが放置されているときは施錠されません。

キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

## チャイルドプロテクター

施錠側にすると、リヤ席ドアが車内から開かなくなります。

- ① 解錠
- ② 施錠

お子さまが車内からリヤ席ドアを開けられないようにできます。両側のリヤ席ドアを施錠側にしてください。



## 知識

### ■ チャイルドプロテクター使用時のドアの開け方

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合は、ドアガラスを下げて手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

### ■ 半ドア走行時警告ブザー

各ドアまたはバックドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が約 5km/h をこえると警告ブザーが鳴り、開いているドアがマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

### ■ スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に働かないおそれのある状況

→ P. 102

 **警告****■ 事故を防ぐために**

運転中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、不意にドアが開き車外に放り出されるなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- 走行中はドア内側のドアレバーを引かない  
特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。
- お子さまをリヤ席に乗せるときは、チャイルドプロテクターを使用して車内からドアが開かないようにする

**■ ドアを開閉するときの留意事項**

傾斜地・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

## バックドア

バックドアは次の方法で施錠解錠および開けることができます。

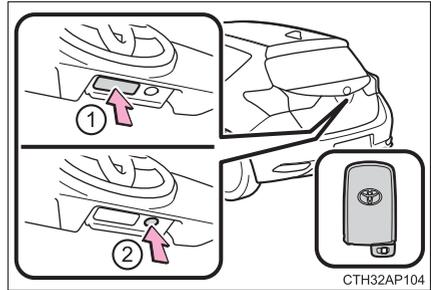
### バックドアの解錠・施錠

#### ■ ドアロックスイッチ

→ P. 92

#### ■ スマートエントリー&スタートシステム

- ① バックドアオープンスイッチを押して解錠する  
施錠操作後 3 秒間は解錠できません。
- ② ロックスイッチを押して施錠する  
必ず施錠されたことを確認してください。



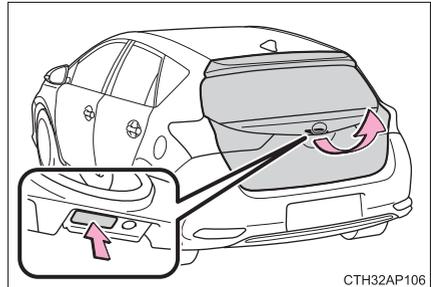
#### ■ ワイヤレスリモコン

→ P. 86

### バックドアを開ける

バックドアオープンスイッチを押したまま、バックドアを持ち上げる

バックドアオープンスイッチを押した直後はバックドアを閉めることができません。



## 知識

### ■ 作動の合図

→ P. 91

### ■ 半ドア走行時警告ブザー

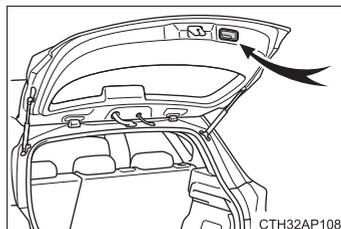
各ドアまたはバックドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が約 5km/h をこえると警告ブザーが鳴り、開いているドアがマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

### ■ ラゲージルームランプ

バックドアを開けたとき、ラゲージルームランプが点灯します。

### ■ バックドアを閉めるときは

バックドアハンドルを持って、横方向に力をかけないように引き下げ、必ず外から押して閉めてください。

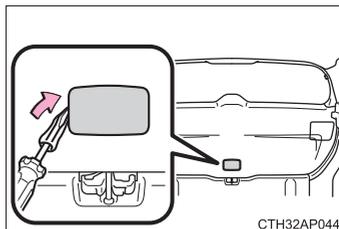


### ■ バックドアが開かないときは

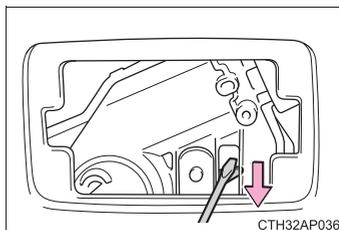
バックドアを内側から開けることができます。

#### 1 カバーをはずす

傷がつくのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



#### 2 レバーを押す



## ⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ 走行する前に

- 走行前にバックドアが閉まっていることを確認してください。  
完全に閉まっていないと走行中に突然開き、車外のものにあたったり、荷物が投げ出されたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲージルームの中でお子さまを遊ばせないでください。  
誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。  
不意にバックドアが動いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

### ■ 走行中の留意事項

ラゲージルームには絶対に人を乗せないでください。

急ブレーキ・急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ バックドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

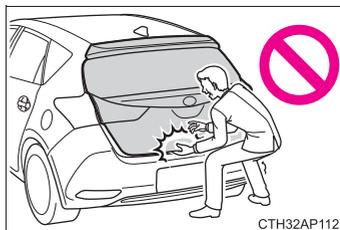
- バックドアを開ける前に、バックドア上の雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでバックドアが突然閉じるおそれがあります。
- バックドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。  
バックドアが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。
- 半開状態で使用すると、バックドアが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもバックドアの開閉がしにくく、急にバックドアが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずバックドアが全開で静止していることを確認して使用してください。



CTH32AP110

### 警告

- バックドアを閉めるときは、バックドアで指などを挟まないよう十分注意してください。
- バックドアは必ず外からバックドア上面を軽く押しつけて閉めてください。バックドアハンドルで直接バックドアを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。
- バックドアダンパーステーを持ってバックドアを閉めたり、ぶらさがったりしないでください。  
手を挟んだり、バックドアダンパーステーが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアにキャリアなどの重いものを取り付けると、開けたあとにドアが突然閉じて、手・頭・首などを挟むおそれがあります。バックドアへのアクセサリ用品の取り付けは、トヨタ純正品を使用することをおすすめします。



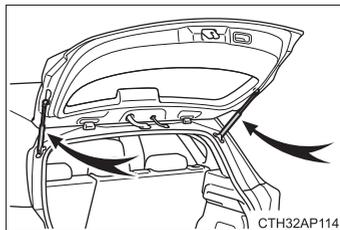
CTH32AP112

### 注意

#### ■ ダンパーステーについて

バックドアにはバックドアを支えるためのダンパーステーが取り付けられています。ダンパーステーの損傷や作動不良を防ぐため次のことをご守りください。

- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステーのロッド部（棒部）に付着させない
- ロッド部を軍手などでふれない
- バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリ用品をつけない
- ステーに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない



CTH32AP114

## スマートエントリー&スタートシステム

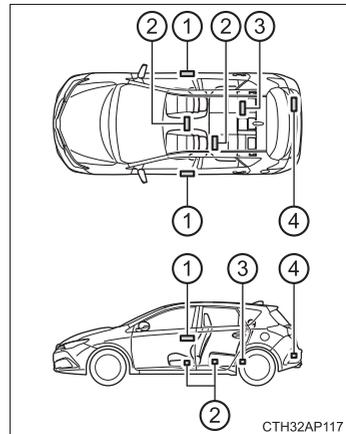
電子キーをポケットなどに携帯していると、次の操作が行えます。  
必ず運転者が携帯してください。

- ドアを施錠・解錠する (→ P. 90)
- バックドアを施錠・解錠する (→ P. 95)
- ハイブリッドシステムを始動する (→ P. 134)

### 知識

#### ■ アンテナの位置

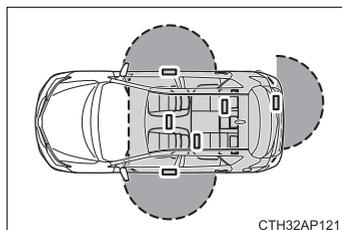
- ① 車外アンテナ
- ② 車内アンテナ
- ③ ラゲージルーム内アンテナ
- ④ ラゲージルーム外アンテナ



### ■ 作動範囲（電子キーの検知エリア）

● : ドアの施錠・解錠時

フロント席ドアハンドル/バックドアオープン・ロックスイッチから周囲約 70cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。(電子キーを検知しているドアハンドルのみ作動します)



● : ハイブリッドシステム始動時またはパワースイッチ切りかえ時  
車内で電子キーを携帯している場合に作動します。

### ■ 警告音と警告表示について

誤動作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、車内や車外で警告音が鳴ったり、メッセージが表示されることがあります。メッセージが表示された場合は、状況に応じて適切に対処してください。(→ P. 296)

警告音のみが鳴る場合の状況と対処方法は次の通りです。

警告音	状況	対処方法
車外から“ピー”と5秒間鳴る	いずれかのドアが開いているときにスマートエントリー&スタートシステムもしくは、ワイヤレス機能で施錠しようとした	全ドアを閉めたあと、再度施錠する
車内から“ピー”と鳴り続ける	運転席ドアが開いている状態でパワースイッチをアクセサリモードにした(パワースイッチがアクセサリモードのとき運転席ドアを開いた)	パワースイッチを OFF にしたあと、運転席ドアを閉める

### ■ マルチインフォメーションディスプレイに「スマートエントリー&スタートシステム故障 取扱書を確認」が表示されたときは

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

## ■ 節電機能

長期駐車時に電子キーの電池と車両の補機バッテリーあがりを防止するため、節電機能が働きます。

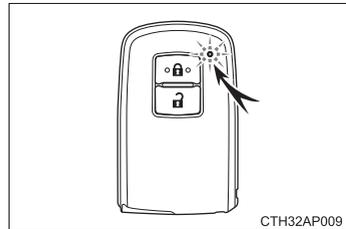
- 次の状況では、スマートエントリー&スタートシステムによる解錠に時間がかかる場合があります。
  - ・ 車の外約 2m 以内に電子キーを 10 分以上放置した
  - ・ 5 日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった
- 14 日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった場合、運転席以外での解錠ができなくなります。この場合は、運転席のドアハンドルを握る、もしくは、ワイヤレス機能、メカニカルキーで解錠してください。

## ■ 電子キーの節電モードについて

節電モードに設定すると、電子キーによる、電波の受信待機を停止し、電子キーの電池の消耗を抑えることができます。

電子キーの  を押しながら、 を 2 回押し、電子キーのインジケータが 4 回光ることを確認してください。

節電モード中は、スマートエントリー & スタートシステムを使用できません。節電モードを解除するには、電子キーのいずれかのスイッチを押してください。



### ■機能が正常に働かないおそれのある状況

スマートエントリー&スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコン、イモビライザーシステムが正常に作動しない場合があります。(対処方法：→P. 329)

- 電子キーの電池が消耗しているとき
- 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- 無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器を携帯しているとき
- 電子キーが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
  - ・アルミ箔などの金属の貼られたカード
  - ・アルミ箔を使用したタバコの箱
  - ・金属製の財布やかばん
  - ・小銭
  - ・カイロ
  - ・CD や DVD などのメディア
- 近くで他の電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき
- 電子キーを、次のような電波を発信する製品と同時に携帯しているとき
  - ・他の車の電子キーや電波式ワイヤレスリモコン
  - ・パソコンや携帯情報端末 (PDA など)
  - ・デジタルオーディオプレーヤー
  - ・ポータブルゲーム機器
- リヤガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき
- 充電器など電子機器の近くに電子キーを置いたとき

## ■ご留意いただきたいこと

- 電子キーが作動範囲内（検知エリア内）にあっても、次のような場合は正しく作動しないことがあります。
  - ・ ドアの施錠・解錠時に電子キーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎる、または地面の近くや高い場所にある場合
  - ・ バックドアを開けるときに電子キーが地面の近くや高い場所にある、またはリヤバンパー中央に近付きすぎた場合
  - ・ ハイブリッドシステム始動時またはパワースイッチの切りかえ時に電子キーがインストルメントパネルやフロア上・リヤシート後方のパッケージトレイ上・ドアポケット、またはグローブボックス内などに置かれていた場合
- インストルメントパネル上面・ドアポケット付近に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知されて車外からのドアロックが可能になる場合があります、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあるため注意してください。
- 電子キーが作動範囲内にあれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。ただし、電子キーを検知しているドア以外では、解錠できません。
- 車外でもドアガラスに近い位置に電子キーがあるときは、ハイブリッドシステムの始動が可能になる場合があります。
- 電子キーが作動範囲内にある場合、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかると、ドアが施錠・解錠することがあります。（解錠された場合でも、ドアの開閉操作がなければ約 30 秒後に自動的に施錠されます）
- 車両に近い位置に電子キーがあるときにワイヤレスリモコンなどで施錠を行うと、スマートエントリー&スタートシステムによる解錠ができなくなることがあります。（ワイヤレスリモコンで解錠すると復帰します）
- 手袋を着用していると施錠・解錠しないことがあります。
- ロック操作は、連続で2回まで有効で、3回目以降はロック動作しません。
- キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠／解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。
  - ・ 電子キーを車両から 2m 以上離れた場所に保管する（電子キーの盗難に注意してください）
  - ・ 電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー&スタートシステムの作動を停止する（→P. 101）
- 車内にキーがあるときに、洗車機で洗車するなどして水をドアハンドルにかけた場合、警報がマルチインフォメーションディスプレイに表示され、車外のブザーが吹鳴することがあります。その場合は全ドアを施錠すれば警報は表示されなくなります。
- ロックセンサーの表面に氷や雪、泥が付着した場合、センサーが反応しない場合があります。反応しない場合は表面に付着した氷や雪、泥を取り除いて再度操作してください。

- すばやいドアハンドル操作や、車外アンテナの作動範囲内へ入ってすぐのドアハンドル操作では、解錠しないことがあります。センサーにふれ解錠したことを確認してからドアハンドルを引いてください。
- 作動範囲内に他の電子キーがあるときは、ドアハンドルを握ってから解錠するまでの時間が少し長くなる場合があります。

#### ■長期間運転しないとき

- 盗難防止のため、電子キーを車両から 2m 以上離しておいてください。
- あらかじめスマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることができます。(→P. 350)

#### ■システムを正しく作動させるために

電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようにしてください。

作動時の電子キーの位置や持ち方によっては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。(誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります。：→P. 100)

#### ■スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき

- ドアの施錠・解錠：→P. 329
- ハイブリッドシステムの始動：→P. 329

#### ■カスタマイズ機能

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にするなどの変更ができます。(カスタマイズ一覧：→P. 350)

#### ■カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたとき

- ドアの施錠・解錠：ワイヤレス機能、またはメカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→P. 90, 329)
- ハイブリッドシステムの始動・パワースイッチのモード切りかえ：→P. 329
- ハイブリッドシステムの停止：→P. 135

 **警告****■電波がおよぼす影響について**

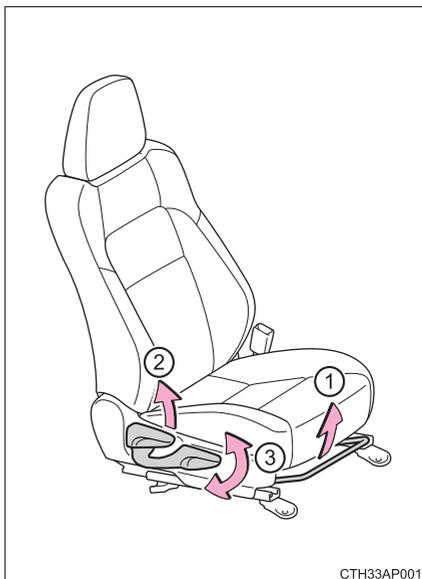
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペースメーカー、植込み型両心室ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、室内アンテナ・車外アンテナ（→ P. 99）から約 22 cm 以内に近付かないようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペースメーカー、植込み型両心室ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることもできます。  
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

## フロントシート

### 調整のしかた

- ① 前後位置調整
- ② リクライニング調整
- ③ クッション全体の上下調整（運転席のみ）



### ⚠ 警告

#### ■ シートを調整するとき

- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 足元のスペースを確保し足を挟まないように注意してください。

#### ■ リクライニング調整について

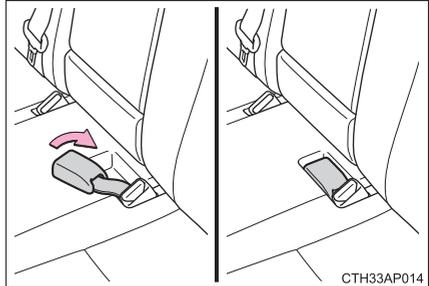
- 背もたれは必要以上に倒さないでください。必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害およびか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後はシートがきちんと固定されていることを確認してください。

## リヤシート

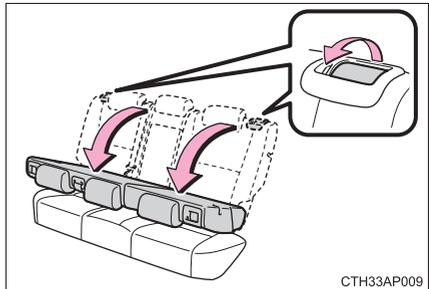
リヤシートは折りたたむことができます。

### 背もたれを前に倒す

- 1 フロントシートを前方に移動する (→ P. 106)
- 2 リヤアームレストを格納する (→ P. 237)
- 3 リヤ中央席シートベルトのバックルを格納する



- 4 ヘッドレストをいちばん下まで下げる (→ P. 109)
- 5 ロック解除レバーを引きながら、背もたれを前方に倒す  
ロックが確実に解除されるまで、レバーを引いてください。



**警告**

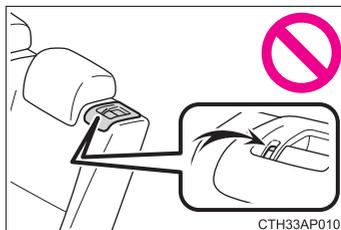
次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ リヤシートを操作するときは**

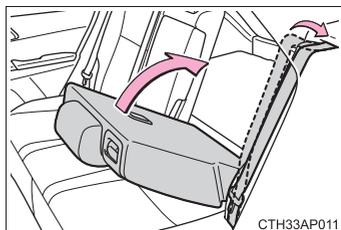
- 走行中にリヤシートを操作しない
- 平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトポジションをPにする
- 操作をするときに、可動部や結合部に手や足などを挟まないように注意する
- 倒した背もたれの上やラゲージルームに人を乗せて走行しない
- お子さまがラゲージルームに入らないよう注意する

**■ 背もたれをもとにもどしたあとは**

- シートを前後に軽くゆさぶり、確実に固定する  
シートが確実に固定されていないときは、レバーの横に赤ラベルが見えます。赤ラベルが見えていないことを確認してください。



- シートベルトを挟み込まないように背もたれをもとにもどしてください。  
シートベルトが背もたれ固定フックに挟まり、シートベルトを損傷させるおそれがあります。

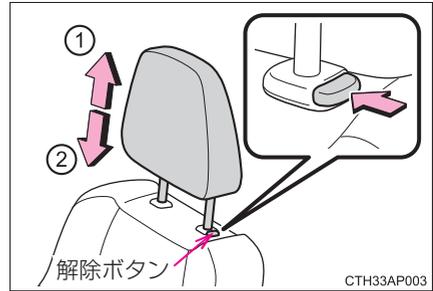


## ヘッドレスト

上下調整

- ① 上げる
- ② 下げる

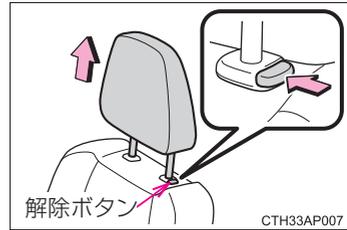
下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



### 知識

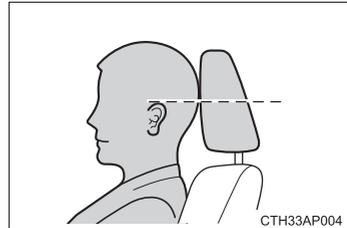
#### ■ヘッドレストを取りはずすとき

解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。



#### ■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるよう調整してください。



#### ■リヤ席のヘッドレストについて

使用するときには、常に格納位置から一段上げた位置にしてください。

 **警告****■ヘッドレストについて**

次のことをお守りください。

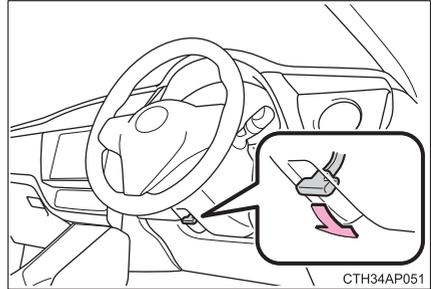
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを必ず正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

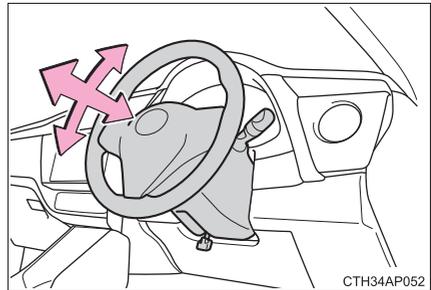
## ハンドル

### 調整のしかた

- 1 ハンドルを持ち、レバーを下げる

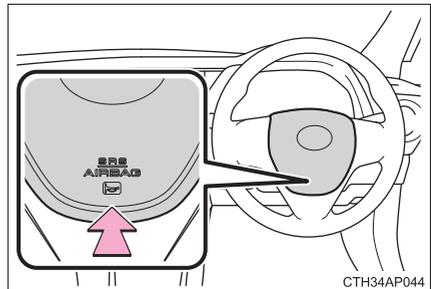


- 2 ハンドルを上下・前後に動かし、適切な位置にする  
位置が決定したら、レバーを上げてハンドルを固定してください。



### ホーン（警音器）

ハンドルの  周辺部を押すとホーンが鳴ります。



 **警告****■ 走行中の警告**

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。  
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ ハンドル位置を調整したあとは**

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。  
固定が不十分だと、ハンドルの位置が突然変わり、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。また固定が不十分だとホーンが鳴らない場合があります。

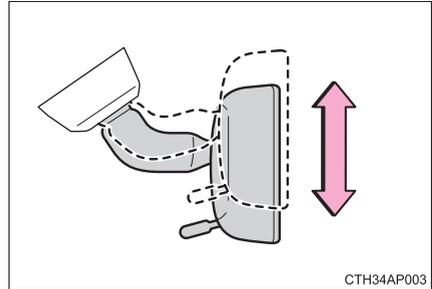
## インナーミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

### 上下調整のしかた

運転姿勢に合わせてインナーミラーの高さを調整することができます。

インナーミラー本体を持って、上下方向に調整する

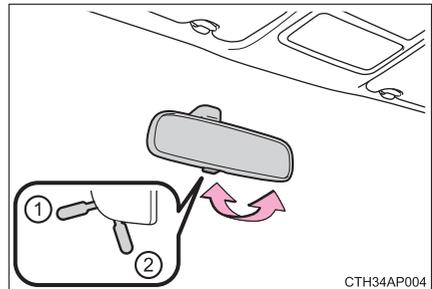


### 防眩機能

▶ 手動防眩タイプ装着車

レバーを操作することで、後続車のヘッドランプによる反射光を減少させます。

- ① 通常使用時
- ② 防眩時



**▶ 自動防眩タイプ装着車**

後続車のヘッドランプのまぶしさに応じて反射光を自動的に減少させます。

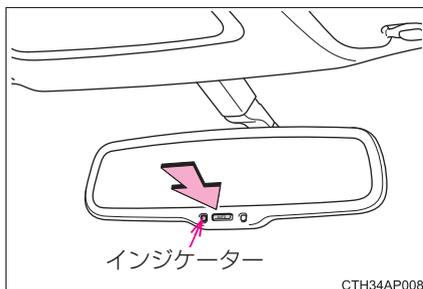
自動防眩機能の切りかえ

ON / OFF

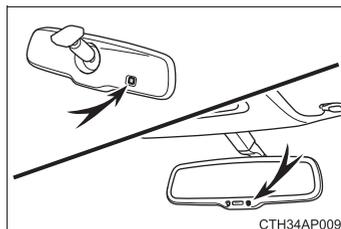
ON のときはインジケータが点灯します。

パワースイッチを ON モードにしたときは、ミラーは常に自動防眩機能が ON になっています。

ボタンを押すと OFF になりインジケータが消灯します。

**知識****■ センサーの誤作動防止（自動防眩タイプ装着車）**

センサーの誤作動を防ぐため、センサーにふれたりセンサーを覆ったりしないでください。

**警告**

走行中はミラーの調整をしないでください。

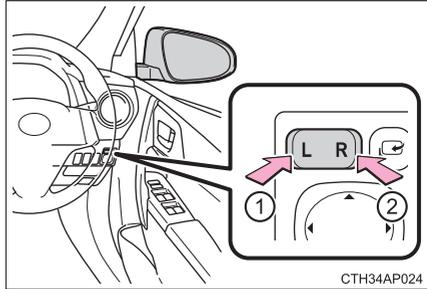
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ドアミラー

### 調整のしかた

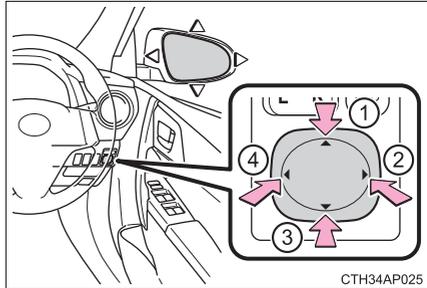
- 1 調整するミラーを選ぶには、スイッチを押す

- ① 左
- ② 右



- 2 ミラーの鏡面を調整するにはスイッチを押す

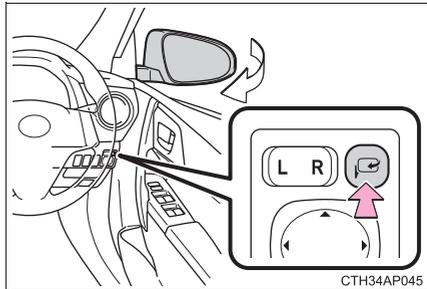
- ① 上
- ② 右
- ③ 下
- ④ 左



### ドアミラーを格納する (マニュアル作動)

ボタンを押す

もう一度押すと、もとの位置にもどります。

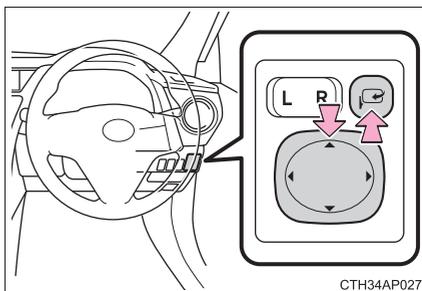


### ドアミラーを格納する（オート作動）

スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンによるドアの施錠・解錠に連動して、ドアミラーが自動的に格納・復帰します。

以下の手順でオート作動を停止できます。

- 1 パワースイッチを OFF にする
- 2 電動格納スイッチと鏡面調整スイッチの ▲ を、同時に2秒以上押す  
もう一度同じ操作をすると、オート作動が復帰します



### 知識

#### ■ 鏡面調整の作動条件

パワースイッチがアクセサリモードまたは ON モードのとき

#### ■ 補機バッテリー端子の脱着をしたとき

オート電動格納機能の設定がリセットされ、ON の状態にもどります。機能を OFF にするときは、再度、オート電動格納機能の ON・OFF 切りかえを行ってください。

#### ■ ミラーが曇ったとき

リヤウインドウデフォグガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取り除くことができます。

#### ■ 寒冷時に「オート作動」で使用するとき

寒冷時に「オート作動」で使用しているとき、ドアミラーが凍結すると、自動で格納・復帰ができないことがあります。この場合、ドアミラーに付着している氷や雪などを取り除いたあと、「マニュアル作動」で作動させるか、手で動かしてください。

 **警告****■ 走行中の留意事項**

走行中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ミラーの調整をしない
- ドアミラーを格納したまま走行しない
- 走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

**■ ミラーが動いているとき**

手をふれないでください。

手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

**■ ミラーヒーターが作動しているとき**

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

## パワーウィンドウ

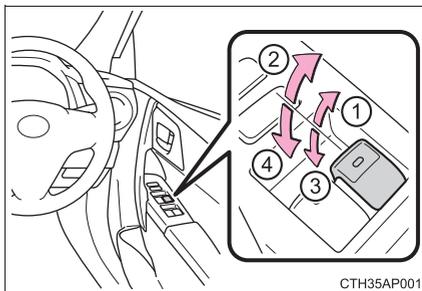
### 開閉のしかた

スイッチでドアガラスを開閉できます。

スイッチを操作すると、ドアガラスを次のように動かします。

- ① 閉める
- ② 自動全閉※
- ③ 開ける
- ④ 自動全開※

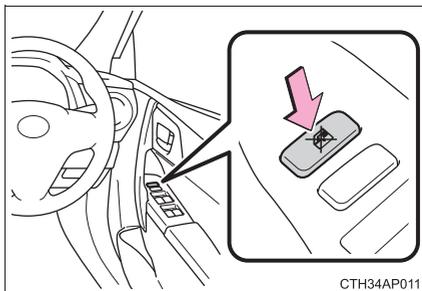
※途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。



### ウィンドウロックスイッチ

スイッチを押すと、運転席以外のドアガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



 知識

## ■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

## ■ ハイブリッドシステム停止後の作動

パワースイッチをアクセサリモードまたは OFF にしたあとも、約 45 秒間ドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

## ■ 挟み込み防止機能

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

## ■ 巻き込み防止機能

ドアガラスを開けているときに、異物がドア内に巻き込まれると作動が停止します。

### ■ ドアガラスを開閉することができないとき

挟み込み防止機能や巻き込み防止機能が異常に作動してしまい、ドアガラスを開閉できないときは、開閉できないドアのパワーウィンドウスイッチで、次の操作を行ってください。

#### ● 正常に閉じない場合

車を停止し、パワースイッチを ON モードの状態、挟み込み防止機能が作動したあと約 4 秒以内に、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続けることでドアガラスを閉じることができます。

#### ● 正常に開かない場合

車を停止し、パワースイッチを ON モードの状態、巻き込み防止機能が作動したあと約 4 秒以内に、パワーウィンドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続けることでドアガラスを開くことができます。

上記の操作を行ってもドアガラスが開閉できない場合、機能の初期化を次の手順で実施してください。

- 1 パワースイッチを ON モードにする
- 2 パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを全閉にする
- 3 いったんパワーウィンドウスイッチから手を離して、再度パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で約 6 秒以上引き続ける
- 4 パワーウィンドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続け、ドアガラスを全開にしたあと、さらにスイッチを 1 秒以上押し続ける
- 5 いったんパワーウィンドウスイッチから手を離して、再度パワーウィンドウスイッチを「自動全開」の位置で約 4 秒以上押し続ける
- 6 再度、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 1 秒以上引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。

以上の操作を行っても反転して閉じ切らない、または全開にならない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

**警告**

次のことを必ずお守りください。

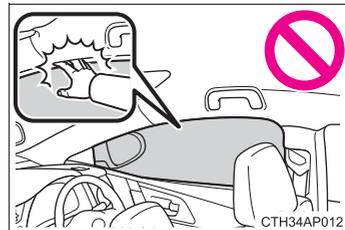
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ ドアガラスを開閉するとき**

- 運転者は、乗員の操作を含むすべてのドアガラス開閉操作について責任があります。特にお子さまの誤った操作による事故を防ぐため、お子さまにはドアガラスの操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

また、お子さまが同乗するときはウインドウロックスイッチを使用することをおすすめします。(→P. 118)

- ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。



- 車から離れるときはパワースイッチを OFF にし、キーを携帯してお子さまも一緒に車から離れてください。いたずらなどによる誤った操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**■ 挟み込み防止機能**

- 挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。

**■ 巻き込み防止機能**

- 巻き込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・服などを巻き込ませたりしないでください。
- 巻き込み防止機能は、ドアガラスが完全に開く直前に異物を挟むと作動しない場合があります。手・腕・服などを巻き込まないように注意してください。



- 4-1. 運転にあたって  
 運転にあたって ..... 124  
 荷物を積むときの注意 ..... 133
- 4-2. 運転のしかた  
 パワー（イグニッション）  
 スイッチ ..... 134  
 EV ドライブモード ..... 140  
 トランスミッション ..... 142  
 方向指示レバー ..... 148  
 パーキングブレーキ ..... 149
- 4-3. ランプのつけ方・  
 ワイパーの使い方  
 ランプスイッチ ..... 150  
 フォグランプスイッチ ..... 153  
 ワイパー & ウォッシャー  
 （フロント） ..... 154  
 ワイパー & ウォッシャー  
 （リヤ） ..... 156
- 4-4. 給油のしかた  
 給油口の開け方 ..... 158
- 4-5. Toyota Safety  
 Sense C  
 Toyota Safety  
 Sense C ..... 161  
 PCS（プリクラッシュ  
 セーフティシステム） ..... 166  
 LDA  
 （レーンディパーチャー  
 アラート/  
 車線逸脱警報） ..... 179  
 オートマチック  
 ハイビーム ..... 184  
 先行車発進告知機能 ..... 188
- 4-6. 運転支援装置について  
 クルーズコントロール ..... 190  
 運転を補助する装置 ..... 194
- 4-7. 運転のアドバイス  
 ハイブリッド車運転の  
 アドバイス ..... 200  
 寒冷時の運転 ..... 202

## 運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

### ハイブリッドシステムを始動する

→ P. 134

### 発進する

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトポジションをDにする  
(→ P. 142)  
シフトポジション表示灯がDであることをメーターで確認します。
- 2 パーキングブレーキを解除する (→ P. 149)
- 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み  
発進する

### 停車する

- 1 シフトポジションはDのまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける  
長時間停車する場合は、シフトポジションをPにします。(→ P. 142)

### 駐車する

- 1 車を完全に停止させる
- 2 パーキングブレーキをかける (→ P. 149)
- 3 シフトポジションをPにする (→ P. 142)  
シフトポジション表示灯がPであることをメーターで確認します。
- 4 パワースイッチを押してハイブリッドシステムを停止する
- 5 ブレーキペダルからゆっくり足を離す
- 6 電子キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する  
坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め<sup>※</sup>を使用してください。  
<sup>※</sup> 輪止めはトヨタ販売店で購入することができます。

## 上り坂の発進のしかた

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけ、シフトポジションをDにする
- 2 ブレーキペダルから足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

## 知識

### ■ 上り坂発進について

ヒルスタートアシストコントロールが作動します。(→P. 194)

### ■ 燃費を良くする走り方

ハイブリッド車も急加速を抑えるなど、通常のガソリン車と同様の心がけが必要です。(→P. 200)

### ■ 雨の日の運転について

- 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったりするので、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

### ■ 運転標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミ部分に取り付けることはできません。

**警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■発進するとき**

車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯している状態で停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象で車が動き出すのを防ぎます。

**■運転するとき**

- 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を把握しない状態で運転しないでください。
  - ・ アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - ・ 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
  - ・ 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
  - ・ ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ハイブリッド車は電気モーターでの走行時にエンジン音がしないため、周囲の人が車両の接近に気が付かない場合があります。車両接近通報装置が ON でも、周囲の騒音などが大きい場合は、車両の接近に気が付かないことがありますので、十分注意して運転してください。特に車両接近通報装置を OFF にしているときは、注意が必要です。
- 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を止めたりしないでください。  
排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。
- 通常走行時は、走行中にハイブリッドシステムを停止しないでください。走行中にハイブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、ハンドルの操作力補助がなくなり、ハンドル操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。  
なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 284を参照してください。
- 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。(→ P. 143)

**警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■運転するとき**

- 走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラーの調整をしないでください。  
運転を誤るおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。

**■すべりやすい路面を運転するとき**

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。
- 急激なアクセル操作、シフト操作によるエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。
- 水たまり走行後はブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

**■シフトポジションを変更するとき**

- 前進側のシフトポジションのまま惰性で後退したり、Rのまま惰性で前進することは絶対にやめてください。  
思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 車両が動いているあいだは、Pポジションスイッチを押さないでください。  
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が前進しているあいだは、シフトポジションをRにしないでください。  
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。

**警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■シフトポジションを変更するとき**

- 車両が後退しているあいだは、シフトポジションを前進側のシフトポジションにしないでください。  
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 走行中にシフトポジションをNにすると、ハイブリッドシステムの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。
- アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。  
シフトポジションがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。  
シフトポジションの変更後は、メーター内のシフトポジション表示灯で現在のシフトポジションを必ず確認してください。(→ P. 142)

**■継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したとき**

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。

必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限度をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあります。

**■停車するとき**

- 不必要にアクセルペダルを踏み込まないでください。  
シフトポジションがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯しているときは常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながることを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車中に空ぶかしをしないでください。  
排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ 駐車するとき**

- 炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶や炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。  
放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
  - ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
  - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
  - ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたりしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。
- ウィンドウガラスなどには吸盤を取り付けしないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。  
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウィンドウを開けたまま放置しないでください。  
直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにしてハイブリッドシステムを停止し、施錠してください。  
READY インジケーターが点灯しているあいだは、車から離れないでください。  
パーキングブレーキをかけずにシフトポジションをPにした状態では、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- READY インジケーターが点灯しているとき、またはハイブリッドシステム停止直後は排気管にふれないでください。  
やけどをするおそれがあります。

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ 仮眠するとき**

必ずハイブリッドシステムを停止してください。

READY インジケーターが点灯した状態のまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やハイブリッドシステムの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ ブレーキをかけるとき**

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- 電子制御ブレーキシステムが機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。この場合ブレーキは作動しますが、通常よりもブレーキペダルを強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。
- ブレーキシステムは2つ以上の独立したシステムで構成されており、1つの油圧システムが故障しても、残りは作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

**■ 万一脱輪したとき**

いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。駆動系部品の損傷や、車両の飛び出しによる思わぬ事故につながるおそれがあります。危険です。

 **注意****■ 運転しているとき**

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

**■ 駐車するとき**

必ずパーキングブレーキをかけシフトポジションをPにしてください。パーキングブレーキをかけシフトポジションをPにしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

**■ 部品の損傷を防ぐために**

- パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けしないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

**■ 走行中にタイヤがパンクしたら**

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかりと持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法はP. 303, 313を参照してください。

 **注意****■冠水路走行に関する注意**

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を与えるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んだエンジンの破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジンオイル・ハイブリッド用トランスミッションフルードなどの量および質の変化
- 各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

冠水によりシフト制御システムが損傷すると、シフトポジションがPに切りかえられない、またはPから他のシフトポジションに切りかえられなくなる可能性があります。Pから他のシフトポジションに切りかえられないときは、前輪が固定されているため、けん引での移動はできません。

## 荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

### ⚠ 警告

#### ■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

#### ■ 荷物を積むとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物はラゲージルームに積んでください。
- 次の場所には荷物を積まないでください。
  - ・ 運転席足元
  - ・ 助手席やリヤ席（荷物を積み重ねる場合）
  - ・ パッケージトレイ
  - ・ インストルメントパネル
  - ・ ダッシュボード
- 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。
- シート背もたれより高いものをラゲージルームに積まないでください。
- 後席のシート背もたれを折りたたんで、寸法が長い荷物を積むときは、できるだけ前席シート背もたれの真うしろには積まないでください。
- ラゲージルームに人を乗せないでください。乗員用には設計されていません。乗員は、適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。

#### ■ 荷物の重量・荷重のかけ方について

- 荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等にかけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## パワー（イグニッション）スイッチ

電子キーを携帯して次の操作を行うことで、ハイブリッドシステムの始動またはパワースイッチのモードを切りかえることができます。

### ハイブリッドシステムの始動のしかた

- 1 正しい運転姿勢（→ P. 24）がとれるようにシートの位置を調整し、ペダルの各位置を確認する
- 2 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 3 ブレーキペダルをしっかりと踏む

マルチインフォメーションディスプレイに  が表示されます。

表示されないと、ハイブリッドシステムは始動しません。

シフトポジションが N と表示されているときは、ハイブリッドシステムを始動できません。必ず P にしてから始動してください（→ P. 143）

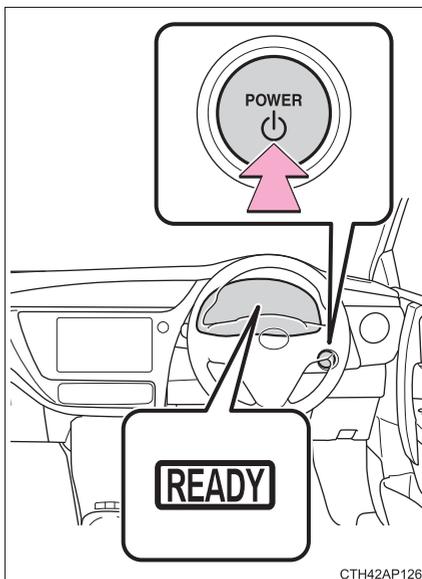
- 4 パワースイッチを短く確実に押す

短く確実に押せば、押し続ける必要はありません。

READYインジケーターが点灯すれば、ハイブリッドシステムは正常に始動しています。

READY インジケーターが点灯するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

パワースイッチのどのモードからでもハイブリッドシステムを始動できます。



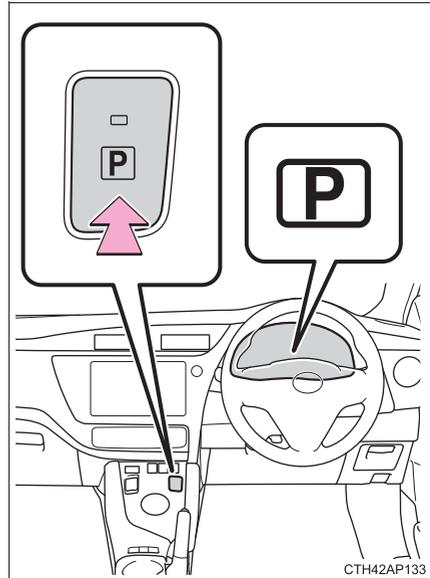
CTH42AP126

- 5 READY インジケーターが点灯したことを確認する  
READY インジケーターが消灯している状態では走行できません。

## ハイブリッドシステムの停止のしかた

- 1 車両を完全に停止させる
- 2 パーキングブレーキをかける (→ P. 149)
- 3 P ポジションスイッチを押して、シフトポジションをPにする (→ P. 143)

シフトポジション表示灯がPであることをメーターで確認する (→ P. 68)



- 4 パワースイッチを押す
- 5 ブレーキペダルから足を離して、マルチインフォメーションディスプレイの「電源 On」の表示が消灯していることを確認する

## パワースイッチの切りかえ

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、モードを切りかえることができます。(スイッチを押すごとにモードが切りかわります)

### OFF

非常点滅灯が使用できます。

### アクセサリモード

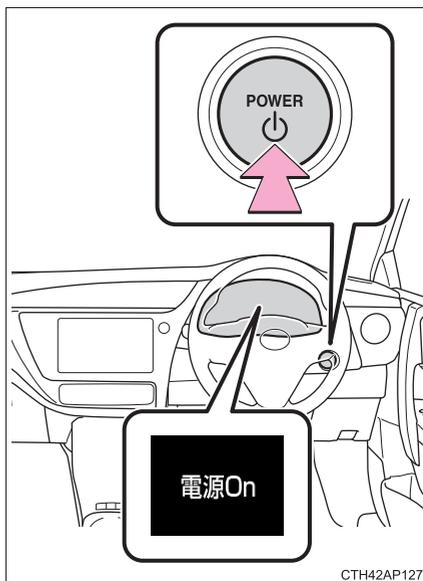
オーディオなどの電装品が使用できません。

マルチインフォメーションディスプレイに「電源 On」が表示されます。

### ON モード

すべての電装品が使用できます。

マルチインフォメーションディスプレイに「電源 On」が表示されます。



## 知識

### ■ 自動電源 OFF 機能

シフトポジションが P にあるとき、20 分以上アクセサリモードか 1 時間以上 ON モード（ハイブリッドシステムが作動していない状態）にしたままにしておくと、パワースイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、補機バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。ハイブリッドシステムが作動していないときは、パワースイッチをアクセサリモード、または ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

### ■ ハイブリッド車特有の音と振動について

→ P. 58

### ■ 電子キーの電池の消耗について

→ P. 88

### ■ 外気温が低いときは

ハイブリッドシステム始動時に READY インジケータの点滅時間が長くなる場合があります。READY インジケータが点灯すれば走行可能になりますので点灯するまでそのままお待ちください。

- **スマートエントリー&スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況**  
→ P. 102
- **ご留意いただきたいこと**  
→ P. 103
- **ハイブリッドシステムが始動しないとき**
  - イモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。(→ P. 66)  
トヨタ販売店へご連絡ください。
  - シフトポジション表示灯の N が点灯しているときは、ハイブリッドシステムを始動できません。必ず P にしてから始動してください。(→ P. 143)  
マルチインフォメーションディスプレイに「始動時は P レンジに入れてください」が表示されます。
- **マルチインフォメーションディスプレイに「スマートエントリー&スタートシステム故障 取扱書を確認」が表示されたときは**  
システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- **万一、READY インジケーターが点灯しないときは**  
正しい手順で始動操作を行っても READY インジケーターが点灯しない場合は、ただちにトヨタ販売店へご連絡ください。
- **ハイブリッドシステムに異常があるときは**  
→ P. 296
- **電子キーの電池が切れたときは**  
→ P. 261
- **パワースイッチの操作について**
  - スイッチを短く確実に押せていない場合は、モードの切りかえやハイブリッドシステムの始動ができません場合があります。
  - パワースイッチ OFF 後、すぐに再始動した場合は、ハイブリッドシステムが始動しない場合があります。パワースイッチ OFF 後の再始動は、数秒待ってから操作してください。

### ■自動 P ポジション切りかえ機能について

- シフトポジションP以外の状態で、車両を完全に停止させパワースイッチを押すと、自動的にシフトポジションが P に切りかわり、パワースイッチが OFF になります。
- P ポジション以外からパワースイッチを OFF するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み、シフトポジション<sup>※</sup>が P に切りかわったことを確認してから、ゆっくりブレーキペダルを離してください。
- ※ シフトポジション表示灯は、メーター表示が消えた後も数秒間表示されます。
- シフト制御システムが故障すると、パワースイッチを OFF にできなくなることがあります。その場合は、パーキングブレーキをかけると、スイッチを OFF にすることができます。システムが故障した場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたときは

→ P. 329

#### 警告

#### ■ハイブリッドシステムを始動するとき

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。  
思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■緊急時のハイブリッドシステム停止方法

走行中にハイブリッドシステムを緊急停止したい場合には、パワースイッチを 2 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してください。(→ P. 284)  
ただし、緊急時以外は走行中にパワースイッチにふれないでください。走行中にハイブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、ハンドルの操作力補助がなくなり、ハンドル操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

 **注意****■ 補機バッテリーあがりを防止するために**

- ハイブリッドシステム停止中は、パワースイッチをアクセサリモードまたは ON モードにしたまま長時間放置しないでください。
- ハイブリッドシステム停止中に、マルチインフォメーションディスプレイに「電源 On」が表示されている場合、パワースイッチが OFF になっていません。パワースイッチを OFF にしてから車両を離れてください。

**■ ハイブリッドシステムを始動するとき**

もしハイブリッドシステムが始動しにくい場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

**■ パワースイッチの操作について**

パワースイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにトヨタ販売店にご連絡ください。

## EV ドライブモード

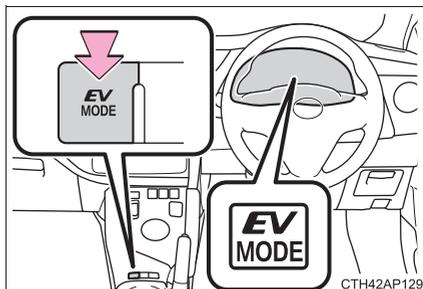
EV ドライブモードは、駆動用電池から電力を供給し、電気モーターのみを使って走行するモードです。早朝、深夜の住宅街や屋内の駐車場などで、騒音や排気ガスを気にすることなく走行することができます。

通常は車両接近通報装置が ON になっているため、静かに走行したい場合は OFF にしてください。(→ P. 57)

EV ドライブモードの ON / OFF を切りかえる

EV ドライブモードになると、マルチインフォメーションディスプレイに「EV MODE」が表示されます。

もう一度スイッチを押すと通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）にもどります。



### 知識

#### ■ EV ドライブモードの切りかえについて

次のときは EV ドライブモードに切りかわらない場合があります。EV ドライブモードに切りかわらないときはブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ハイブリッドシステムが高温のとき  
炎天下に駐車したあとや登降坂、高速走行後など
- ハイブリッドシステムが低温のとき  
約 0℃ を下まわるような低温下に長時間駐車したあとなど
- ガソリンエンジンが暖機運転中のとき
- 駆動用電池の充電量が低いとき  
エネルギーモニターに表示される駆動用電池の残量が少ない状態 (→ P. 83)
- 車速が高いとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など
- フロントウインドウガラスの曇り取りを使用しているとき

### ■ ガソリンエンジンが冷えているときの EV ドライブモードの切りかえについて

ガソリンエンジンが冷えているときにハイブリッドシステムを始動した場合、しばらくすると暖機運転のためガソリンエンジンが自動的に始動し、EV ドライブモードに切りかえることができなくなります。

ハイブリッドシステム始動操作後、READY インジケーターが点灯したら、ガソリンエンジンが始動する前に EV ドライブモードスイッチを押してください。

### ■ EV ドライブモードの自動解除について

EV ドライブモードで走行中、次のときは自動的に通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）になることがあります。EV ドライブモードが解除されるときは、ブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示され、EV ドライブモード表示灯が点滅したあと、消灯します。

#### ● 駆動用電池の充電量が低下したとき

エネルギーモニターに表示される駆動用電池の残量が少ない状態（→ P. 83）

#### ● 車速が高いとき

#### ● アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など

### ■ EV ドライブモードの走行可能距離

EV ドライブモードの走行可能距離は数百 m から約 2 km 程度です。ただし、車両の状況によっては EV ドライブモードが使用できない場合があります。（走行距離は、駆動用電池の充電量や走行状態によって異なります）

### ■ 走行モードの切りかえについて

EV ドライブモードとエコドライブモード／パワーモードは併用することができません。

ただし、パワーモードとの併用時は EV ドライブモードが自動解除されやすくなる場合があります。

### ■ 燃費について

ハイブリッドシステムは、通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）において、最も燃費がよくなるように制御されています。EV ドライブモードを多用すると、燃費が悪くなる場合があります。

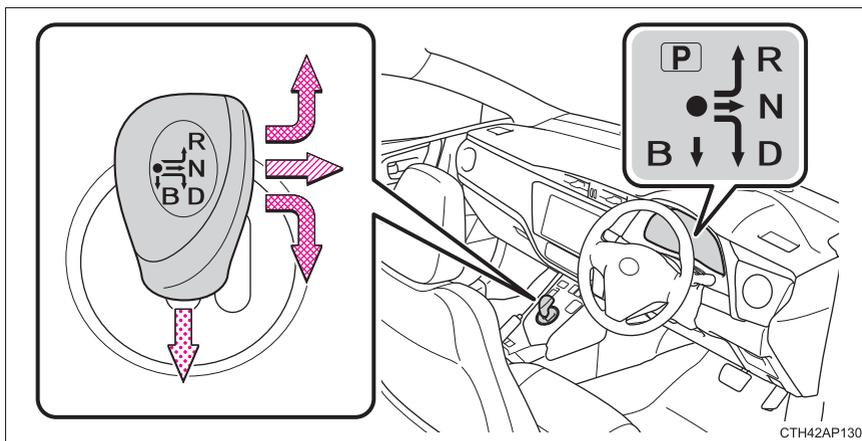
## ⚠ 警告

### ■ 走行中の警告

EV ドライブモードではエンジン音がしないため、周囲の人が車両の発進や接近に気が付かない場合があります。車両接近通報装置が ON でも、周囲の騒音などが大きい場合は、車両の接近に気が付かない場合がありますので、十分注意して運転してください。特に車両接近通報装置を OFF にしているときは、注意が必要です。

## トランスミッション

### シフトレバーの動かし方



シフトレバーは、ゆっくり確実に操作してください。  
シフトレバーを操作した後は、シフトレバーから手を離してください。シフトレバーが「 ● 」の位置に自然に戻ります。



D または R ポジションへ切りかえるときは、ゲートにそってそのまま操作します。



N ポジションへ切りかえるときは、右にスライドさせ、しばらく保持します。



B ポジションへ切りかえるときは、ゲートにそって下側に操作します。

B ポジションへの切りかえはシフトポジションが D のときのみ、切りかえが可能です。

P から N・D・R へ、または D から R、および R から D へ切りかえるときは、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

シフトポジションの選択時には、メーター内のシフトポジション表示灯が切りかわったことを必ず確認してください。

D・B ポジション以外のときは、シフトポジション表示灯の B 方向への矢印と B ポジション表示が消灯します。

## シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的および状態
P	駐車またはハイブリッドシステムの始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行※
B	坂道や急な下り坂など、強いエンジンブレーキが必要なとき

※ 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

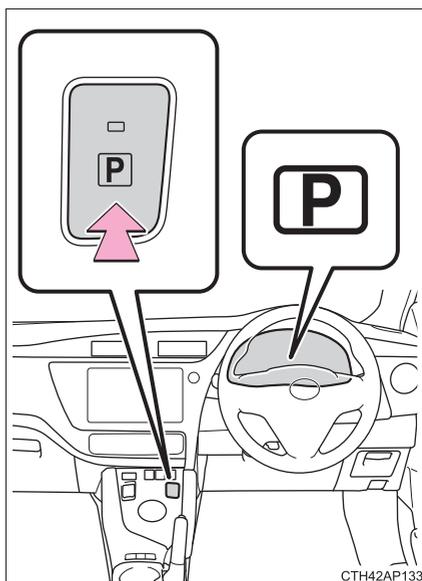
## P ポジションスイッチ

P ポジションスイッチを使用して、P ポジションへ切りかえることができます。

車を完全に停止させ、パーキングブレーキをかけ、P ポジションスイッチを押す

シフトポジションをPにすると、スイッチの作動表示灯が点灯します。

シフトポジション表示灯のPが点灯していることを確認してください。



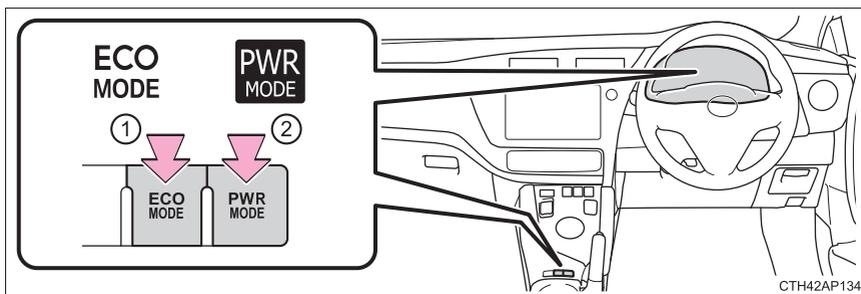
CTH42AP133

### ■ P から他のシフトポジションに切りかえるときは

- ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、シフトレバーを操作します。ブレーキペダルを踏まずにシフトレバーを操作すると、ブザーが鳴り、シフトポジションの切りかえができません。
- 操作後は、シフトポジション表示灯で、目的のシフトポジションに切りかわったことを必ず確認してください。
- P から直接、シフトポジションを B に切りかえることはできません。

## 走行モードの選択

走行・使用条件に合わせて次のモードを選択できます。



### ① エコドライブモード

通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになり、またエアコン（暖房／冷房）の作動を抑え、燃費を向上させる走行に適しています。

スイッチを押すと、メーター内の ECO MODE 表示灯が点灯します。

通常走行モードにもどすときは再度スイッチを押します。

### ② パワーモード

山岳路などで、アクセルレスポンスのよい、きびきびとした走りを楽しみたいときに適しています。

スイッチを押すと、メーター内のパワーモード表示灯が点灯します。

通常走行モードにもどすときは再度スイッチを押します。

 知識**■ エンジンブレーキについて**

- 高速走行時は、通常の車にくらべてエンジンブレーキによる減速感が小さくなります。
- 強いエンジンブレーキが必要な場合は、シフトポジションを B にしてください。B のまま走行し続けると、燃費の悪化につながります。通常は D で走行してください。

**■ リバース警告ブザー**

シフトポジションを R に入れるとブザーが鳴り、R にあることを運転者に知らせます。

**■ シフトポジションが N でアクセルペダルを踏んだとき**

ブザーが鳴り、N であることを運転者に知らせます。

**■ エコドライブモードのエアコン作動について**

エコドライブモードは暖房・冷房の作動や風量を抑制して、燃費向上を図っています。(→P. 211) 空調の効きをより良くしたいときは、設定温度や風量を調整するか、またはエコドライブモードを解除してください。

**■ シフトポジションについて**

- パワースイッチが OFF のときはシフトポジションの切りかえはできません。
- パワースイッチが ON モードで、READY インジケーターが消灯しているときは、N にのみ切りかえが可能です。シフトレバーを操作して D または R の位置で保持したときも N に切りかわります。
- READY インジケーターが点灯中は、P から、D・N・R を選択できます。
- READY インジケーターが点滅しているときは、シフトレバーを操作しても P から他のシフトポジションに切りかえることはできません。READY インジケーターが点滅から点灯にかわってから、再度シフトレバーを操作してください。
- D 以外から直接、B に切りかえることはできません。

また、次に示す操作をするとブザーが鳴り、シフトポジションの切りかえが無効になるときや、自動的に N に切りかわる場合があります。その場合は適切なシフトポジションに切りかえてください。

- シフトポジションの切りかえを無効にするとき
  - ・ P からブレーキペダルを踏まずにシフトレバーを操作したとき
  - ・ P または N から、B を選択したとき

- 自動的にシフトポジションが N に切りかわるとき
  - ・走行中に、P ポジションスイッチを押したとき※<sup>1</sup>
  - ・車両が前進しているときに R を選択したとき※<sup>2</sup>
  - ・車両が後退しているときに D を選択したとき※<sup>3</sup>
  - ・R から B を選択したとき

※<sup>1</sup> 極低速走行時は、P に切りかわることがあります。

※<sup>2</sup> 低速走行時は、R に切りかわることがあります。

※<sup>3</sup> 低速走行時は、D に切りかわることがあります。

#### ■クルーズコントロール★を使って走行しているとき

エンジブレーキを目的に走行モードをパワーモードにしても、クルーズコントロールが解除されないためエンジブレーキは効きません。(→P. 190)



#### 警告

##### ■すべりやすい路面を走行するとき

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジブレーキ力の急激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

##### ■シフトレバーについて

シフトレバーのノブを取りはずしたり、純正品以外のノブを取り付けたりしないでください。また、ものをぶら下げたりしないでください。シフトレバーが定位置にもどらなくなって、思わぬ事故につながるおそれがあります。

##### ■P ポジションスイッチについて

- 車が動いているときは、P ポジションスイッチにふれないでください。  
停車直前など、極低速走行中に P ポジションスイッチを押すと、シフトポジションが P に切りかわることがあるため、車が急停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 意図せぬシフトポジションの切りかわりを防止するため、操作時以外は P ポジションスイッチやシフトレバーにふれないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **注意****■ シフト制御システムの異常が考えられるとき**

次のような状態になったときは、シフト制御システムの異常が考えられます。安全で平坦な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて、トヨタ販売店にご連絡ください。

マルチインフォメーションディスプレイにシフト制御システムの異常警告メッセージが表示されたとき (→ P. 296)

- シフトポジション表示灯が点灯しないとき

**■ 駆動用電池の充電について**

シフトポジションがNでは、ガソリンエンジンが回転していても駆動用電池は充電されないため、Nで長時間放置すると駆動用電池の残量が低下し、走行不能になるおそれがあります。

**■ P ポジションから切りかわらないとき**

補機バッテリーあがりの可能性があります。補機バッテリーを確認してください。(→ P. 331)

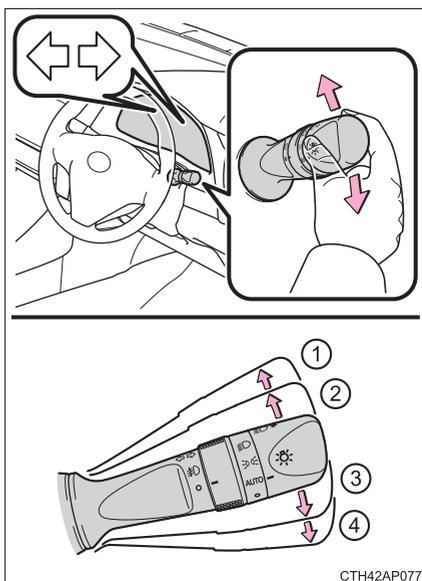
**■ シフトレバーとP ポジションスイッチ操作について**

シフトレバーとP ポジションスイッチの連続操作をくり返し行わないでください。システム保護のため一時的にP ポジションから切りかえることができなくなります。この場合は、約20秒待ってから操作してください。

## 方向指示レバー

### 操作のしかた

- ① 左折
- ② 左側へ車線変更  
(レバーを途中で保持)  
レバーを離すまで左側方向指示灯が点滅します。
- ③ 右側へ車線変更  
(レバーを途中で保持)  
レバーを離すまで右側方向指示灯が点滅します。
- ④ 右折



### 知識

#### ■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

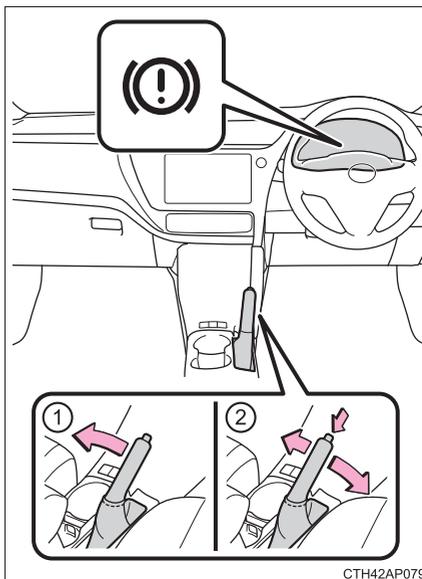
#### ■ 表示灯の点滅が異常に速くなったとき

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

## パーキングブレーキ

### 操作のしかた

- ① パーキングブレーキをかけるにはブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキレバーをいっぱいまで引く
- ② パーキングブレーキを解除するには、レバーを少し引き上げ、ボタンを押しながら完全に下までどす



### 知識

#### ■ 駐車するとき

→ P. 124

#### ■ パーキングブレーキ未解除警告ブザー

パーキングブレーキをかけたまま車速が 5km/h をこえたとき、警告ブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに「パーキングブレーキを解除してください」と表示されます。

#### ■ 冬季のパーキングブレーキの使用について

→ P. 203

### ⚠ 注意

#### ■ 走行前の注意

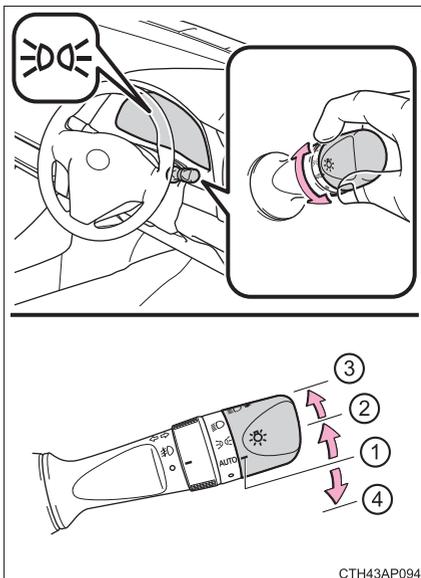
パーキングブレーキを完全に解除してください。  
パーキングブレーキがかかったまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

## ランプスイッチ

自動または手動でヘッドランプなどを点灯できます。

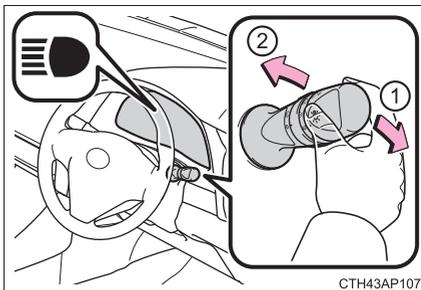
### 操作のしかた

- ① **AUTO** ヘッドランプ・LED デイライト (→P. 151)・車幅灯などを自動点灯・消灯  
(パワースイッチが ON モードのとき)
- ②  車幅灯・尾灯・番号灯・インストルメントパネルランプを点灯
- ③  上記ランプとヘッドランプを点灯
- ④  消灯



### ハイビームにする

- ① ヘッドランプ点灯時ハイビームに切りかえ  
レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。
- ② レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯  
ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。



## 知識

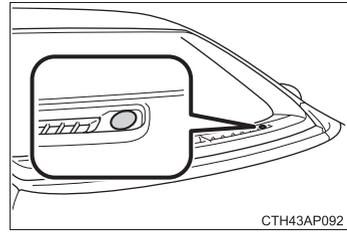
### ■ LED デイライト

日中での走行時、自車が他の運転者から見やすくなるように、ハイブリッドシステム始動後、パーキングブレーキを解除して、ランプスイッチを AUTO にすると、LED デイライトが自動で点灯します。(車幅灯より明るく点灯します)

LED デイライトは夜間の使用を意図したものではありません。

### ■ ライトセンサー

センサーの上にものを置いたり、センサーをふさぐようなものをフロントウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。



### ■ ランプ消し忘れ防止機能

パワースイッチを OFF にして運転席ドアを開けると、すべてのランプが消灯します。

再びランプを点灯する場合は、パワースイッチを ON モードにするか、一度ランプスイッチを OFF にもどし、再度  または  の位置にします。

### ■ ランプ消し忘れ警告ブザー

ヘッドランプ・尾灯が点灯している状態で運転席ドアを開けると、ランプ類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。

### ■ オートレベリングシステム

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

### ■ 節電機能

車両の補機バッテリーあがりを防止するため、パワースイッチがアクセサリモードまたは OFF の状態でヘッドランプまたは尾灯が点灯している場合、節電機能が働き約 20 分後にすべてのランプが自動消灯します。

次のいずれかをおこなった場合、節電機能は解除されます。

- ・ パワースイッチを ON モードにしたとき
- ・ ランプスイッチを操作したとき
- ・ ドアを開閉したとき

### ■ カスタマイズ機能

ライトセンサーの感度の設定などを変更できます。  
(カスタマイズ一覧：→ P. 350)

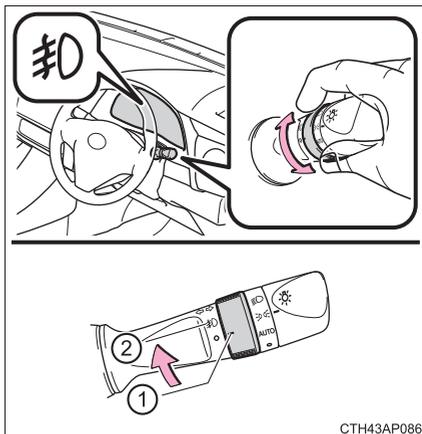
 **注意****■補機バッテリーあがりを防止するために**

ハイブリッドシステムを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

## フォグランプスイッチ

雨や霧などの悪天候下での視界を確保します。

- ① ○ 消灯する
- ② ㊦ 点灯する



### 知識

#### ■点灯条件

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

## ワイパー & ウォッシャー（フロント）

### 操作のしかた

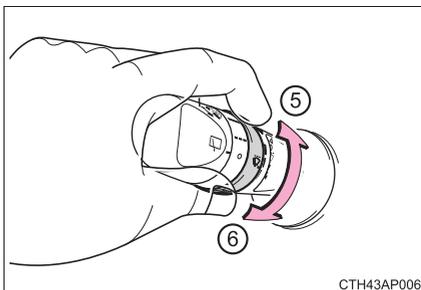
次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。

- ①  間欠作動（INT）
- ②  低速作動（LO）
- ③  高速作動（HI）
- ④  一時作動（MIST）

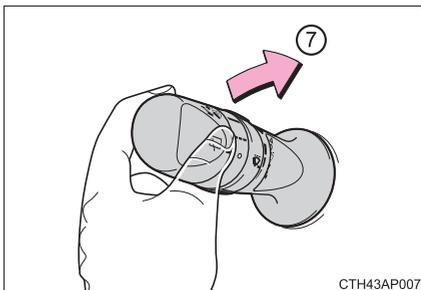


間欠作動を選択しているとき、間欠時間を調整することができます。

- ⑤ 間欠ワイパーの作動頻度（増）
- ⑥ 間欠ワイパーの作動頻度（減）



- ⑦ ウォッシャー液を出す  
ワイパーが連動して作動します。



 知識

## ■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

## ■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

 警告

## ■ ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍りつき、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意

## ■ フロントウインドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。  
ガラスを傷付けるおそれがあります。

## ■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。  
ポンプが故障するおそれがあります。

## ■ ノズルがつまったとき

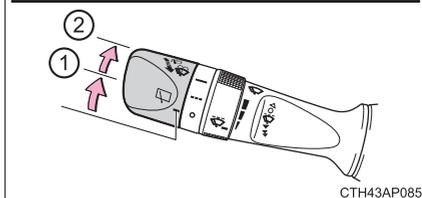
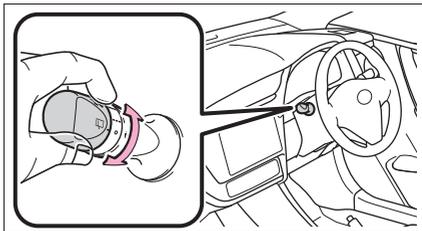
ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。  
ピンなどで取り除かないでください。  
ノズルが損傷するおそれがあります。

## ワイパー & ウォッシャー（リヤ）

### 操作のしかた

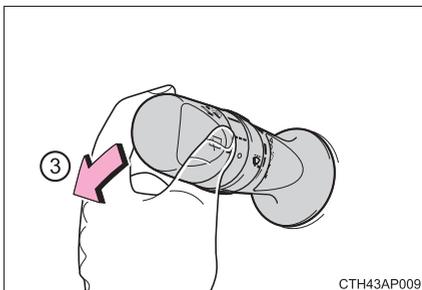
次のようにレバーをまわしてワイパーの作動を選択します。

- ①  間欠作動（LO）
- ②  通常作動（HI）



CTH43AP085

- ③ ウォッシャー液を出す  
ワイパーが連動して作動します。



CTH43AP009

### 知識

#### ■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

#### ■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

 **注意****■ リヤウインドウガラスが乾いているときは**

ワイパーを使わないでください。  
ガラスを傷付けるおそれがあります。

**■ ウォッシャー液が出ないときは**

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。  
ポンプが故障するおそれがあります。

**■ ノズルがつまったときは**

ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。  
ピンなどで取り除かないでください。  
ノズルが損傷するおそれがあります。

## 給油口の開け方

### 給油する前に

- ドアとドアガラスを閉め、パワースイッチを OFF にしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

### 知識

#### ■ 燃料の種類

無鉛レギュラーガソリン

#### ■ エタノール混合燃料について

エタノール混合燃料（エタノールの混合率 3% 以下、含酸素化合物の含酸素率 1.3% 以下）も使用することができます。

### 警告

#### ■ 給油するときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けしないでください。

静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。

- キャップはつまみ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆるめたときに、“シュー” という音がする場合は、その音が止まるまでキャップを保持してください。

すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあります。

 **警告**

- 気化した燃料を吸わないようにしてください。  
燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。
- 喫煙しないでください。
- ふきこぼれを防ぐため次の点に注意してください。
  - ・ 給油口にノズルを確実に挿入する
  - ・ 継ぎ足し給油をしない
- 正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

 **注意****■ 給油するとき**

指定のガソリンを使用してください。

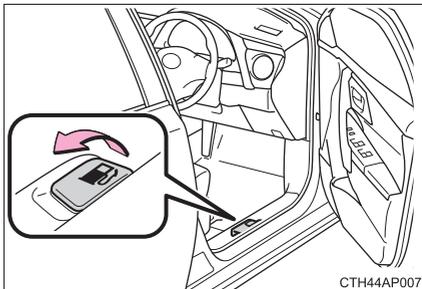
指定以外のガソリンや他の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。

次のような状態になるおそれがあります。

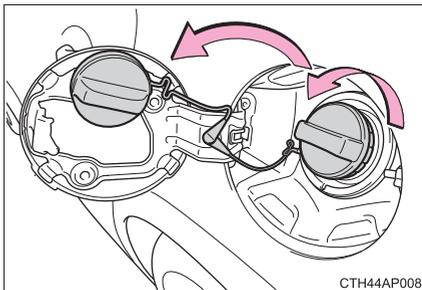
- エンジンの始動性が悪くなる
- エンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
- エンジン出力が低下する
- 排気制御システムが正常に機能しない
- 燃料系部品が損傷する
- 塗装が損傷する

### 給油口の開け方

- 1 オープナーを上げて、給油扉を開ける



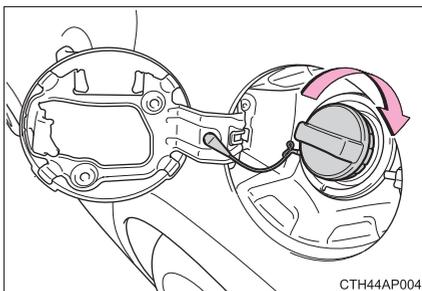
- 2 キャップをゆっくりまわして開け、ハンガーにかける



### 給油口の閉め方

キャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しもどります。



### ⚠ 警告

#### ■ キャップが正常に閉まらないとき

必ずトヨタ販売店へご連絡ください。

正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## Toyota Safety Sense C★

Toyota Safety Sense C は、次の運転支援装置によって運転者を補助し、安全で快適なドライブを支援します。

### ◆ PCS（プリクラッシュセーフティシステム）

→ P. 166

### ◆ LDA（レーンディパーチャーアラート）

→ P. 179

### ◆ オートマチックハイビーム

→ P. 184

### ◆ その他の運転支援機能

先行車発進告知機能

→ P. 188

### 警告

#### ■ Toyota Safety Sense C について

Toyota Safety Sense C は運転者の安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減に寄与することを目的としています。本システムは認識性能・制御性能に限界があります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 車両データの記録について

プリクラッシュセーフティシステムには、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが装備されており、主に次のようなデータを記録します。

- ・ アクセルペダルの操作状況
- ・ ブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速
- ・ プリクラッシュセーフティシステムの各機能の作動状況
- ・ 先行車などの障害物との距離、相対速度などの情報

上記に加え、プリクラッシュブレーキが作動した場合、前方センサーの画像情報も記録します。なお、会話などの音声や車内の映像は記録しません。

### ● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

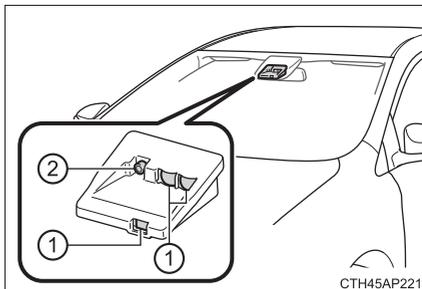
- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ トヨタが訴訟で使用する場合
- ・ 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

- 記録した画像情報は特別な装置を使用して消去することが可能です。また、画像情報を記録する機能を停止することも可能です。ただし、機能を停止するとプリクラッシュセーフティシステム作動時のデータは残りません。

## 前方センサー

フロントウインドウガラス上部にある2種類のセンサーにより、各運転支援装置の作動に必要な情報を認識します。

- ① レーザーレーダー
- ② 単眼カメラ



## 警告

前方センサーは、前方車両の検出にレーザー光を使用しており、IEC 60825-1 規格におけるレーザー等級 1M に相当します。通常の使用においてレーザー光が目には障害をおよぼす危険はありませんが、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと重大な視覚障害におよぶか、最悪の場合失明につながるおそれがあります。

- 有害なレーザー照射を避けるため、前方センサーは絶対に分解や取りはずしをしないでください。また、分解した前方センサーは IEC 60825-1 規格におけるレーザー等級 3B に相当し、目に有害です。
- 光学機器（拡大鏡・顕微鏡・虫眼鏡など）を使用して、100mm 以内の距離からセンサーをのぞきこまないでください。

レーザー等級ラベル

**INVISIBLE LASER RADIATION  
DO NOT VIEW DIRECTLY WITH  
OPTICAL INSTRUMENTS (MAGNIFIERS)  
CLASS 1M LASER PRODUCT**

レーザー説明ラベル

**Max average power: 45 mW  
Pulse duration: 33 ns  
Wavelength: 905 nm**

IEC 60825-1:2007

Complies with FDA performance standards for laser products  
except for deviations pursuant to Laser Notice No. 50, dated  
**July 26<sup>th</sup>, 2001**

レーザー放射仕様

最大出力（平均）：45 mW

パルス持続時間：33 ns

波長：905 nm

発散角（水平×垂直）：28° × 12°

## 警告

### ■前方センサーの故障や誤作動を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、前方センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ●フロントウインドウガラスは常にきれいにしておく

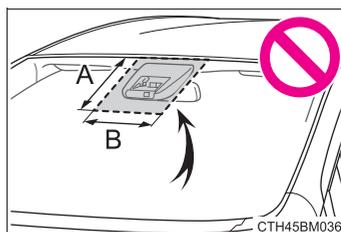
フロントウインドウガラス外側に汚れ・油膜・水滴・雪などが付着した場合は、取り除いてください。

フロントウインドウガラス内側の前方センサー取り付け部が汚れた場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

#### ●フロントウインドウガラス外側の前方センサー前部（図に示す範囲内）にステッカー（透明なものを含む）などを貼り付けない

A: フロントウインドウガラス上端から前方センサー下端より下約 10cm まで

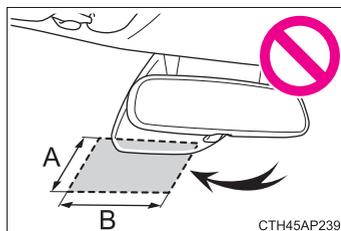
B: 約 20cm（前方センサー中心から左右約 10cm）



#### ●フロントウインドウガラス内側の前方センサー下部（図に示す範囲内）に何も取り付けたり、貼り付けたりしない

A: 前方センサー下端から下約 10cm まで

B: 約 20cm（前方センサー中心から左右約 10cm）



#### ●冬季のように、車室内と外気の温度差が大きいときなどは、フロントウインドウガラスが曇りやすくなります。フロントウインドウガラスの前方センサー前部が曇ったり、結露したり、凍結したりすると、システムが一時的に作動しなくなることもあり、PCS 警告灯が点滅します。その場合は、フロントデフロスターで曇りなどを取り除いてください。（→ P. 209）

#### ●前方センサー前部に水滴が付着したときはワイパーでふき取る 水滴のふき取りが不十分な場合、性能が低下することがあります。

#### ●フロントウインドウガラスの前方センサー前部の水滴をワイパーが正しくふき取れないときは、ワイパーゴムまたはワイパーブレードを交換する ワイパーブレードの交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

#### ●フロントウインドウガラスにフィルムを貼らない

 **警告**

- フロントウインドウガラスに傷・ひびなどが生じた場合は、そのまま放置せず  
に交換する  
フロントウインドウガラスの交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- 前方センサーの前にアンテナを取り付けない
- 前方センサーに液体をかけない
- 前方センサーに強い光を照射しない
- 前方センサーのレンズを汚したり、傷を付けたりしない  
フロントウインドウガラス内側を掃除するときは、ガラスクリーナーがレンズ  
に付着しないようにしてください。また、レンズにはふれないでください。  
レンズに汚れ・傷がある場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- 前方センサーに強い衝撃を加えない
- 前方センサーの取り付け位置や向きを変更したり、取りはずしたりしない
- 前方センサーを分解しない
- 前方センサー付近に電子機器や、強い電波を発信する機器を取り付けない
- インナーミラー・サンバイザーなどの前方センサー周辺部品や天井を改造しない
- ボンネット・フロントグリル・フロントバンパーに、前方センサーの視界をさ  
えぎる可能性のあるアクセサリを取り付けない  
詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。
- ルーフ上に全長の長い荷物（サーフボードなど）を積むときは、前方センサー  
の視界をさえぎらないようにする
- ヘッドランプなどのランプ類を改造しない
- ダッシュボードには何も取り付けたり、置いたりしない

## PCS (プリクラッシュセーフティシステム) ★

進路上の車両を前方センサーで検出し、衝突の可能性が高いと判断したときに、警報やブレーキ力制御により運転者の衝突回避操作を補助します。また、衝突の可能性がさらに高まったと判断したときは、自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。

必要に応じて、プリクラッシュセーフティシステムの ON / OFF や、警報タイミングを切りかえることができます。(→ P. 169)

### ◆ 衝突警報

先行車と衝突の可能性が高いと判断したとき、“ピピピ・・・”とブザー音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージを表示し、回避操作をうながします。



### ◆ プリクラッシュブレーキアシスト

先行車と衝突の可能性が高いと判断したとき、ブレーキペダルが踏まれる強さに反応してブレーキ力を増強します。

### ◆ プリクラッシュブレーキ

先行車と衝突の可能性が高いと判断したときに衝突警報を行い、さらに衝突の可能性が高まったと判断したときは、ブレーキが自動でかかり、衝突回避を支援、あるいは衝突速度の低減に寄与します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 警告

## ■安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。  
プリクラッシュセーフティシステムを日常のブレーキ操作のかわりには絶対に使用しないでください。本システムはあらゆる状況で衝突を回避または衝突の被害を軽減するものではありません。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- プリクラッシュセーフティシステムは衝突の回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与することを目的として設計していますが、その効果はさまざまな条件によりかわり、常に同じ性能を発揮できるものではありません。  
次の項目をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。
  - ・ 衝突の可能性がなくてもシステムが作動するおそれがあるとき：→P. 171
  - ・ システムが正常に作動しないおそれがあるとき：→P. 175
- お客様ご自身でプリクラッシュセーフティシステムの作動テストを行わないでください。状況によってシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ■プリクラッシュブレーキについて

- プリクラッシュブレーキは運転者の操作状態によっては作動しません。運転者がアクセルペダルを強く踏んでいたり、ハンドルを操作したりしていると、場合によっては運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキが作動しない場合があります。
- プリクラッシュブレーキ作動中に、アクセルペダルを強く踏んだり、ハンドルを操作したりすると、場合によっては運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキの作動が解除されます。
- プリクラッシュブレーキ作動時は、強いブレーキがかかります。プリクラッシュブレーキは車両が停止してから約2秒後に解除されます。必要に応じて運転者自らブレーキをかけてください。
- ブレーキペダルを踏んでいるときは、運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキの作動開始タイミングを遅らせる場合があります。
- 走行中、システムは踏切の遮断機などの前方障害物を衝突対象物と認識し、プリクラッシュブレーキを作動させることがあります。万一踏切内に閉じ込められた場合などは、以下の操作で車両を前進させ、状況に応じて安全を確保して下さい。
  - ・ 車両停止後に再度アクセルペダルを踏む
  - ・ 減速中にアクセルペダルを深く踏み込む（→P. 170）
  - ・ プリクラッシュセーフティシステムを OFF にする（→P. 169）

 **警告****■プリクラッシュセーフティシステムを OFF にするとき**

次のときは、システムを OFF にしてください。  
システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- けん引されるとき
- けん引するとき
- トラック・船舶・列車などに積載するとき
- 車両をリフトで上げ、ハイブリッドシステムを始動しタイヤを空転させるとき
- 点検でシャシーダイナモやフリーローラーなどを使用するとき
- 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
- オフロード走行やスポーツ走行をするとき
- タイヤの性能を発揮できないとき（→ P. 255, 260）
- メーカー指定のサイズ以外のタイヤを取り付けているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 応急用タイヤやタイヤパンク応急修理キットを使用しているとき

## プリクラッシュセーフティシステムの設定変更

### ■ プリクラッシュセーフティシステムの ON/OFF を変更する

システムを OFF にするには、PCS スイッチを 3 秒以上押す。

システムを OFF にすると、PCS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

システムを ON にするには、もう一度 PCS スイッチを押します。

ハイブリッドシステムを始動するたび、プリクラッシュセーフティシステムは ON になります。

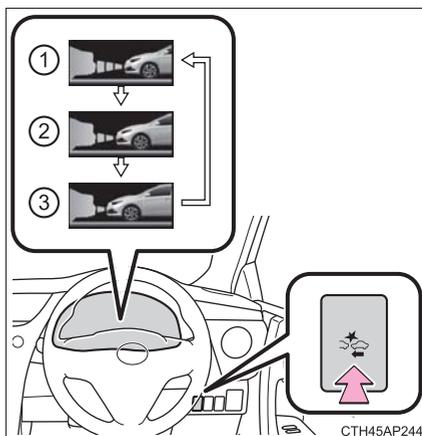


### ■ プリクラッシュセーフティシステムの警報タイミングを変更する

PCS スイッチを押すとマルチインフォメーションディスプレイに現在の警報タイミングが表示されます。表示された状態で PCS スイッチを押すごとに、次のように警報タイミングが切りかわります。

いったん警報タイミングを変更すると、次回ハイブリッドシステムを始動したときにも、そのままの状態が続きます。

- ① 遠い  
「中間」より警報タイミングが早くなる
- ② 中間  
初期設定
- ③ 近い  
「中間」より警報タイミングが遅くなる



 知識**■ システムの作動条件**

プリクラッシュセーフティシステムが ON で、先行車と衝突の可能性が高いと判断したときに作動します。

各機能の作動速度は次のとおりです。

**● 衝突警報**

- ・ 自車速度約 15km/h ~ 140km/h
- ・ 自車から見た先行車との相対速度約 15km/h 以上

**● プリクラッシュブレーキアシスト**

- ・ 自車速度約 30 ~ 80km/h
- ・ 自車から見た先行車との相対速度約 30km/h 以上

**● プリクラッシュブレーキ**

- ・ 自車速度約 10 ~ 80km/h
- ・ 自車から見た先行車との相対速度約 10km/h 以上

ただし、次のときシステムは作動しません。

- 補機バッテリー端子を脱着したあと、しばらく走行するまでのあいだ
- シフトポジションが R のとき
- VSC が OFF のとき（衝突警報のみ作動可能状態になります）
- PCS 警告灯が点滅または点灯しているとき

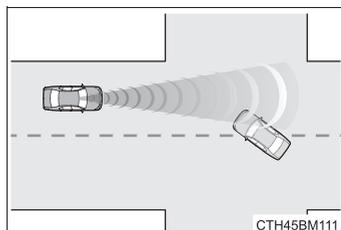
**■ プリクラッシュブレーキの作動解除**

- プリクラッシュブレーキ作動中に次の操作をすると、プリクラッシュブレーキの作動が解除されます。
  - ・ アクセルペダルを強く踏み込む※
  - ・ ハンドルを大きくきる、またはすばやく操作する
- ※ 車速が約 15 km/h 以下でアクセルペダルを強く踏み込んだ場合、誤発進操作とシステムが判断してプリクラッシュブレーキの作動が解除されないことがあります。
- プリクラッシュブレーキの作動により車両が停止したときは、車両が停止してから約 2 秒後にプリクラッシュブレーキの作動が解除されます。

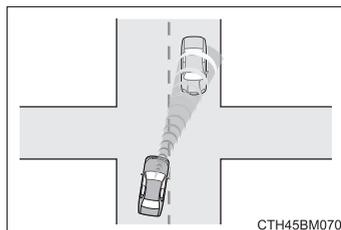
## ■衝突の可能性がなくてもシステムが作動するおそれがあるとき

- 例えば次のような状況では、システムが衝突の可能性があると判断し、作動するおそれがあります。

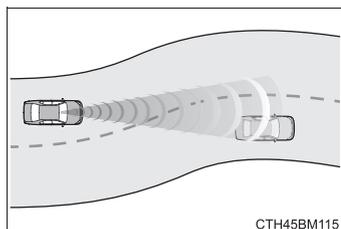
- ・ 右左折待ちの対向車とすれ違うとき



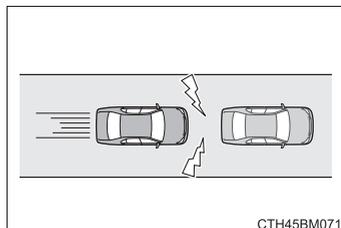
- ・ 右左折時に対向車とすれ違ったとき



- ・ 隣の車線の前方車両との位置関係がずれる道（曲がりくねった道など）を走行するとき

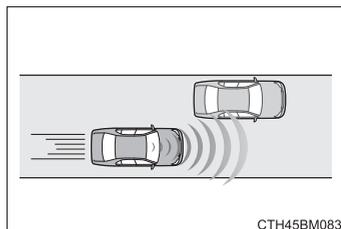


- ・ 先行車に急速に接近したとき

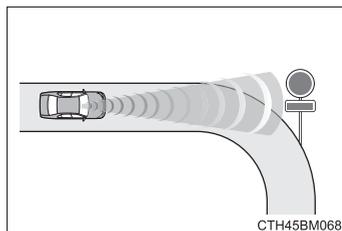


- ・ 路面にうねり・凹凸があるときなど、車両姿勢が変化しているとき

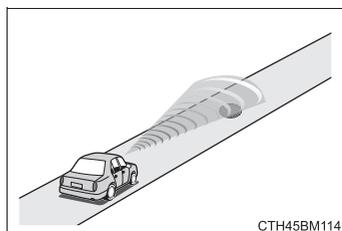
- ・ 車両や構造物のすぐそばを通過するとき



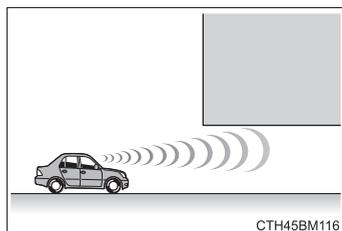
- ・カーブの入り口の道路脇に車両・構造物が存在するとき



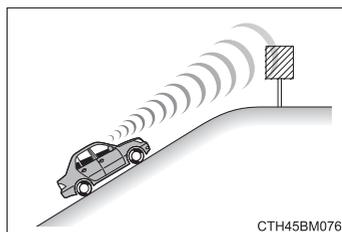
- ・道路脇が構造物に囲まれた狭い道（狭いトンネル・鉄橋など）を走行するとき
- ・路上または道路脇に反射物（マンホール・鉄板など）・段差・くぼみ・突起物があるとき



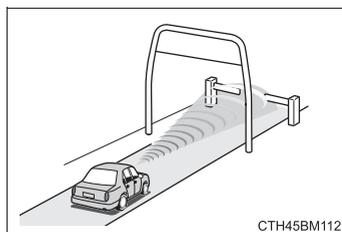
- ・道路上方に構造物（天井の低いトンネル・道路標識など）がある場所を走行するとき



- ・上り坂で進行方向の道路上方に構造物（立体交差・道路標識・看板・街灯など）があるとき

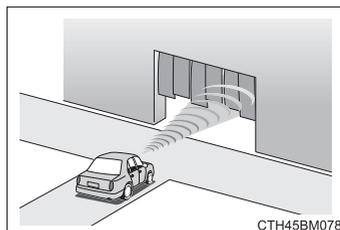


- ・ETCゲートや駐車場のゲートなどの開閉バーに急速に接近したとき

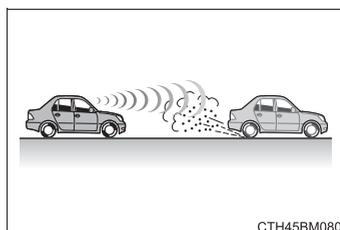


- ・洗車機を使用するとき

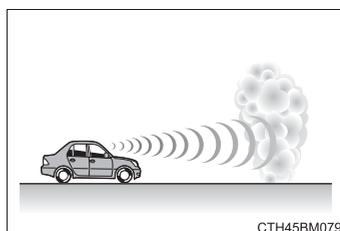
- ・ 車両に覆い被さるような障害物（垂れ幕・垂れ下がった枝・生い茂った草など）がある場所を走行するとき



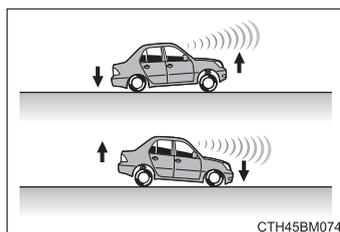
- ・ 前方車両から水・雪・土埃などの巻き上げがあるとき



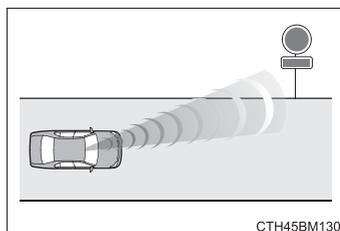
- ・ 車両前方に水蒸気や煙などがあるとき



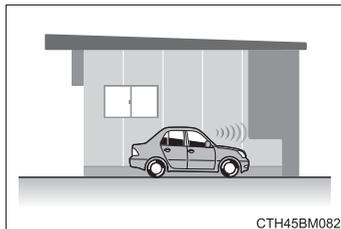
- ・ 路面または壁面に車両との区別が付きにくい模様・ペイントがあるとき
- ・ 車両姿勢が変化しているとき



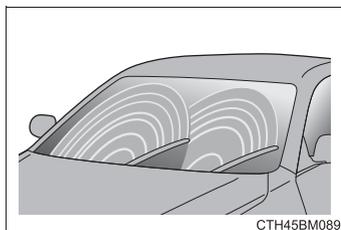
- ・ センサーへの強い衝撃などにより、センサーの向きがずれているとき



- ・ 前方センサーの高さに突き出た障害物がある場所に駐停車するとき



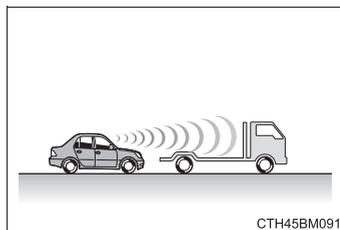
- ・ フロントウインドウガラスが雨滴などで覆われているとき



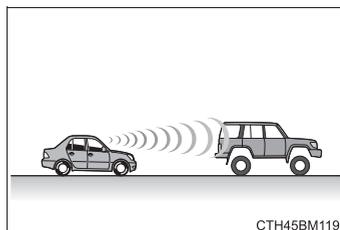
## ■ システムが正常に作動しないおそれのあるとき

- 例えば次のような状況では、前方センサーが対象となる車両を検出できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

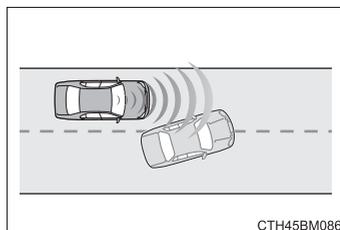
- ・ 前方から自車に向かって車両が近づいてくるとき
- ・ 前方車両が横向き、自車向きするとき
- ・ 先行車の後端面積が小さいとき（空荷のトラックなど）
- ・ 先行車の後端が低い位置にあるとき（低床トレーラーなど）



- ・ 前方車両の荷台から荷物がはみ出しているとき
- ・ 前方車両の最低地上高が極端に高いとき

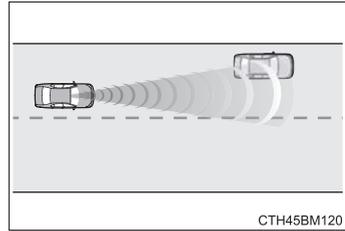


- ・ 前方車両が特殊な形状のとき（トラクター・サイドカーなど）
- ・ 前方車両が太陽光などを強く反射しているとき
- ・ 車両が横から割り込んできたり、飛び出してきたりしたとき



- ・ 前方車両が急な動きをしたとき（急ハンドル・急加速・急減速など）
- ・ 自車が車線変更を行い、変更した車線の先行車に急接近したとき

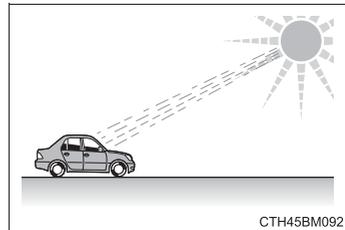
- ・ 前方車両と自車の中心がずれているとき



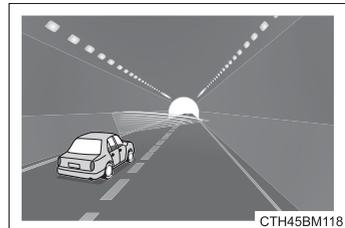
- ・ 悪天候（雨・霧・雪・砂嵐など）のとき



- ・ 前方車両から水・雪・土埃などの巻き上げがあるとき
- ・ 水蒸気や煙などで前方車両が見えないとき
- ・ 周囲の明るさが急激に変化する場所を走行するとき（トンネルの出入り口など）
- ・ 強い光（太陽光や対向車のヘッドランプ光など）が前方センサーに直接あたっているとき

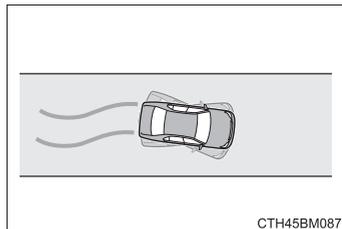


- ・ 薄暗いとき（朝方・夕方など）、および夜間やトンネル内

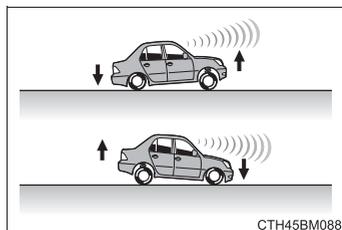


- ・ カーブ走行中およびカーブを曲がりきってからしばらくの間

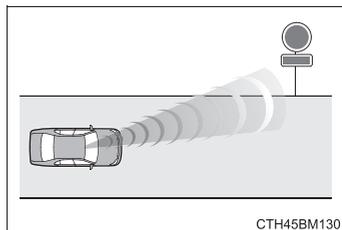
- ・ 自車が横すべりしているとき



- ・ 車両姿勢が変化しているとき



- ・ ホイールアライメントがずれているとき
- ・ ワイパーブレードが前方センサーの視界をさえぎっているとき
- ・ ふらつき運転をしているとき
- ・ 過度な高速走行をしているとき
- ・ きついカーブや起伏がある場所を走行するとき
- ・ 先行車がレーザー波を反射しにくい状態のとき
- ・ センサーへの強い衝撃などにより、センサーの向きがずれているとき



● 例えば次のような状況では、制動力が十分に得られず、システムの性能を発揮できないおそれがあります。

- ・ ブレーキ性能が十分に発揮できない場合(ブレーキ部品が極度に冷えている・加熱している・濡れているなど)
- ・ 車両の整備状態(ブレーキ部品・タイヤの磨耗や空気圧など)が良好でないとき
- ・ 砂利道や滑りやすい路面を走行しているとき

### ■PCS 警告灯が点滅、およびマルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されたとき

システムが一時的に作動しない、またはシステムに異常があるおそれがあります。

- 次のときは、状況が改善されると PCS 警告灯・警告メッセージが消え、作動可能状態になります。
  - ・炎天下に駐車したあとなど、前方センサー周辺の温度が高いとき
  - ・フロントウインドウガラスが曇ったり、結露したり、凍結したりしているとき (→ P. 209)
  - ・極寒の環境などで、前方センサーや前方センサー周辺の温度が低いとき
  - ・ボンネットが開いているときや、フロントウインドウガラスの前方センサー付近にシールが貼り付けられているときなど、前方センサーの前方がさえぎられているとき
- PCS 警告灯が点滅したままのとき、および警告メッセージが表示されたままのときは、システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■VSC を停止したとき

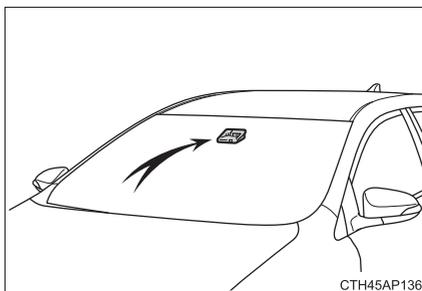
- TRC と VSC の作動を停止 (→ P. 196) したときは、プリクラッシュブレーキアシスト・プリクラッシュブレーキの作動も停止します。ただし、衝突警報は作動します。
- PCS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「VSC が Off のためプリクラッシュブレーキも停止します」が表示されます。

## LDA (レーンディパーチャーアラート／車線逸脱警報) ★

### 機能概要

白（黄）線の整備された道路を走行中、車線からの逸脱の可能性を運転者に警告します。

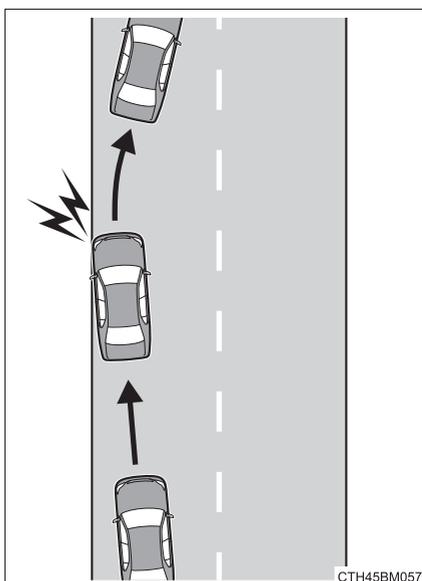
LDA は、フロントウィンドウガラス上部の前方センサーで、白（黄）線を認識します。



### 車線逸脱警報機能

車両が車線から逸脱する可能性がある場合に、マルチインフォメーションディスプレイの表示および、警報ブザーにより注意をうながします。

警報ブザーが鳴ったときは、周りの道路状況を確認の上、ハンドルを慎重に操作して、白（黄）線内の中央付近にもどってください。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■ LDA をお使いになる前に**

LDA を過信しないでください。LDA は自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ハンドル操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。また、長時間の運転などによる疲労時は適切に休憩をとってください。

適切な運転操作をしなかったり、注意を怠ったりすると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

**■ 誤作動を防ぐために**

LDA を使用しないときは、LDA スイッチでシステムを OFF にしてください。

**■ LDA の故障、または誤作動を防ぐために**

- ヘッドランプを改造したり、ランプの表面にステッカーなどを貼ったりしないでください。
- サスペンションなどを改造しないでください。交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- ボンネットやグリルの上には、何も取り付けたり置いたりしないでください。また、グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）を取り付けたりしないでください。
- フロントウインドウガラスの修理が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

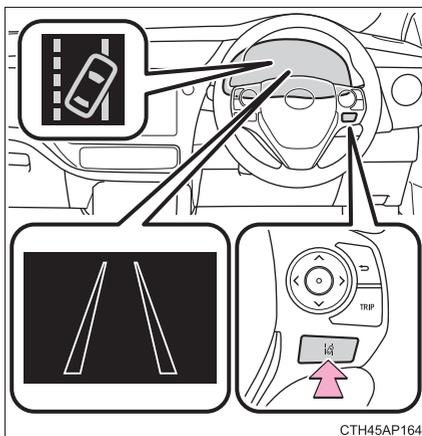
## 設定のしかた

LDAを使用するにはLDAスイッチを押す

メーター内のLDA表示灯が緑色で点灯します。

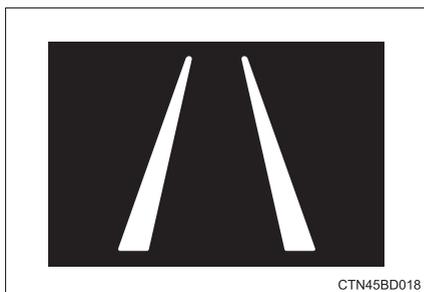
OFFにするには再度LDAスイッチを押します。

いったんLDAをON/OFFすると、次回ハイブリッドシステムを始動したときにも、そのままの状態が続きます。



CTH45AP164

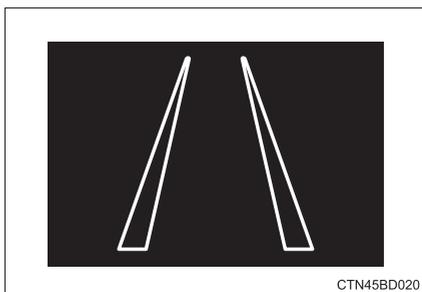
## マルチインフォメーションディスプレイ表示



CTN45BD018

白線表示の内側が白いとき：

システムが白（黄）線を認識していることを示しています。車両が車線から逸脱した場合、逸脱している側の白線表示がが橙色で点滅します。



CTN45BD020

白線表示の内側が黒いとき

システムが白（黄）線を認識できていない、またはシステムが一時的に解除されていることを示しています。

 知識**■ 作動条件**

次の条件をすべて満たしたとき作動します。

- LDA を ON にしているとき
- 車速が約 50km/h 以上のとき
- システムが白（黄）線を認識しているとき
- 車線の幅が約 3m 以上のとき
- 方向指示レバーを操作していないとき
- 直線路または半径が約 150m よりゆるいカーブを走行しているとき
- システムの異常が検知されていないとき（→ P. 292）

**■ 機能の一時解除**

作動条件（→ P. 182）が満たされなくなった場合、一時的に機能が解除されますが、ふたたび作動条件が満たされると、自動的に復帰します。

**■ 車線逸脱警報機能について**

外部の騒音やオーディオの音などにより、警報ブザーが聞きとりにくい場合があります。

**■ 白（黄）線が片側にしかないとき**

白（黄）線が認識できていない方向への車線逸脱警報は作動しません。

**■ 炎天下に駐車したあとは**

走行開始後、しばらくのあいだ LDA は作動せず、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されることがあります。室内温度が低下し、前方センサー周辺（→ P. 162）の温度が適温になると作動するので、いったん LDA スイッチを OFF にして、しばらくしてから ON にしてください。

## ■機能が正常に作動しないおそれのある状況

次の状況では、前方センサーが白（黄）線を正しく検知できず、車線逸脱警報機能が正しく作動しないことがあります。故障ではありません。

- 白（黄）線に平行するような影がある、または白（黄）線が影の中にあるとき
- 料金所や検札所の手前や交差点など、白（黄）線がない場所を走行するとき
- 白（黄）線がかすれている、またはキャッツアイ（道路釘）や置き石などがあるとき
- 白（黄）線が砂ぼこりなどで見えない、または見えにくくなっているとき
- 雨天・雨上がり・水たまりなどぬれた路面を走行しているとき
- 車線が黄色のとき（白線にくらべて認識率が低下することがあります）
- 白（黄）線が縁石等の上に引かれているとき
- コンクリート路のような明るい路面を走行しているとき
- 照り返しなどにより明るくなった路面を走行しているとき
- トンネルの出入口など明るさが急変する場所を走行しているとき
- 対向車のヘッドランプ光・太陽光などがカメラに入射しているとき
- 分岐・合流路などを走行しているとき
- 坂道を走行しているとき
- 左右に傾いた道路やうねった道路を走行しているとき
- 舗装されていない道路や荒れた道路を走行しているとき
- 急カーブを走行しているとき
- 車線の幅が極端に狭いとき、または広いとき
- 重い荷物の積載やタイヤ空気圧の不足などで、車両が著しく傾いているとき
- 先行車との車間距離が極端に短くなったとき
- 走行中の路面状況（悪路・道路の継ぎ目など）により、車両が上下に大きく揺れているとき
- 夜間にヘッドランプのレンズが汚れて照射が弱いときや、光軸がずれているとき
- 車線変更をした直後、または交差点を通過した直後

## ■警告メッセージ

走行操作に関して注意が必要な場合や、システムに異常が発生したときには、警告メッセージで注意をうながします。

警告メッセージが表示されても、通常の走行に支障はありません。

## ■カスタマイズ機能

→ P. 78

## オートマチックハイビーム★

オートマチックハイビームは、フロントウインドウガラス上部に設置された前方センサーにより前方車両のランプや街路灯などの明るさを判定し、自動的にハイビームとロービームを切りかえます。

### ⚠ 警告

#### ■安全にお使いいただくために

オートマチックハイビームを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手でハイビームとロービームを切りかえてください。

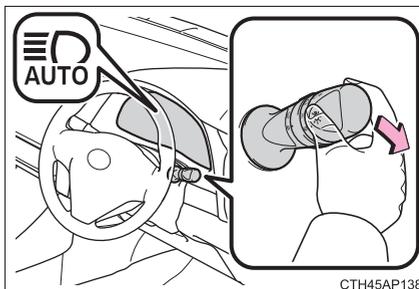
#### ■オートマチックハイビームの誤操作を防ぐために

荷物を積み過ぎないでください。

### オートマチックハイビームの使い方

ランプスイッチを **AUTO** にし、レバーを前方へ押す

オートマチックハイビームが作動すると、オートマチックハイビーム表示灯が点灯します。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

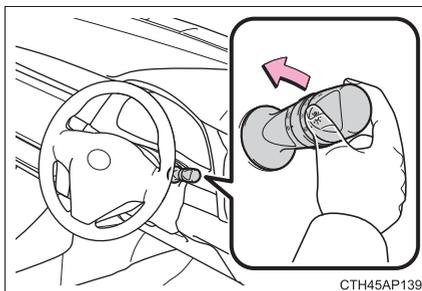
## 手動切りかえのしかた

### ■ ロービームへの切りかえ

レバーをもとの位置にもどす

オートマチックハイビーム表示灯が消灯します。

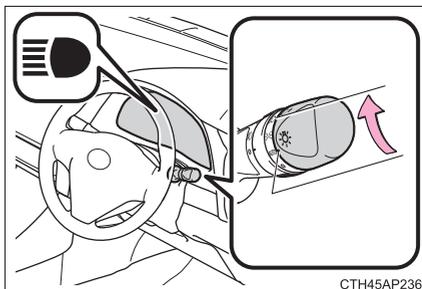
オートマチックハイビームにもどすには、再度レバーを前方に押しします。



### ■ ハイビームへの切りかえ

ランプスイッチを  にする

オートマチックハイビーム表示灯が消灯し、ハイビーム表示灯が点灯します。



## 知識

### ■ ハイビームとロービームの自動切りかえ条件

● 次の条件をすべて満たすと、ハイビームを点灯します。

- ・ 車速が約 30km/h 以上
- ・ 車両前方が暗い
- ・ 前方にランプを点灯した車両がない
- ・ 前方の道路沿いの街路灯の光が少ない

● 次の条件のいずれかのときはロービームが点灯します。

- ・ 車速が約 25km/h 以下
- ・ 車両前方が明るい
- ・ 前方車両がランプを点灯している
- ・ 前方の道路沿いの街路灯の光が多い

### ■前方センサーの検知について

- 次の状況では、ハイビームが自動でロービームに切りかわらない場合があります。
  - ・ 見通しの悪いカーブで対向車と突然すれ違ったとき
  - ・ 他車が前方を横切ったとき
  - ・ 連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで前方車両が見え隠れするとき
  - ・ 前方車両が離れた車線から接近してきたとき
  - ・ 前方車両が無灯火のとき
- 前方車両のフォグランプにより、ハイビームがロービームに切りかわる場合があります。
- 街路灯や信号・広告などの照明、または標識・看板などの反射物によりハイビームがロービームに切りかわる場合や、ロービームが継続する場合があります。
- 次の原因により、ハイビームとロービームの切りかえのタイミングが変化する場合があります。
  - ・ 前方車両のランプの明るさ
  - ・ 前方車両の動きや向き
  - ・ 前方車両のランプが片側のみ点灯しているとき
  - ・ 前方車両が二輪車のとき
  - ・ 道路の状態（勾配やカーブ、路面状況など）
  - ・ 乗車人数や荷物の量
- ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切りかわる場合があります。
- 自転車などの軽車両は検知しない場合があります。

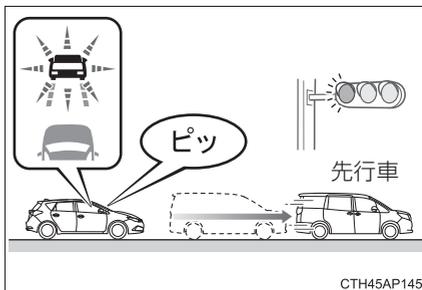
- 次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが歩行者や前方車両などの迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切りかえてください。
  - ・ 悪天候時（霧・雪・砂嵐・大雨など）
  - ・ フロントウインドウガラスが汚れているときや、曇っているとき
  - ・ フロントウインドウガラスにひび割れや破損があるとき
  - ・ 前方センサーが変形しているときや、汚れているとき
  - ・ 前方センサーの温度が非常に高いとき
  - ・ 周囲にヘッドランプや尾灯などに似た光があるとき
  - ・ 前方車両のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があるとき、または光軸がずれているとき
  - ・ 急激な明るさの変化が連続するとき
  - ・ 起伏や段差が多い道路を走行しているとき
  - ・ カーブが多い道路を走行しているとき
  - ・ 車両前方に標識やミラーのように光を強く反射するものがあるとき
  - ・ コンテナなど、先行車両の後部が光を強く反射するとき
  - ・ 自車のヘッドランプが破損または汚れているとき
  - ・ パンクやけん引などにより車両が傾いているとき
  - ・ ハイビームとロービームをひんばんに切りかえているとき
  - ・ ハイビームの使用に問題がある、または他の運転者・付近の歩行者の迷惑になると思われるとき

## 先行車発進告知機能★

先行車の発進後、自車が停車し続けた場合、警告ブザーと表示でお知らせするシステムです。

### 先行車発進告知機能

前の車に続いて停車しているときに先行車を認識し続け、先行車が発進してしばらく進んでも自車が停車し続けた場合に告知します。



CTH45AP145

### 知識

#### ■ 作動条件

シフトポジションがP・R以外でブレーキペダルを踏んで停車している、またはシフトポジションがNで停車しているとき

#### ■ 先行車が発進していても先行車発進告知機能が作動しないおそれのある状況

例えば次のような状況では、前方センサーが対象を検出できず、先行車発進告知機能が正常に作動しないおそれがあります。

- 自車と先行車の停車位置がずれており、先行車を正しく認識できないとき
- 坂道やカーブなどにより、先行車を正しく認識できないとき
- 先行車の背面形状（けん引をしている車両や荷物を積んでいないトレーラー、雪や泥などが大量に付着している車両など）により、先行車を正しく認識できないとき
- 先行車が二輪車のとき
- 先行車の右左折や車線変更などにより、先行車を認識できなくなったとき
- 先行車を認識できないような悪天候時（霧・雪・砂嵐・激しい雨など）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- 前方センサー周辺への強い衝撃などにより、前方センサーの向きがずれ、先行車を正しく認識できないとき
- プリクラッシュセーフティシステムが一時的に使用できないときや、故障などにより PCS 警告灯が点滅しているとき
- ハンドルを大きくきっているとき

■**先行車が発進していても先行車発進告知機能が作動するおそれがあるとき**

例えば次のような状況では、先行車発進告知機能が先行車が発進したと判断し、作動するおそれがあります。

- 悪天候（霧・雪・砂嵐・激しい雨など）により、先行車の発進を誤認識したとき
- 坂道やカーブなどにより、間違った対象を先行車と認識しているとき
- 前方センサー周辺への強い衝撃などにより、前方センサーの向きがずれ、間違った対象を先行車と認識しているとき
- 交差点を先頭で停車時、交差点の先の車両や正面を横切る車両などを先行車と認識したとき
- 自車と先行車のあいだに、他の車両や歩行者などが割りこんだり通過したとき

■**先行車発進告知機能を ON / OFF するには**

→ P. 80

■**先行車発進告知機能の告知タイミングを切りかえるには**

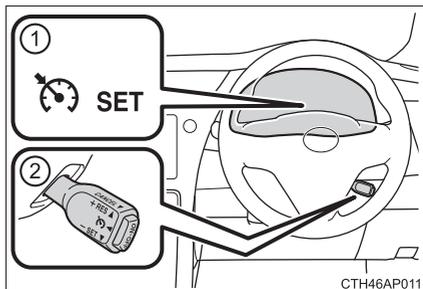
→ P. 80

# クルーズコントロール★

## 機能概要

アクセルペダル操作をしなくても一定の車速で走行できます。

- ① 表示灯
- ② クルーズコントロールスイッチ

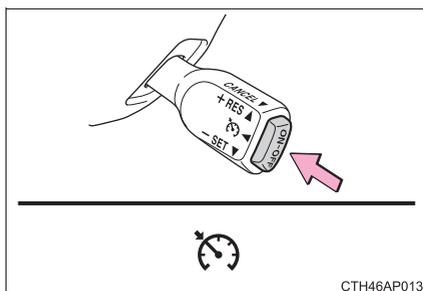


## 速度を設定する

- 1 ON-OFF スイッチを押して、システムを ON にする

クルーズコントロール表示灯が点灯します。

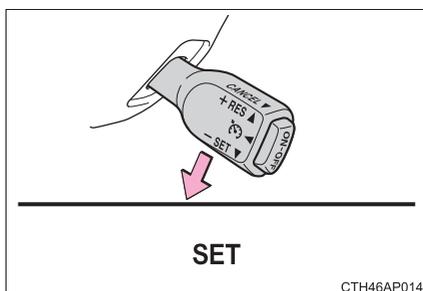
OFF にするには、再度スイッチを押します。



- 2 希望の車速（約 40 ～ 100km/h）までアクセルペダル操作で加速／減速し、レバーを下げて速度を設定する

クルーズコントロールセット表示灯が点灯します。

レバーを離れたときの車速で定速走行できます。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

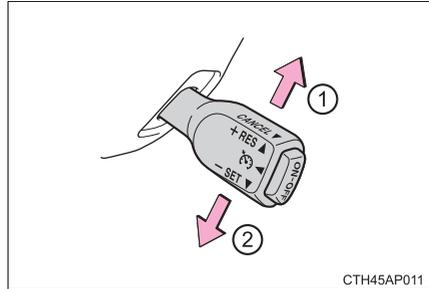
## 設定速度をかえる

設定速度をかえるには、希望の速度になるまでレバーを操作します。

- ① 速度を上げる
- ② 速度を下げる

微調整：レバーを上または下に軽く操作して手を離す

大幅調整：希望の速度になるまでレバーを保持する



CTH45AP011

設定速度は、次のとおりに増減されます。

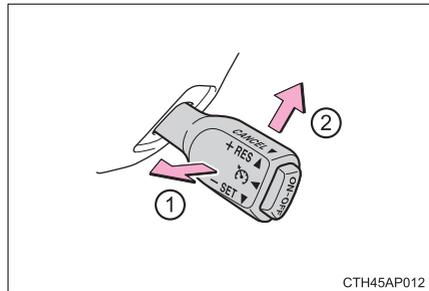
微調整：レバー操作することにより約 1.6km/h

大幅調整：レバーを保持するあいだ

## 定速走行を解除する・復帰させる

- ① 定速走行を解除するには、レバーを手前に引く  
ブレーキペダルを踏んだときも解除されます。
- ② 定速走行を復帰させるには、レバーを上げる

ただし、車速が約 40km/h 以下になると設定速度が消去されるため、復帰しません。



CTH45AP012

 知識

## ■ 設定条件について

- シフトポジションがDのとき設定できます。
- 車速は約40～100km/hの範囲で設定できます。

## ■ 速度設定後の加速について

- 通常走行と同様にアクセルペダル操作で加速できます。加速後、車速が設定速度にもどります。
- クルーズコントロールを解除しなくても、希望の車速まで加速して、レバーを下げるにより設定速度を変更することができます。

## ■ 定速走行の自動解除

次のとき、自動的に定速走行が解除されます。

- 設定速度より車速が約16km/h以上低下した
- 車速が約40km/h以下になった
- VSCが作動した

## ■ 定速走行中、マルチインフォメーションディスプレイに「クルーズコントロール故障 販売店で点検してください」が表示されたとき

ON-OFFスイッチでシステムを一度OFFにし、再度設定してください。

設定できないとき、またはすぐに解除されるときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

 **警告****■ 誤操作を防ぐために**

クルーズコントロールを使用しないときは、ON-OFF スイッチでシステムを OFF にしてください。

**■ クルーズコントロールを使用してはいけない状況**

次の状況では、クルーズコントロールを使用しないでください。

車のコントロールを失い、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 交通量の多い道
- 急カーブのある道
- 曲がりくねった道
- 雨天時や、凍結路・積雪路などのすべりやすい路面
- 急な下り坂  
急な下り坂では車速が設定速度以上になることがあります。
- 車両けん引時

## 運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらの装置は補助的なものなので、過信せずには運転には十分に注意してください。

### ◆ ECB（電子制御ブレーキシステム）

電子制御により、ブレーキ操作に応じたブレーキ力を発生させます。

### ◆ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防ぎ、スリップを抑制します。

### ◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

### ◆ VSC（ビークルスタビリティコントロール）

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

### ◆ S-VSC（ステアリングアシステッドビークルスタビリティコントロール）

ABS・TRC・VSC・EPSを協調して制御します。  
すべりやすい路面などの走行で急なハンドル操作をした際に、ハンドル操作力を制御することで、車両の方向安定性確保に貢献します。

### ◆ TRC（トラクションコントロール）

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力を確保します。

### ◆ ヒルスタートアシストコントロール

上り坂で発進するときに、車が後退するのを緩和します。

### ◆ EPS（エレクトリックパワーステアリング）

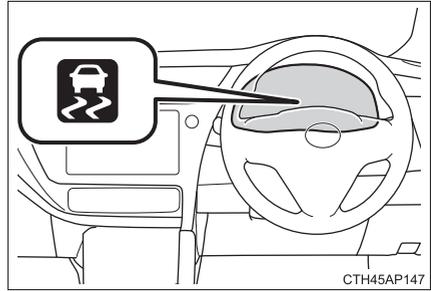
電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

### ◆ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に非常点滅灯を自動的に点滅させることにより、後続車に注意をうながし、追突される可能性を低減させます。

## TRC・VSC・ABS が作動しているとき

TRC・VSC・ABS が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。



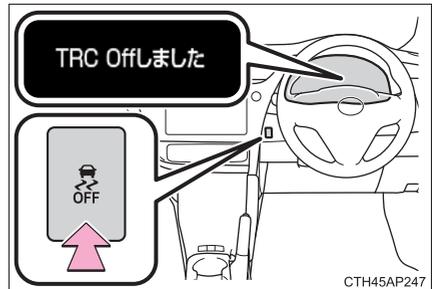
## TRC を停止するには

ぬかるみや砂地、雪道などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもハイブリッドシステムの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。このようなときに  を押すことにより、脱出しやすくなる場合があります。

TRC を停止するには  を押す

マルチインフォメーションディスプレイに「TRC Off しました」と表示されます。

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。



## 知識

### ■ TRC と VSC を停止するには

TRC と VSC を停止するには、停車時に  を押し 3 秒以上保持してください。

VSC OFF 表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「TRC Off しました」と表示されます。\*

もう一度  を押し、システム作動可能状態にもどります。

\* PCS (プリクラッシュセーフティシステム) 装着車は、プリクラッシュブレーキアシスト・プリクラッシュブレーキの作動も停止します。(→ P. 178)

### ■ を押さなくてもマルチインフォメーションディスプレイに「TRC Off しました」が表示されたとき

TRC・ヒルスタートアシストコントロールが作動できない状態になっています。トヨタ販売店にご相談ください。

### ■ ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC の作動音と振動

上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。

- 車体やハンドルに振動を感じる
- 車両停止後もモーター音が聞こえる
- ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
- ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

### ■ ECB の作動音

次のような場合に ECB の作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

- ブレーキペダルを操作したときに、エンジンルームから聞こえる作動音（“カチ”、“シュー”、“ジー” という音）
- 運転席ドアを開けたときに車両前方から聞こえるブレーキシステムのモーター音（“ジー” という音）
- ハイブリッドシステム停止後 1～2 分経過時に、エンジンルームから聞こえる作動音（“カチ”、“シュー”、“ジー” という音）

### ■ EPS モーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン” という音）が聞こえることがありますが、異常ではありません。

### ■ TRC や VSC の自動復帰について

TRC や VSC を作動停止にしたあと、以下のときはシステム作動可能状態にもどります。

- パワースイッチを OFF にしたとき
- (TRC のみを作動停止にしている場合) 車速が高くなったとき  
ただし、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による自動復帰はありません。

### ■ EPS の効果が下がるとき

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPS システムのオーバーヒートを避けるため、EPS の効果が下がりハンドルが重く感じられるようになります。

その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、ハイブリッドシステムを停止してください。10 分程度でもとの状態にもどります。

### ■ ヒルスタートアシストコントロールの作動条件

次のときシステムが作動します。

- シフトポジションが P または N 以外（前進または後退での上り坂発進時）
- 車両停止状態
- アクセルペダルを踏んでいない
- パーキングブレーキがかかっている

### ■ ヒルスタートアシストコントロールの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- シフトポジションを P または N にした
- アクセルペダルを踏んだ
- パーキングブレーキをかけた
- ブレーキペダルから足を離して約 2 秒経過した

### ■ 緊急ブレーキシグナルの作動条件

次のときシステムが作動します。

- 非常点滅灯が点滅していないこと
- 車速 55km/h 以上
- ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度から急ブレーキだと判断された

### ■ 緊急ブレーキシグナルの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- 非常点滅灯を点滅させた
- ブレーキペダルを離れた
- 車両の減速度から急ブレーキではないと判断された

 **警告****■ ABS の効果を発揮できないとき**

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき(雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど)
- 雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

**■ ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき**

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- 凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

**■ TRC の効果を発揮できないとき**

すべりやすい路面では、TRC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

**■ ヒルスタートアシストコントロールの効果を発揮できないとき**

- ヒルスタートアシストコントロールを過信しないでください。急勾配の坂や凍った路面では、ヒルスタートアシストコントロールが効かないことがあります。
- ヒルスタートアシストコントロールはパーキングブレーキのように車を長時間駐停車するための機能ではありませんので、同機能を坂道での駐停車のために使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

**■ スリップ表示灯が点滅しているとき**

VSC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

**■ TRC や VSC を OFF にするとき**

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要なとき以外は TRC 機能、VSC 機能を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

 **警告****■ タイヤまたはホイールを交換するとき**

4 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・ブランド・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。（→ P. 348）  
異なったタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSC が正常に作動しません。  
タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

**■ タイヤとサスペンションの取り扱い**

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

## ハイブリッド車運転のアドバイス

環境に配慮した経済的な運転のためには、次のことを心がけてください。

### ◆ エコドライブモードの利用

エコドライブモードを使用すると、通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになります。また、エアコン(暖房/冷房)の作動を抑え、燃費向上につながります。(→ P. 206)

### ◆ ハイブリッドシステムインジケーターの利用

メーター内のハイブリッドシステムインジケーターの表示をエコエリアの範囲に保つことで、環境に配慮した走行が可能です。(→P. 73)

### ◆ シフトレバーの操作

信号待ちや渋滞のときなどは、シフトポジションを D にしましょう。また、駐車するときは、シフトポジションを P にしましょう。シフトポジションを N にしても、燃費向上の効果はありません。N では、ガソリンエンジンが回転していても駆動用電池は充電されないため、エアコンなどを使用していると駆動用電池の残量が低下します。

### ◆ アクセルペダル・ブレーキペダルの操作

- 急加速・急減速を控え、スムーズな運転を心がけましょう。ゆるやかに加速・減速することで、より効果的に電気モーターを使用でき、余分なガソリン消費を抑えることができます。
- 加速のくり返しは、駆動用電池の残量を低下させ、結果、燃費が悪化するため控えましょう。走行中、アクセルペダルを少しもどすことで駆動用電池の残量を回復させることができます。

### ◆ 減速時のブレーキ操作

減速時は、早めに、ゆるやかなブレーキ操作を行いましょう。減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

### ◆ 渋滞

---

加速・減速のくり返しや、長い信号待ちは燃費を悪化させます。お出かけ前に交通情報を確認するなどして、なるべく渋滞を回避するようにしましょう。また渋滞の際は、ブレーキペダルをゆるめて微前進し、アクセルペダルをあまり踏まないようにしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

### ◆ 高速道路での運転

---

速度を抑え、一定速度で走行しましょう。また、料金所手前では早めにアクセルをもどし、ゆるやかなブレーキ操作を行きましょう。減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

### ◆ エアコンの ON/OFF

---

必要時以外は OFF にしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

夏季：外気温が高いときは、内気循環モードに設定しましょう。エアコンへの負荷が減り燃費向上につながります。

冬季：ガソリンエンジン・車室内が暖まるまで、ガソリンエンジンが自動停止しないので、燃料を消費します。また、過剰な暖房を避けると、燃費向上につながります。

### ◆ タイヤ空気圧の点検

---

タイヤ空気圧はこまめに点検しましょう。タイヤ空気圧が適切でないと、燃費の悪化につながります。

また、冬用タイヤは転がり抵抗が大きいため、乾燥した路面では燃費の悪化につながります。季節、道路状況に応じて適切なタイミングでタイヤを交換しましょう。

### ◆ 荷物

---

重い荷物が積まれていると、燃費が悪化します。不要な荷物は、積んだままにせずに降ろしましょう。また、大型ルーフキャリアの装着も重い荷物と同様に燃費の悪化につながります。

### ◆ 走行前の暖機運転

---

ガソリンエンジンが冷えているときは、ガソリンエンジンの始動／停止を自動的に行いますので、暖機運転は必要ありません。

なお短距離走行のくり返しは、暖機運転のためのガソリンエンジン始動がひんぱんに行われることになりまますので、燃費の悪化につながります。

## 寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

### 冬を迎える前の準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
  - ・ エンジンオイル
  - ・ 冷却水
  - ・ ウォッシャー液
- 補機バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（4 輪）やタイヤチェーン（前部タイヤ用）を使用してください。

タイヤは 4 輪とも同一サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。  
(タイヤについて：→ P. 255)

### 運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を溶かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプ・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

### 運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

## 駐車するとき

パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトポジションをPにして駐車し、必ず輪止め※をしてください。

輪止めをししないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

※ 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

## 知識

### ■ タイヤチェーンについて

- 17 インチタイヤにはタイヤチェーンを装着できません。
- 17 インチタイヤ以外のタイヤを装着している場合：取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。
  - ・ 安全に作業できる場所で行う
  - ・ 前2輪に取り付ける
  - ・ タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従う
  - ・ 取り付け後 0.5 ～ 1.0 km 走行したら締め直しを行う

### ■ 寒冷地用ワイパーブレード★について

- 降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなる場合があります。その場合には速度を落としてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■ 冬用タイヤ装着時の警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤを装着する際は、必ず4輪とも装着する

**■ タイヤチェーン装着時の警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは30km/hのどちらか低い方をこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して、車のコントロールを失うのを防ぐ

 **注意****■ タイヤチェーンの使用について**

トヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。

トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

**■ フロントウィンドウガラスに付いた氷を除去するとき**

たたいて割らないでください。

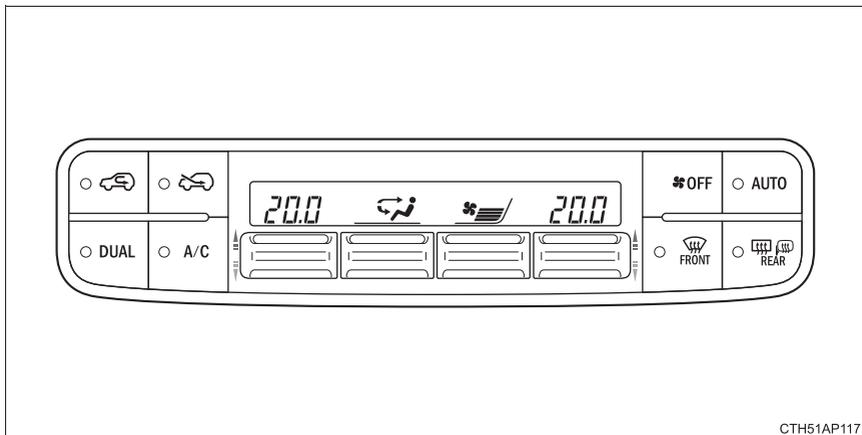
ウィンドウガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

5-1. エアコンと デフォグガーの使い方	
オートエアコン.....	206
シートヒーター.....	214
5-2. 室内灯のつけ方	
室内灯一覧.....	216
・ インテリアランプ.....	217
・ バニティミラーランプ.....	218
・ パーソナルランプ.....	218
5-3. 収納装備	
収納装備一覧.....	220
・ グローブボックス.....	221
・ コンソールボックス.....	221
・ ボトルホルダー.....	222
・ カップホルダー.....	223
・ 小物入れ.....	224
ラゲージルーム内装備.....	225
5-4. その他の室内装備の使い方	
その他の室内装備.....	233
・ サンバイザー.....	233
・ バニティミラー.....	233
・ 時計.....	234
・ アクセサリーソケット.....	235
・ ステアリングスイッチ.....	236
・ リヤアームレスト.....	237
・ アシストグリップ.....	237
・ パノラマルーフ シェード.....	238

## オートエアコン

設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。

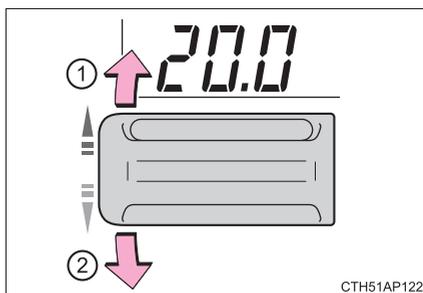
### エアコン操作スイッチについて



CTH51AP117

#### ■ 温度を調整する

- ① 温度を上げる
- ② 温度を下げる

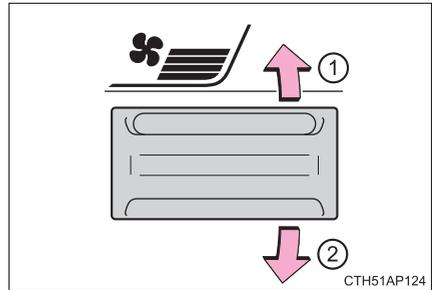


CTH51AP122

## ■ 風量を切りかえる

- ① 風量を増やす
- ② 風量を減らす

ファンを止めるときは  を  
押す

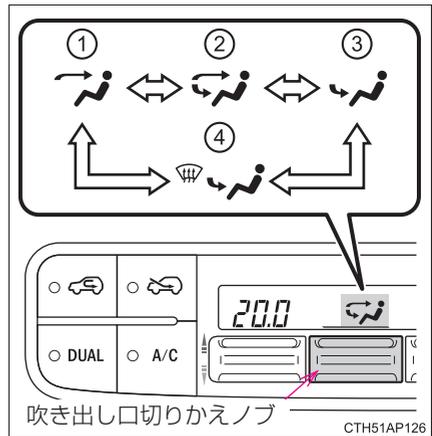


## ■ 吹き出し口を切りかえる

吹き出し口切りかえノブを上げる、または下げる

操作するたびに吹き出し口が切りかわります。

- ① 上半身に送風
- ② 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風
- ④ 足元に送風・フロントウインドウガラスの曇りを取る



## オート設定で使用する

- 1  を押す
- 2 温度を設定する
- 3 ファンをとめたいときは、 を押す

### ■ オート設定時の作動表示灯について

風量や吹き出し口を切りかえると、AUTO スイッチの作動表示灯が消灯しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。

### ■ 運転席と助手席の設定温度を別々に設定する（左右独立モード）

次のいずれかの操作をすると、左右独立モードが ON になります。

-  を押す
- 助手席の設定温度を変更する  
左右独立モードになりスイッチの作動表示灯が点灯します。

## その他の機能

### ■ 内気循環／外気導入を切りかえるには

内気循環に切りかえるには、 を押す

外気導入に切りかえるには、 を押す

内気循環を選択しているときは  、外気導入を選択しているときは

 の表示灯が点灯します。

### ■ フロントウインドウガラスの曇りをとるには

 を押す

除湿機能が作動し、風量が増えます。内気循環にしている場合は、外気導入にしてください。(自動的に外気導入に切りかわることがあります。)

風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。曇りが取れたら再度  を押すと前のモードにもどります。

### ■ リヤウインドウデフォグター & ミラーヒーター

リヤウインドウガラスの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取るときに使用ください。

 を押す

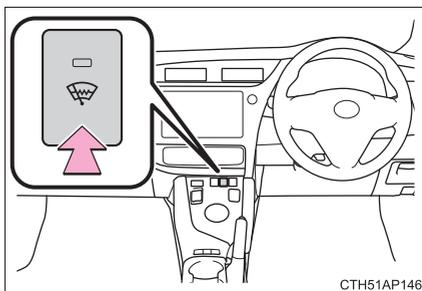
リヤウインドウデフォグターおよびミラーヒーターは、しばらくすると自動的にOFFになります。

## ■ フロントワイパーデアイサー★

フロントウインドウガラスとワイパーブレードの凍結を防ぐために使用ください。

フロントワイパーデアイサーが ON のとき、スイッチの作動表示灯が点灯します。

フロントワイパーデアイサーは、しばらくすると自動的に OFF になります。



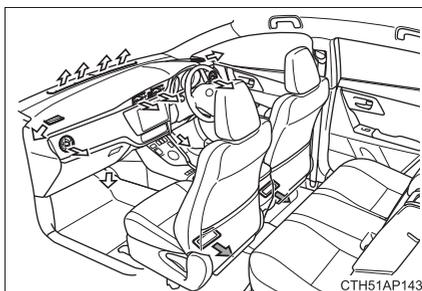
CTH51AP146

## 吹き出し口について

### ■ 吹き出し口の位置

吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変わります。(→ P. 207)

← : 仕様により設定の有無あり

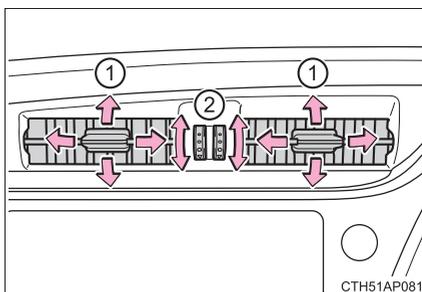


CTH51AP143

### ■ 風向き調整と吹き出し口の開閉

▶ 中央吹き出し口

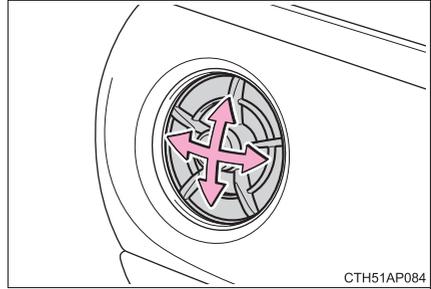
- ① 風向きの調整
- ② 吹き出し口の開閉



CTH51AP081

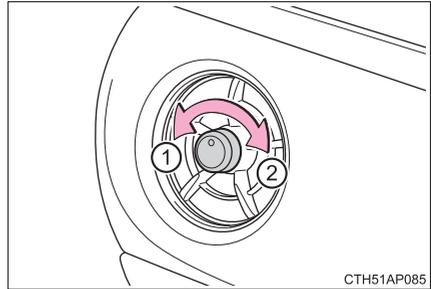
★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- ▶ 左右吹き出し口  
風向き調整



吹き出し口の開閉

- ① 開ける
- ② 閉じる



## 知識

### ■エコドライブモードのエアコン作動について

- エコドライブモードは燃費性能を優先させるため、空調システムが次のように制御されます。
  - ・エンジン回転数やコンプレッサーの作動を制御し、暖房 / 冷房の能力を抑制します。
  - ・オート設定での使用時、ファンの風量を抑制します。
- 空調の効きをより良くしたいときは、次の操作をおこなってください。
  - ・風量を調整する。
  - ・温度を調整する。
  - ・エコドライブモードを解除する。

### ■オート設定の作動について

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されるため、 を押した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する場合があります。

### ■ ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、 を ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
-  を ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

### ■ 外気導入・内気循環について

- トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。
- 設定温度や室内温度などにより、自動的に切りかわる場合があります。

### ■ 外気温度がひくいとき

 を押ししても除湿機能が働かない場合があります。

### ■ 換気とエアコンの臭いについて

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

### ■ エアコンフィルターについて

→ P. 276

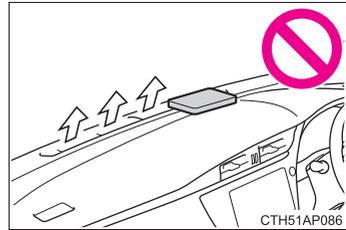
### ■ 設定可能な機能

AUTO スイッチを押したとき、連動して外気導入と内気循環を切りかえるかどうかなどを設定できます。(カスタマイズ一覧→ P. 350)

## ⚠ 警告

### ■フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

- 外気の湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、 を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。
- フロントウインドウガラスの曇り取りをさまたげないために、吹き出し口を遮るようなものを置かないでください。送風が遮られ、曇りが取れにくくなる場合があります。



### ■リアウインドウデフォグラー&ミラーヒーター／フロントワイパーデアイサー ★作動中の警告

- ドアミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。
- フロントウインドウガラス下部およびフロントピラー横の表面が熱くなっており、やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

## ⚠ 注意

### ■補機バッテリーあがりを防ぐために

ハイブリッドシステム停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## シートヒーター★

フロントシートを暖めることができます。

### 警告

- 低温やけどを負うおそれがあるため、以下のかたがシートヒーターに触れないようにご注意ください。
  - ・ 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由なかた
  - ・ 皮膚の弱いかた
  - ・ 疲労の激しいかた
  - ・ 深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、風邪薬など）を服用されたかた
- 異常加熱や低温やけどの原因になるおそれがあるため、シートヒーターを使用するときは次のことをお守りください。
  - ・ 長時間連続使用しないでください。
  - ・ 毛布・クッションなどを使用しないでください。

### 注意

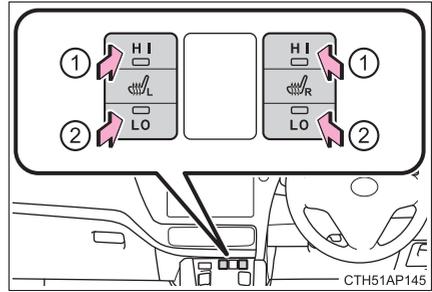
- シートヒーターの損傷を防ぐため、凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針などの鋭利なものを突き刺したりしないでください。
- 補機バッテリーあがりを防ぐため、ハイブリッドシステムが停止した状態で使用しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

スイッチを押してシートヒーター  
を作動させる

- ① HI (強)
- ② LO (弱)

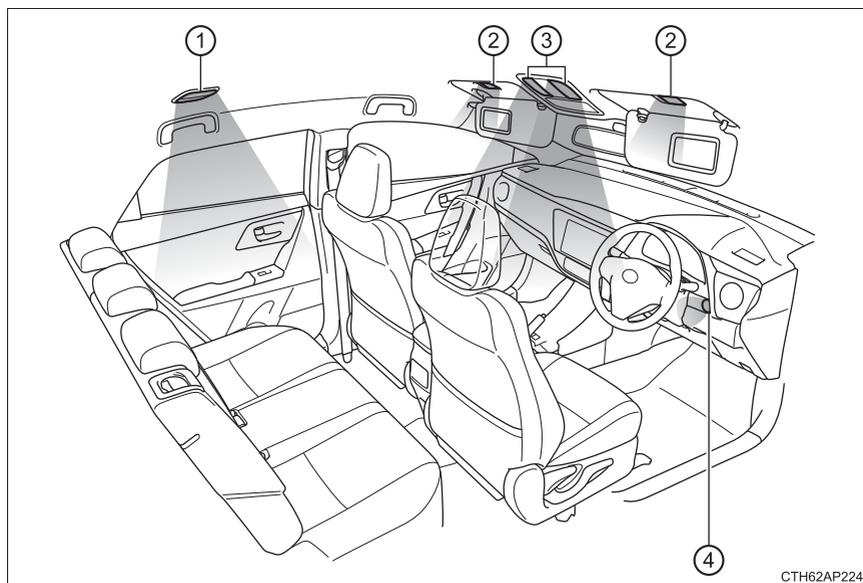
作動中はインジケーターが点灯しま  
す。



## 知識

- パワースイッチが ON モードのときに使用できます。
- 作動を停止するときは、押した側と反対側のスイッチを軽く押してください。スイッチが中立の位置にもどり、インジケーターが消灯します。

## 室内灯一覧



- ① リヤインテリアランプ★ (→ P. 217)  
リヤパーソナルランプ★ (→ P. 219)
- ② バニティミラーランプ (→ P. 218)
- ③ フロントインテリアランプ／フロントパーソナルランプ  
(→ P. 217, 218)
- ④ パワースイッチ照明

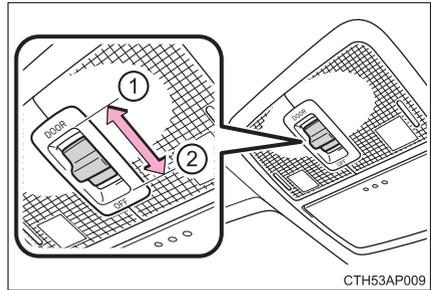
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## インテリアランプ

### ■ フロント

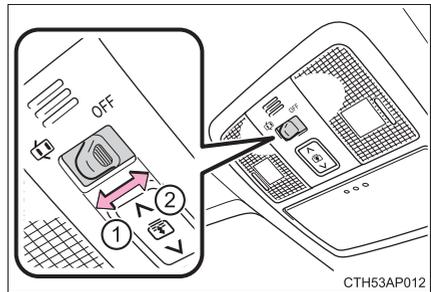
#### ▶ Aタイプ

- ① ドアポジション（ドア連動）
- ② ランプを消灯する



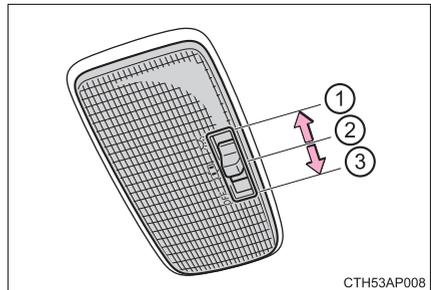
#### ▶ Bタイプ

- ① ドアポジション（ドア連動）
- ② ランプを消灯する



### ■ リヤ★

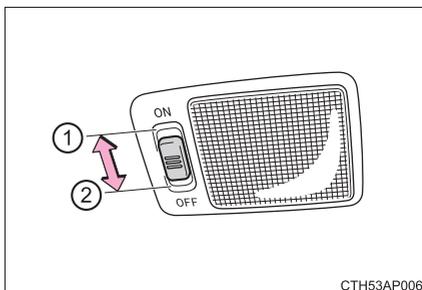
- ① ランプを点灯する
- ② ドアポジション（ドア連動）
- ③ ランプを消灯する



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## バニティミラーランプ

- ① ランプを点灯する
- ② ランプを消灯する



CTH53AP006

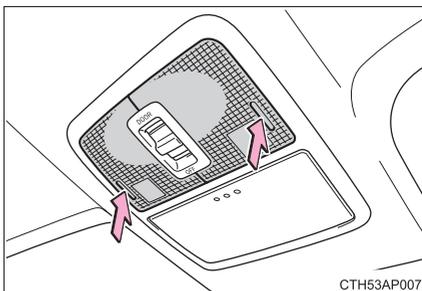
## パーソナルランプ

### ■ フロント

#### ▶ Aタイプ

ランプを点灯・消灯する

ドア連動スイッチによって点灯しているときは、レンズを押しても消灯しません。

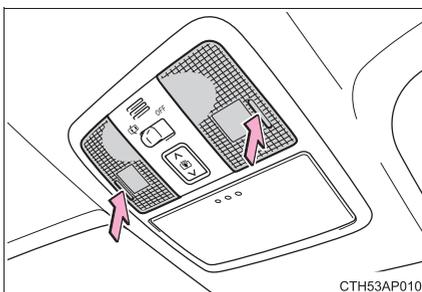


CTH53AP007

#### ▶ Bタイプ

ランプを点灯・消灯する

ドア連動スイッチによって点灯しているときは、レンズを押しても消灯しません。

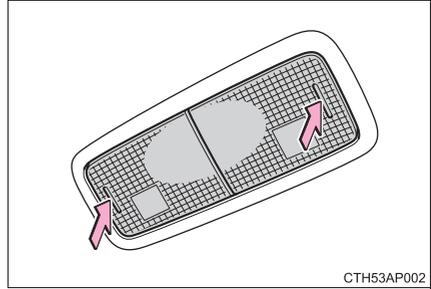


CTH53AP010

## ■ リヤ★

### ランプを点灯・消灯する

フロントインテリアランプドア連動スイッチによって点灯しているときは、レンズを押しても消灯しません。



## □ 知識

### ■ イルミネーテッドエントリーシステム

インテリアランプスイッチのドアポジションが ON のとき、電子キーの検知、ドアの施錠・解錠／開閉、パワースイッチのモードにより、インテリアランプとパワースイッチ照明が自動的に点灯、消灯します。

### ■ 補機バッテリーあがりを防ぐために

以下のランプが点灯したままの場合、約 20 分後に自動消灯します。

- パーソナル／インテリアランプ
- ラゲージルームランプ
- バニティミラーランプ

### ■ 販売店で設定可能な機能

室内灯の消灯までの時間などの設定を変更できます。  
(カスタマイズ一覧：→ P. 350)

## ⚠ 注意

### ■ 補機バッテリーあがりを防止するために

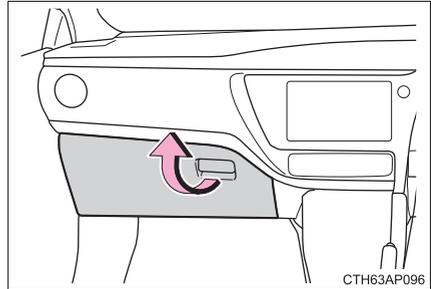
ハイブリッドシステムが停止した状態で、ランプを長時間使用しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



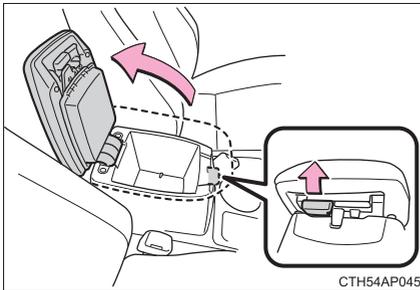
## グローブボックス

レバーを引き上げる



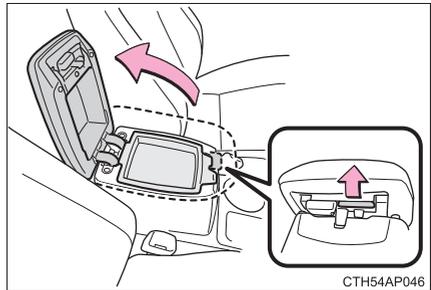
## コンソールボックス

▶ コンソールボックス



運転席側のレバーを引いてフタを持ち上げる

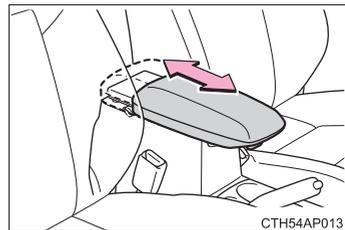
▶ 上段ボックス



助手席側のレバーを引いてフタを持ち上げる

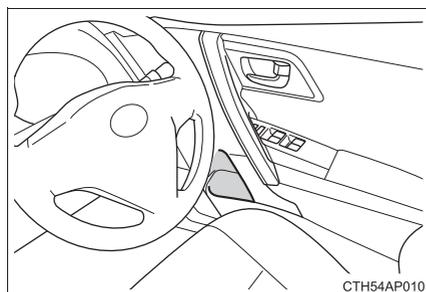
## 知識

フタを前後にスライドさせることができません。

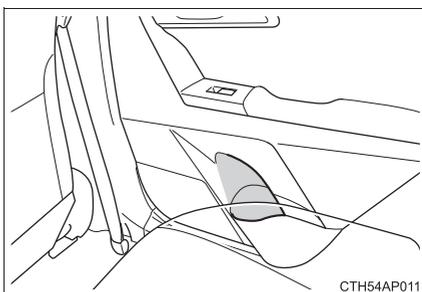


## ボトルホルダー

▶ フロント



▶ リヤ



### 知識

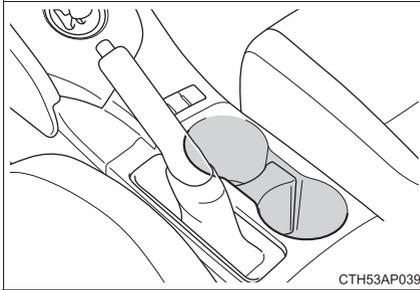
- ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。
- ペットボトルの大きさ・形によっては収納できないことがあります。

### 注意

ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

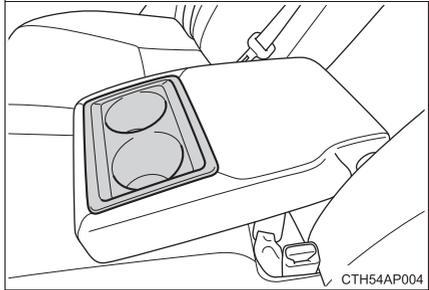
## カップホルダー

### ▶ フロント



CTH53AP039

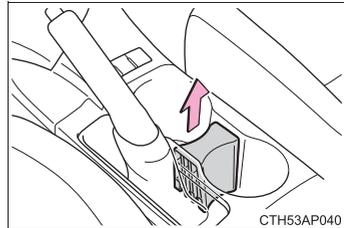
### ▶ リヤ



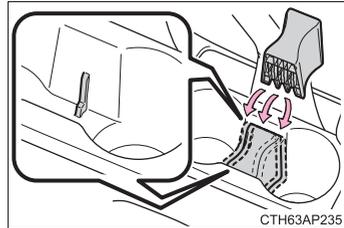
CTH54AP004

## 知識

- フロントカップホルダー内を清掃するために、仕切りを取りはずすことができます。
- フロントカップホルダー：仕切りの位置を前後に移動することができます。



CTH53AP040



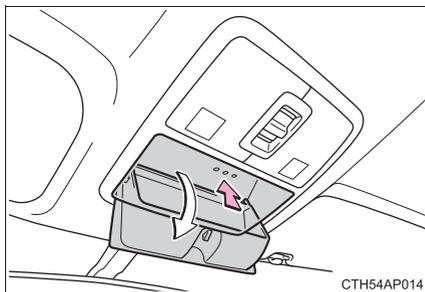
CTH63AP235

## 警告

カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。急ブレーキや事故により落ちてけがをすることがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。

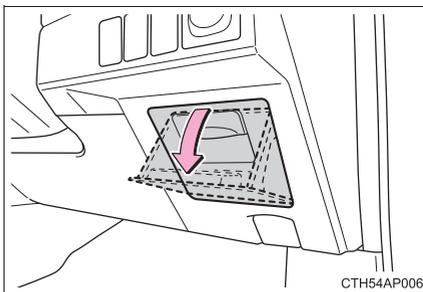
## 小物入れ

## ▶ A タイプ



フタを押す

## ▶ B タイプ



ツマミを引いて開ける

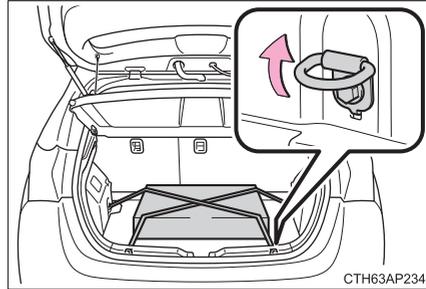
**警告**

- 小物入れを必ず閉じてください。  
急ブレーキ時などに、開いたフタが体にあたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながりけがををするおそれがあります。
- A タイプ: 200 g 以上のものを入れないでください。200 g 以上のものを入れるとホルダーが開き収納されているものが飛び出したりして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## ラゲージルーム内装備

### デッキフック

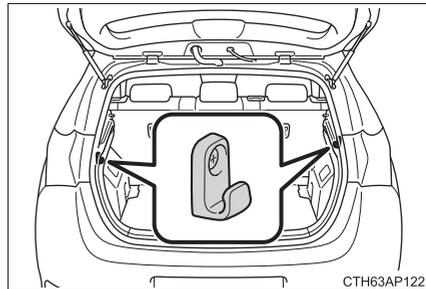
フックを使って荷物を固定することができます。



### ⚠ 警告

デッキフックを使用しないときは、けがをしないように、必ずもとの位置にもどしてください。

### 買い物フック



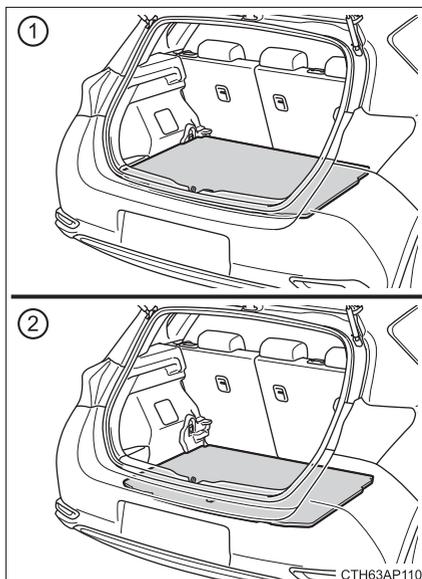
### ⚠ 注意

4kg 以上のものや大きいものを買い物フックに吊り下げないでください。

**アジャスタブルデッキボード★**

- ① 上段
- ② 下段

アジャスタブルデッキボードをフロアボードの上に置くことで、下段の位置で使用できます。

**警告**

アジャスタブルデッキボードを操作するときは、荷物を載せた状態で操作しないでください。

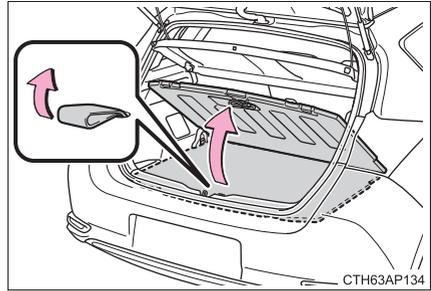
指をはさんだり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

**アジャスタブルデッキボード★の留め方**

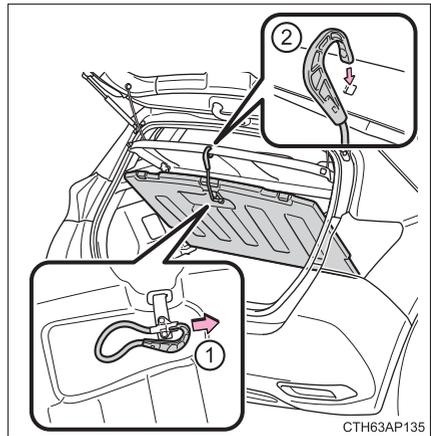
▶ パッケージトレイ未収納時

- 1** アジャスタブルデッキボードを持ち上げる



- 2** アジャスタブルデッキボードを固定する

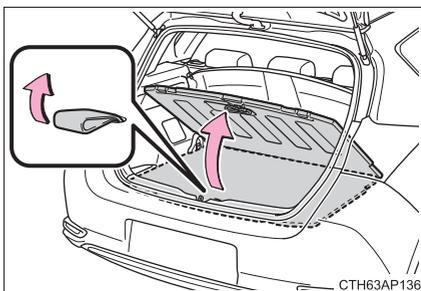
- ① アジャスタブルデッキボード裏面のフックを取りはずす  
② フックをパッケージトレイの差込口にかけて固定する



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

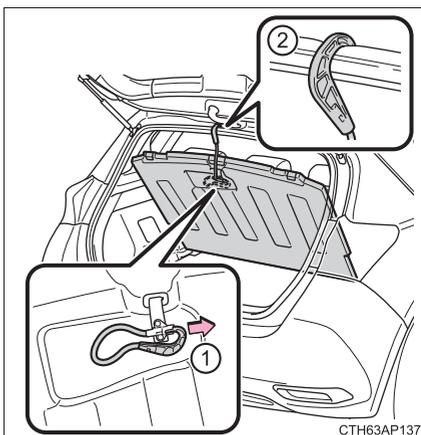
## ▶ パッケージトレイ収納時

- 1 アジャスタブルデッキボードを持ち上げる



- 2 アジャスタブルデッキボードを固定する

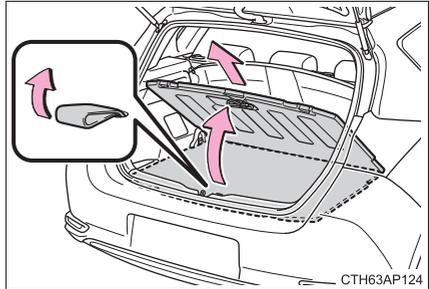
- ① アジャスタブルデッキボード裏面のフックを取りはずす
- ② フックをバックドア開口部の上端に引っかけて固定する

**⚠ 注意**

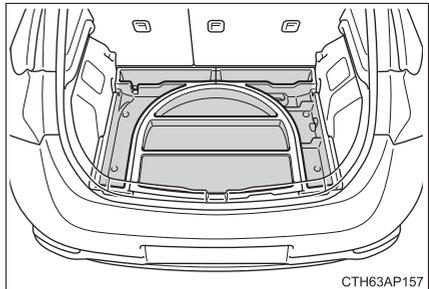
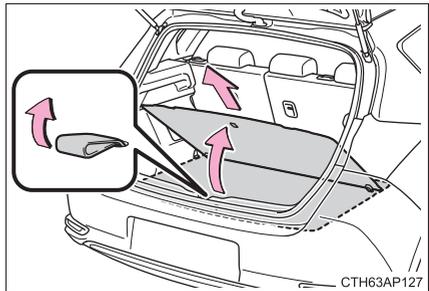
アジャスタブルデッキボードのフックをパッケージトレイ及び、バックドア開口部に引っかけたままバックドアを閉めないでください。内装部品が破損する恐れがあります。

**ラゲージアンダートレイ★**

- 1 ストラップを持ってアジャスタブルデッキボード★を持ち上げ、手前に引いて取りはずす

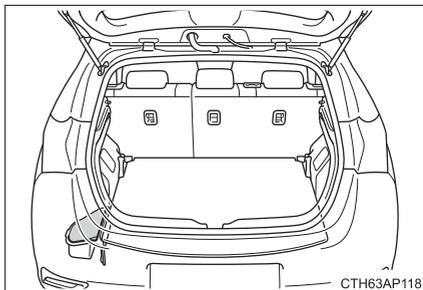


- 2 ストラップを持ってフロアボードを持ち上げ、手前に引いて取りはずす

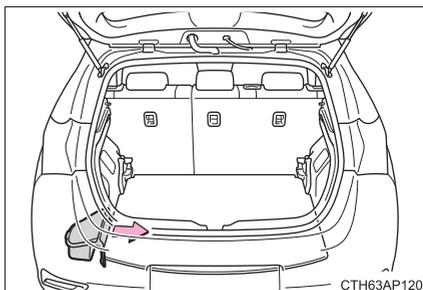


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ラゲージサイドトレイ★



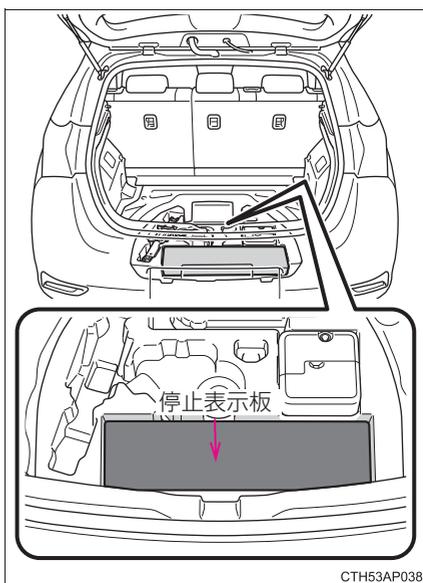
アジャスタブルデッキボードが下段の位置のとき、取りはずすことができます。



## 停止表示板収納スペース★

停止表示板を収納することができません。

停止表示板のケースの大きさや形状によっては、収納できない場合があります。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

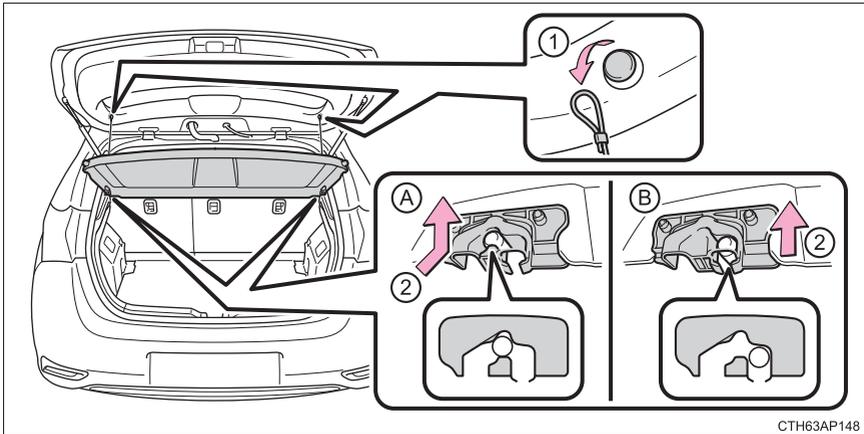
## 知識

停止表示板のケースの大きさや形状によっては、収納できない場合があります。

## 警告

確実に収納されていることを確認してください。確実に収納されていないと、急ブレーキをかけたときなどに停止表示板等が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## パッケージトレイの取りはずし

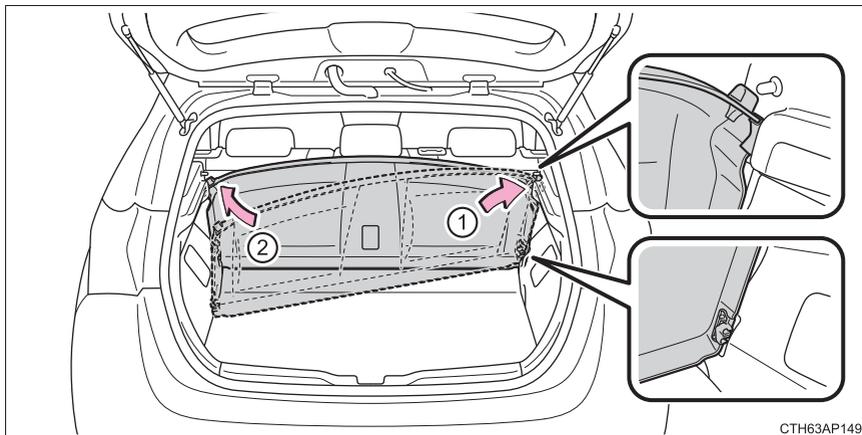


- ① 止めヒモを左右のフックからはずす
- ② トレイを取りはずす

通常は“A”の矢印の方向にトレイを動かして取りはずします。ただし、トレイを“A”の矢印の方向に動かすことができないときは、“B”の矢印の方向にトレイを動かして取りはずします。

 知識

はずしたパッケージトレイをリヤシート裏側へ収納することができます。



- ① パッケージトレイの片側をリヤシート裏側とデッキサイドトリムのあいだに差し込む
- ② パッケージトレイを回転させながら反対側に押し込む  
パッケージトレイが固定されていることを確認する  
取り外すときは、収納したときと逆の手順で取り外す

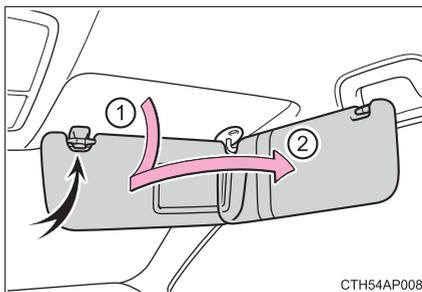
 注意

収納しているパッケージトレイに強い衝撃が加わらないようにしてください。  
パッケージトレイが破損するおそれがあります。

## その他の室内装備

### サンバイザー

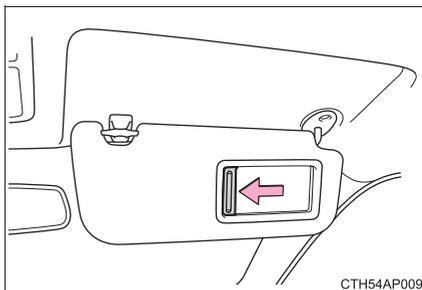
- ① 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす
- ② 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす



CTH54AP008

### バニティミラー

カバーをスライドして開ける



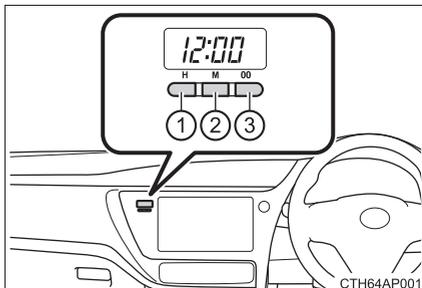
CTH54AP009

## 時計

ボタンを押して時刻を調整することができます。

- ① “時” を調整する
- ② “分” を調整する
- ③ “分” を 00 にする※

※ (例) 1:00 ~ 1:29 → 1:00  
1:30 ~ 1:59 → 2:00



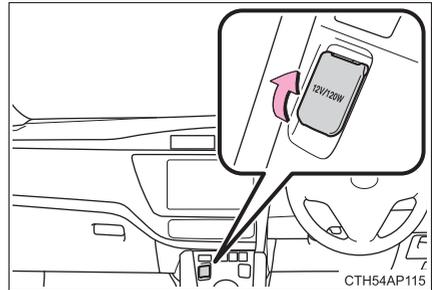
## 知識

- パワースイッチがアクセサリまたは ON モードのときに、時刻が表示されません。
- 補機バッテリー端子の脱着をしたときに、時計は自動的に 1:00 にセットされます。

## アクセサリースOCKET

DC12 V/10 A（消費電力 120 W）未満の電気製品を使用するときの電源としてお使いください。

フタを開けて使用する



### 知識

パワースイッチがアクセサリまたは ON モードのときに、使用することができます。

### 注意

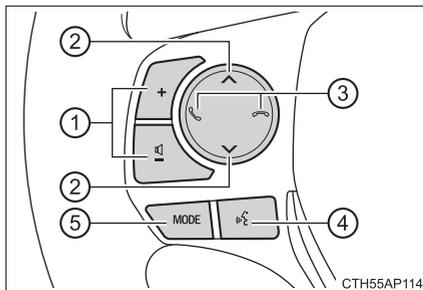
- 異物が入ったり、飲料水などがかかたりしないように、使用しないときはフタを閉めておいてください。
- 補機バッテリーあがりを防止するために、ハイブリッドシステムが停止した状態で、アクセサリースOCKETを使用しないでください。

## ステアリングスイッチ

この車のステアリングスイッチに対応している販売店装着オプションのオーディオ・ナビゲーションシステムで使用することができます。

装着されているオーディオ・ナビゲーションシステムによっては、操作が異なる場合があります。詳しくは製品に付属の各取扱書をご覧ください。

- ① 音量調整スイッチ  
音量を調整する
- ② TUNE/TRACK スイッチ  
CD、ラジオなどの操作
- ③ 電話スイッチ  
ハンズフリー機能の操作
- ④ トークスイッチ  
音声認識モードの操作
- ⑤ MODE（モード切りかえ）スイッチ  
電源を入れる、モードの切りかえ

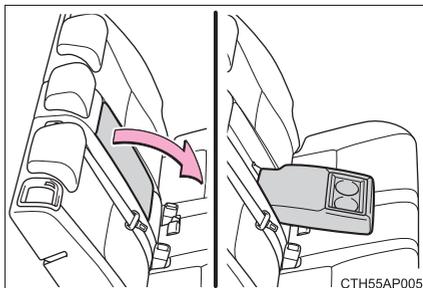


### ⚠ 警告

事故を防ぐために、運転中にステアリングスイッチを操作するときは、十分注意してください。

## リヤアームレスト

手前に倒して使用します。

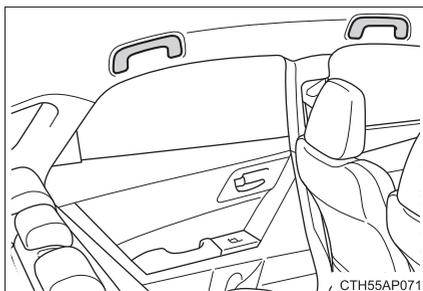


### ⚠ 注意

アームレストの破損を防ぐために過度の負荷をかけないでください。

## アシストグリップ

天井に取り付けられているアシストグリップは、走行中にシートに座っている状態で体を支えるときにお使いください。



### ⚠ 警告

アシストグリップは、乗降時やシートから立ち上がる時などに使用しないでください。

### ⚠ 注意

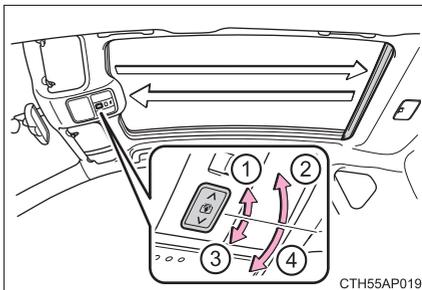
破損を防ぐために、アシストグリップに過度の負荷をかけないでください。

## パノラマルーフシェード★

頭上のスイッチでパノラマルーフシェードを開閉できます。

- ① 開ける
- ② 自動全開（長押し）※
- ③ 閉める
- ④ 自動全閉（長押し）※

※途中で止めるには、スイッチをもう一度押します。



CTH55AP019

## 知識

### ■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

### ■ 挟み込み防止機能

パノラマルーフシェードを閉めるときに、パノラマルーフシェードが異物の挟み込みを感知すると、作動が停止し少し開きます。

### ■ 自動全開／自動全閉機能が働かない場合

- ① 開ける側を押してパノラマルーフシェードを開く
- ② パノラマルーフシェードが全開位置まで開き、その後わずかに閉まる（閉じ方向に動く）まで、開ける側を押し続ける

操作後、自動全開／自動全閉機能が作動することを確認してください。

以上の操作を行っても自動全開／自動全閉機能が働かない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

**警告**

以下のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ パノラマルーフシェードを開閉するときは**

- パノラマルーフシェードを開閉するときは、乗員の手、腕、頭、首を挟んだり巻きこんだりしないように注意してください。
- お子さまには、パノラマルーフシェードの操作をさせないでください。パノラマルーフシェードに挟まれたり巻きこまれたりするおそれがあります。

**■ 挟み込み防止機能**

- 挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手、腕、頭、首などを挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、パノラマルーフシェードが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを押し続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。



**6-1. お手入れのしかた**

外装の手入れ.....242

内装の手入れ.....246

**6-2. 簡単な点検・部品交換**

ボンネット .....249

ガレージジャッキ.....252

ウォッシャー液の補充 .....253

タイヤについて.....255

タイヤ空気圧について .....259

電子キーの電池交換.....261

ヒューズの点検・交換 .....263

電球（バルブ）の交換 .....266

エアコンフィルターの  
交換 .....276

## 外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける（およそ体温以下を目安としてください）

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。

詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

 知識

## ■ 自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納し、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。

## ■ 高圧洗浄機を使うとき

- 室内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアガラスやドア枠付近に近付けすぎないでください。
- 洗車の前に給油口が確実に閉まっていることを確認してください。
- 駆動系部品（ディファレンシャルギヤなど）のベアリングやオイルシール部品に近付けすぎないでください。  
近付けすぎると、水圧が高いため、内部への水入りやグリス流出により、性能が劣化するおそれがあります。

## ■ 洗車などで車に水をかけたとき

電子キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠・解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。

- 電子キーを車両から 2m 以上離れた場所に保管する  
(電子キーの盗難に注意してください)
- 電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー & スタートシステムの作動を停止する (→ P. 101)

## ■ アルミホイール

- 中性洗剤を使用し、早めに汚れを落としてください。研磨剤の入った洗剤や硬いブラシは塗装を傷めますので使用しないでください。
- 夏場の長距離走行後などでホイールが熱いときは、洗剤は使用しないでください。
- 洗剤を使用したあとは早めに十分洗い流してください。

## ■ バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

### ■フロントドアガラスの撥水コーティングについて

- 撥水効果を長持ちさせるため、次のことに注意してください。
  - ・ フロントドアガラス表面の泥などの汚れを落とす
  - ・ 汚れは早めにやわらかい湿った布などで清掃する
  - ・ コンパウンド（磨き粉）が入ったガラスクリーナーやワックスを使用しない
  - ・ 金属製の道具で霜取りをしない
- 水滴のはじきが悪くなったときは補修することができます。  
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

### 警告

#### ■ 洗車をするとき

エンジンルーム内に水をかけないでください。  
電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

#### ■ 排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

 **注意****■ 塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために**

- 次のような場合は、ただちに洗車してください。
  - ・ 海岸地帯を走行したあと
  - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
  - ・ コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
  - ・ ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
  - ・ ほこり・泥などで激しく汚れたとき
  - ・ 塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- 塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

**■ ランプの清掃**

- 注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。ランプを損傷させるおそれがあります。
- ランプにワックスがけを行わないでください。レンズを損傷するおそれがあります。

**■ 高圧洗浄機を使用するときは**

ノズルの先端を、下記部品の結合部やブーツ類（ゴムまたは樹脂製のカバー）、コネクタ類に近付けすぎないでください。

高い水圧がかかることにより、部品が損傷するおそれがあります。

- ・ 駆動系部品
- ・ ステアリング部品
- ・ サスペンション部品
- ・ ブレーキ部品

## 内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施してください。

### 室内の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を水で約 1% に薄めてやわらかい布に含ませふき取る  
水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

### 本革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- うすめた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る  
ウール用の中性洗剤を水で約 5% に薄めて使用してください。
- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

### 合成皮革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除く
- 中性洗剤を水で約 1% に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

 知識**■ 本革部分のお手入れの目安**

品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

**■ カーペットの洗浄**

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

**■ シートベルト**

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

**■ スーパー UV カットガラスについて**

- ドアガラスが汚れているときは、早めに水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいて清掃してください。
- ドアガラスの汚れがひどいときは、ドアガラスの開閉をくり返さないでください。

 **警告****■ 車両への水の浸入**

- 床・ラゲージルーム内・駆動用電池冷却用吸入口など、車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。(→ P. 61)  
駆動用電池や電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあります。
- SRS エアバッグの構成部品や電気配線をぬらさないでください。(→ P. 30)  
電気の不具合により、SRSエアバッグが作動したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ 内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）**

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 清掃するとき使用する溶剤について**

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
  - ・ シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
  - ・ シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール、その他の酸性やアルカリ性の溶剤
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

**■ 革の傷みを避けるために**

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために、次のことをお守りください。

- 革に付着したほこりや砂はすぐに取り除く
- 直射日光に長時間さらさないようにする  
特に夏場は日陰で車を保管する
- ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

**■ 床に水がかかると**

水で洗わないでください。

オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因となったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

**■ リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは**

- 熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- 熱線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

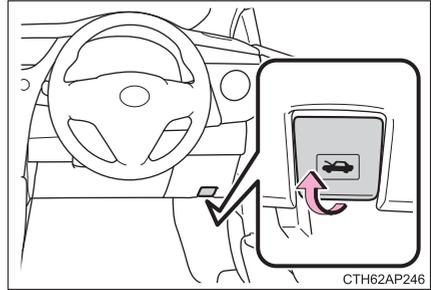
**■ スーパー UV カットガラスを掃除するときは**

ドアガラスを清掃するときは、コンパウンドまたは研磨剤入り用品（ガラスクリーナー・洗剤・ワックスなど）を使用しないでください。コーティングを損傷させるおそれがあります。

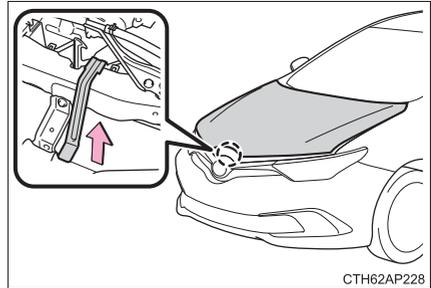
## ボンネット

室内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

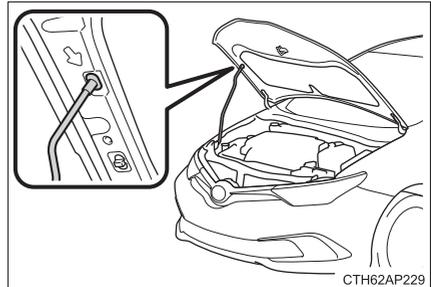
- 1 ボンネット解除レバーを引く  
ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 レバーを引き上げて、ボンネットを開ける



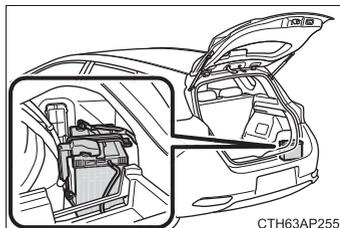
- 3 ボンネットステーをステー穴に差し込む



## 知識

### ■補機バッテリーについて

- この車両の補機バッテリーはラゲージルーム（運転席側）のカバー内にあり、エンジンルームには搭載されていません。（補機バッテリーはバッテリー液の補充が必要ないタイプのため、バッテリー液量などの点検は不要です）
- 補機バッテリーがあがってしまったときは、エンジンルーム内にある救援用端子を使用して、処置を行います。（→P. 331）



CTH63AP255

## 警告

### ■走行前の確認

ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■修理・車検・整備点検をする場合は

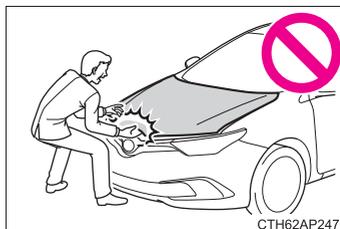
整備モードに切りかえる必要がありますので、必ずトヨタ販売店にご相談ください。高電圧システムを使用しているため、取り扱いを誤ると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■エンジンルーム点検後の確認

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れてしまうと、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあります。

### ■ボンネットを閉めるとき

手などを挟まないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



CTH62AP247

 **警告****■ ボンネットステーをステー穴に差し込んだあとは**

ボンネットが頭や体の上に落ちてこないように、正しく差し込まれているか確認してください。

**■ 補機バッテリー端子を脱着するときは**

必ず-端子を先にはずしてください。+端子を先にはずすと、+端子が周辺の金属部分にふれた場合、火花が発生し火災につながるおそれがある他、感電し重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ 補機バッテリーの交換について**

交換する際はオーリス専用品を使用してください。専用品以外を使用すると、ガス（水素）が室内に侵入したり、引火して爆発するおそれがあり危険です。補機バッテリーの交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

 **注意****■ ボンネットへの損傷を防ぐために**

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。

**■ ボンネットを閉めるときは**

ボンネットステーをステー穴から取りはずし、クリップに正しくもどしてください。ボンネットステーが差し込まれた状態で閉めると、ボンネットが損傷するおそれがあります。

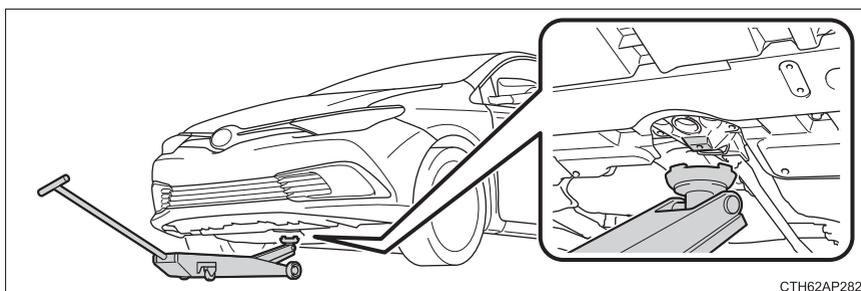
## ガレージジャッキ

ガレージジャッキを使用するときは、ガレージジャッキに付属の取扱説明書に従って、安全に作業してください。

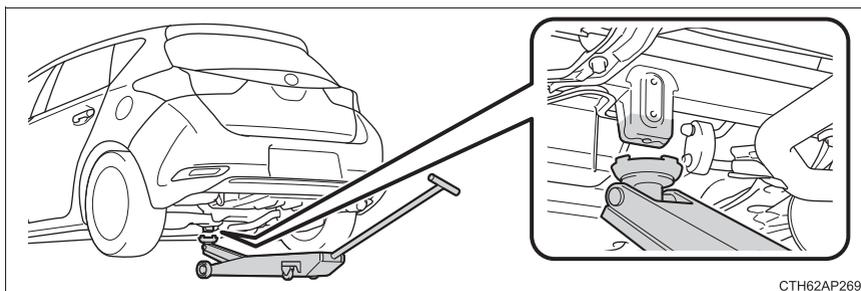
ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをするおそれがあります。

### ◆ フロント側



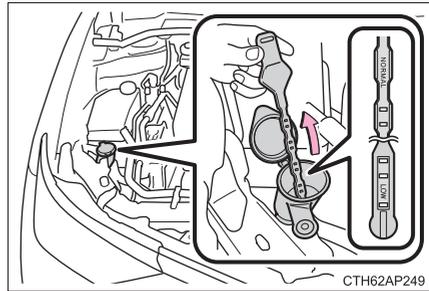
### ◆ リヤ側



## ウォッシャー液の補充

### 補充のしかた

液面が LOW の位置に近づいたらウォッシャー液を補給してください。

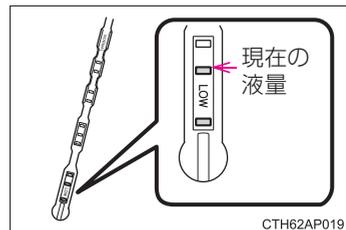


### 知識

#### ■ ゲージの使い方

ウォッシャー液の膜が張っているゲージの穴部の位置を確認して、ウォッシャー液の残量を判断します。

残量がゲージの先端から 2 つめの穴部より下まわった (LOW の位置まで低下した) ら、ウォッシャー液を補給してください。



 **警告****■ウォッシャー液を補充するとき**

ハイブリッドシステムが熱いときやハイブリッドシステム作動中は、ウォッシャー液を補充しないでください。

ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、ハイブリッドシステムなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

 **注意****■ウォッシャー液について**

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くことや、ポンプが故障してウォッシャー液が出なくなるおそれがあります。

**■ウォッシャー液のうすめ方**

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

## タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション(タイヤ位置交換)を5,000kmごとに行ってください。

### タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。

点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧

空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

- タイヤの亀裂・損傷の有無

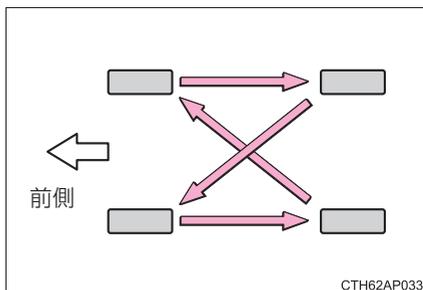
- タイヤの溝の深さ

- タイヤの異常摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど）の有無

### タイヤローテーションのしかた

図で示すようにタイヤのローテーションを行います。

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。



 知識

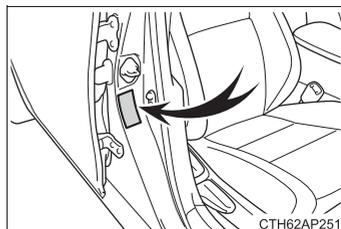
### ■ タイヤ空気圧の数値

タイヤサイズ	空気圧※ kPa (kg/cm <sup>2</sup> )
205/55R16 91V	230 (2.3)
225/45R17 91W	

応急用タイヤ★：420kPa (4.2kg/cm<sup>2</sup>) ※

タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。

※ タイヤが冷えているときの空気圧



### ■ タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

### ■ 低扁平タイヤについて (225/45R17 91W 装着車)

雪道や凍結路では、普通のタイヤとくらべてグリップ力が低下します。冬用タイヤを使用し、道路状態に応じた速度で注意深く運転するようにしてください。

### ■ 低扁平タイヤの空気圧点検 (225/45R17 91W 装着車)

低扁平タイヤは、走行性能を優先したタイヤです。特に空気圧は定期的に点検してください。2週間に1回 (最低でも1ヶ月に1回)、または長距離ドライブの前には、必ず空気圧を点検してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

**警告****■点検・交換時の警告**

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

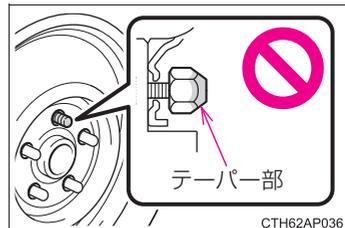
**■異常があるタイヤの使用禁止**

異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、異常な振動を感じる場合があります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

**■タイヤ交換時の注意**

- 必ずナットのテーパ部を内側にして取り付けてください。  
テーパ部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはすれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ねじ部にオイルやグリスをぬらないでください。  
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。  
またナットがゆるみホイールが落下して、重大な事故につながるおそれがあります。  
オイルやグリスがねじ部についている場合はふき取ってください。

**■異常があるホイールの使用禁止**

- 亀裂や変形などがあるホイールは使用しないでください。
- 走行中にタイヤの空気圧が抜けて、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ 低扁平タイヤについて (225/45R17 91W 装着車)**

低扁平タイヤのホイールは、路面から衝撃を受けたとき、ホイールに通常より大きなダメージを与えることがあります。そのため次のことに注意してください。

- 適切なタイヤ空気圧で使用する  
空気圧が低すぎると簡単に損傷することがあります。
- 段差や凹凸のある路面、路上に空いた穴、平らでない舗道・縁石や他の障害物を避ける  
タイヤおよびホイールがひどく損傷することがあります。

**■ 走行中に空気もれが起こったら**

走行を続けしないでください。  
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

**■ 悪路走行に対する注意**

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。  
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

## タイヤ空気圧について

タイヤの空気圧を適正に維持するために、タイヤの空気圧点検を月に1回以上実施してください。低扁平タイヤの場合、2週間に1回、または長距離ドライブの前には必ず空気圧を点検してください。(→ P. 348)

### 知識

#### ■ タイヤ空気圧が適正でない場合

適切に調整されていないタイヤ空気圧で走行すると、次のようなことが起こる場合があります。

- 燃費の悪化
- 乗り心地や操縦安定性の低下
- 摩耗によるタイヤ寿命の低下
- 安全性の低下

ひんぱんにタイヤ空気圧が低下する場合は、トヨタ販売店でタイヤの点検を受けてください。

#### ■ タイヤ空気圧の点検のしかた

タイヤ空気圧の点検の際は、次のことをお守りください。

- タイヤが冷えているときに点検する
- タイヤ空気圧ゲージを必ず使用する  
タイヤの外観だけでは空気圧が適正かどうか判断できません。
- 走行後はタイヤの発熱により空気圧が高くなります。異常ではありませんので減圧しないでください。
- 荷物を積んだり、多人数で乗車するときは荷重を不均等にかけないようにする

 **警告****■ タイヤの性能を発揮するために**

適正なタイヤ空気圧を維持してください。

タイヤ空気圧が適正に保たれていないと、次のようなことが起こるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 過度の摩耗
- 偏摩耗
- 操縦安定性の低下
- タイヤの過熱による破裂
- タイヤとホイールのあいだからの空気漏れ
- ホイールの変形、タイヤの損傷
- 走行時にタイヤが損傷する可能性の増大  
(路上障害物、道路のつなぎ目や段差など)

 **注意****■ タイヤ空気圧の点検・調整をしたあとは**

タイヤのバルブキャップを確実に取り付けてください。

バルブキャップをはずしていると、ほこりや水分がバルブに入り空気が漏れ、タイヤの空気圧が低下するおそれがあります。

## 電子キーの電池交換

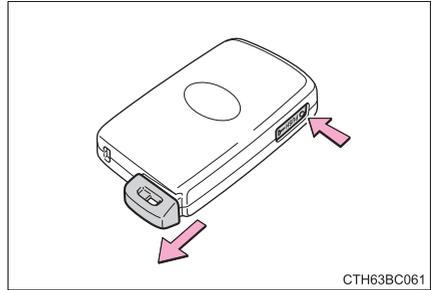
電池が消耗しているときやマルチインフォメーションディスプレイに「キーバッテリー残りわずか」と表示されたときは、新しい電池に交換してください。

### 用意するもの

- マイナスドライバー
- 小さいマイナスドライバー
- リチウム電池 CR2032

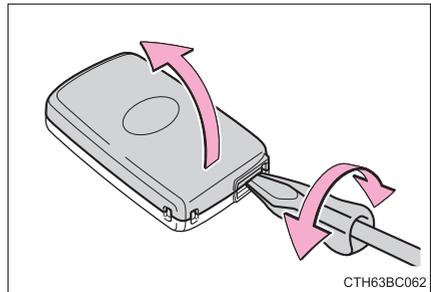
### 電池交換のしかた

- 1 メカニカルキーを抜く



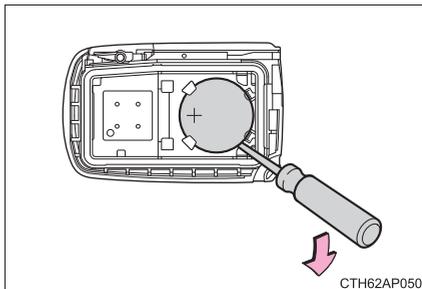
- 2 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



**3** 消耗した電池を取り出す

新しい電池は、+極を上にして取り付けます。



CTH62AP050

**4** 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける
 **知識**
**■ リチウム電池 CR2032 の入手**

電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

**■ 電子キーの電池が消耗していると**

次のような状態になります。

- スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレス機能が作動しない
- 作動距離が短くなる

 **警告**
**■ 取りはずした電池と部品について**

お子さまにさわらせないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意**
**■ 交換後、正常に機能させるために**

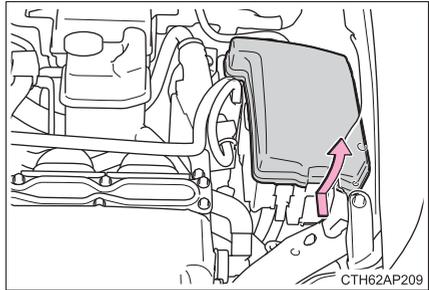
次のことを必ずお守りください。

- めれた手で電池を交換しない  
錆の原因になります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- 電極を曲げない

## ヒューズの点検・交換

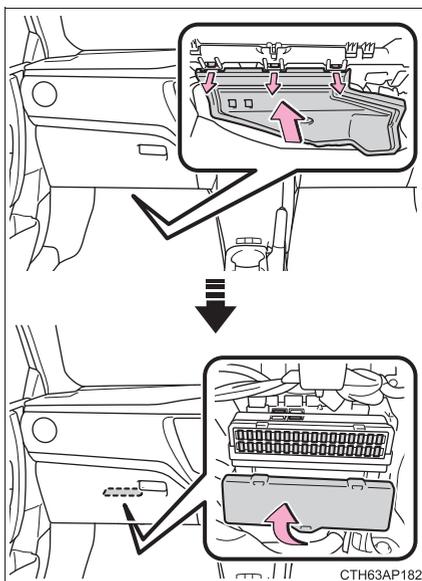
ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

- 1 パワースイッチを OFF にする
- 2 ヒューズボックスを開ける
  - ▶ エンジンルームツメを押しながら、カバーを持ち上げる



## ▶ 助手席足元

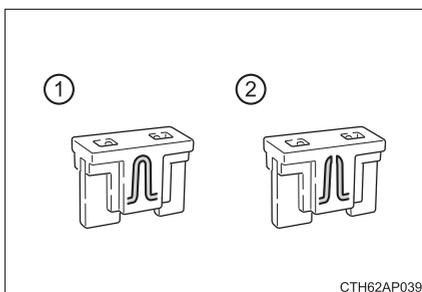
足元のカバーを取りはずし、  
ヒューズボックスのカバーを取り  
はずす



**3** ヒューズが切れていないか点検  
する

- ① 正常
- ② ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規  
定容量のヒューズに交換します。



 知識

## ■ ヒューズを交換したあとは

- 交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。  
(→ P. 266)
- 交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

## ■ 補機バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

## ■ 電球（バルブ）を交換するとき

この車両に指定されているトヨタ純正品のご使用をおすすめします。一部の電球は過電流を防止する専用回路に接続されているため、この車両指定のトヨタ純正品以外は使用できない場合があります。

 警告

## ■ 車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

## ■ パワーコントロールユニット近くのヒューズボックスについて

高電圧部位・高電圧の配線が近くにあるため、絶対に点検・交換をおこなわないでください。

取り扱いを誤ると感電し、生命に関わるような重大な傷害を受けるおそれがあります。危険です。

 注意

## ■ ヒューズを交換する前に

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

## 電球（バルブ）の交換

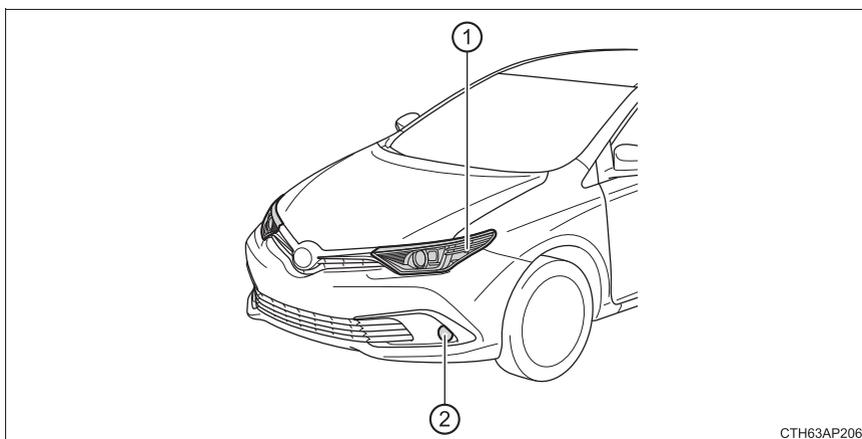
次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

### 電球の用意

切れた電球のW（ワット）数を確認してください。（→ P. 349）

### バルブ位置

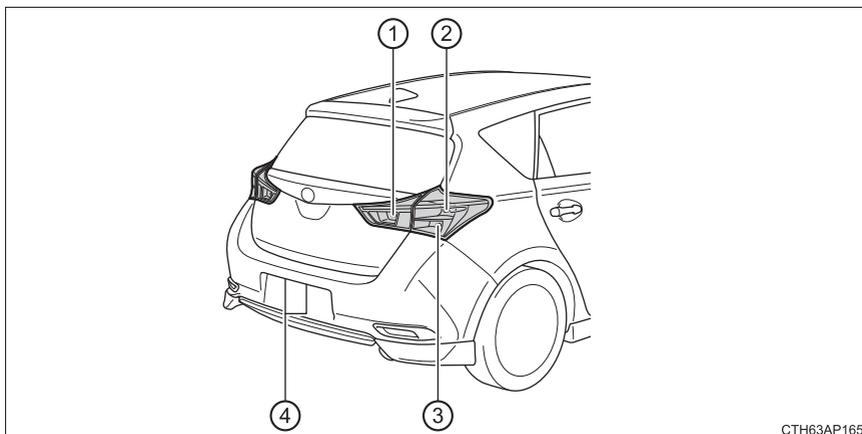
#### ■ フロント



CTH63AP206

- ① フロント方向指示灯／非常点滅灯
- ② フロントフォグランプ

## ■ リヤ



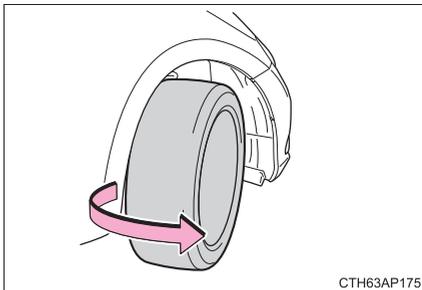
- ① 後退灯
- ② 制動灯
- ③ リヤ方向指示灯／非常点滅灯
- ④ 番号灯

## 電球交換のしかた

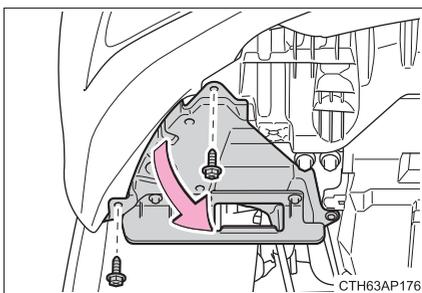
### ■ フロントフォグランプ

- 1 交換するランプの反対側へハンドルをまわし、タイヤの向きをかえる

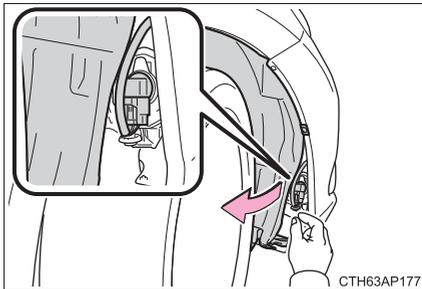
手が十分入る程度にハンドルをまわしてください。



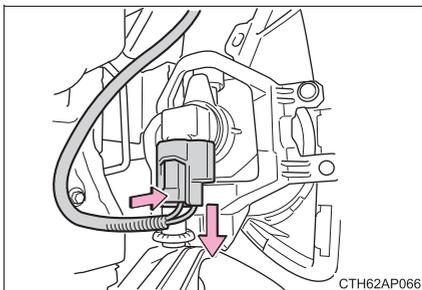
- 2 スクリュー（2本）をはずし、フェンダーライナーをはずす



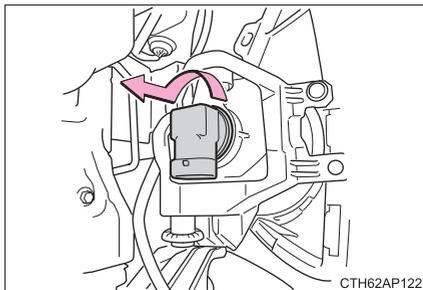
- 3 電球が見える位置までフェンダーライナーをめくる



- 4 ツメを押し、コネクターを取りはずす

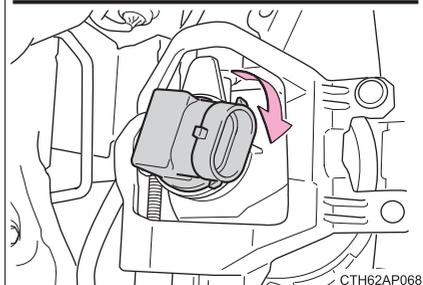
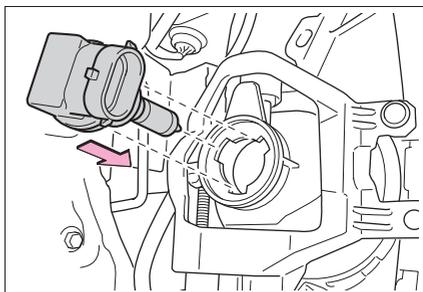


5 電球をまわして取りはずす



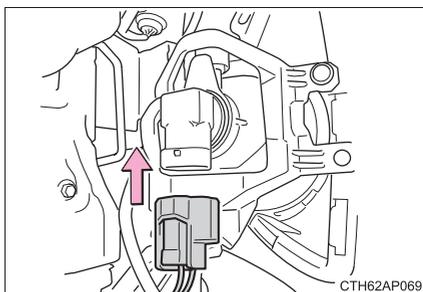
6 電球を交換し取り付ける

取り付け部と電球のツメ（3ヶ所）をあわせて挿し込み、右にまわして固定します。



7 コネクターを取り付ける

コネクターを軽くゆさぶってぐらつきがないことを確認し、いったんフロントフォグランプを点灯させ、ランプの取り付け部からランプの光がもれてないことを目視確認してください。

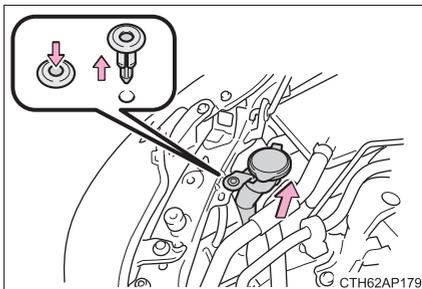


8 フェンダーライナーを取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

フェンダーライナーがバンパー内側にある事を確認してください。

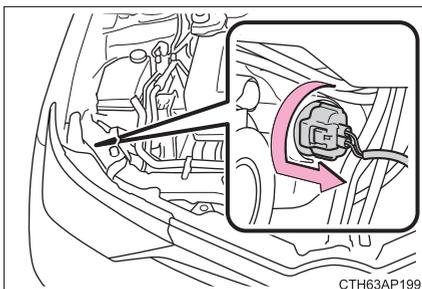
## ■ フロント方向指示灯／非常点滅灯

- 1 固定クリップをはずし、ウォッシャー液補給口を引き出す（右側の電球交換時のみ）



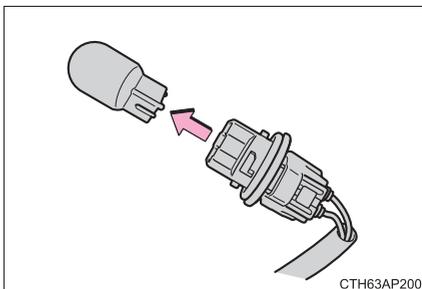
CTH62AP179

- 2 ソケットをまわして取りはずす



CTH63AP199

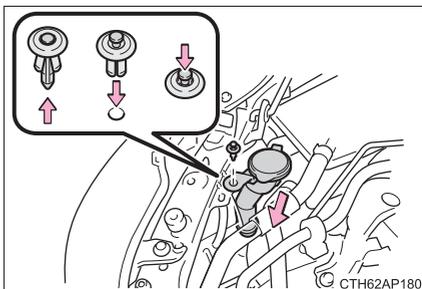
- 3 電球を取りはずす



CTH63AP200

- 4 電球とソケットを取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

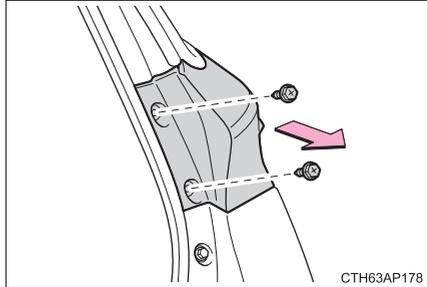
- 5 ウォッシャー液補給口を取り付け、固定クリップを取り付ける（右側の電球交換時のみ）



CTH62AP180

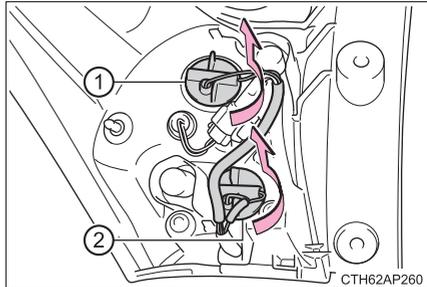
## ■ 制動灯、リヤ方向指示灯／非常点滅灯

- 1 バックドアを開け、スクリュー（2本）をはずし、ランプ本体をまっすぐ後方に引き、取りはずす



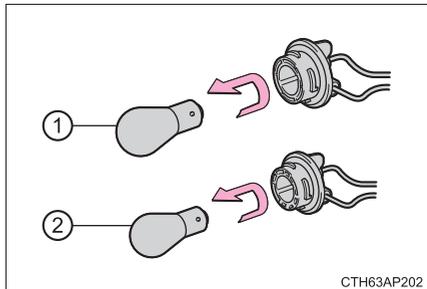
- 2 ソケットをまわして取りはずす

- ① 制動灯  
② リヤ方向指示灯／非常点滅灯



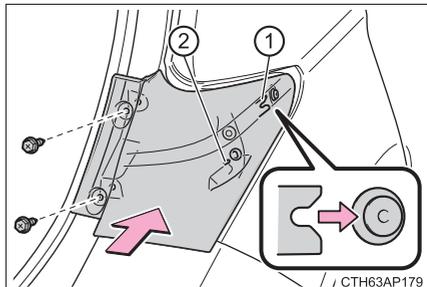
- 3 電球を取りはずす

- ① 制動灯  
② リヤ方向指示灯／非常点滅灯



- 4 電球とソケットを取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

- 5 ランプ本体を取り付け、スクリュー（2本）を取り付ける  
外側のツメ（①）とクリップを合わせてからピン（②）を合わせて取り付けてください。

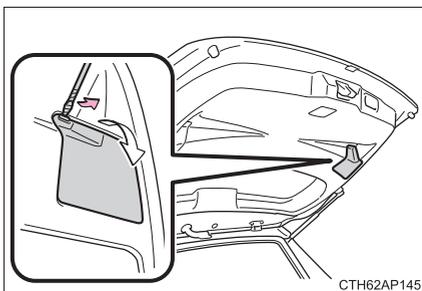


## ■ 後退灯

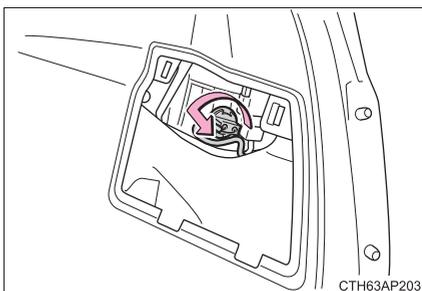
- 1 バックドアを開け、カバーを取りはずす

マイナスドライバーなどを上の穴に挿し込み、図のように取りはずす

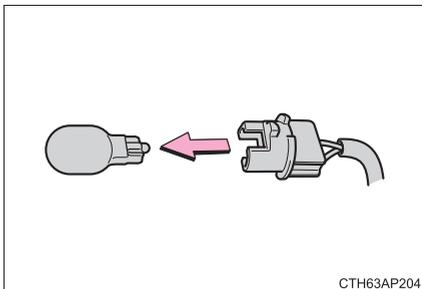
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。



- 2 ソケットをまわして取りはずす



- 3 電球を取りはずす



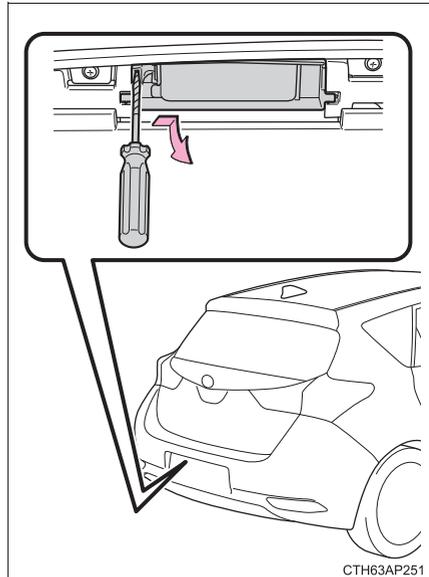
- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

## ■ 番号灯

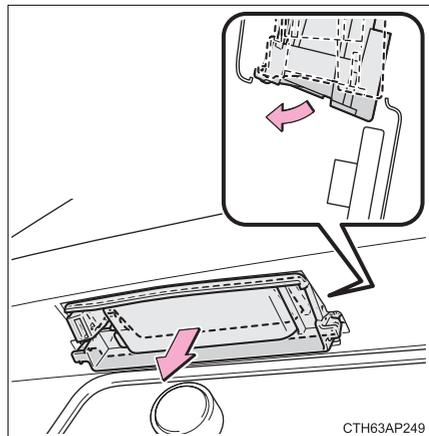
### 1 ランプ本体のツメをはずす

マイナスドライバーなどをランプ横の穴に挿し込み、図のようにはずします。

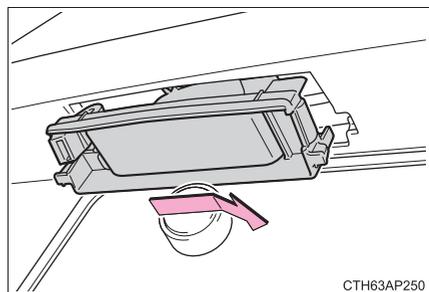
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端にテープなどを巻いて保護してください。



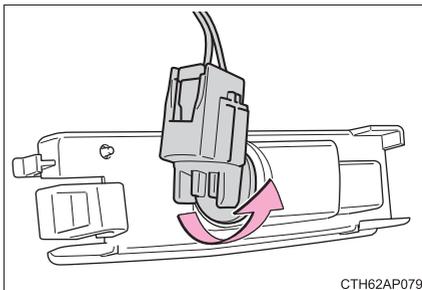
### 2 ランプ本体を車両後方に傾けて少し引き出す



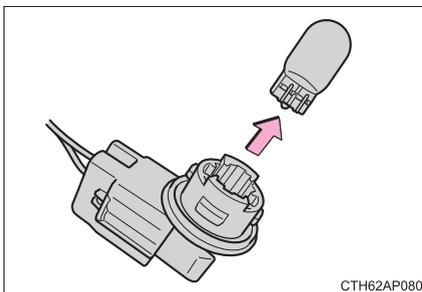
### 3 ランプ本体を右方向に引き出す



- 4 ソケットをまわして取りはずす



- 5 電球を取りはずす



- 6 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ 次の電球を交換するには

次のランプが切れたときは、トヨタ販売店で交換してください。

- ヘッドランプ
- 車幅灯
- サイド方向指示灯／非常点滅灯
- 尾灯
- ハイマウントストップランプ

 知識

## ■ LED ランプについて

ヘッドランプ、尾灯、車幅灯、ハイマウントストップランプは、数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。

## ■ レンズ内の水滴と曇り

次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。ただし、レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。

- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている

## ■ 電球（バルブ）を交換するとき

→ P. 265

 警告

## ■ 電球を交換するとき

- 必ずハイブリッドシステムを停止し、ランプを消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでください。やけどをすることがあります。
- 電球のガラス部を素手でふれないでください。やむを得ずガラス部を持つ場合は、電球に油脂や水分を付着させないために、乾いた清潔な布などを介して持ってください。また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- 電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。

## ■ お車の故障や火災を防ぐために

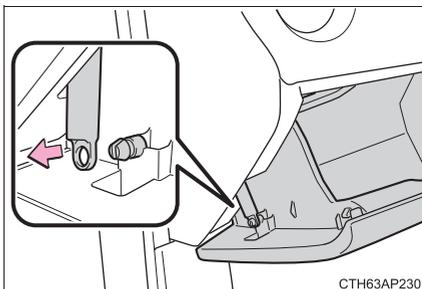
電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

## エアコンフィルターの交換

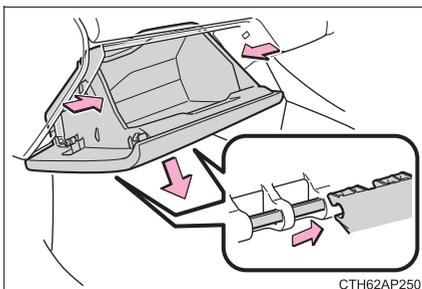
エアコンを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に交換してください。

### ■ 交換のしかた

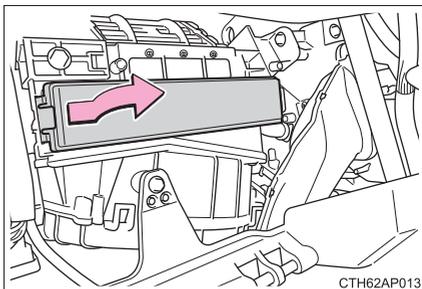
- 1 パワースイッチを OFF にする
- 2 グローブボックスを開き、ダンパーステーのピンをはずす



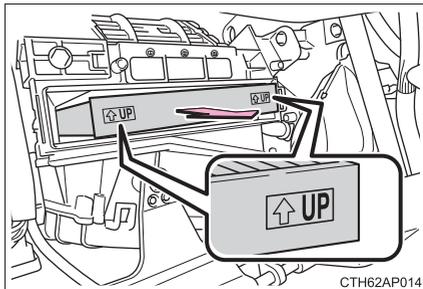
- 3 グローブボックス側面を内側に押し、上部のツメを片側ずつはずし、下部のツメをはずして取りはずす



- 4 フィルターカバーを取りはずす



- 5 フィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する  
 「↑UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。



## 知識

### ■ エアコンフィルターの交換について

エアコンフィルターは下記の時期を目安に交換してください。

15,000 km [7,500 km<sup>※1</sup>]ごと、ただし12ヶ月をこえないこと<sup>※2</sup>

※<sup>1</sup> 大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

※<sup>2</sup> 芳香剤などの使用により脱臭寿命が著しく低下する場合があります。エアコンの臭いが気になりだしたらフィルターを交換してください。

### ■ エアコンの風量が減少したときは

フィルターの目詰まりが考えられますので、フィルターを交換してください。

## 注意

### ■ エアコンを使用するときの注意

- フィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因となることがあります。必ずフィルターを装着してください。
- フィルターは交換するタイプです。水洗いやエアブローによる清掃はしないでください。



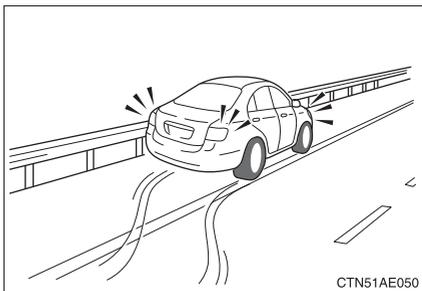
7-1. まず初めに	
故障したときは.....	280
非常点滅灯 (ハザードランプ) .....	281
発炎筒 .....	282
車両を緊急停止するには .....	284
7-2. 緊急時の対処法	
けん引について.....	285
警告灯がついたときは .....	292
警告メッセージが 表示されたときは .....	296
パンクしたときは (応急用タイヤ装着車) .....	303
パンクしたときは (タイヤパンク応急修理 キット装着車) .....	313
ハイブリッドシステムが 始動できないときは .....	327
電子キーが正常に 働かないときは .....	329
補機バッテリーが あがったときは .....	331
オーバーヒート したときは.....	336
スタックしたときは.....	341

## 故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

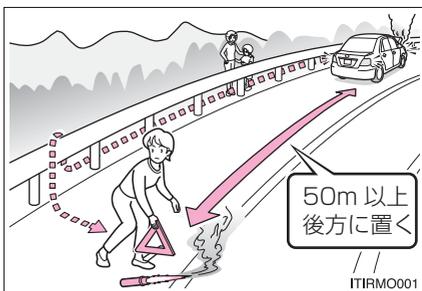
非常点滅灯（→ P. 281）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車する

非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使います。



高速道路や自動車専用道路では、次のことに従う

- 同乗者を避難させる
- 車両の50m以上後方に発炎筒（→ P. 282）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
  - ・ 見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
  - ・ 発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに避難する



### 知識

#### ■ 停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず路上駐車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- 停止表示板・停止表示灯のご購入については、トヨタ販売店にお問い合わせください。

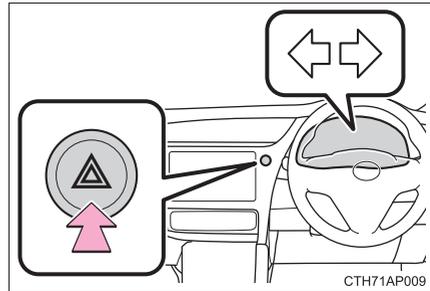


## 非常点滅灯（ハザードランプ）

事故などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。  
もう一度押すと消灯します。



### 知識

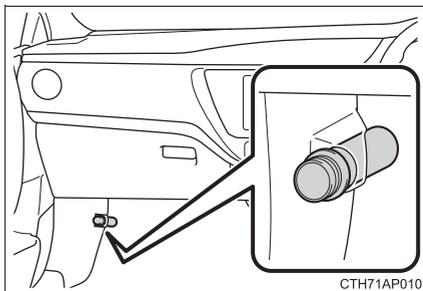
#### ■非常点滅灯について

ハイブリッドシステム停止中（READY インジケーターが点灯していないとき）に、非常点滅灯を長時間使用すると、補機バッテリーがあがるおそれがあります。

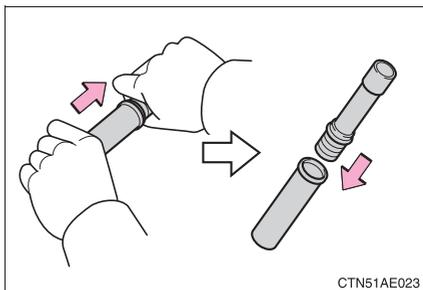
## 発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。  
(トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください)  
発炎時間は約5分です。非常点滅灯と併用してください。

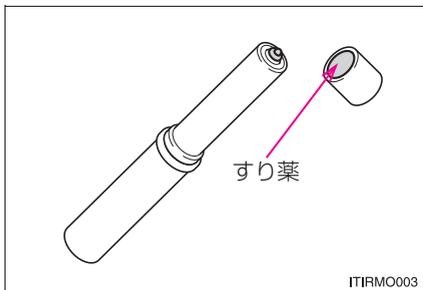
- 1 助手席足元の発炎筒を取り出す



- 2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



- 3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をこすり、着火させる  
必ず車外で使用してください。  
着火させる際は、筒先を顔や体に向けてはいけません。



 知識

## ■ 発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店で求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

 警告

## ■ 発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。  
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

## ■ 発炎筒の取り扱いについて

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさわらせない

## 車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

- 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける  
ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。
- 2 シフトポジションを N にする
  - ▶ シフトポジションが N になった場合
- 3 減速後、車を安全な道路脇に停める
- 4 ハイブリッドシステムを停止する
  - ▶ シフトポジションが N にならない場合
- 3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる
- 4 パワースイッチを 2 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してハイブリッドシステムを停止する



- 5 車を安全な道路脇に停める

### ⚠ 警告

#### ■ 走行中にやむを得ずハイブリッドシステムを停止するとき

ハンドル操作が重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。ハイブリッドシステムを停止する前に、十分に減速するようにしてください。

## けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。  
その場合は、レッカー車または、車両運搬車を使用することをおすすめします。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう場合は、車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめてください。

### 他車によるけん引が不可能な状況

次の場合は、パーキングロックにより前輪が固定されている可能性があるため、他車にロープでけん引してもらうことはできません。トヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。

- シフト制御システムに異常があるとき (→ P. 296)
- イモビライザーシステムに異常があるとき (→ P. 66)
- スマートエントリー&スタートシステムに異常があるとき (→ P. 329)
- 補機バッテリーがあがったとき (→ P. 331)

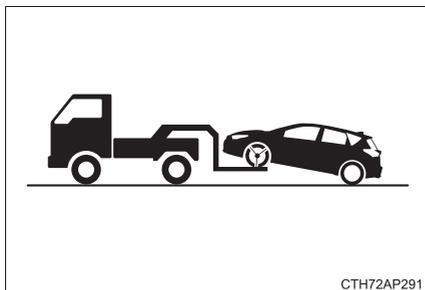
### けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店または専門業者へご連絡ください。

- マルチインフォメーションディスプレイにハイブリッドシステムの異常をしめすメッセージが表示され、車が動かない
- 異常な音がする

### レッカー車でけん引するとき

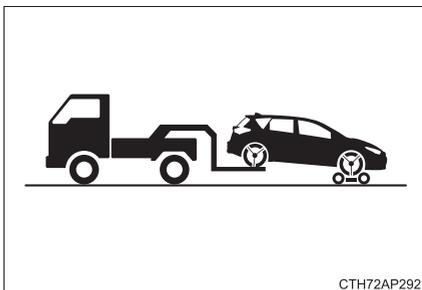
▶ 前向きにけん引するとき



CTH72AP291

パーキングブレーキを解除する

▶ うしろ向きにけん引するとき

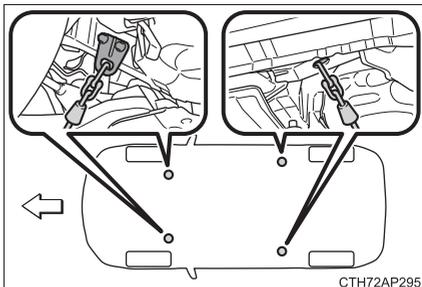


CTH72AP292

台車を使用して前輪を持ち上げる

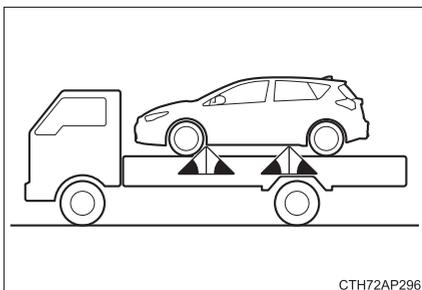
### 車両運搬車を使用するとき

車両運搬車で輸送するときは、図の場所で固縛する



CTH72AP295

鎖やケーブルなどを使用して車両を固縛する場合は図に黒く示す角度が45°になるように固縛する



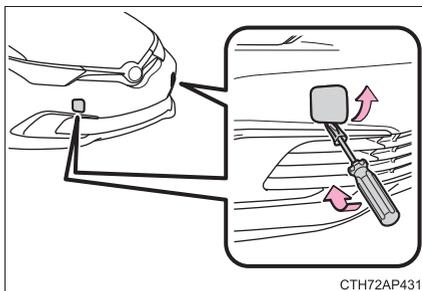
CTH72AP296

**他車にけん引してもらおうとき**

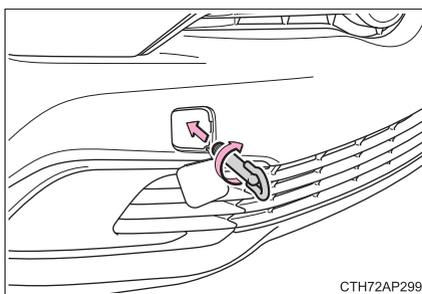
1 けん引フックを取り出す (→ P. 304, 315)

2 マイナスドライバーを使ってフタをはずす

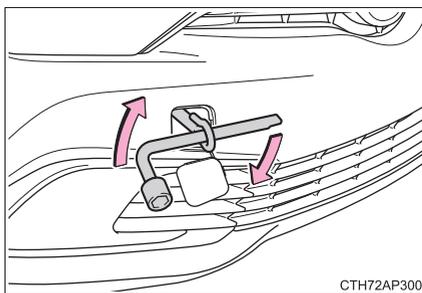
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



3 けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める



4 ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける



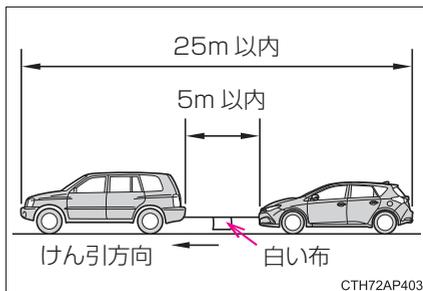
5 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける

車体に傷が付かないように注意してください。また、前進方向でけん引してください。

**6** ロープの中央に白い布を付ける

布の大きさ：

0.3m 平方 (30cm × 30cm) 以上



**7** 運転者はけん引される車両に乗り、ハイブリッドシステムを始動する  
ハイブリッドシステムが始動しないときは、パワースイッチを ON モードにしてください。

**8** けん引される車両のシフトポジションを N にしてから、パーキングブレーキを解除する

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

 知識

## ■けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引してもらうときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

## ■他車にけん引してもらうときに

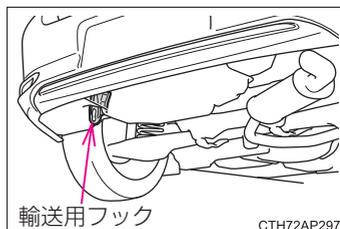
ハイブリッドシステムが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

## ■ホイールナットレンチについて

ラゲージルームに搭載されています。(→P. 304, 315)

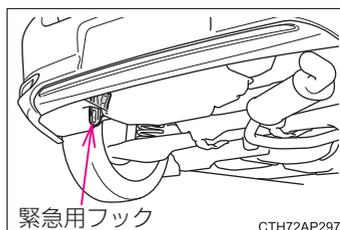
## ■輸送用フックについて

このフックは船舶固縛で車両を輸送するときに固定するためのものです。他車をけん引したりすることはできません。



## ■緊急用フックについて

雪の吹きだまりなどでスタックして走行できなくなったとき、やむを得ず他車に引っ張り出してもらうために使用することができます。他車をけん引することはできません。



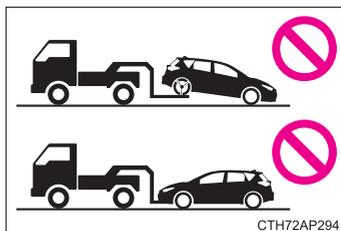
**警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ レッカー車でけん引するとき**

必ず前輪を持ち上げるか、4 輪とも持ち上げた状態で運搬してください。前輪が地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり、モーターが回転することにより発電され、故障や破損の状態によっては火災が発生するおそれがあります。

**■ 他車にけん引してもらうときの運転について**

- けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあります。
- パワースイッチを OFF にしないでください。パーキングロックにより、前輪が固定され思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

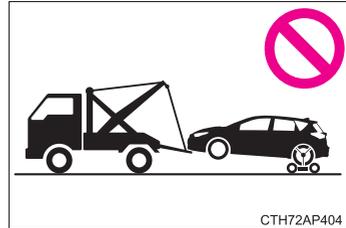
**■ けん引フックを車両に取り付けるとき**

指定の位置にしっかりと取り付けてください。

指定の位置にしっかりと取り付けていないとけん引時にフックがはずれるおそれがあります。

**⚠ 注意****■ レッカー車でけん引するとき**

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカー車ではけん引しないでください。

**■ 車両運搬車に車を固縛するとき**

ケーブル等を過度に締め付けすぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。

**■ 駆動系部品の損傷を防ぐために**

- 他車にけん引してもらうときは次のことを必ずお守りください。
  - ・ ワイヤロープは使用しない
  - ・ 速度は 30 km/h 以下、距離は車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめる
  - ・ 前進方向でけん引する
  - ・ サスペンション部などにロープをかけない
- この車両で他車やポート（トレーラー）などをけん引しないでください。

**■ 長い下り坂でけん引するときは**

レッカー車で前輪を持ち上げるか、4 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。

レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

**■ 輸送用フックについて**

輸送用フックで他車をけん引したりしないでください。装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

**■ 緊急用フックについて**

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

- やむを得ない場合以外は使用しないでください。
- 緊急用フックで他車をけん引しないでください。

## 警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。なお、点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

### 警告灯・警告ブザー一覧

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
 (赤色)	<b>ブレーキ警告灯 (警告ブザー) ※ 1</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブレーキ液の不足</li> <li>・ ブレーキシステムの異常</li> </ul> パーキングブレーキが解除されていないときも点灯します。解除後、消灯すれば正常です。 <b>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。</b>
 (黄色)	<b>電子制御ブレーキ警告灯</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回生ブレーキシステムの異常</li> <li>・ 電子制御ブレーキシステムの異常</li> </ul> <b>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</b>
	<b>高水温警告灯</b> エンジン冷却水の高温異常 (→ P. 336) <b>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。</b>
	<b>エンジン警告灯</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハイブリッドシステムの異常</li> <li>・ エンジン電子制御システムの異常</li> <li>・ 電子制御スロットルの異常</li> </ul> <b>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</b>
	<b>SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SRS エアバッグシステムの異常</li> <li>・ プリテンショナー付きシートベルトシステムの異常</li> </ul> <b>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</b>
	<b>ABS &amp; ブレーキアシスト警告灯</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ABS の異常</li> <li>・ ブレーキアシストの異常</li> </ul> <b>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</b>

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	<p><b>パワーステアリング警告灯（警告ブザー）</b>            EPS（エレクトリックパワーステアリング）の異常            → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
	<p><b>スリップ表示灯</b>            ・ VSC システムの異常            ・ TRC システムの異常            ・ ヒルスタートアシストコントロールシステムの異常            VSC/TRC/ABS システム作動時は点滅します。            （→ P. 195）            → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
	<p><b>PCS（プリクラッシュセーフティシステム）警告灯★</b>            警告灯が点滅した場合（ブザーあり）：            プリクラッシュセーフティシステムの異常            → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。            警告灯が点滅した場合（ブザーなし）：            次の原因などによりプリクラッシュセーフティシステムが一時停止している可能性があります。            ・ 前方センサー周辺のフロントウインドウガラスに汚れ（くもり、結露、凍結などを含む）や付着物がある            → 汚れや付着物を取り除いてください。（→ P. 164）            ・ 前方センサー温度が作動範囲外            → センサーの周辺温度が下がるまでしばらくお待ちください。            警告灯が点灯した場合：            VSC（ビークルスタビリティコントロール）システムまたはプリクラッシュセーフティシステム、もしくは両方が OFF になっています。            → VSCシステムとプリクラッシュセーフティシステムを ON にすると、プリクラッシュセーフティシステムが利用可能になります。（→ P. 169、196）</p>
	<p><b>燃料残量警告灯</b>            燃料の残量が約 6.8L 以下になった            → 燃料を補給する</p>
	<p><b>シートベルト非着用警告灯（警告ブザー）※<sup>2</sup></b>            運転席・助手席シートベルトの非着用            → シートベルトを着用する            助手席乗員がいるときは、助手席乗員もシートベルトを着用してください。</p>

★：グレード、オプションなどにより、装着の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	<p><b>マスターウォーニング</b>            システムの異常時にブザーと共に点灯・点滅し、マルチインフォメーションディスプレイ上に警告メッセージを表示します。            → P. 296</p>

- ※<sup>1</sup> ブレーキ警告ブザー：  
 ブレーキの効き低下につながる異常があると、警告灯の点灯と同時に警告ブザーが鳴ります。  
 パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー：  
 パーキングブレーキをかけたまま、車速が 5 km/h 以上になると警告ブザーが鳴ります。  
 警告ブザーが鳴ったときは、パーキングブレーキを解除してください。
- ※<sup>2</sup> シートベルト非着用警告ブザー：  
 運転席・助手席シートベルト非着用のまま車速が約 20 km/h 以上になると、警告ブザーが 1 回鳴ります。その後も運転席・助手席シートベルト非着用のまま約 24 秒を経過すると、30 秒間断続的に鳴り、さらにブザーの音が変わり 90 秒間鳴ります。

 知識

## ■ シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

- 助手席に乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。
- 助手席に座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

## ■ パワーステアリング警告灯／警告ブザーについて

補機バッテリーの充電が不十分な場合、または一時的に電圧が下がった場合に警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがあります。

## ■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

 警告

## ■ パワーステアリング警告灯が点灯したときは

ハンドル操作が非常に重くなることがあります。  
ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

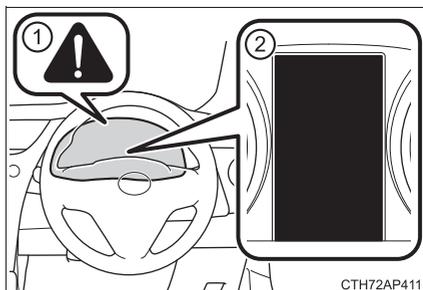
## 警告メッセージが表示されたときは

マルチインフォメーションディスプレイには、システムの故障や誤った操作をしたときの警告、メンテナンスが必要であることをお知らせするメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

### ① マスターウォーニング

マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されているとき、点灯・点滅します。

### ② マルチインフォメーションディスプレイ



処置後に再度メッセージが表示されたときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

## メッセージと警告作動

メッセージの内容によって警告灯や警告ブザーの作動が次のように切りかわります。ディーラーで点検をするように表示されたときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

	警告ブザー※	警告内容
点灯	あり	走行にかかわるシステムの故障や、そのまま放置すると思わぬ危険を招くおそれがあるなどの重要なメッセージを意味します。
点滅	あり	車両への損傷や、思わぬ危険を招くおそれがあるなどのメッセージを意味します。
—	なし	電装品の故障や状態、メンテナンスのお知らせなどのメッセージを意味します。
点滅	なし	車両を正しく操作していない場合や、操作方法のアドバイスなどを意味します。

※ メッセージを最初に表示したときに作動します。

### シフト操作に関するメッセージが表示されたとき

- 「補機バッテリー充電不足 シフト切りかえできません 取扱書を確認」が表示されたとき

補機バッテリーの電圧が低下したため、シフトポジションの切りかえができなくなっています。補機バッテリーを充電、または交換してください。

(補機バッテリーあがりの対処方法 : → P. 331)

- 「シフト切りかえ一時不可 しばらくしてから再度操作してください」が表示されたとき

シフトレバーとPポジションスイッチの操作を短時間にくり返した場合に、このメッセージが表示されます。

約20秒おいてから、シフトポジションを切りかえてください。

- 「Nレンジに切りかえました Pにする場合は停車しPスイッチ操作」が表示されたとき

走行中にPポジションスイッチを押したとき、自動的にシフトポジションがNに切りかわり、このメッセージが表示されます。

(→ P. 145)

車両を完全に停車させてから、Pポジションスイッチを操作してください。

**駐車に関する警告メッセージが表示されたとき**

- 「シフト系故障 駐車時はパーキングブレーキをかけ取扱書を確認」または「シフト系通信故障 駐車時はパーキングブレーキをかけ取扱書を確認」が表示されたとき
  - シフト制御システムが故障しています。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
  - このメッセージが表示された場合、始動操作やシフトポジションの切りかえ操作について、次のような現象が起こる場合があります。
    - ・ シフトポジションを P に切りかえられない可能性があります。駐車する場合は平坦な場所を選び、パーキングブレーキを確実にかけてください。
    - ・ ハイブリッドシステムを始動できない可能性があります。
    - ・ パワースイッチを操作して OFF にしようとしても、アクセサリーモードになることがあります。その場合は、パーキングブレーキをかけてからパワースイッチを操作すると、OFF にすることができます。
    - ・ 自動 P ポジション切りかえ機能（→ P. 138）が働かない可能性があります。パワースイッチを OFF にする前に、確実に P ポジションスイッチを押し、シフトポジション表示灯または P ポジションスイッチの作動表示灯で、シフトポジションが P であることを必ず確認してください。
- 「補機バッテリー充電不足 駐車時パーキングブレーキをかけ取扱書確認」が表示されたとき
  - 補機バッテリーが充電不足です。補機バッテリーを充電または交換してください。
  - このメッセージが表示された場合、始動操作やシフトポジションの切りかえ操作について、次のような現象が起こる場合があります。
    - ・ シフトポジションを P に切りかえられない可能性があります。駐車する場合は平坦な場所を選び、パーキングブレーキを確実にかけてください。
    - ・ ハイブリッドシステムを始動できない可能性があります。
  - 補機バッテリー充電後も、シフトポジションを P から P 以外に切りかえるまでメッセージが表示され続ける場合があります。

## ハイブリッドシステムまたは駆動用電池に関するメッセージが表示されたとき

### ■「停車時はブレーキを踏んでください」が表示されたとき

上り坂などでの停車時にアクセルペダルを踏んで車両を保持するとメッセージが表示される場合があります。

そのままの状態を続けるとハイブリッドシステムが過熱するおそれがあります。アクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。

### ■「ハイブリッド充電量低下のためシステム停止 Pレンジにして再始動」が表示されたとき

長時間シフトポジションが N になっているため、駆動用電池の残量が低下したときにメッセージが表示されます。

車両を動かす場合は、ハイブリッドシステムを再始動してください。

### ■「ハイブリッドシステム故障 安全な場所に停車して取扱書を確認」が表示されたとき

対処方法：→ P. 300

### ■「ハイブリッド充電量低下 Nレンジ以外にすると充電されます」が表示されたとき

駆動用電池の残量が低下したときにメッセージが表示されます。

シフトポジションが N では充電できないため、長時間停車するときはシフトポジションを P にしてください。

### ■「ハイブリッドシステム高温 出力制限中です」が表示されたとき

負荷の高い走行状況（例えば、長い上り坂の走行中や、後退方向での登坂中など）のときにメッセージが表示される場合があります。

対処方法：→ P. 336

### ■「駆動用電池の冷却部品のメンテナンスを販売店で受けてください」が表示されたとき

フィルターが目づまりしている、冷却用の吸入口がふさがれている、またはダクトにすき間があるなどが考えられます。トヨタ販売店で駆動用電池の冷却部品のメンテナンスを受けてください。

**取扱説明書の確認を指示する警告メッセージが表示されたとき**

- 次のメッセージが表示されたときは、以下のページを参照し対処してください。
    - 「補機バッテリー充電不足 シフト切りかえできません 取扱書を確認」:  
→ P. 297
    - 「シフト系故障 駐車時はパーキングブレーキをかけ取扱書を確認」:  
→ P. 298
    - 「シフト系通信故障 駐車時はパーキングブレーキをかけ取扱書を確認」:  
→ P. 298
    - 「補機バッテリー充電不足 駐車時パーキングブレーキをかけ取扱書確認」:  
→ P. 298
  - 次のメッセージが表示されたときは、故障している可能性があります。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。
    - 「充電システム故障 取扱書を確認してください」
    - 「エンジン油圧不足 安全な場所に停車して取扱書を確認してください」
    - 「ハイブリッドシステム故障 安全な場所に停車して取扱書を確認」
  - 次のメッセージが表示されたときは、故障している可能性があります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
    - 「スマートエントリー&スタートシステム故障 取扱書を確認」
    - 「シフト系故障 取扱書を確認」
  - 「補機バッテリー（始動用）充電不足 取扱書を確認してください」が表示されたとき
    - 数秒後<sup>\*</sup>に表示が消えたときは  
約 15 分以上、ハイブリッドシステムが作動した状態を保持し、補機バッテリーを充電してください。
    - 表示が消えないときは  
「補機バッテリーがあがったときは」（→ P. 331）の手順でハイブリッドシステムを始動してください。
- <sup>\*</sup> 約 6 秒間表示されます。

## その他のメッセージ

画面に表示されるメッセージに従って対処してください。

ただし、次のメッセージが表示された時は、取扱説明書も併せて確認してください。

### ■ マルチインフォメーションディスプレイに「ヘッドランプシステム故障 販売店で点検してください」と表示されたとき★

次のシステムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- LED ヘッドランプ
- ヘッドランプオートレベリングシステム
- オートマチックハイビーム

### ■ 「前方カメラシステム 一時利用不可 少々お待ちください」または「前方カメラシステム 利用不可 フロントガラス汚れを取ってください」が表示されたとき★

次のシステムが一時的もしくは対処を行うまで使用できなくなります。表示された画面の指示に従ってください。

- PCS（プリクラッシュセーフティシステム）
- LDA（レーンディパーチャーアラート）
- オートマチックハイビーム
- 先行車発信告知機能

### ■ 「駐車時はPレンジに入れてください」が表示されたとき

シフトポジションがP以外でパワースイッチをOFFにせずに運転席ドアが開いたときにメッセージが表示されます。

駐車時はPにしてください。

### ■ 「Nレンジです アクセルを緩めて 希望レンジに切りかえてください」が表示されたとき

シフトポジションがNで、アクセルペダルを踏んだときにメッセージが表示されます。

アクセルペダルから足を離し、シフトポジションをDまたはRにしてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

---

 知識

---

## ■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

## パンクしたときは（応急用タイヤ装着車）

パンクしたタイヤを、備え付けの応急用タイヤと交換してください。  
（タイヤについての詳しい説明は P. 255 を参照してください）

### 警告

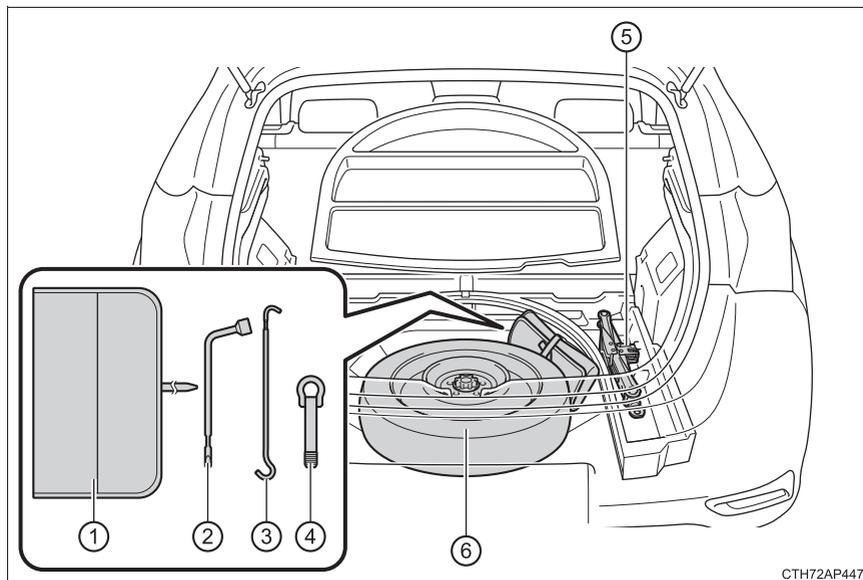
#### ■ タイヤがパンクしたときは

パンクしたまま走行しないでください。  
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らで安全な場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトポジションを P にする
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

## 工具とジャッキの位置



CTH72AP447

- |              |          |
|--------------|----------|
| ① ツールバッグ     | ④ けん引フック |
| ② ホイールナットレンチ | ⑤ ジャッキ   |
| ③ ジャッキハンドル   | ⑥ 応急用タイヤ |

 **警告****■ ジャッキの使用について**

次のことをお守りください。

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ジャッキはジャッキセット位置に正しくかける
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- 車がジャッキで支えられている状態で、ハイブリッドシステムを始動したり車を走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを置かない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
- 車を下げるときは、周囲に人がいないことを確認し、人がいるときは声をかけてから下げる

### ジャッキの取り出し方

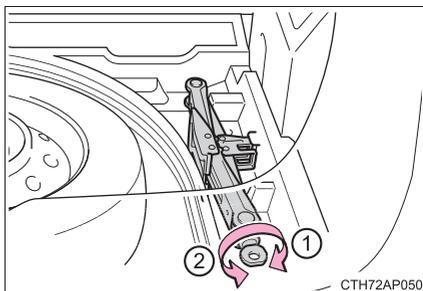
1 フロアボードを取りはずす (→ P. 229)

2 ジャッキをゆるめて取りはずす

① 締まる

② ゆるむ

ジャッキを収納するときには、ジャッキを締めてトレイへ押し付けてください。

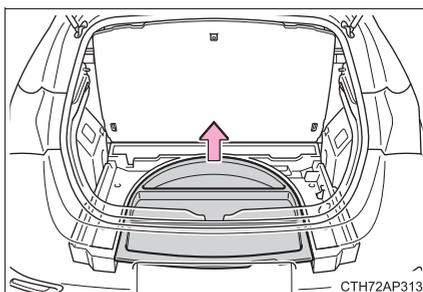


CTH72AP050

### 応急用タイヤの取り出し方

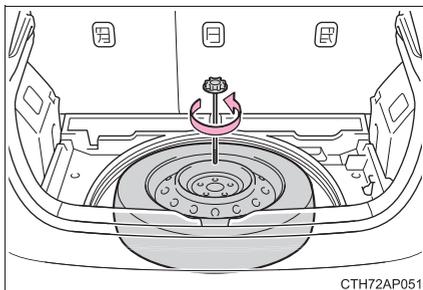
1 フロアボードを取りはずす (→ P. 229)

2 ラゲージアンダートレイを取りはずす



CTH72AP313

3 留め具をはずし、スペアタイヤを取り出す



CTH72AP051

## ⚠ 警告

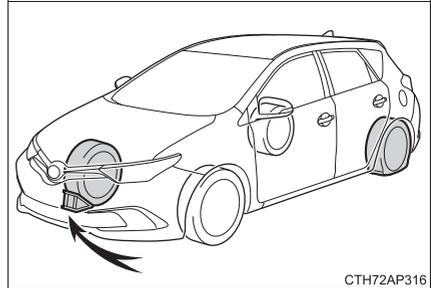
### ■ 応急用タイヤを収納するとき

ボディと応急用タイヤとのあいだに、指などを挟まないように注意してください。

## パンクしたタイヤの交換

### 1 輪止め<sup>※</sup>をする

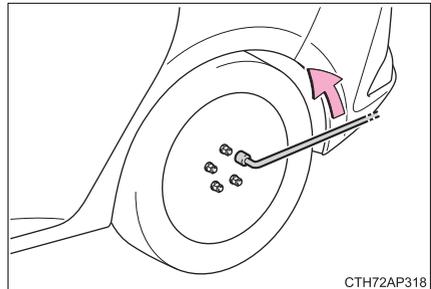
<sup>※</sup> 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。



CTH72AP316

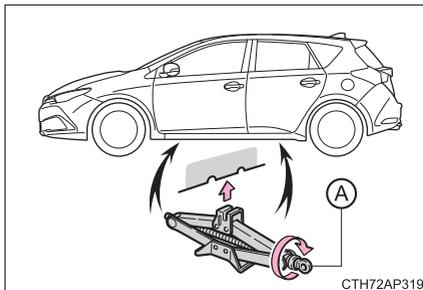
パンクしたタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪うしろ
	右側	左側後輪うしろ
後輪	左側	右側前輪前
	右側	左側前輪前

### 2 ナットを少し (約 1 回転) ゆるめる

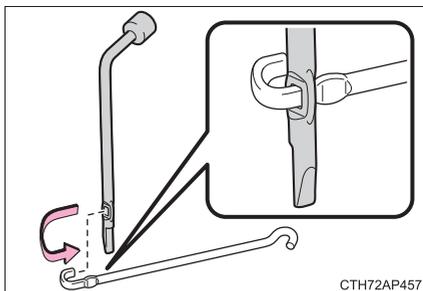


CTH72AP318

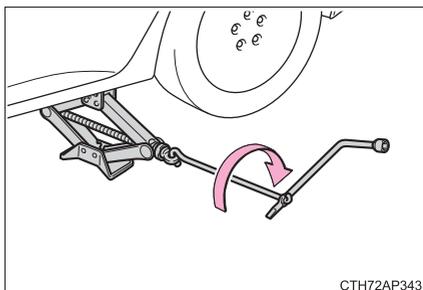
- 3 ジャッキの A 部を手でまわして、ジャッキ溝をジャッキセット位置にしっかりかける



- 4 ホイールナットレンチをジャッキハンドルに組み付ける

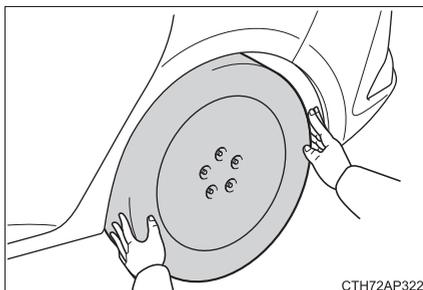


- 5 タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる



- 6 ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの表面に傷が付かないよう表面を上にします。



 警告

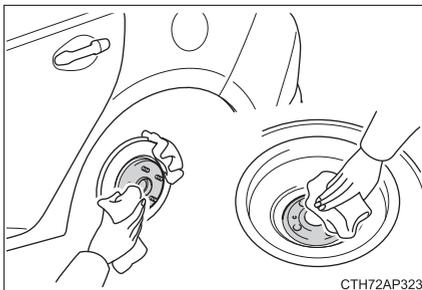
## ■ タイヤ交換について

- 走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- 次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・ ねじ部にオイルやグリースを塗らない  
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。またナットがゆるみホイールが落下するおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。
  - ・ ホイールの交換後は、すぐに  $103\text{N} \cdot \text{m}$  ( $1050\text{kgf} \cdot \text{cm}$ ) の力でナットを締める
  - ・ タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
  - ・ ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける
  - ・ ナットを取り付けるときは、必ずテーパー部を内側にして取り付ける。  
(→ P. 257)

## 応急用タイヤの取り付け

- 1 ホイール接触面の汚れをふき取る

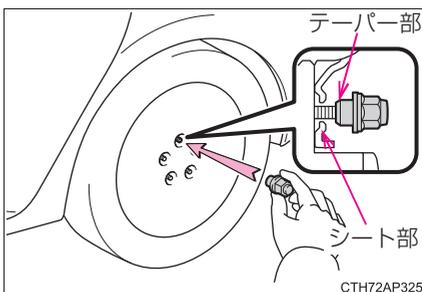
ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。



CTH72AP323

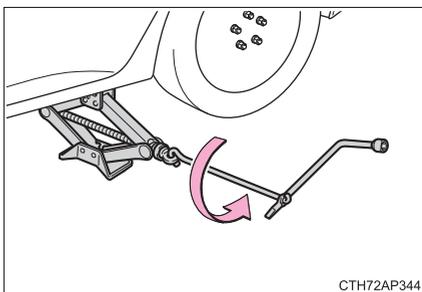
- 2 応急用タイヤを取り付け、タイヤががたつかない程度まで手でナットを仮締めする

ナットのテーパ部がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす



CTH72AP325

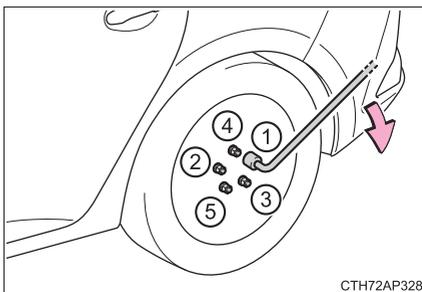
- 3 車体を下げる



CTH72AP344

- 4 図の番号順でナットを 2、3 度しっかり締め付ける

締め付けトルク：  
103N・m (1050kgf・cm)



CTH72AP328

- 5 すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを収納する

 知識

## ■ 応急用タイヤについて

- タイヤの側面に TEMPORARY USE ONLY と書かれています。応急用にのみ使用してください。
- 空気圧を必ず点検してください。(→ P. 348)

## ■ 応急用タイヤを装着しているとき

標準タイヤ装着時にくらべ車高が低くなっています。

## ■ 雪道・凍結路で前輪がパンクしたとき

- 1 後輪を応急用タイヤに交換する
- 2 パンクした前輪をはずした後輪に交換する
- 3 タイヤチェーンを前輪に装着する

 **警告**
**■ 応急用タイヤを使用するとき**

- お客様の車専用になっているため、他の車には使用しないでください。
- 同時に 2 つ以上の応急用タイヤを使用しないでください。
- できるだけ早く通常のタイヤと交換してください。
- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジnbrakeの使用は避けてください。
- 摩耗限度（トレッドウェアインジケータまたはスリップサイン）をこえて使用しないでください。

**■ 応急用タイヤを装着しているとき**

正確な車両速度が検出できない場合があります、次のシステムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| ・ ABS           | ・ TRC                    |
| ・ ブレーキアシスト      | ・ EPS                    |
| ・ VSC           | ・ PCS（プリクラッシュセーフティシステム）★ |
| ・ オートマチックハイビーム★ | ・ LDA（レーンディパーチャーアラート）★   |
| ・ クルーズコントロール★   |                          |

**■ 応急用タイヤ使用時の速度制限**

応急用タイヤを装着しているときは、80km/h 以上の速度で走行しないでください。

応急用タイヤは、高速走行に適していないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 **注意**
**■ 応急用タイヤ装着中は段差に注意**

応急用タイヤ装着中は、標準タイヤ装着時にくらべ車高が低くなっています。段差を乗り越えるときは注意してください。

**■ タイヤチェーンの装着について**

応急用タイヤには、タイヤチェーンを装着しないでください。タイヤチェーンが車体にあたり、車を損傷したり走行に悪影響をおよぼしたりするおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## パンクしたときは (タイヤパンク応急修理キット装着車)

タイヤパンク応急修理キット装着車には、スペアタイヤが搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。釘やネジなどが刺さった程度の軽度なパンクを応急修理できます。(パンク補修液 1 本につき、応急修理できるタイヤは 1 本です)

タイヤパンク応急修理キットで応急修理したタイヤの修理・交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

### 警告

#### ■ パンクしたままの走行について

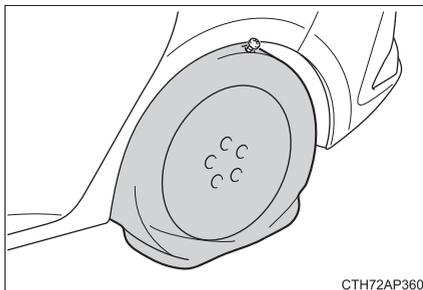
タイヤがパンクした状態で走行を続けしないでください。  
短い距離の運転でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## 応急修理する前に

- 地面が固く平らで安全な場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトポジションをPにする
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる
- タイヤの損傷程度を確認する

釘やネジなどが刺さっている場合のみ、タイヤを応急修理してください。

- ・ タイヤに刺さっている釘やネジなどは抜かないでください。抜いてしまうと穴が大きくなりすぎ、応急修理ができなくなることがあります。
- ・ パンク補修液がもれないようにするため、パンク箇所が分かっている場合は、パンク箇所が上になるように車両を移動してください。



CTH72AP360

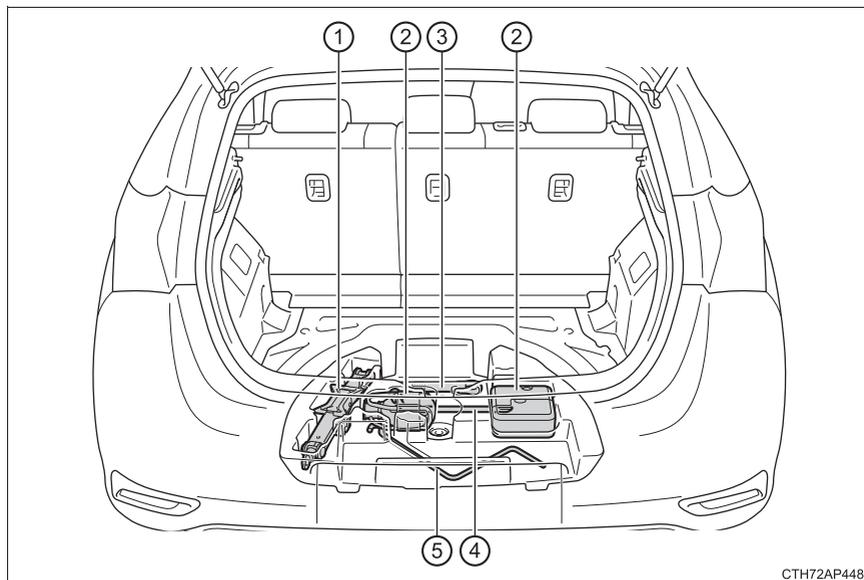
## 知識

### ■ 応急修理キットで修理できないパンク

次の場合は、応急修理キットでは応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

- タイヤ空気圧が不十分な状態で走行してタイヤが損傷しているとき
- タイヤ側面など、接地面以外に穴や損傷があるとき
- タイヤがホイールから明らかにはずれているとき
- タイヤに 4mm 以上の切り傷や刺し傷があるとき
- ホイールが破損しているとき
- 2 本以上のタイヤがパンクしているとき
- 1 本のタイヤに 2 箇所以上の切り傷や刺し傷があるとき

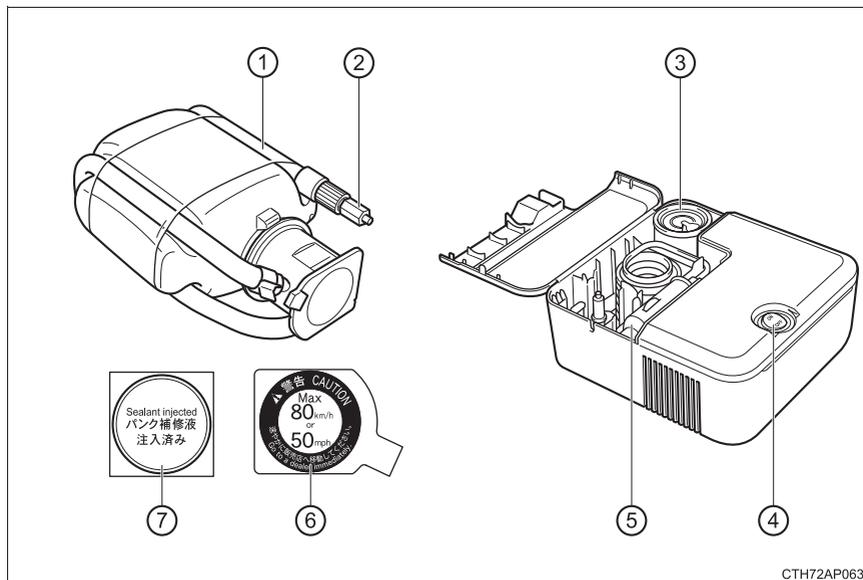
## タイヤパンク応急修理キット・工具の搭載位置



- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| ① ジャッキ※         | ④ ホイールナットレンチ |
| ② タイヤパンク応急修理キット | ⑤ ジャッキハンドル   |
| ③ けん引フック        |              |

※ ジャッキの使い方 (→ P. 307)

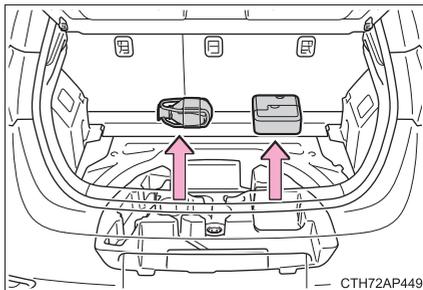
## タイヤパンク応急修理キットの内容／各部の名称



- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| ① ホース       | ⑤ 電源プラグ         |
| ② 空気逃がしキャップ | ⑥ 速度制限ラベル       |
| ③ 空気圧計      | ⑦ パンク補修液注入済みラベル |
| ④ 電源スイッチ    |                 |

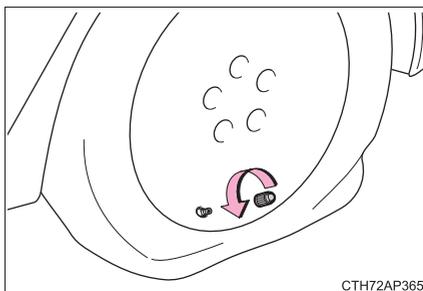
### 応急修理キットの取り出し方

- 1 アジャスタブルデッキボード装着車：アジャスタブルデッキボードを持ち上げ、固定する（→ P. 227）
- 2 フロアボードを取りはずす（→ P. 229）
- 3 応急修理キットを取り出す



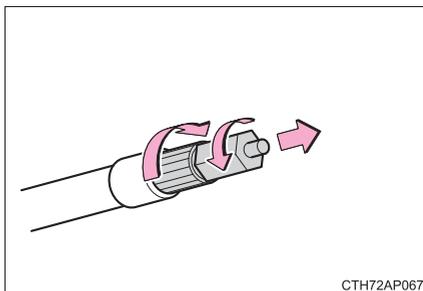
### 応急修理するとき

- 1 応急修理キットを取り出す
- 2パンクしたタイヤのバルブからバルブキャップを取りはずす

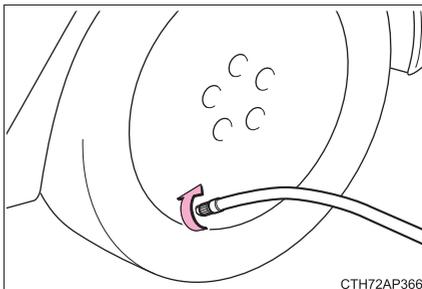


- 3 ボトルの保護フィルムをはがし  
ホースをのばす  
ボトルのホースから空気逃がし  
キャップを取りはずす

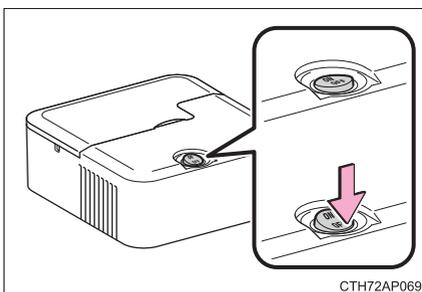
ボトルに同封されているパンク補修液注入済ラベルは指定の位置へ貼り付けます。(9へ) 空気逃がしキャップは再度使用するため、なくさないように保管してください。



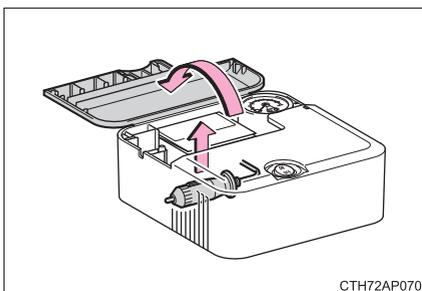
- 4 ボトルのホースをパンクしたタイヤのバルブに接続する  
ホース先端を時計まわりにまわしてしっかりと最後までねじ込む。



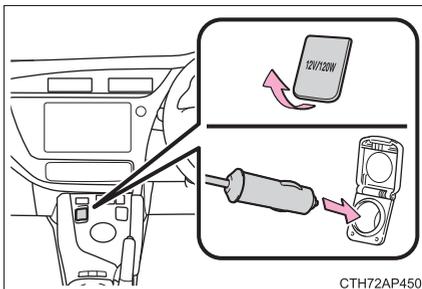
- 5 コンプレッサーのスイッチがOFFであることを確認する

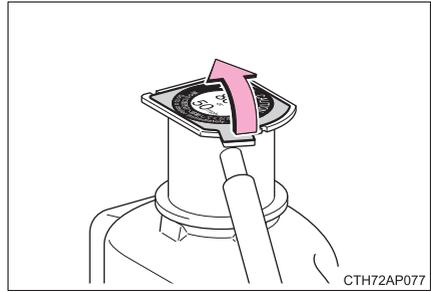


- 6 フタを開けてコンプレッサーの電源プラグをはずす

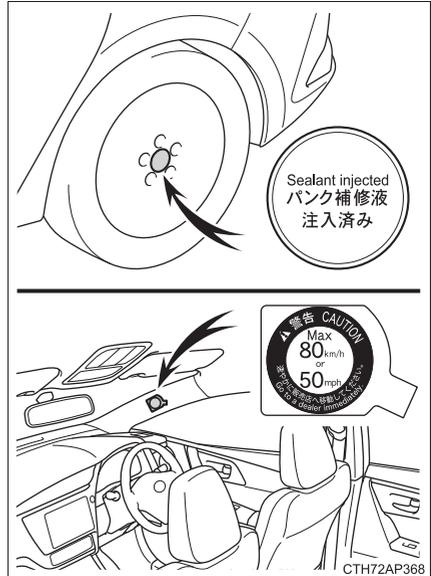


- 7 コンプレッサーの電源プラグをアクセサリソケットに挿し込む (→ P. 235)



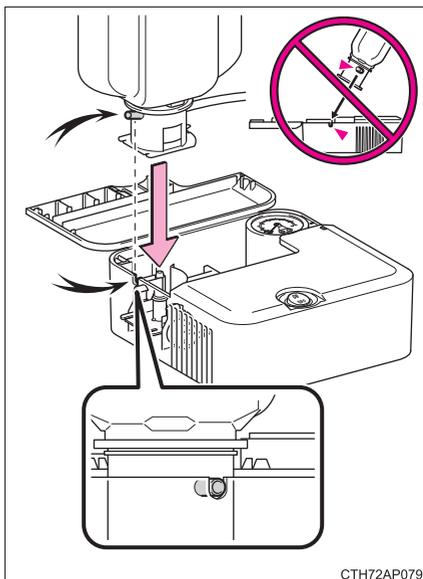
**8** 速度制限ラベルをはがす**9** 付属のラベル2枚を図のようにそれぞれ貼り付ける

ホイールの汚れや水分を十分に拭き取ってからラベルを貼り付けてください。ラベルを貼り付けることができない場合は、トヨタ販売店にてタイヤを修理・交換するときにパンク補修液注入済であることを必ずお伝えください。



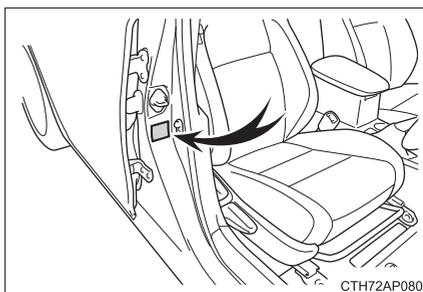
- 10** ボトルをコンプレッサーに接続する

右の図のように、ボトルをまっすぐコンプレッサーに挿入・接続し、ボトルの突起がケースの溝にしっかり合っているか確認してください。



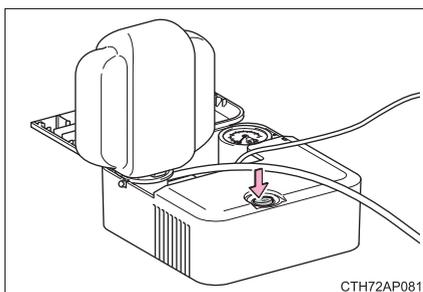
CTH72AP079

- 11** タイヤの指定空気圧を確認する  
運転席側の空気圧ラベルを確認することができます。(→ P. 256)



CTH72AP080

- 12** ハイブリッドシステムを始動する  
**13** コンプレッサーのスイッチをONにし、パンク補修液と空気を充填する



CTH72AP081

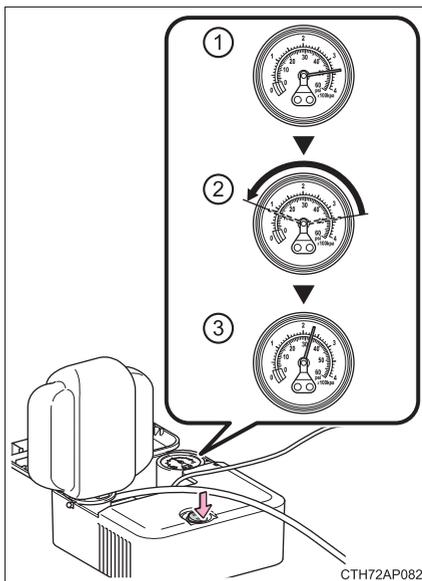
**14** 空気圧が指定空気圧になるまで  
空気を充填する

- ① スイッチ ON 直後は、パンク補修液を注入するため、一時的に空気圧計が上昇する
- ② 1分程度（低温の場合は5分程度）で実際の空気圧表示になる
- ③ 指定空気圧になるまで充填する

空気圧は、コンプレッサーのスイッチをOFFにして確認してください。空気の入れすぎに注意して、指定空気圧になるまで充填・確認をくり返してください。

35分以上充填しても指定空気圧にならない場合は、応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

空気を入れすぎたときは、指定空気圧になるまで空気を抜いてください。  
(→ P. 256, 348)



CTH72AP082

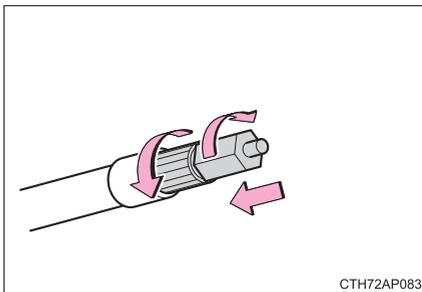
**15** コンプレッサーのスイッチがOFFであることを確認した上で、アクセサリースOCKETから電源プラグを抜く  
バルブからボトルのホースを取りはずす

ホースを取りはずすときにパンク補修液が漏れる可能性があります。

**16** バルブキャップを応急修理したタイヤのバルブに取り付ける

**17** ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液が漏れ、お車が汚れる可能性があります。

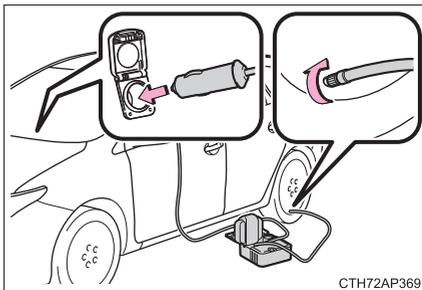


CTH72AP083

**18** いったん、ボトルとコンプレッサーを接続したままラゲージルームに収納する

**19** タイヤ内のパンク補修液を均等に広げるために、ただちに約5 km、安全に走行する（速度 80 km/h 以下）

- 20** 走行後、ボトルのホースから空気逃がしキャップを取りはずし、再度応急修理キットを接続する



CTH72AP369

- 21** コンプレッサーのスイッチを約5秒間 ON にし、OFF にしてから空気圧を確認する

① 空気圧が 130 kpa (1.3 kg/cm<sup>2</sup>) 未満の場合：応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

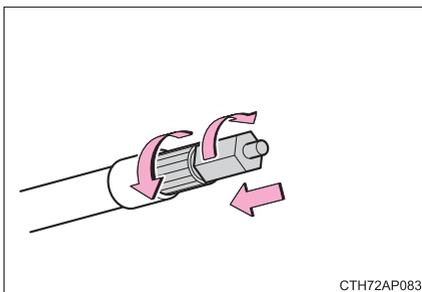
② 空気圧が 130 kpa (1.3 kg/cm<sup>2</sup>) 以上、指定空気圧未満の場合：**22** へ

③ 空気圧が指定空気圧 (→ P. 348) の場合：**23** へ

- 22** コンプレッサーのスイッチをONにして指定空気圧まで空気を充填し、再度約5 km 走行後にあらためて **20** から実施する

- 23** ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液が漏れ、お車が汚れる可能性があります。



CTH72AP083

- 24** ボトルとコンプレッサーを接続したままラゲージルームに収納します

- 25** 急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け、慎重に 80 km/h 以下で運転してトヨタ販売店へ行きます

タイヤの修理・交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。

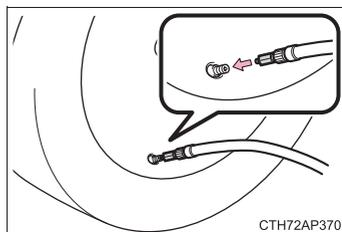
 知識

## ■ 応急修理キットについて

- パンク補修液には有効期限があります。有効期限は容器に表示されています。有効期限が切れる前に交換してください。交換については、トヨタ販売店にご相談ください。
- 応急修理キットのパンク補修液は、1本のタイヤを一度だけ応急修理できます。使用したパンク補修液の交換は、トヨタ販売店にご相談ください。
- 外気温度が-30℃～60℃のときに使用できます。
- 応急修理キット搭載車両の装着タイヤ専用です。指定タイヤサイズ以外のタイヤや、他の用途には使用しないでください。
- パンク補修液が衣服に付着すると、シミになる場合があります。
- パンク補修液がホイールやボデーに付着した場合、放置すると取れなくなるおそれがあります。ぬれた布などですみやかにふき取ってください。
- 応急修理キット作動中は、大きな音がしますが故障ではありません。

**■ 空気を入れすぎてしまったとき**

- 1 1 タイヤからホースを取りはずす
- 2 2 ホース先端に空気逃がしキャップをかぶせ、キャップの突起部をタイヤのバルブに押しあてて空気を抜く



CTH72AP370

- 3 3 ホースから空気逃がしキャップを取りはずし、ホースを再接続する
- 4 4 コンプレッサーのスイッチを ON にして数秒間経過後、スイッチを OFF にして空気圧計を確認する  
指定空気圧より低いときは、再度、コンプレッサーのスイッチを ON にし、指定空気圧になるまで空気を充填してください。

 **警告****■パンク補修液について**

- 誤って飲み込むと健康に害があります。その場合はできるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり、皮膚に付着したりした場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

**■パンクしたタイヤを応急修理するとき**

- 車両を安全で平坦な場所に停止させてください。
- タイヤを車両に取り付けた状態で、バルブとホースをしっかりと接続してください。
- 接続が不十分な場合、空気がもれたり、パンク補修液が飛散したりするおそれがあります。
- 充填中にホースがはずれると、圧力でホースが急に動くおそれがあり危険です。
- 充填後、ホースを取りはずすときや空気を抜くときにパンク補修液が飛散する場合があります。
- 破裂の危険があるので、応急修理キットの作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにキットのスイッチを OFF にし、修理を中止してください。
- 応急修理キットは、長時間作動させると過熱する可能性があります。40 分以上連続で作動させないでください。
- 応急修理キットの作動中は、部分的に熱くなります。使用中、または使用後の取り扱いには注意してください。
- 速度制限ラベルは指定位置以外に貼らないでください。ハンドルのパッド部分などの SRS エアバッグ展開部に貼ると、SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

**■補修液を均等に広げるための運転について**

- 低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。
- 車がまっすぐ走行しなかったり、ハンドルをとられたりする場合は、停車し、次のことを確認してください。
  - ・ タイヤを確認してください。タイヤがホイールからはずれている可能性があります。
  - ・ 空気圧を確認してください。130kPa 未満の場合は、タイヤが大きなダメージを受けている可能性があります。

 **注意****■ 応急修理をするとき**

- タイヤに刺さった釘やネジを取り除かずに応急修理を行ってください。取り除いてしまうと、応急修理キットでは応急修理ができなくなる場合があります。
- 応急修理キットに防水機能はありません。降雨時などは、水がかからないようにして使用してください。
- 砂地などの砂ぼこりの多い場所に直接置いて使用しないでください。砂ぼこりなどを吸い込むと、故障の原因になります。

**■ 応急修理キットについて**

- 応急修理キットは DC12V 専用です。他の電源での使用はできません。
- 応急修理キットにガソリンがかかると、劣化するおそれがあります。ガソリンがかからないようにしてください。
- 応急修理キットは指定の位置に収納し、お子さまが誤って手をふれないようご注意ください。
- 分解・改造などは絶対にしないでください。また、圧力計などに衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

## ハイブリッドシステムが始動できないときは

ハイブリッドシステムが始動できない原因は状況によって異なります。次のことをご確認いただき、適切に対処してください。

### 正しいハイブリッドシステムの始動方法（→ P. 134）に従っても始動できない

次の原因が考えられます。

- 電子キーが正常に働いていない可能性があります。（→ P. 329）
  - 燃料が入っていない可能性があります。  
給油してください。
  - イモビライザーシステムに異常がある可能性があります。（→ P. 66）
  - シフト制御システムに異常がある可能性があります。\*（→ P. 296）
  - 電子キーの電池切れやヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性があります。異常の種類によっては、ハイブリッドシステムを一時的な処置で始動することができます。（→ P. 328）
- \* シフトポジションをPから切りかえることができない可能性があります。

### 室内灯・ヘッドランプが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 331）
- 補機バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。  
（→ P. 250）

### 室内灯・ヘッドランプが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 331）
- 補機バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。  
対処の方法がわからないとき、あるいは対処をしてもハイブリッドシステムが始動できないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

### 緊急始動機能

通常のハイブリッドシステム始動操作でハイブリッドシステムが始動しないときは、次の手順でハイブリッドシステムが始動する場合があります。

緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 パワースイッチをアクセサリーモードにする
- 3 ブレーキペダルをしっかりと踏んでパワースイッチを約 15 秒以上押し続ける

上記の方法でハイブリッドシステムが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

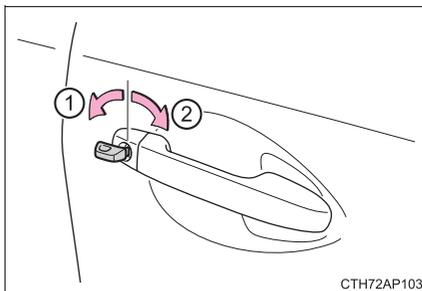
## 電子キーが正常に働かないときは

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり（→P. 102）、電子キーの電池が切れたときは、スマートエントリー&スタートシステムとワイヤレスリモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアを開けたり、ハイブリッドシステムを始動したりすることができます。

### ドアの施錠・解錠

メカニカルキー（→P. 87）を使って次の操作ができます。

- ① 全ドア解錠
- ② 全ドア施錠



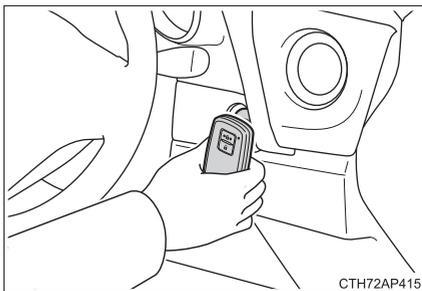
CTH72AP103

### ハイブリッドシステム始動の方法

- 1 ブレーキペダルを踏む
- 2 電子キーのトヨタエンブレム面で、パワースイッチにふれる

電子キーを認識するとブザーが鳴り、ONモードへ切りかわります。

車両カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムの設定が非作動になっているときは、アクセサリモードへ切りかわります。



CTH72AP415

- 3 ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、マルチインフォメーション

ディスプレイに  が表示されていることを確認する

- 4 パワースイッチを押す

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

 知識**■ハイブリッドシステム停止方法**

通常のハイブリッドシステムの停止方法と同様に、パーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにしてパワースイッチを押します。

**■電池交換について**

ここで説明しているハイブリッドシステムの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(→P. 261)

**■モードの切りかえ**

ハイブリッドシステム始動方法の手順<sup>[3]</sup>で、ブレーキペダルから足を離してパワースイッチを押すと、ハイブリッドシステムが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。(→P. 136)

**■電子キーが正常に働かない場合**

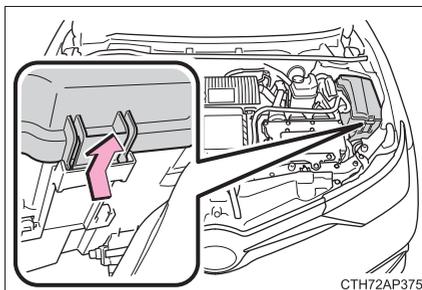
- 車両カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムの設定を確認し、非作動になっている場合には、作動可能に設定変更してください。(→P. 350)
- 電子キーが節電モードに設定されていないことを確認してください。設定されている場合は解除してください。(→P. 101)

## 補機バッテリーがあがったときは

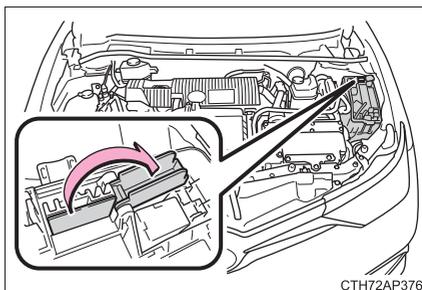
補機バッテリーがあがった場合、次の手順でハイブリッドシステムを始動することができます。

ブースターケーブルと12Vのバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、ハイブリッドシステムを始動させることができます。

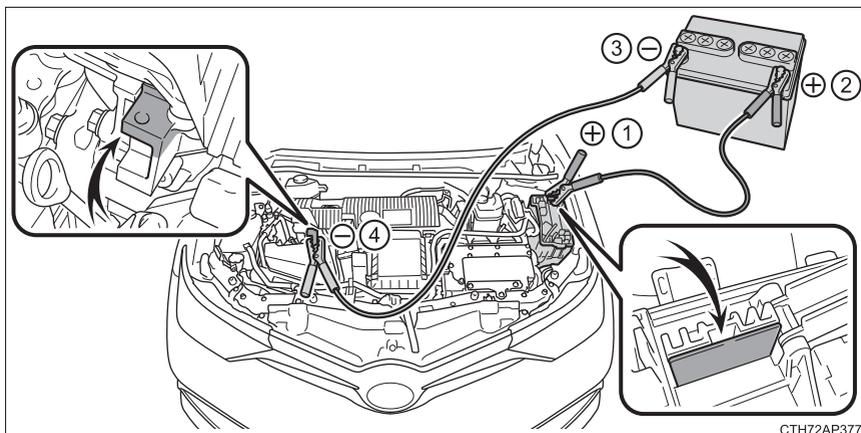
- 1 ボンネットを開けてヒューズボックスのカバーを開ける  
ツメを押しながら、カバーを持ち上げてはずします



- 2 ヒューズボックス内の救援用端子カバーを開ける



### 3 ブースターケーブルを次の順につなぐ



CTH72AP377

- ① 赤色のブースターケーブルを自車の救援用端子につなぐ
  - ② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの+端子につなぐ
  - ③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの-端子につなぐ
  - ④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端を未塗装の金属部（図に示すような固定された部分）につなぐ
- 4 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約5分間自車の補機バッテリーを充電する
  - 5 パワースイッチがOFFの状態ですずれかのドアを開閉する
  - 6 救援車のエンジン回転を維持したまま、パワースイッチをいったんONモードにしてからハイブリッドシステムを始動する
  - 7 READY インジケーターが点灯することを確認する  
点灯しない場合はトヨタ販売店にご連絡ください。
  - 8 ハイブリッドシステムが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順ではずす
  - 9 救援用端子カバーを閉じ、ヒューズボックスのカバーをもとどおりに取り付ける  
ヒューズボックスのカバーは、奥にあるツメ（2箇所）を先に引っかけてから取り付けてください。

ハイブリッドシステムが始動しても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

 知識**■補機バッテリーあがり時の始動について**

この車両は、押しがけによる始動はできません。

**■補機バッテリーあがりを防ぐために**

- ハイブリッドシステムが停止しているときは、ランプやオーディオの電源を切ってください。
- 渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

**■補機バッテリーについて**

→ P. 250

**■補機バッテリーの充電について**

補機バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、補機バッテリーがあがってハイブリッドシステムを始動できなくなるおそれがあります。(補機バッテリーはハイブリッドシステムの作動中に自動で充電されます)

**■補機バッテリーあがり時や取りはずし時など**

- 補機バッテリーがあがった直後はスマートエントリー&スタートシステムによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合はワイヤレスリモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠を実施してください。
- 補機バッテリーがあがったあとの、最初の始動操作ではハイブリッドシステムが始動できないことがあります。再度始動操作を行ってください。
- 車両は常に電源の状態を記憶しています。補機バッテリーあがり時、補機バッテリー脱着後は、バッテリーをはずす前の状態に復帰します。補機バッテリーを脱着する際は、パワースイッチをOFFにしてから行ってください。補機バッテリーがあがる前の状態が不明の場合、補機バッテリー接続時は特に注意してください。
- シフトポジションがPの状態でも補機バッテリーがあがった場合は、Pから他のポジションに切りかえることができない可能性があります。その場合は、前輪が固定されているため、前輪を持ち上げないと車両の移動ができません。(→ P. 285)
- 補機バッテリーを再接続したときは、ハイブリッドシステムを始動させてから、すべてのシフトポジションへ切りかわることを、シフトポジション表示灯で確認してください。

**警告****■補機バッテリーの引火または爆発を防ぐために**

補機バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子以外に接続しない
- +端子に接続したブースターケーブルの先を付近のブラケットや未塗装の金属部に接触させない
- ブースターケーブルは+側と-側の端子を絶対に接触させない
- 補機バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

**■補機バッテリーの取り扱いについて**

補機バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- 補機バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- 必要以上、顔や頭などを補機バッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったたりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける  
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- 誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- 補機バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまを補機バッテリーに近付けない

**■補機バッテリーあがりの処置をしたあと**

早めにトヨタ販売店で補機バッテリーの点検を受けてください。

補機バッテリーが劣化している場合、そのまま使い続けると補機バッテリーから異臭ガスが発生し、乗員に健康障害をおよぼすおそれがあり危険です。

**■補機バッテリーの交換について**

→ P. 251

 **注意****■ ブースターケーブルの取扱いについて**

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

**■ 救援用端子について**

この車の救援用端子は、他の車から応急的に補機バッテリーを充電するためのものです。この救援用端子を使用して、他の車のバッテリーあがりを救援しないでください。

## オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

- 高水温警告灯 (→ P. 292) が点灯したり、ハイブリッドシステムの出力が低下する (スピードが出ないなど)
- マルチインフォメーションディスプレイに「ハイブリッドシステム高温」 (→ P. 299) が表示される
- エンジンルームから蒸気が出る

### 対処方法

#### ■ 高水温警告灯が点灯したとき

1 安全な場所に停車し、エアコンを OFF にしてから、ハイブリッドシステムを停止する

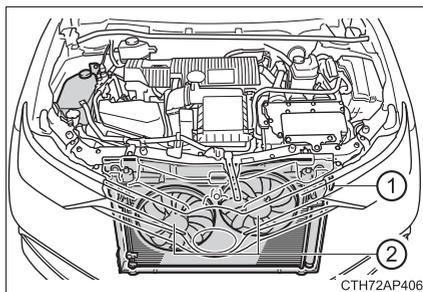
2 蒸気が出ている場合：  
蒸気が出なくなったことを確認してから、注意してボンネットを開ける

蒸気が出ていない場合：  
注意してボンネットを開ける

3 ハイブリッドシステムが十分に冷えてから、ラジエーターコア部 (放熱部) やホースなどからの冷却水もれを点検する

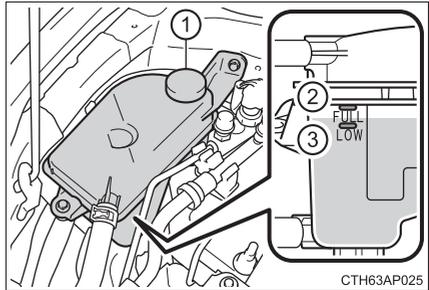
- ① ラジエーター
- ② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。



- 4 冷却水の量がリザーバータンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）のあいだにあるかを点検する

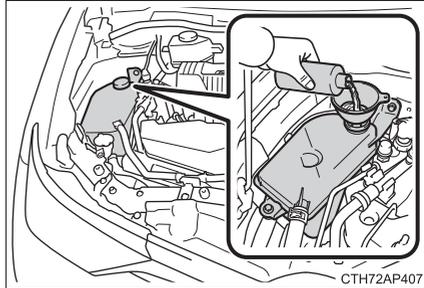
- ① リザーバータンク
- ② “FULL”（上限）
- ③ “LOW”（下限）



CTH63AP025

- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。



CTH72AP407

- 6 ハイブリッドシステムを始動し、エアコンを作動させてラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する

ハイブリッドシステムが冷えた状態での始動直後は、エアコンを ON にすることでファンが作動します。ファンの音や風で確認してください。わかりにくいときは、エアコンの ON/OFF をくり返してください。

（ただし、氷点下となる寒冷時はファンが作動しないことがあります）

- 7 ファンが作動していない場合：  
 すぐにハイブリッドシステムを停止し、トヨタ販売店に連絡する  
 ファンが作動している場合：  
 最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

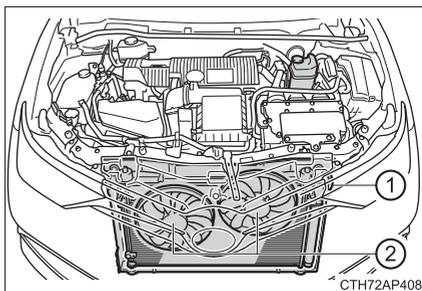
## ■ マルチインフォメーションディスプレイに「ハイブリッドシステム高温」が表示されたとき

- 1 安全な場所に停車する
- 2 ハイブリッドシステムを停止し、注意してボンネットを開ける

- 3 ハイブリッドシステムが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

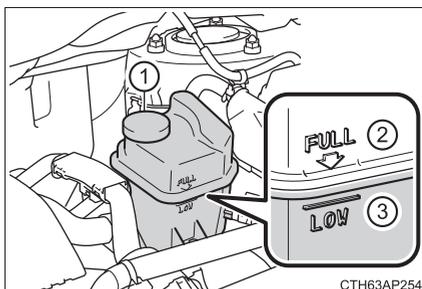
- ① ラジエーター
- ② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。



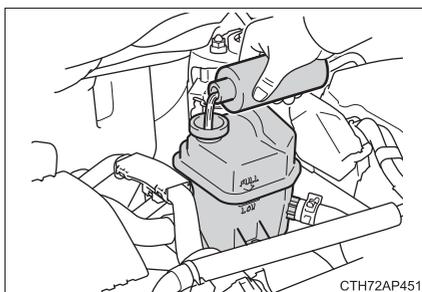
- 4 冷却水の量がリザーバタンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）のあいだにあるかを点検する

- ① リザーバタンク
- ② “FULL”（上限）
- ③ “LOW”（下限）



- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。



- 6 ハイブリッドシステムを停止してから5分以上経過したあとで、ハイブリッドシステムを始動し、マルチインフォメーションディスプレイを確認する

表示が消えない場合：

ハイブリッドシステムを停止してトヨタ販売店に連絡する

表示が消えている場合：

ハイブリッドシステムの温度が低下したため、通常走行が可能です。ただし、そのあとにもひんぱんに表示される場合は、トヨタ販売店に連絡してください。

### 警告

#### ■ エンジンルームを点検しているとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっています。
- ハイブリッドシステムを停止したときは、マルチインフォメーションディスプレイの「電源 On」の表示と READY インジケーターが消灯していることを確認してください。

ハイブリッドシステムが作動していると、ガソリンエンジンが自動的に動き出したり、ガソリンエンジンが停止していても、冷却ファンが急にまわり出すことがあります。ファンなどの回転部分にふれたり、近付いたりすると、手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）が巻き込まれたりして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ハイブリッドシステムおよびラジエーターが熱い場合は冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。  
高温の蒸気や冷却水が噴き出すおそれがあります。

 **注意****■ 冷却水を入れるとき**

ハイブリッドシステムが十分に冷えてからゆっくり入れてください。  
ハイブリッドシステムが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、ハイブリッドシステムが損傷するおそれがあります。

**■ 冷却システムの故障を防ぐために**

次のことをお守りください。

- 異物（砂やほこりなど）を冷却水に混入させない
- 冷却水用添加剤を使用しない

## スタックしたときは

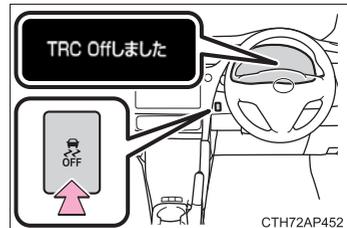
ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなくなったときは次の方法を試みてください。

- 1 パーキングブレーキをかけシフトポジションをPにして、ハイブリッドシステムを停止する
- 2 前輪周辺の土や雪などを取り除く
- 3 前輪の下に木や石などをあてがう
- 4 ハイブリッドシステムを再始動する
- 5 シフトポジションをDまたはRにし、パーキングブレーキを解除して注意しながらアクセルペダルを踏む

### 知識

#### ■ 脱出しにくいとき

 を押してTRCをOFFにしてください。



### 警告

#### ■ 脱出するとき

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何も無いことを確認してください。  
スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

#### ■ シフトレバーを操作するとき

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。  
車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために**

- タイヤが空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

### 8-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など) .....	344
--------------------------------------	-----

### 8-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ 機能一覧 .....	350
--------------------------	-----

## メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルや液類の品質により、お車の寿命は著しく左右されます。お車には、最も適した弊社純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

### 燃料

指定燃料	容量 [L]（参考値）
無鉛レギュラーガソリン	45

## エンジンオイル

指定銘柄	容量 [L] (参考値※ <sup>1</sup> )		
	エンジン	オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換
トヨタキヤッスルモーターオイル SN 0W-20 ※ <sup>2</sup> —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20 トヨタキヤッスルモーターオイル SN 5W-20 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20 トヨタキヤッスルモーターオイル SN 5W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30 トヨタキヤッスルモーターオイル SN 10W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30	2ZR-FXE	3.9	4.2

※<sup>1</sup> エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンの暖機後にハイブリッドシステムを停止し、5分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

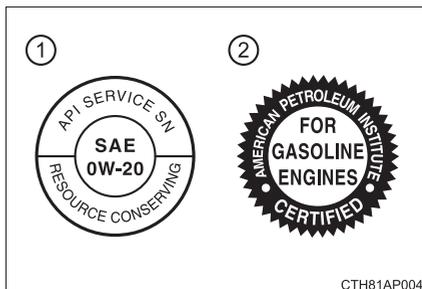
※<sup>2</sup> 0W-20 は上記表の指定銘柄の中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

## ■ 指定エンジンオイル

API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格に合致したオイルをご使用ください。

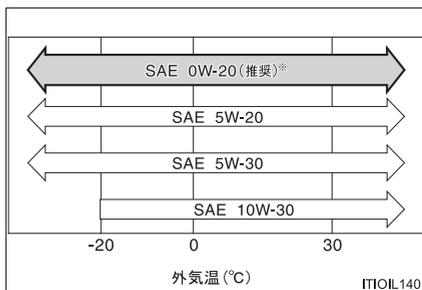
なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION（イルサックサーティフィケーション）マークが付いています。

- ① API マーク
- ② ILSAC CERTIFICATION マーク



## ■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 0W-20 は新車時に充填されており、上記図に示す中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について（例として 0W-20 で説明します）：

- ・ 0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ 0W-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。粘度の高い（数値が大きい）オイルは、高速または重負荷走行に適しています。

## ラジエーター

指定銘柄	容量 [L] (参考値)	
	ガソリンエンジン	インバーター
トヨタ純正スーパーロングライフ クーラント 凍結保証温度 濃度 30% - 12°C 濃度 50% - 35°C	寒冷地仕様車 7.0	2.1
	寒冷地仕様車を除く 6.3	

## トランスミッション

指定銘柄	容量 [L] (参考値※)
トヨタ純正オートフルード WS	3.4

※ 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください。

## ブレーキ

### ■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

### ■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	1 ~ 6
踏み込んだときの床板とのすき間*	83 以上

\* ハイブリッドシステムが作動している状態で、294 N (30 kgf) の踏力をかけたときの床板とのすき間の最小値

### ■ パーキングブレーキ

項目	基準値 (回数)
引きしろ 操作力 200 N (20.4 kgf) のときのノッチ*数	6 ~ 9

\* ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度 (“カチッ” という音) のことです

## ウォッシャータンク

容量 [L] (参考値)
2.5

## タイヤ・ホイール

タイヤサイズ		ホイール サイズ	タイヤが冷えているときの空気圧 kPa (kg/cm <sup>2</sup> )	
			前輪	後輪
標準タイヤ	205/55R16 91V	16 × 6 1/2J	230 (2.3)	
	225/45R17 91W	17 × 7J		
応急用タイヤ★	T125/70D17 98M	17 × 4T	420 (4.2)	

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 電球（バルブ）※

電球		W（ワット）数
車外	フロントフォグランプ（バルブタイプ：H16）	19
	フロント方向指示灯／非常点滅灯	21
	サイド方向指示灯／非常点滅灯	5
	リヤ方向指示灯／非常点滅灯	21
	制動灯	21
	後退灯	16
	番号灯	5
車内	フロントインテリアランプ／パーソナルランプ	8
	リヤインテリアランプ★	8
	リヤパーソナルランプ★	8
	バニティミラーランプ	5
	ラゲージルームランプ	5

※ 表に記載のないランプはLEDを採用しています。

## 車両仕様

型式	エンジン	電動機型式	駆動方式
ZWE186H	2ZR-FXE (1.8 L ガソリン)	3JM	FF（前輪駆動）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車には、設定を変更することが可能な数多くの装備が付いています。トヨタ販売店で作動などをご希望の設定に変更することができます。また、マルチインフォメーションディスプレイの操作により、設定を変更することができる機能もあります。

### マルチインフォメーションディスプレイで設定するには

→ P. 80

### 車両カスタマイズ設定一覧

機能によっては、他の機能と連動して設定が変わるものもあります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

- ① マルチインフォメーションディスプレイで設定変更可能
- ② トヨタ販売店で設定変更可能

#### ■ 車両接近通報装置 (→ P. 57)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
音量調整	レベル 1	レベル 2	—	○
		レベル 3		

### ■ メーター、マルチインフォメーションディスプレイ (→ P. 72, 75)

機能※ <sup>1</sup>	初期設定	変更後	①	②
EV インジケーター	あり (自動点灯)	なし	○	—
単位	km/L	L/100 km	○	—
ドライブインフォ 1	瞬間燃費	※ 2	○	—
	リセット間平均燃費			
ドライブインフォ 2	航続可能距離	※ 2	○	—
	リセット間平均車速			

※<sup>1</sup> 機能についての詳しい説明は P. 80 を参照してください

※<sup>2</sup> 瞬間燃費、リセット間平均燃費、始動後平均燃費、給油後平均燃費、リセット間平均車速、始動後平均車速、リセット間走行時間、始動後走行時間、航続可能距離、始動後走行距離、ブランクから 2 項目を選択

### ■ スマートエントリー&スタートシステム、ワイヤレスドアロック共通 (→ P. 90, 95, 99)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
作動の合図 (ブザー音量調整)	レベル 7	OFF	—	○
		レベル 1 ~ 6	—	○
作動の合図 (非常点滅灯)	あり	なし	—	○
解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠までの時間	30 秒	60 秒	—	○
		120 秒	—	○
半ドア警告ブザー	あり	なし	—	○

### ■ スマートエントリー&スタートシステム (→ P. 90, 95, 99)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
スマートエントリー&スタートシステム	あり	なし	—	○
連続してできる施錠操作の回数	2 回	無制限	—	○

## ■ ワイヤレスドアロック (→ P. 86, 90)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
ワイヤレス機能	あり	なし	—	○

## ■ ランプ自動点灯・消灯システム (→ P. 151)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
ライトセンサーの感度調整	標準	-2 ~ 2	—	○
ランプを点灯するまでの時間	標準	長め	—	○

## ■ ランプ (→ P. 151)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
LED デイライト	あり	なし	—	○

## ■ LDA(レーンディパーチャーアラート／車線逸脱警報)★ (→ P. 179)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
車線逸脱時の警報ブザーが吹鳴する感度 (警報感度)	高	普通	○	—

## ■ 先行車発進告知機能★ (→ P. 188)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
先行車発進告知機能	あり	なし	○	—
告知タイミング	標準	早い	○	—
		遅い		

## ■ オートエアコン (→ P. 206)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
AUTO スイッチが ON のとき、連動して外気導入と内気循環を自動的に切りかえる	する	しない	—	○

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ■ イルミネーション (→ P. 216)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
室内灯の消灯までの時間	15 秒	7.5 秒	—	○
		30 秒	—	○
パワースイッチ OFF 後の作動	あり	なし	—	○
解錠時の照明の点灯	あり	なし	—	○
接近時の照明の点灯	あり	なし	—	○

 知識

## ■ 車両カスタマイズについて

解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠が作動したときの合図は、「作動の合図 (非常点滅灯)」・「作動の合図音量 (ブザー音量調整)」の設定に依存します。



## さくいん

こんなときは（症状別さくいん）.....	356
車から音が鳴ったときは （音さくいん）.....	359
アルファベット順さくいん.....	360
五十音順さくいん.....	361

## こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

### 施錠／解錠／ドアの開閉ができない



#### キーをなくした

- メカニカルキーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいメカニカルキーを作ることができます。（→ P. 87）
- 電子キーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。（→ P. 89）



#### 施錠・解錠できない

- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？（→ P. 261）
- パワースイッチが ON モードになっていませんか？  
施錠するときは、パワースイッチを OFF にしてください。（→ P. 136）
- 電子キーを車内に置き忘れていませんか？  
施錠するときは、電子キーを携帯していることを確認してください。
- 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。  
（→ P. 88, 102）



#### リヤドアが開かない

- チャイルドプロテクターがかかっていますか？  
チャイルドプロテクターがかかっていると車内からは開きません。いったん車外から開けて、チャイルドプロテクターを解除してください。（→ P. 93）

**故障かな？と思ったら****ハイブリッドシステムが始動できない**

- ブレーキペダルをしっかりと踏みながらパワースイッチを押していますか？（→ P. 134）
- シフトポジションは P になっていますか？（→ P. 137）
- キーが車内の検知される場所にありますか？（→ P. 100）
- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？  
このときは、一時的な方法でハイブリッドシステムを始動することができます。（→ P. 329）
- 補機バッテリーがあがっていませんか？（→ P. 331）

**パワーウィンドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない**

- ウィンドウロックスイッチが押されていませんか？  
ウィンドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウィンドウは操作できなくなります。（→ P. 118）

**パワースイッチが自動的に OFF になった**

- 一定時間アクセサリモードまたは ON モード（ハイブリッドシステムが作動していない状態）にしておくと、自動電源 OFF 機能が作動します。（→ P. 136）

**警告音が鳴りだした**

- 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→ P. 359）をご確認ください。

**警告灯や警告メッセージが表示されたとき**

- 警告灯や警告メッセージが表示されたときは、P. 292、296 をご確認ください。

**トラブルが発生した****タイヤがパンクした**

- 応急用タイヤ装着車  
車を安全な場所に止め、パンクしたタイヤを応急用タイヤに交換してください。（→ P. 303）
- タイヤパンク応急修理キット装着車  
車を安全な場所に止め、タイヤパンク応急修理キットでパンクしたタイヤを応急修理してください。（→ P. 313）

**立ち往生した**

- めかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→ P. 341）

## 車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

### 車に乗るとき／降りるとき

状況	原因	詳細
ドアを開閉したとき	電子キーを車内に置き忘れている	P. 296
	シフトポジションがP以外になっている	P. 296
ハイブリッドシステムを停止したとき	電子キーの電池残量が少なくなっている	P. 261
施錠しようとしたとき (施錠できないとき)	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 100
	電子キーを車内に置き忘れている	P. 296

### 走行しているとき

状況	原因	詳細
走り出したとき	いずれかのドア・バックドアが確実に閉まっていない	P. 93、96
	パーキングブレーキが解除されていない	P. 292
	運転席・助手席のシートベルトを着用していない*	P. 292
ブレーキペダルを踏んだとき（きしみやひっかき音）	ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある	P. 128
前方の障害物と衝突しそうになったとき	PCS（プリクラッシュセーフティシステム）★が作動した	P. 166
車線から逸脱したとき	LDA（レーンディパーチャーアラート）★を使用している	P. 179
前の車が発進しても停車し続けたとき	先行車発進告知機能★が作動した	P. 188

\* 助手席に荷物を置いている場合にもブザーが鳴ることがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## アルファベット順さくいん

<b>ABS</b>	
(アンチロックブレーキシステム) .....	194, 292
<b>ECB</b>	
(エレクトロニカリーコントロールドブレーキ) .....	194
<b>EDR</b>	
(イベントデータレコーダー) .....	8
<b>EPS</b>	
(エレクトリックパワーステアリング) .....	194
<b>EV</b>	
(エレクトリックビークル) .....	140
<b>FF</b>	
(フロントエンジンフロントドライブ) .....	349
<b>ILSAC CERTIFICATION</b>	
(イルサックサーティフィケーション) .....	346
<b>ISOFIX</b>	
(アイソフィックス/イソフィックス) .....	40, 48
<b>LDA</b>	
(レーンディパーチャーアラート/車線逸脱警報) .....	179
<b>LED</b>	
(ライトエミッティングダイオード) .....	151, 275
<b>PCS</b>	
(プリクラッシュセーフティシステム) .....	166
<b>SRS</b>	
(サブリメンタルレストRAINTシステム) .....	30, 292
<b>TRC</b>	
(トラクションコントロール) .....	194
<b>VSC</b>	
(ビークルスタビリティコントロール) .....	194

## 五十音順さくいん

## あ

アースポイント (バッテリー あがりの処置).....	331
アームレスト (リヤアームレスト).....	237
アウトミラー (ドアミラー) ...	115
操作 .....	115
アクセサリースOCKET.....	235
アクセサリーモード.....	136
アシストグリップ.....	237
アジャスタブルデッキボード .....	226
アンチロックブレーキシステム (ABS).....	194
アンテナ (スマートエントリー& スタートシステム).....	99

## い

EV ドライブモード.....	140
EV 表示.....	80
イグニッションスイッチ (パワースイッチ).....	134
位置交換 (タイヤローテーション).....	255
イベントデータレコーダー (EDR).....	8
イモビライザーシステム.....	66
イルミネーテッドエントリー システム.....	219
インジケーター ハイブリッドシステム インジケーター.....	73
表示灯.....	70
READY.....	134
インテリアランプ.....	217
ワット数.....	349
インナーミラー.....	113

## う

ウインカー (方向指示灯).....	148
方向指示レバー.....	148
ワット数.....	349
ウインドウ.....	118
ウォッシャー .....	154, 156
パワーウインドウ.....	118
リヤウインドウ デフォッガー.....	209
ウインドウロックスイッチ.....	118
ウォーニングメッセージ.....	296
ウォーニングランプ (警告灯) ...	292
ウォッシャー.....	154, 156
液の補給.....	253
スイッチ.....	154, 156
タンク容量.....	348
冬の前の準備・点検.....	202
動けなくなったときは (スタック).....	341
運転.....	124
運転を補助する装置.....	194
寒冷時の運転.....	202
正しい運転姿勢.....	24
手順.....	124
ハイブリッド車運転の アドバイス.....	200

## え

エアコン .....	206
エアバッグ .....	30
SRS エアバッグ警告灯 .....	292
作動条件 .....	34
配置 .....	30
エコドライブモード .....	144
エネルギーモニター .....	83
LED デイライト .....	151
LDA (レーンディパーチャー アラート) .....	179
操作 .....	181
エレクトリック	
パワーステアリング (EPS) ...	194
機能 .....	194
パワーステアリング 警告灯 .....	293
エレクトロニカリーコントロール ドブレーキシステム (ECB) .....	194

## エンジン

イモビライザーシステム .....	66
エンジンがかからない (ハイブリッドシステムが 始動できない) .....	327
エンジン警告灯 .....	292
オーバーヒート .....	336
ハイブリッドシステムの 始動方法 .....	134
パワースイッチ .....	134
ボンネット .....	249
エンジンオイル .....	345
冬の前の準備・点検 .....	202
メンテナンスデータ .....	345
エンジンスイッチ (パワースイッチ) .....	134
エンジンフード (ボンネット) ...	249
開け方 .....	249
エンジンルーム	
エンジンルームから 蒸気が出ている .....	336

## お

オートマチックハイビーム .....	184
オートレベリングシステム （ヘッドランプ） .....	151
オーバーヒート .....	336
オープナー	
給油口 .....	160
バックドア .....	95
ボンネット .....	249
オイル（エンジンオイル） .....	345
応急用タイヤ .....	303
空気圧 .....	348
交換方法 .....	303
お子さまを乗せるとき .....	39
ウインドウロックスイッチ ...	118
お子さまの安全のために .....	39
子供専用シート .....	40
シートベルトの着用 .....	27
チャイルドシートの取り付け ...	48
チャイルドプロテクター .....	93
オドメーター .....	77
表示の切りかえ .....	77

## か

カーテンシールドエアバッグ .....	30
カーベット .....	246
洗浄 .....	247
フロアマットの取り付け方 .....	22
外気温度表示 .....	72
回生ブレーキ .....	57
外装の電球（バルブ） .....	266
交換要領 .....	266
ワット数 .....	349
買い物フック .....	225
カスタマイズ機能 .....	350
型式 .....	349
カップホルダー .....	223
カメラ	
前方カメラ .....	162
単眼カメラ .....	162
ガラスの曇り止め （リヤウインドウ デフォグガー） .....	209
ガレージジャッキ .....	252
冠水路走行 .....	132
寒冷時の運転 .....	202

## き

キー	86
キーナンバープレート	86
キーの構成	86
キーレスエントリー	90, 95
キーをなくした	87, 89
正常に働かない	329
施錠・解錠ができない	329
電子キー	86
電池が切れた	261, 329
ハイブリッドシステムが	
始動できない	329
メカニカルキー	87
ワイヤレスリモコン	86
キーレスエントリー	90, 95
スマートエントリー&	
スタートシステム	90, 95
ワイヤレスドアロック	90
給油	158
給油のしかた	158
緊急時シートベルト固定機構	27
緊急始動機能	
(ハイブリッドシステム)	328

## 緊急時の対処

オーバーヒートした	336
キーの電池が切れた	261, 329
警告灯がついた	292
警告メッセージが	
表示された	296
けん引	285
故障したときは	280
車両を緊急停止する	284
スタックした	341
電子キーが正常に働かない	329
発炎筒	282
ハイブリッドシステムが	
始動できない	327
バッテリーがあがった	331
パンクした	303, 313
緊急停止システム	61

## く

空気圧 (タイヤ).....	348
メンテナンスデータ .....	348
区間距離計	
(トリップメーター) .....	77
切りかえ・リセットボタン.....	77
駆動用電池 .....	60
充電について .....	58
搭載位置.....	60
冷却用吸入口.....	61
曇り取り .....	209
ミラーヒーター .....	209
リヤウインドウ	
デフォッガー .....	209
クラクション (ホーン) .....	111
クリアランスランプ (車幅灯) ...	150
スイッチ.....	150
電球 (バルブ) の交換.....	266
ワット数 .....	349
クリップ	
フロアマット.....	22
クルーズコントロール.....	190
グローブボックス.....	221

## け

警音器 (ホーン) .....	111
計器類 (メーター) .....	72
照度調整 .....	77
表示灯 .....	70
マルチインフォメーション	
ディスプレイ.....	75
警告灯.....	69
ABS & ブレーキアシスト.....	292
SRS エアバッグ .....	292
エンジン .....	292
高水温 .....	292
シートベルト非着用.....	293
スリップ表示灯.....	293
電子制御ブレーキ.....	292
燃料残量.....	293
パーキングブレーキ.....	292
パワーステアリング.....	293
PCS (プリクラッシュ	
セーフティシステム) .....	293
プリテンショナー .....	292
ブレーキ.....	292
マスターウォーニング .....	294

## 警告ブザー

シートベルト非着用 .....	293
衝突警報.....	166
先行車発進告知.....	188
パーキングブレーキ	
未解除走行時 .....	292
パワーステアリング .....	293
半ドア.....	91, 100
半ドア走行時.....	93, 96
ブレーキ.....	292
リバース .....	145
レーンディパーチャー	
アラート (LDA).....	179
警告メッセージ.....	296
化粧ミラー (バニティミラー) ..	233
けん引.....	285
けん引のしかた .....	285
フック.....	287

## こ

## 交換

キーの電池 .....	261
タイヤ .....	303
電球 (バルブ).....	266
ヒューズ .....	263
工具 (ツール).....	304, 315
航続可能距離 .....	78
後退灯 (バックアップランプ)	
電球 (バルブ) の交換 .....	266
ワット数 .....	349
高電圧部位.....	60
子供専用シート.....	40
選択方法 .....	40
取り付け方 .....	48
小物入れ.....	224
コンソールボックス .....	221
コンライト	
(自動点灯・消灯装置).....	150

## さ

サービスプラグ .....	60, 63
サイドエアバッグ .....	30
サイド方向指示灯 .....	148
電球 (バルブ) の交換 .....	266
方向指示レバー.....	148
ワット数 .....	349
サイドミラー (ドアミラー).....	115
操作.....	115
サンバイザー .....	233

## し

シート.....	106
子供専用シート.....	40
正しい運転姿勢.....	24
調整.....	106
手入れ.....	246
ヘッドレスト.....	109
シートヒーター.....	214
シートベルト.....	26
お子さまの着用.....	27
緊急時シートベルト固定機構.....	27
シートベルト非着用警告灯.....	293
高さ調整.....	26
正しく着用するには.....	26
着け方・はずし方.....	26
手入れ.....	247
妊娠中の方の着用.....	28
シートベルト非着用警告灯.....	293
シートベルトプリテンショナー.....	27
プリテンショナー警告灯.....	292
事故が発生したとき (ハイブリッドシステムの 注意).....	64
室内灯 (インテリアランプ).....	217
始動のしかた.....	134
シフトポジション.....	143

シフトレバー.....	142
シフトポジションの 切りかえ.....	142
操作.....	142
リバース警告ブザー.....	145
締め付けトルク (ホイール).....	310
ジャッキ	
ガレージジャッキ.....	252
車載ジャッキ.....	304, 315
ジャッキハンドル.....	304, 315
車幅灯.....	150
電球 (バルブ) の交換.....	266
ランプスイッチ.....	150
ワット数.....	349
車両型式.....	349
車両仕様 (スペック).....	344
車両接近通報装置.....	57
車両データの記録.....	7
車両を緊急停止するには.....	284
ジュニアシート.....	41
瞬間燃費.....	78
仕様 (車両仕様).....	344
初期化	
マルチインフォメーション ディスプレイ.....	80

## す

## スイッチ

EV ドライブモード .....	140
イグニッション .....	134
ウインドウロック .....	118
ウォッシャー .....	154
エコドライブモード .....	144
LDA （レーンディパーチャー アラート） .....	181
オーディオ .....	236
クルーズコントロール .....	190
シート調整 .....	106
シートヒーター .....	214
車両接近通報一時停止 .....	57
電話 .....	236
ドアミラー .....	115
ドアロック .....	92
トーク .....	236
TRIP .....	77
パノラマルーフシェード .....	238
パワーウインドウ .....	118
パワースイッチ .....	134
パワーモードスイッチ .....	144
PCS（プリクラッシュ セーフティシステム） .....	169
P ポジションスイッチ .....	143

## 非常点滅灯

（ハザードランプ） .....	281
VSC OFF .....	195
フォグランプ .....	153
フロントワイパー デアイサー .....	210
方向指示レバー .....	148
ホーン（警音器） .....	111
メーター操作 .....	78
ランプ .....	150
リヤウインドウ デフォグガー .....	209
ワイパー .....	154, 156
スタック .....	341
ステアリングホイール （ハンドル） .....	111
位置調整 .....	111
ステアリングスイッチ .....	236
ストップランプ（制動灯） 電球（バルブ）の交換 .....	266
ワット数 .....	349
スノータイヤ（冬用タイヤ） .....	202
スピードメーター .....	72, 75

スペアタイヤ (応急用タイヤ) ...	303
空気圧.....	348
交換方法 .....	303
スペック (車両仕様).....	344
スマートエントリー&	
スタートシステム.....	99
アンテナの位置 .....	99
カスタマイズ設定 .....	350
警告ブザー.....	100
作動範囲.....	100
正常に働かないとき .....	329
節電機能.....	101
電波がおよぼす	
影響について .....	105
ドアの解錠・施錠 .....	90
ハイブリッドシステムの	
始動.....	134
バックドアの解錠 .....	95
スモールランプ (車幅灯) .....	150
電球 (バルブ) の交換.....	266
ランプスイッチ .....	150
ワット数 .....	349

## せ

清掃 .....	242, 246
アルミホイール.....	243
外装.....	242
シートベルト .....	247
内装.....	246
制動灯	
電球 (バルブ) の交換.....	266
ワット数 .....	349
積算距離計 (オドメーター) .....	77
表示の切りかえ.....	77
セキュリティインジケーター.....	66
先行車発進告知機能 .....	188
センサー	
インナーミラー.....	114
オートマチックハイビーム ...	162
先行車発進告知機能 .....	162
前方センサー .....	162
ブリクラッシュ	
セーフティシステム	
(PCS) .....	162
ライトセンサー.....	151
レーンディパーチャー	
アラート (LDA) .....	179
洗車 .....	242
前照灯 (ヘッドランプ).....	150
電球 (バルブ) の交換.....	266
ライトセンサー.....	151
ランプ消し忘れ防止機能.....	151
ランプスイッチ.....	150
ワット数 .....	349
前方センサー.....	162

## そ

走行モード (ドライブモード) .....	144
速度計 (スピードメーター) .....	72

## た

ターンシグナルランプ (方向指示灯) .....	148
電球 (バルブ) の交換 .....	266
方向指示レバー .....	148
ワット数 .....	349
タイヤ .....	255
応急用タイヤ .....	303
空気圧 .....	259, 348
交換 .....	303
締め付けトルク .....	310
低扁平タイヤ .....	258
点検 .....	255
パンク応急修理キット .....	313
パンクしたときは .....	303, 313
ホイールサイズ .....	348
ローテーション (位置交換) .....	255
タイヤが空まわりする (スタックした) .....	341
タイヤチェーン .....	202
タコメーター .....	72

## ち

チェーン (タイヤチェーン) .....	202
チャイルドシート .....	40
ISOFIX バーでの取り付け .....	50
シートベルトでの固定 .....	49
選択方法 .....	40
チャイルドプロテクター .....	93
駐車ブレーキ (パーキングブレーキ) .....	149
操作 .....	149
パーキングブレーキ警告灯 .....	292
未解除走行時警告ブザー .....	292
メンテナンスデータ .....	348

## つ

ツール (工具) .....	304, 315
----------------	----------

## て

低扁平タイヤ .....	258
手入れ .....	242, 246
アルミホイール .....	243
外装 .....	242
シートベルト .....	247
内装 .....	246
テールランプ (尾灯) .....	150
電球 (バルブ) の交換 .....	266
ランプスイッチ .....	150
デッキフック .....	225
デフォッガー (リヤウインドウ デフォッガー) .....	209
電気モーター .....	60
電球 (バルブ) 交換要領 (外装バルブ) .....	266
ワット数 .....	349
点検基準値 (メンテナンスデータ) .....	344
電子キー .....	86
作動範囲 .....	100
正常に働かないとき .....	329
節電機能 .....	101
電池が切れた .....	329
電池交換 .....	261
電池交換 (キー) .....	261

## と

ドア .....	90
スマートエントリー& スタートシステム .....	90, 95
チャイルドプロテクター .....	93
ドアガラス .....	118
ドアロックスイッチ .....	92
バックドア .....	95
半ドア走行時 警告ブザー .....	93, 96
ロックレバー .....	92
ワイヤレスリモコン .....	90
ドアミラー .....	115
操作 .....	115
盗難防止装置 イモビライザーシステム .....	66
時計 .....	234
トップテザーアンカー .....	48
Toyota Safety Sense C .....	161
ドライブインフォメーション .....	78
トラクションコントロール (TRC) .....	194
トランスミッション .....	142
操作 .....	142
メンテナンスデータ .....	347
トリップインフォメーション .....	77
トリップメーター .....	77
切りかえ・リセットボタン .....	77

## な

内装	
収納装備.....	220
手入れ.....	246

## に

荷物	
積むときの注意.....	133
バックドア.....	95

## ぬ

ぬかるみにはまった (スタック).....	341
--------------------------	-----

## ね

燃料.....	344
給油.....	158
種類.....	344
燃料残量警告灯.....	293
容量.....	344
燃料計.....	72

## は

パーキングブレーキ.....	149
操作.....	149
ブレーキ警告灯.....	292
未解除走行時警告ブザー.....	292
メンテナンスデータ.....	348
パーソナルランプ.....	218
ワット数.....	349
排気ガス.....	54
ハイビーム (ヘッドランプ).....	150
オートマチックハイビーム.....	184
電球 (バルブ) の交換.....	266
ランプスイッチ.....	150
ワット数.....	349
ハイブリッドシステム.....	55
EV ドライブモード.....	140
運転のアドバイス.....	200
エネルギーモニター.....	83
オーバーヒート.....	336
回生ブレーキ.....	57
ガス欠になったとき.....	62
緊急始動機能.....	328
緊急時の停止方法.....	284
緊急停止システム.....	61
駆動用電池冷却用吸入口.....	61

警告メッセージ .....	296	挟み込み防止機能	
高電圧部位 .....	60	パノラマルーフシェード .....	238
サービスプラグ .....	60, 63	パワーウィンドウ .....	119
事故が発生したとき .....	64	発炎筒 .....	282
始動できないときは .....	327	バックアップランプ (後退灯)	
始動方法 .....	134	電球 (バルブ) の交換 .....	266
車両接近通報装置 .....	57	ワット数 .....	349
充電 .....	58	バックドアオープナー .....	95
注意 .....	60	バックページトレイ .....	231
特徴 .....	55	バッテリー (駆動用電池) .....	60
特有の音と振動 .....	58	充電について .....	58
パワー (イグニッション)		搭載位置 .....	60
スイッチ .....	134	冷却用吸入口 .....	61
補機バッテリーがあがった ...	331	バッテリー	
メンテナンス・修理・廃車		(補機バッテリー) .....	250
するとき .....	59	搭載位置 .....	250
ハイブリッドシステム		補機バッテリーがあがった ...	331
インジケーター .....	73	補機バッテリーを	
ハイマウントストップランプ		交換するとき .....	251
電球 (バルブ) の交換 .....	274	バニティ (化粧用) ミラー .....	233
ハザードランプ (非常点滅灯) ...	281	バニティミラーランプ .....	218
緊急ブレーキシグナル .....	194	ワット数 .....	349
スイッチ .....	281	パノラマルーフシェード .....	238
電球 (バルブ) の交換 .....	266	操作 .....	238
ワット数 .....	349	挟み込み防止機能 .....	238

## バルブ (電球)

交換要領 (外装のバルブ)..... 266

ワット数 ..... 349

## パワーウィンドウ..... 118

ウィンドウロックスイッチ.... 118

閉めることができない

ときは..... 120

操作 ..... 118

挟み込み防止機能..... 119

## パワーコントロールユニット ..... 60

## パワー (イグニッション)

スイッチ ..... 134

## パワーステアリング..... 194

パワーステアリング警告灯.... 293

## パンクした

応急用タイヤ装着車 ..... 303

タイヤパンク応急修理キット

装着車 ..... 313

## 番号灯

(ライセンスプレートランプ)... 150

電球 (バルブ) の交換..... 266

ランプスイッチ ..... 150

ワット数 ..... 349

## ハンドル

(ステアリングホイール) ..... 111

位置調整..... 111

ステアリングスイッチ..... 236

## ひ

## ビークルスタビリティ

コントロール (VSC)..... 194

## ヒーター

オートエアコン.....206

シートヒーター.....214

ミラーヒーター.....209

## 非常点滅灯 (ハザードランプ) ...281

緊急ブレーキシグナル..... 194

スイッチ .....281

電球 (バルブ) の交換.....266

ワット数 .....349

## 尾灯 (テールランプ) ..... 150

電球 (バルブ) の交換.....266

ランプスイッチ ..... 150

## ヒューズ.....263

## 表示灯..... 70

## 日よけ (サンバイザー).....233

## ヒルスタートアシスト

コントロール ..... 194

## ふ

ブースターケーブルの	
つなぎ方 .....	331
フォグランプ .....	153
スイッチ .....	153
電球（バルブ）の交換 .....	266
ワット数 .....	349
ブザー	
シートベルト非着用警告 .....	293
衝突警報 .....	166
先行車発進告知 .....	188
パーキングブレーキ未解除	
走行時警告 .....	292
半ドア警告 .....	91, 100
半ドア走行時警告 .....	93, 96
ブレーキ警告 .....	292
リバース警告 .....	145
レーンディパーチャー	
アラート（LDA）警告 .....	179
フック	
買い物フック .....	225
けん引フック .....	287
デッキフック .....	225
フロアマット固定フック .....	22
フューエルメーター	
（燃料計） .....	72
フューエルリッド（給油口） .....	158
給油のしかた .....	158
冬の前の準備（寒冷時の運転） ..	202
冬用タイヤ .....	202
ブリクラッシュ	
セーフティシステム	
（PCS） .....	166
PCS スイッチ .....	169

## ブレーキ

回生ブレーキ .....	57
パーキングブレーキ .....	149
ブレーキ警告灯 .....	292
メンテナンスデータ .....	348
ブレーキアシスト .....	194
ABS & ブレーキアシスト	
警告灯 .....	292
ブレーキ付近からキーキー音が	
聞こえる .....	128
ブレーキフルード .....	348
フロアボード .....	229
フロアマット .....	22
フロントシート .....	106
シートヒーター .....	214
正しい運転姿勢 .....	24
調整 .....	106
手入れ .....	246
ヘッドレスト .....	109
フロントパーソナルランプ .....	218
フロントフォグランプ .....	153
スイッチ .....	153
電球（バルブ）の交換 .....	266
ワット数 .....	349
フロント方向指示灯 .....	148
電球（バルブ）の交換 .....	266
方向指示レバー .....	148
ワット数 .....	349
フロントワイパーデアイサー .....	210

## へ

平均車速 .....	78
平均燃費 .....	78
ヘッドランプ .....	150
電球（バルブ）の交換.....	266
ライトセンサー .....	151
ランプ消し忘れ防止機能.....	151
ランプスイッチ .....	150
ワット数 .....	349
ヘッドランプオートレベリング	
システム .....	151
ヘッドレスト .....	109
ベビーシート .....	41

## ほ

ホイール	
交換（タイヤ）.....	303
メンテナンスデータ .....	348
方向指示灯.....	148
電球（バルブ）の交換.....	266
方向指示レバー.....	148
ワット数 .....	349
ホーン（警音器）.....	111
補機バッテリー .....	250
交換するとき .....	251
搭載位置 .....	250
補機バッテリーがあがった ...	331
保証 .....	9
ボンネット.....	249
開け方 .....	249

## ま

マスターウォーニング .....	294
マルチインフォメーション	
ディスプレイ .....	75
エネルギーモニター .....	75
警告メッセージ .....	296
設定 .....	80
ドライブインフォメーション .....	78
トリップインフォメーション .....	77
プリクラッシュ	
セーフティシステム	
(PCS) .....	166, 169
レーンディパーチャー	
アラート (LDA) .....	181

## み

ミラー	
インナーミラー .....	113
ドアミラー .....	115
バニティミラー .....	233

## め

メーター (計器類) .....	72
警告灯 .....	292
照度調整 .....	77
設定 .....	80
表示灯 .....	70
マルチインフォメーション	
ディスプレイ .....	75
メカニカルキー .....	87
メンテナンスデータ .....	344

## も

モーター (電気モーター) .....	55
モーターでの走行	
(EV ドライブモード) .....	140

## ゆ

ユーザーカスタマイズ機能 .....	350
雪道ですべて動けない	
(スタックした) .....	341
油脂類 .....	344

## ら

ライセンスプレートランプ (番号灯) .....	150
電球 (バルブ) の交換 .....	266
ランプスイッチ .....	150
ワット数 .....	349
ラゲージアンダートレイ .....	229
ラゲージサイドトレイ .....	230
ラゲージルーム .....	95
ラゲージルームランプ .....	96
ラジエーター	
オーバーヒート .....	336
メンテナンスデータ .....	347
ランプ	
室内灯 .....	216
電球 (バルブ) の交換 .....	266
パーソナルランプ .....	218
非常点滅灯 (ハザードランプ) .....	281
フロントフォグランプ .....	153
ヘッドランプ (前照灯) .....	150
方向指示灯 (ターンシグナル ランプ/ウインカー) .....	148
ライトセンサー .....	151
ランプ消し忘れ防止機能 .....	151
ワット数 .....	349
ランプ消し忘れ防止機能 .....	151

## り

リヤアームレスト .....	237
リヤウインドウ デフォッガースイッチ .....	209
リヤパーソナルランプ .....	219
リヤ方向指示灯 .....	148
電球 (バルブ) の交換 .....	266
方向指示レバー .....	148
ワット数 .....	349

## る

ルームミラー (インナーミラー) .....	113
---------------------------	-----

## れ

冷却水 .....	347
冬の前の準備 .....	202
メンテナンスデータ .....	347
冷却装置 (ラジエーター) .....	347
オーバーヒート .....	336
メンテナンスデータ .....	347
レーンディパーチャー アラート (LDA) .....	179
レバー	
シフト .....	142
ハンドル位置調整 .....	111
方向指示 .....	148
ボンネット解除 .....	249
ロック (ドア) .....	92

## ろ

## ロック

ウインドウロック .....	118
スマートエントリー& スタートシステム.....	90, 95
チャイルドプロテクター.....	93
ドア .....	90
ワイヤレスリモコン .....	90

## わ

ワイパー & ウォッシャー.....	154
ワイパーブレード (寒冷地用) ...	203
ワイヤレスリモコン.....	86
作動の合図.....	91
操作 .....	90
電池の交換.....	261
半ドア警告ブザー .....	91
ワックス .....	242
ワット数.....	349

## ガソリンスタンドでの情報

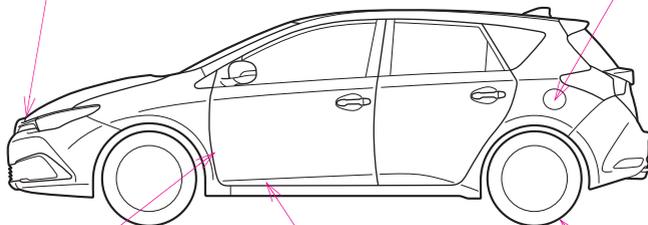
給油や交換などの際に必要な項目をまとめてあります。

ボンネットフック

P. 249

給油口

P. 160



CTHPIAP193

ボンネット解除レバー

P. 249

給油口オープナー

P. 158

タイヤ空気圧

P. 348

燃料の容量 (参考値)	45L
燃料の種類	P. 344
タイヤが冷えているときの空気圧	P. 348
エンジンオイル容量 (参考値)	オイルのみ交換時： 3.9L オイルとフィルター交換時： 4.2L
エンジンオイルの種類	P. 345

お問い合わせ、ご相談は  
下記へお願いいたします。

**トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター**  
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を  
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、  
<http://www.toyota.co.jp> にて掲載しております。

「リコール等情報」については、  
<http://toyota.jp/recall/index.html> にて掲載して  
おります。

**トヨタ自動車株式会社**  
<http://toyota.jp>



M 12K27  
01999-12K27  
NAC-2018年 2月21日  
2016年 4月18日 初版  
2018年 2月28日 2版  
オーリス(ハイブリッド車)